

沖繩市スポーツ合宿等統計調査業務 調査報告書

平成31年3月

沖繩市 経済文化部 観光振興課

沖縄市スポーツ合宿等統計調査業務 調査報告書

[目 次]

第1章 業務の概要

1. 業務の目的	1
2. 対象競技等について	1
3. 調査内容	1

第2章 スポーツ合宿・大会等の開催状況

1. 開催状況調査について	3
2. 調査結果の概要	6
3. 沖縄市におけるスポーツ合宿等の開催状況の特徴	7
4. 沖縄市におけるスポーツ大会等の開催状況の特徴	15

第3章 アンケート調査結果

1. アンケート調査について	24
2. 大会主催者及び合宿代表者アンケート結果	26
3. 大会及び合宿参加者（競技者）アンケート結果	41
4. 観戦者アンケート結果	60

第4章 スポーツ合宿等による経済効果の分析

1. 経済効果の分析について	78
2. スポーツ合宿等による直接効果	79
3. スポーツ興行の観戦者による市内への経済波及効果	90

第5章 新たな合宿誘致案の提案

1. 沖縄市におけるスポーツ合宿・大会等開催状況の強み・弱み	98
2. 新たな誘致の展望	100

【資料編】

資料1. アンケート調査記録

1. 全島サッカー1万人祭の調査分析	資料1
2. アンケート調査票	資料24

資料2. GPS調査レポート

1. 調査の概要	資料40
2. 調査結果	資料42

第1章 業務の概要

1. 業務の目的

本業務は、スポーツ合宿やスポーツ大会等の実態調査を行うとともに、本市の課題を整理分析し、効果的なスポーツ観光誘客に関する統計手法を整備することを目的とする。

2. 対象競技等について

本業務においては、国民体育大会競技種目、全国障害者スポーツ大会競技種目を対象とする。また、スポーツコンベンションの視点から、学校行事や市民のみを対象とする大会・イベントなどを除く。

3. 調査内容

(1) スポーツ合宿・大会等の開催実績調査

沖縄市のスポーツ合宿や大会等の実態を把握するための調査・データの整理・分析を行う。

①スポーツ合宿の実態調査

市内で行われた（行われる）スポーツ合宿に関する情報を収集・整理する。

調査対象期間：平成29年4月から平成31年2月

調査対象施設など：沖縄県総合運動公園、コザ運動公園、市内空手道場、市内宿泊施設、その他スポーツ合宿者が利用する施設など

②アンケート調査等

ア. スポーツ合宿及び大会参加者

調査対象施設などにおいて、スポーツ合宿者及び大会参加者を対象にアンケート調査を実施する。

調査対象施設など：沖縄県総合運動公園、コザ運動公園、市内空手道場、市内宿泊施設、その他スポーツ合宿者が利用する施設など

イ. スポーツ興行の観戦者対象のアンケート調査

市内で開催されるスポーツ興行の観戦者に対してアンケート調査を実施する。

市内開催スポーツ興行：FC琉球公式戦（2回）、琉球ゴールデンキングス公式戦（1回）、パナソニックパンサーズ公式戦（1回）

③スポーツ大会等の実態調査

平成29年4月から平成31年2月まで市内で開催された（される）全てのスポーツ大会等に関する情報を収集・整理する。

④電子データの整理

上記①②③について電子データとして整理する。

⑤データ分析

ア. 過去3年分のデータ分析

過去3年分〔2016（平成28）年1月から2018（平成30）年12月〕のスポーツ合宿・大会等に関するデータを分析する。

イ. 市内のスポーツ興行の観戦者の動向や特徴の分析

スポーツ興行の観戦者アンケートを踏まえ、観戦者の属性、動向や特徴について分析を行う。

（2）スポーツ合宿等による経済効果の算出

（1）の調査を踏まえ、沖縄市におけるスポーツ合宿・大会等による経済効果を概算する。

①スポーツ合宿・大会等による経済効果

2016（平成28）年1月から2018（平成30）年12月の、スポーツ合宿・大会等による沖縄市における経済効果（直接効果）について推計する。

②スポーツ興行の観戦者による市内への経済波及効果

スポーツ興行の観戦者アンケートの結果を踏まえ、市全域への経済波及効果を推計する。

（3）新たな合宿誘致の提案

（1）（2）の結果を総合的に分析し、沖縄市におけるスポーツ合宿等における動向や特徴などをまとめ、課題を抽出する。年間を通した沖縄市におけるスポーツ合宿誘致の可能性について提案する。

（4）その他

スポーツ施策の推進及び市内の経済効果を高める事業について提案する。

第2章 スポーツ合宿・大会等の開催状況

1. 開催状況調査について

(1) 対象期間

沖縄市におけるスポーツ合宿や大会等の実態を把握するため、開催実績の整理と、データ分析を行った。調査対象期間は下記のとおりである。

なお、データ分析における2016（平成28）年1月から2017（平成29）年3月については、市の過年度調査データをもとに分析を行った。

調査項目と対象期間

調査内容	対象期間
スポーツ合宿の実態調査	2017（平成29）年4月～2019（平成31）年2月
スポーツ大会等の実態調査	2017（平成29）年4月～2019（平成31）年2月
データ分析	2016（平成28）年1月～2018（平成30）年12月

(2) 調査手法

実態調査にあたっては、「①宿泊施設データ」をベースに、「②スポーツ施設データ」及び「③その他データ」などから補足や重複・ズレの修正などを行って取りまとめた。

なお、沖縄県文化観光スポーツ部が毎年公開している「スポーツコンベンション開催実績一覧」は、事業期間中に平成29年度版が公開される見通しがなかったため、今回の調査では使用していない。

① 宿泊施設データ

市では各宿泊施設から毎月、予約状況データの提供を受けており、そのデータをもとに整理・分析を行った。対象施設は下記の8施設である。

宿泊施設データ収集先

施設名	客室数	施設名	客室数
デイゴホテル	54	オリンピック観光ホテル	70
サンライズ観光ホテル	29	オキナワグランメールリゾート	300
ホテルニューセンチュリー	69	クラウンホテル	37
ホテルコザ	80	ホテルシャララ	20

② スポーツ施設

公共のスポーツ施設として、「沖縄市立総合運動場（以下、県総と見分けやすくするためコザ総合運動場とする）」及び「沖縄県総合運動公園」の2施設から、合宿及び大会の開催状況データの提供を受けた。ただし、コザ総合運動場については、サーバートラブルのため、2019

(平成 30) 年 9 月までのデータを反映させる形となっている。

③その他データ

ア. 市内空手道場調査

市内における空手による合宿等の開催状況については、昨年度に引き続き実態調査のデータの収集を目的としたアンケート調査を実施した。また、海外などからの受け入れが多いと思われる著名な道場について、受入状況に関するヒアリングを行った。

調査対象道場

道場名	調査
沖縄少林流空手道国際連盟 真武館	アンケート
沖縄空手道剛柔流 尚礼館	アンケート
沖縄空手道剛柔流 尚武館総本部	アンケート
沖縄空手道協会（上地流） 泡瀬道場水明館	アンケート
沖縄空手道 拳武館	ヒアリング

イ. プロスポーツの公式戦情報

沖縄市をホームグラウンド（サブ含む）として公式戦が開催されている、バスケットボール、サッカー、バレーボールについては、それぞれのチームの年間スケジュールなどからもデータを収集した。また、プロ野球のキャンプについても、公式情報をもとに追加を行っている。

対象チーム

チーム名	競技	URL
琉球ゴールデンキングス	バスケットボール	https://goldenkings.jp/
FC 琉球	サッカー	http://fcryukyu.com/
パナソニックパンサーズ	バレーボール	https://panasonic.co.jp/sports/volleyball/

ウ. パラスポーツ

パラスポーツの合宿等の開催状況については、（特非）バリアフリーネットワーク会議の資料「ツアセン 10」をもとに、データを追加した。

使用資料

資料名	発行年	発行者
ツアセン 10／平成 29 年度 那覇空港・国際通りしょうがい者・こわい者観光案内所／沖縄バリアフリーツアーセンター（BFTC）運営実績報告書	平成 30 年 6 月	特定非営利活動法人 バリアフリーネットワーク会議

(3) 用語の定義

開催実績の整理及びデータ分析にあたっては、次のように用語を定義し、分類を行った。

「種類」の考え方

項目	概要
大会	選手権大会やプロチームの公式戦など
合宿・自主トレ・キャンプ	大学や社会人の合宿や練習試合、プロ選手の自主トレなど
スポーツイベント	フェスティバル、マラソン大会など
その他	上記に当てはまらないもの／よく分からないもの

「所属」の考え方

用語	概要
プロ	プロ野球のキャンプや、プロバスケットの試合、プロ選手の自主トレなど
全日本	日本代表チームや日本代表を育成する競技連盟などの合宿や大会など
社会人	実業団、企業など社会人チーム（個人含む）の合宿や大会など
大学生	大学の合宿、大学生が対象となる大会など
高校生	高等学校の合宿、高校生が対象となる大会など
中学生	中学校の合宿、中学生が対象となる大会など
小学生	小学校の合宿、小学生が対象となる大会など
ジュニア	小中学生の年齢で、クラブチームなど学校以外の団体が主催となるもの
一般・その他	一般県民などを対象としたもの、様々な年齢層が入り混じったもの／都道府県単位の競技連盟などによる合宿や大会など／大会・合宿のスタッフや役員／詳細がわからないもの

「開催会場」の考え方

用語	概要
県総合運動公園	沖縄県総合運動公園内に所在する各施設を利用した場合
コザ総合運動場	沖縄市立総合運動場内に所在する各施設を利用した場合
複数利用	上記の、県総合運動公園とコザ総合運動場を両方使用した場合
その他	上記以外の市内の施設を利用した場合（個人道場など含む）
宿泊のみ	大会や合宿等に使用した会場が市外のスポーツ施設であることがわかる場合
不明	利用したスポーツ施設がわからない場合

2. 調査結果の概要

もっとも件数が多いコンベンションは、「合宿・自主トレ・キャンプ」
もっとも人数が多いコンベンションは、「スポーツイベント」

- 2016年から2018年の3年間に、市内で開催されたスポーツコンベンションは、合宿・自主トレ・キャンプが全体の6割を占める。
- 参加人数ではスポーツイベントに参加した人が、全スポーツコンベンション参加人数の65%を占めている。

主要競技は「陸上」

- すべてのスポーツコンベンションを競技別にみたとき、陸上の件数がおよそ4割を占める。人数では、7割が陸上に関する参加者である。

件数が最も多いのは「社会人」によるスポーツコンベンション
参加人数が最も多いのは「一般・その他」

- 市内でのスポーツコンベンションのうち、17%が社会人によるものである。次いで、高校生（15.6%）、大学生（15.2%）となる。
- 人数では「一般・その他」の参加が最も多く、7割を占める。次いで、大学生（7.2%）、高校生（6.8%）となっている。

「合宿・自主トレ・キャンプ」はコザ総合運動場、
「大会」は県総合運動公園で開催されている

- 合宿・自主トレ・キャンプの5割近くが、コザ総合運動場で開催されている。
- 大会の6割が、県総合運動公園で開催されている。
- 「宿泊のみ」の件数はすべてのスポーツコンベンション合わせて5%であった。

「合宿・自主トレ・キャンプ」の平均滞在日数は7.9日で、平均参加人数は23.4人

- 合宿・自主トレ・キャンプにおいて、平均滞在日数が多い競技は、野球（7.9日）、陸上（7.8日）、パラスポーツ（7.0日）、バスケットボール（5.9日）である。「その他」に分類した空手などにおいて、長期の滞在がみられる。
- 合宿・自主トレ・キャンプにおいて、平均参加人数が多い競技は、野球（40.8人）、サッカー（38.3人）、バスケットボール（28.3人）、バレーボール（25.3人）など団体競技である。

「大会」の平均滞在日数は3.4日で、平均参加人数は73.4人

- 大会において平均滞在日数が多い競技は、テニス（4.3日）、陸上（3.7日）、野球（3.5日）である。
- 大会において平均参加人数が多い競技は、野球（124.6人）、テニス（111.5人）、パラスポーツ（100.6人）である。

「合宿・自主トレ・キャンプ」で平均参加人数が多いのは「大学生」
「大会」で平均参加人数が多いのは「小学生」

- 合宿・自主トレ・キャンプにおいて平均参加人数が多いのは、大学生（36.5人）、プロ（32.5人）、小学生（31.6人）である。
- 大会において平均参加人数が多いのは、小学生（167.9人）、一般・その他（128.9人）、ジュニア（114.3人）である。

3. 沖縄市におけるスポーツ合宿等の開催状況の特徴

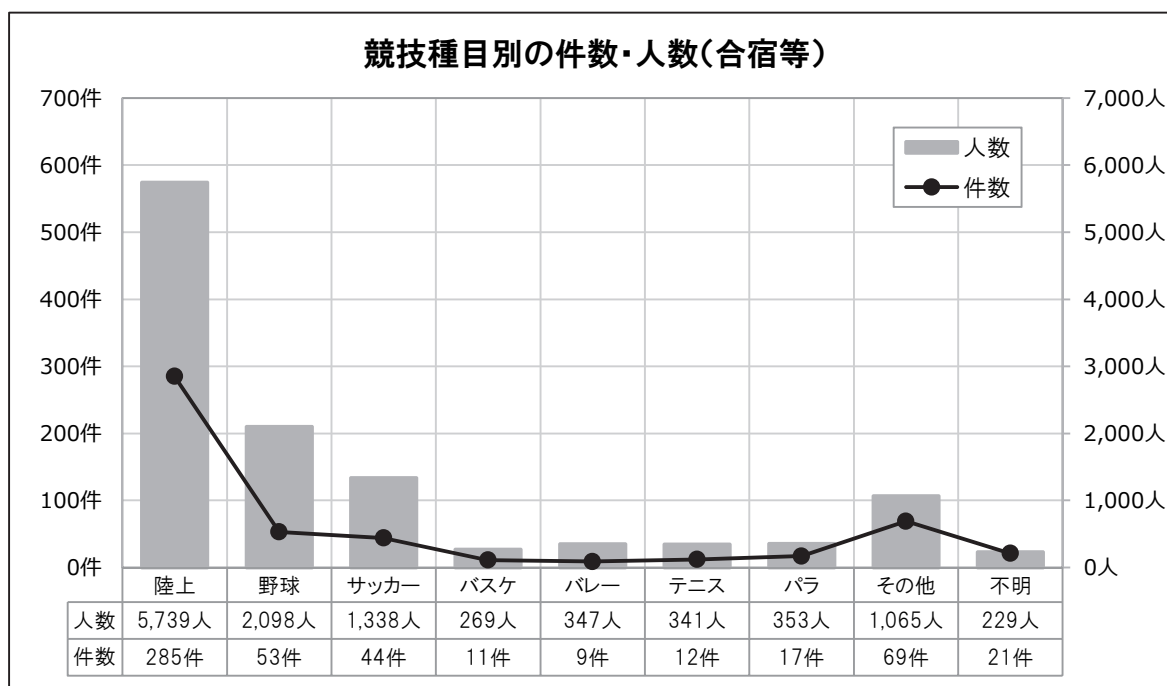
(1) 全体の傾向

◆件数／人数

対象期間中における、市内での合宿・自主トレーニング・キャンプ（以下、合宿等とする）について、競技別の件数・人数は次のとおりである。陸上が主要競技となっており、次いで、野球とサッカーが続く。人数についても、件数と同じ傾向である。その他に含まれる競技は、空手、ソフトボール、ラグビー、卓球などである。

合宿等への平均参加人数は、23.4人であった。

2016年から2018年の推移をみると、件数・人数ともに、増加している。競技別の推移をみると、ほとんどの競技で件数・人数ともに増加傾向にある。また、2018年からはテニスやバレーの合宿等が増加している。



※2016年1月から2018年12月の総数である。

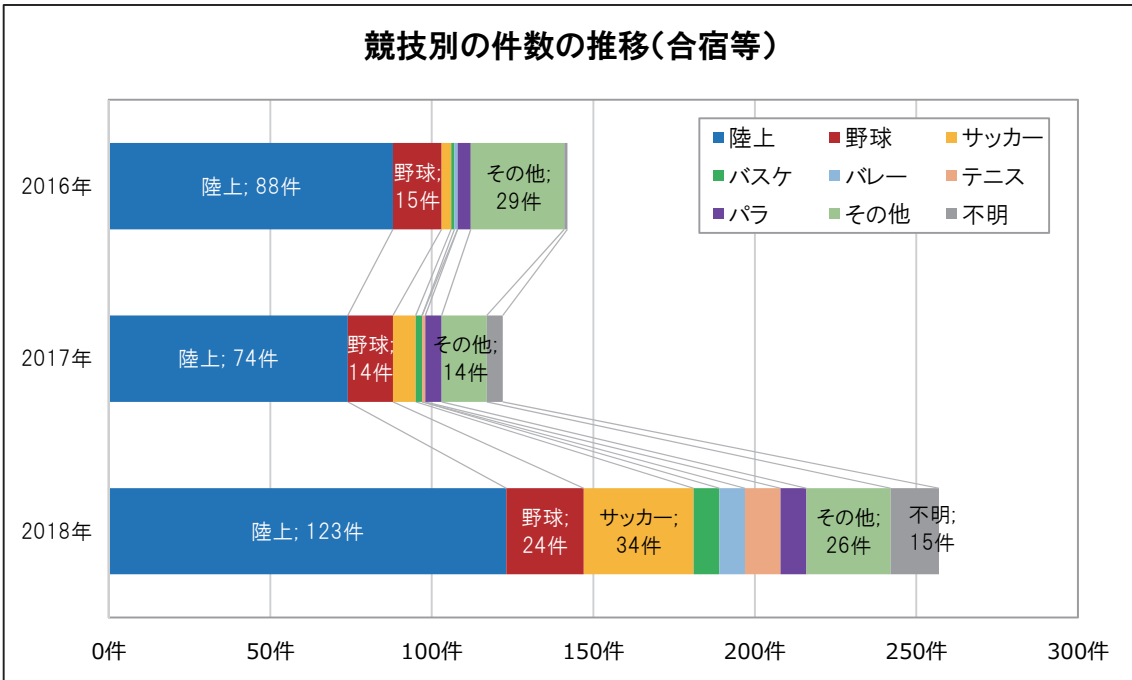
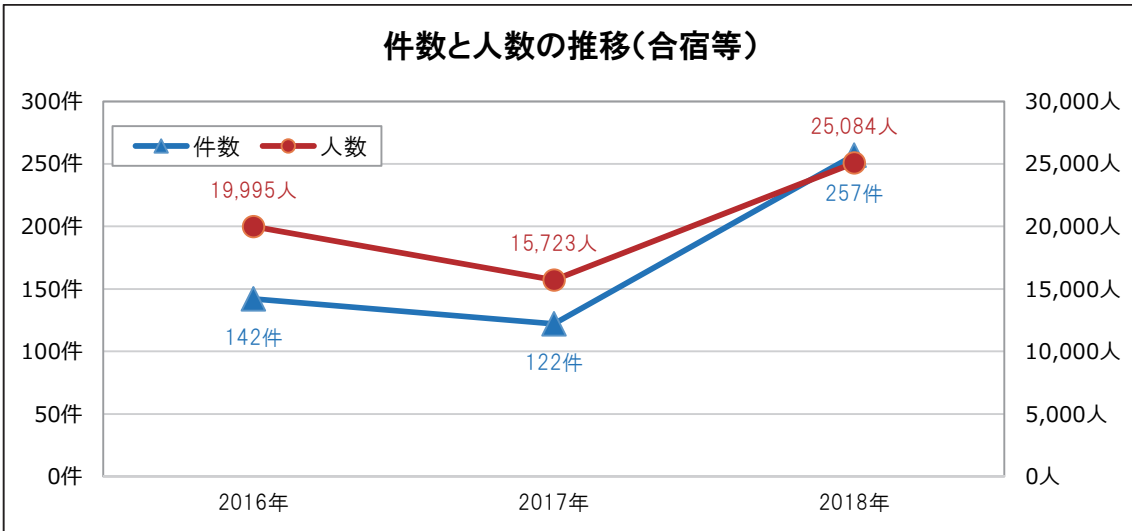
※宿泊のみを含む数字である。

その他の競技種目

空手／柔道／ソフトボール／卓球／バドミントン／ラグビー／ボウリング

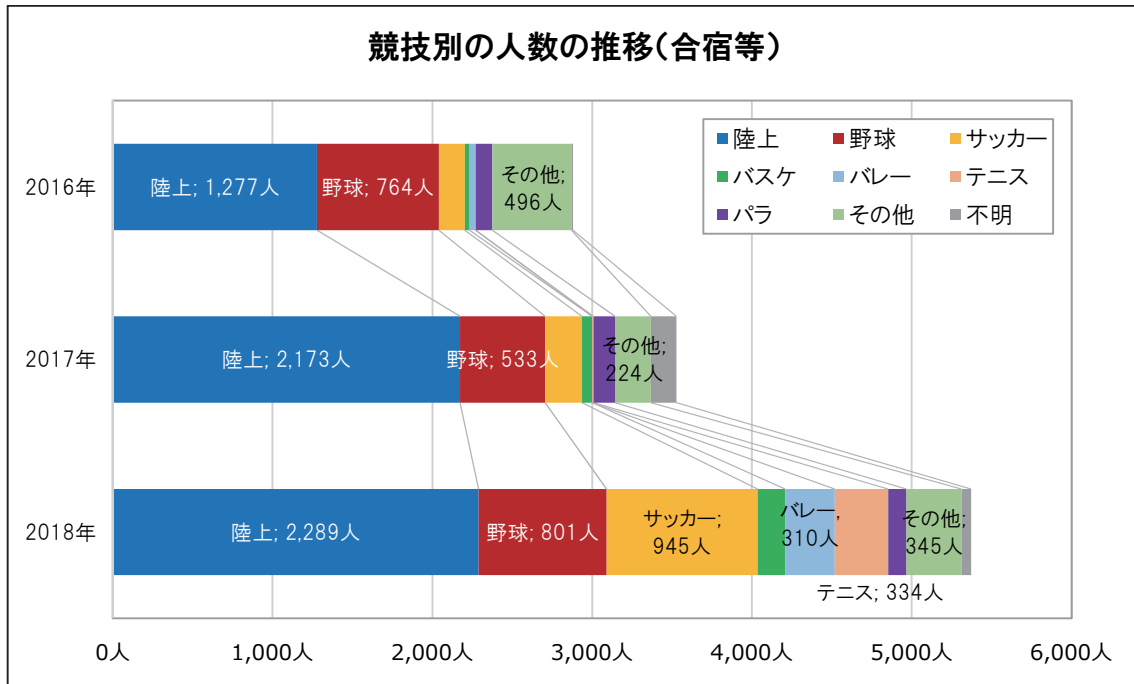
市内でのスポーツコンベンションへの平均参加人数（3年間平均）

平均参加人数（総数）	115.0人
平均参加人数（イベント除く総数）	39.1人
大会の平均参加人数	73.4人
合宿等の平均参加人数	23.4人
イベントの平均参加人数	7,866.6人



競技別の合宿等件数の推移

	陸上	野球	サッカー	バスケット	バレー	テニス	パラ	その他	不明	合計
2016年	88件	15件	3件	1件	1件	0件	4件	29件	1件	142件
2017年	74件	14件	7件	2件	0件	1件	5件	14件	5件	122件
2018年	123件	24件	34件	8件	8件	11件	8件	26件	15件	257件
合計	285件	53件	44件	11件	9件	12件	17件	69件	21件	521件



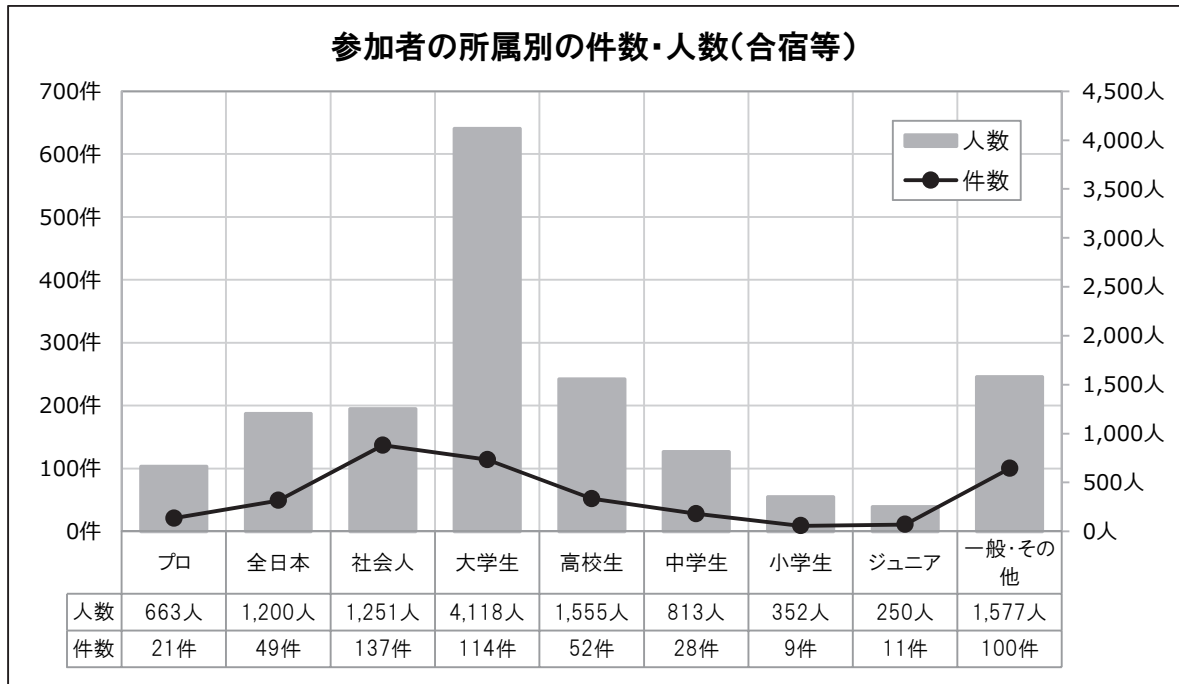
競技別の合宿等参加人数の推移

	陸上	野球	サッカー	バスケット	バレー	テニス	パラ	その他	不明	合計
2016年	1,277人	764人	162人	31人	37人	0人	104人	496人	10人	2,881人
2017年	2,173人	533人	231人	64人	0人	7人	135人	224人	160人	3,527人
2018年	2,289人	801人	945人	174人	310人	334人	114人	345人	59人	5,371人
合計	5,739人	2,098人	1,338人	269人	347人	341人	353人	1,065人	229人	11,779人

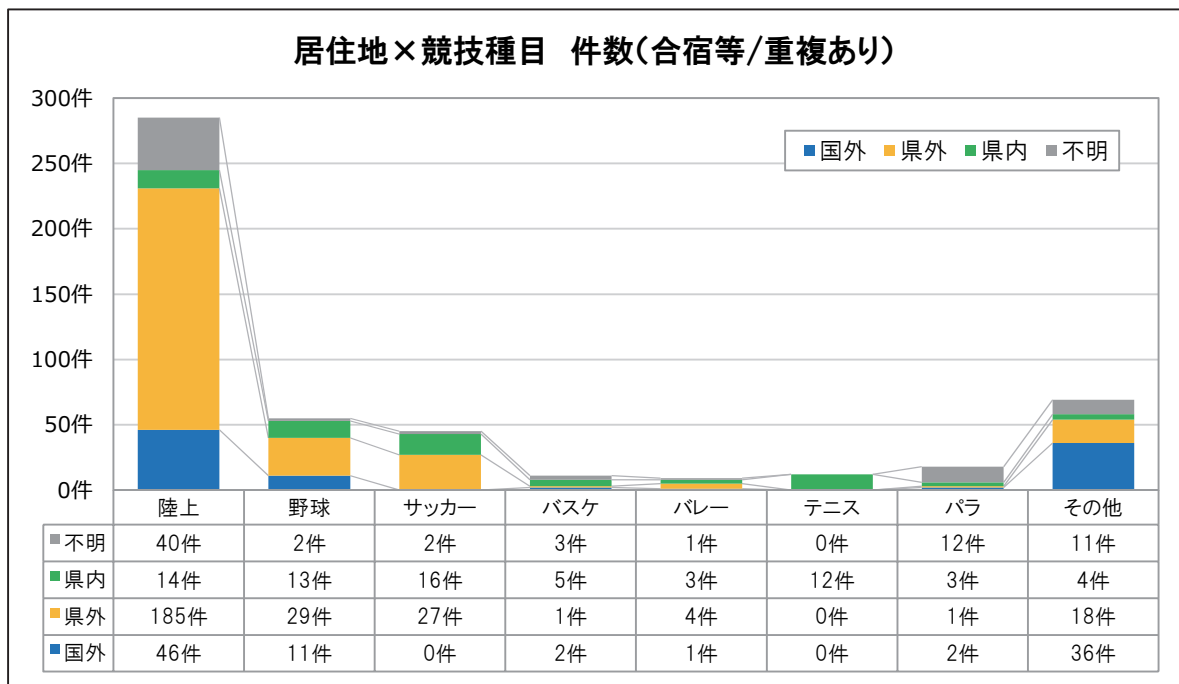
◆所属／居住地

対象期間中に市内で行われた合宿等について、参加者の所属別にみると、件数では社会人による合宿等が最も多いが、参加人数では大学生が最も多かった。件数では、社会人、大学生、高校生の順に多い。一方、人数では、大学生、高校生、一般・その他の順となった。大学生や高校生など、学校単位での参加が多いことが要因と考えられる。また、プロや全日本などのトップレベルのアスリートによる合宿等の件数も少なくはなく、トレーニングルームなどの施設面の充実の効果がみられる。

参加者の居住地別でみると、全体的に県外からの参加者が中心となっていることがわかる。また、陸上やその他（空手）において国外からの合宿等がみられる。



※2016年1月から2018年12月の総数である。



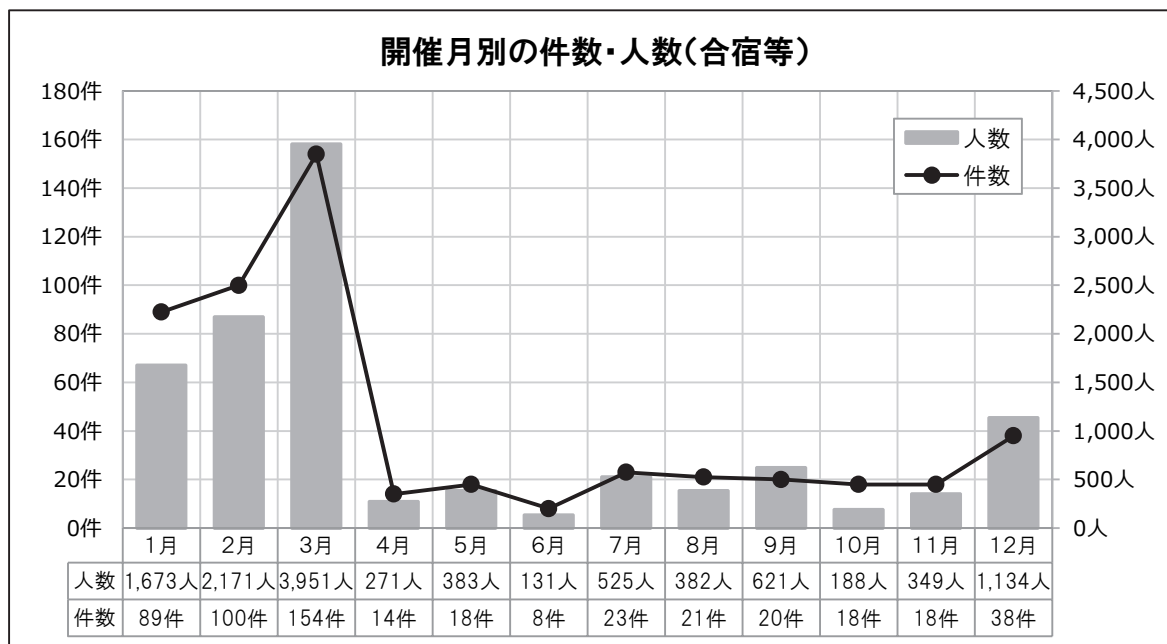
※2016年1月から2018年12月の総数である。

※ひとつの合宿等に、様々な地域からの参加者がいる場合があり、そのような場合は重複してカウントしている。

◆開催月／平均滞在日数

合宿等の開催時期は1月から3月に集中しており、件数ベースで343件（65.8%）、人数ベースで7,795人（66.2%）の合宿等がこの時期に開催されている。

合宿等の平均滞在日数は、7.9日である。



※2016年1月から2018年12月の総数である。

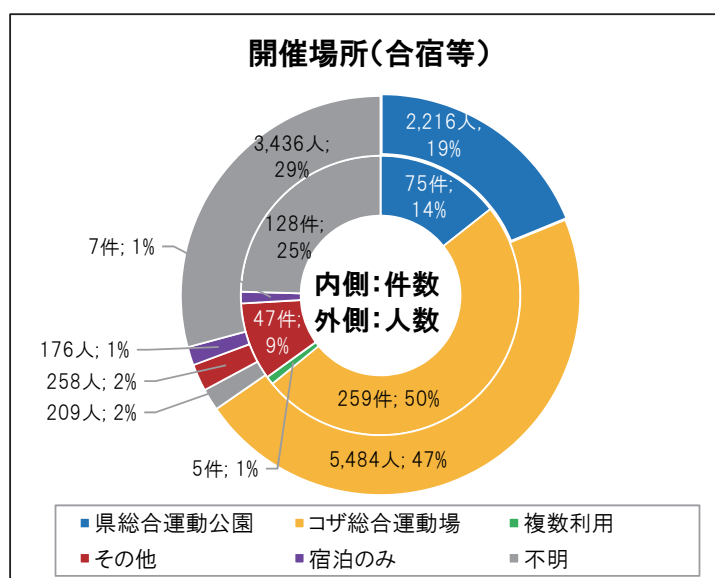
市内でのスポーツコンベンションにおける平均滞在日数（3年間平均）

平均滞在日数（総数）	6.3日
平均滞在日数（イベント除く総数）	6.3日
大会参加者の平均滞在日数	3.4日
合宿等参加者の平均滞在日数	7.9日
イベント参加者の平均滞在日数	2.7日

◆開催場所

合宿等では、コザ総合運動場の使用が中心となっており、件数ベースで259件、人数ベースで5,484人である。一部、コザ総合運動場と県総合運動公園の両方を利用した複数利用者もみられる。その他には、個人道場など上記2施設以外を利用した場合が含まれる。

また、市内のスポーツ施設は使用せず、宿泊のみの合宿等は、7件・176人と1%の割合であった。



※2016年1月から2018年12月の総数である。

(2) 競技別の特徴

ここでは、市内での合宿等において件数・人数ともに多かった陸上、野球、サッカーについて、特徴を整理する。また、「その他」に分類された競技のうち、空手についてヒアリングなどをもとに特徴を整理する。

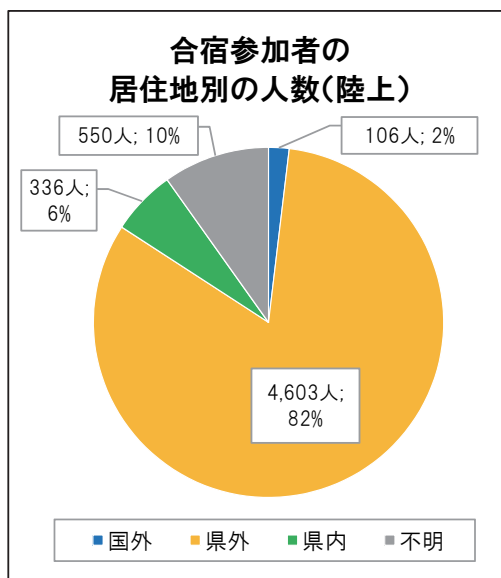
①陸上

「陸上」の合宿等の動向をみると、全参加者のうち82%が県外からの参加者であり、県内からの参加者は6%、国外からの参加者も2%みられる。

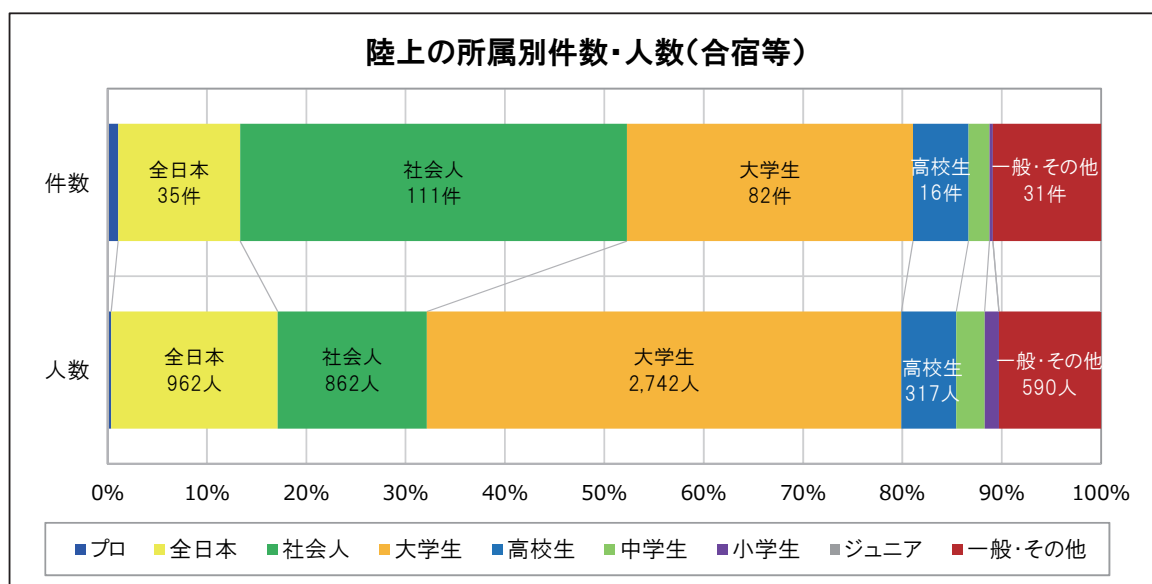
陸上における合宿等への平均参加人数は20.8人で、平均滞在日数は7.8日である。

参加者の所属別件数・人数をみると、件数では社会人が最も多く、次いで大学生、全日本と続く。この3つの所属をあわせて約8割を占めている。

人数では大学生が最も多く、陸上の合宿等で市を訪れる競技者のうちおよそ半数は大学生である。次いで社会人、全日本となっている。



平均参加人数	20.8人
平均滞在日数	7.8日



※図表はすべて2016年1月から2018年12月の総数である。

②野球

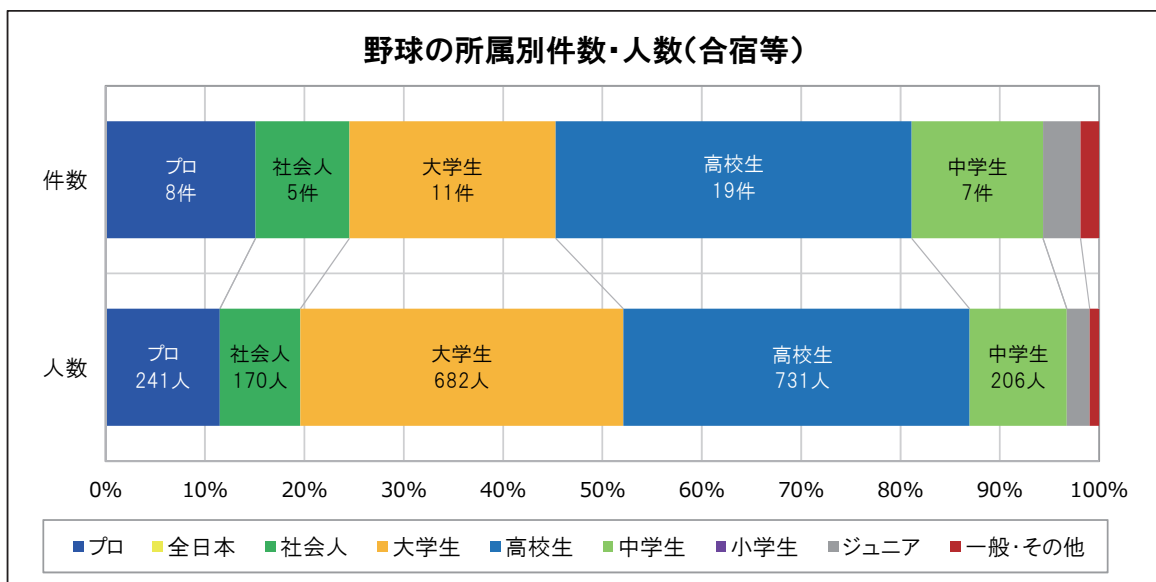
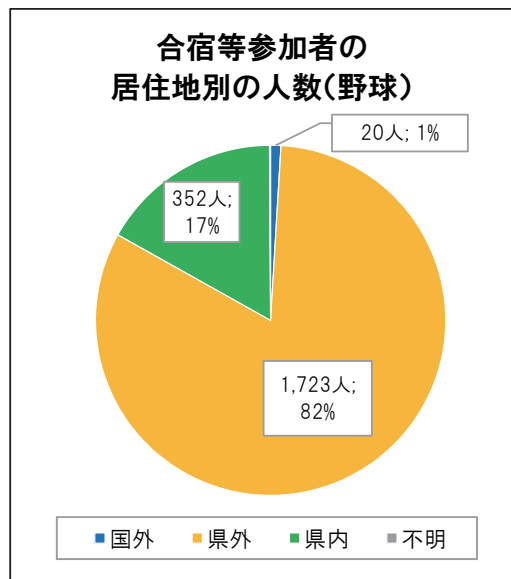
「野球」の合宿等の動向をみると、全参加者のうち82%が県外からの参加者である。県内からの参加者は17%となっている。

野球の合宿等への平均参加人数は40.8人で、平均滞在日数は7.9日であった。

参加者の所属別の件数・人数をみると、件数では高

平均参加人数	40.8人
平均滞在日数	7.9日

校生による合宿等が最も多く、全体の3割強を占めている。次いで、大学生、プロ、中学生と続く。人数についても同じ傾向がある。プロの合宿等については、春季キャンプのほか、個人トレーニングなどで沖縄市を利用していることがうかがえる。



※図表はすべて2016年1月から2018年12月の総数である。

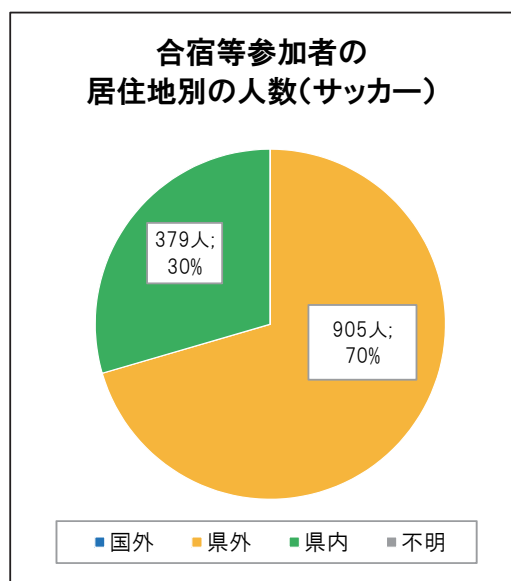
③サッカー

「サッカー」の合宿等の動向をみると、全参加者のうち70%が県外からの参加者、30%が県内からの参加者となっている。

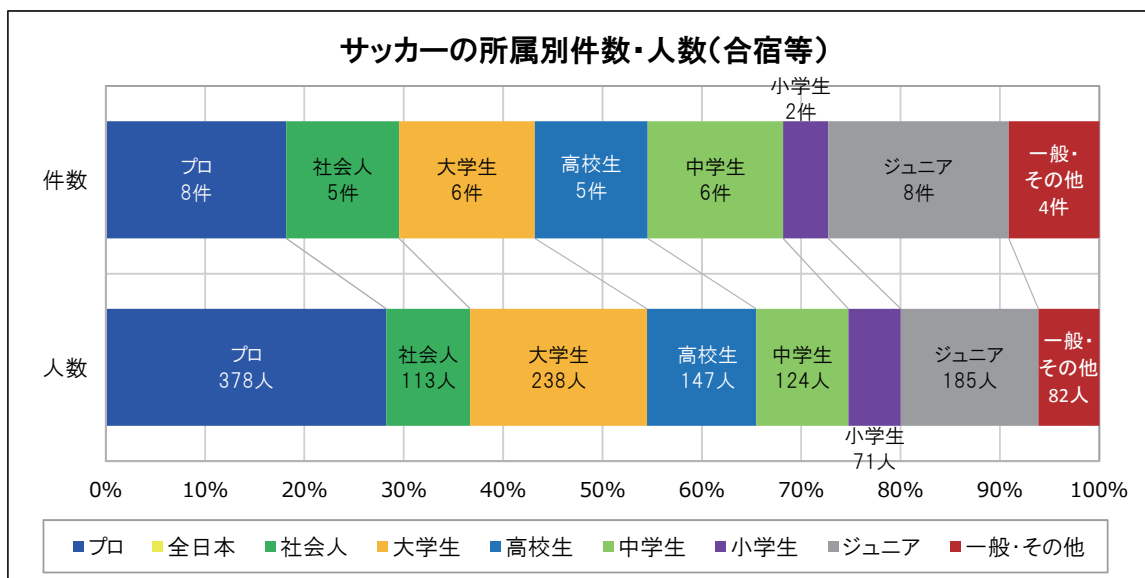
サッカーの合宿等への平均参加人数は38.3人で、平均滞在日数は5.4日である。

参加者の所属別件数・人数をみると、件数・人数ともに多様な層が訪れていることがわかる。件数ではプロとジュニアが最も多く、次いで、同数で大学生・中学生、社会人・高校生となる。人数では、プロが最も多く、次いで大学生、ジュニア、中学生となる。

陸上や野球などと比較して、小学生の合宿等がみられる。



平均参加人数	38.3人
平均滞在日数	5.4日



※図表はすべて2016年1月から2018年12月の総数である。

④空手

「空手」については、実態調査では「その他」に分類しているが、対象期間中に52件・639人の合宿等があった。なお、この数字は回答を得られた道場からの数字であり、実際にはさらに多くの合宿等が行われているものと考えられる。

ヒアリング調査からは、ネットワークを有する道場においては、定期的に県外・国外からの合宿等を受け入れている状況がうかがえた。平均滞在日数は1週間程度が中心であり、長い人で1か月滞在するようである。国外からの参加者は、滞在期間中に県内を観光する傾向があるといい、経済効果にも結びついていると考えられる。

また、沖縄市の特徴として、米軍関係者を通じて空手ネットワークが広がったため、アメリカからの受け入れが多い可能性が高い。

⑤その他のスポーツ

その他のスポーツとして、バスケットボールにおいて平均参加人数28.3人、平均滞在日数5.9日、バレーボールにおいて平均参加人数25.3人、平均滞在日数3.8日、テニスにおいて平均参加人数12.5人、平均滞在日数2.6日であった。

また、パラスポーツは、対象期間中、17件・353人の参加があり、平均参加人数22.4人、平均滞在日数7.0日であった。

	バスケットボール	バレーボール	テニス	パラスポーツ
平均参加人数	28.3人	25.3人	12.5人	22.4人
平均滞在日数	5.9日	3.8日	2.6日	7.0日

※2016年1月から2018年12月の総数である。

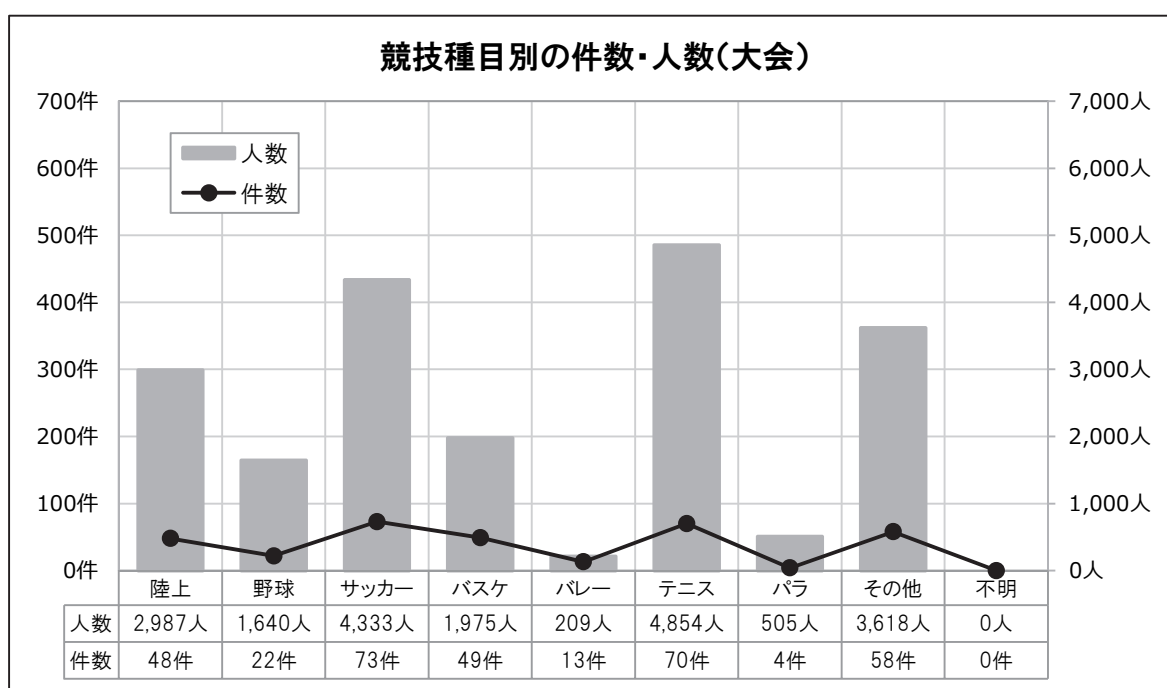
4. 沖縄市におけるスポーツ大会等の開催状況の特徴

(1) 全体の傾向

◆件数／人数

対象期間中における、市内での大会について、競技別の件数・人数は次のとおりである。テニス及びサッカーが主力となっており、次いで、陸上、バスケットボール、野球と続く。人数についても、件数と同じ傾向である。その他に含まれる競技は、空手、体操・新体操、ハンドボール、ローラダービー、卓球など多岐にわたる。平均参加人数は、73.4人であった。

2016年からの推移をみると、2018年に件数・人数ともに減少しているが、これはスポーツ施設の改修工事など施設側が受け入れできない状況にあったことや、台風の影響によるものと考えられる。また、2017年から2018年にかけて、陸上の件数・人数が増加している。



※2016年1月から2018年12月の総数である。

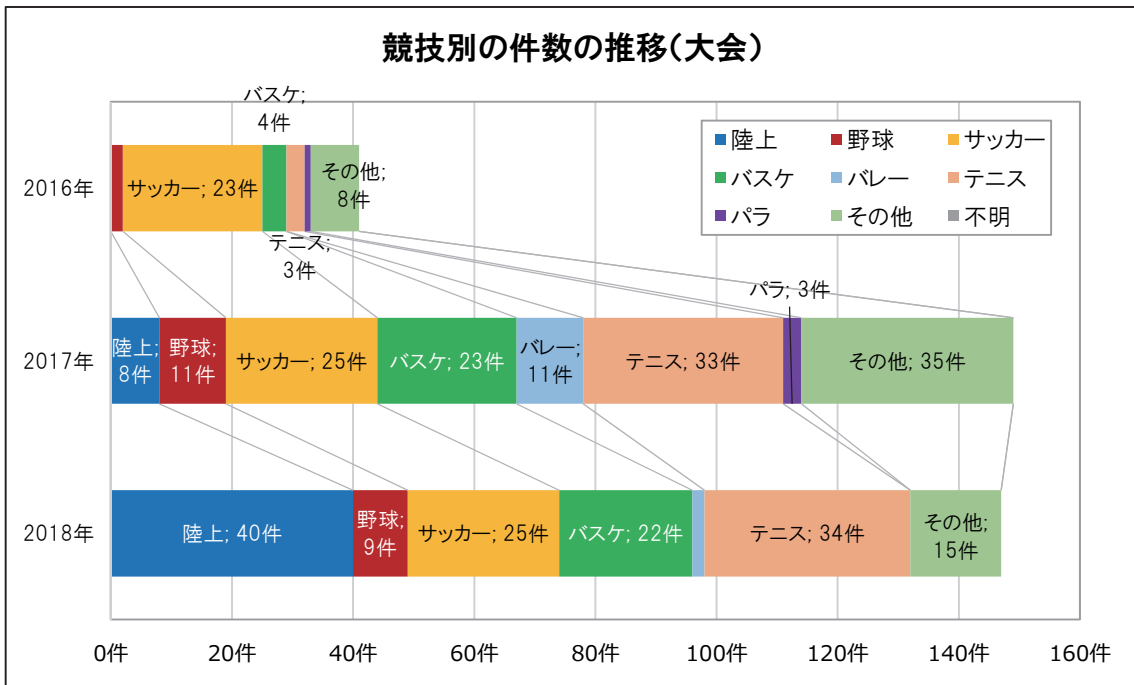
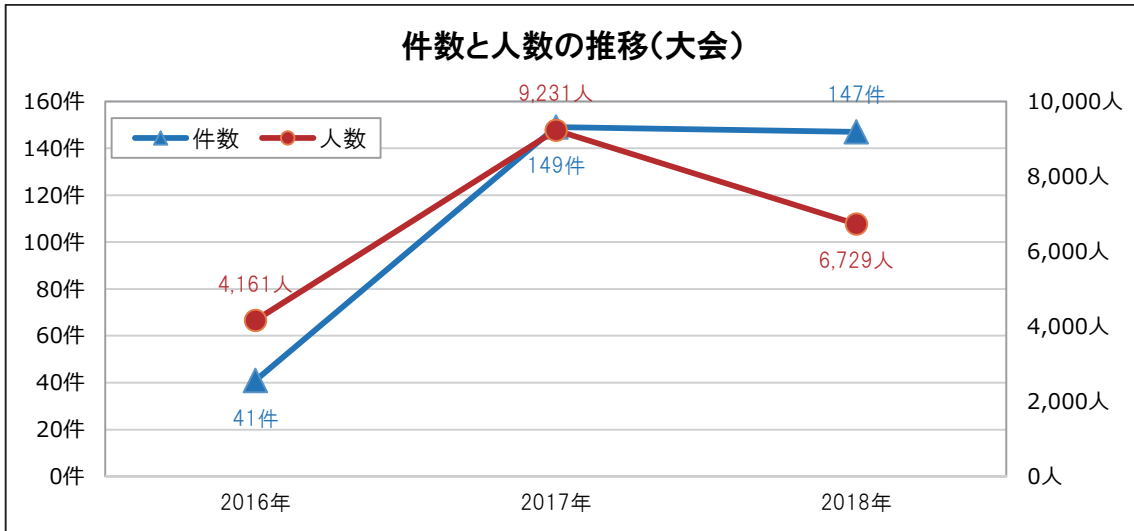
※「宿泊のみ」を含む数字である。

その他の競技種目

空手／体操・新体操／ハンドボール／ローラダービー／卓球／トランポリン／ラグビー／ヨット
 ※ラグビーとヨットは「宿泊のみ」である。

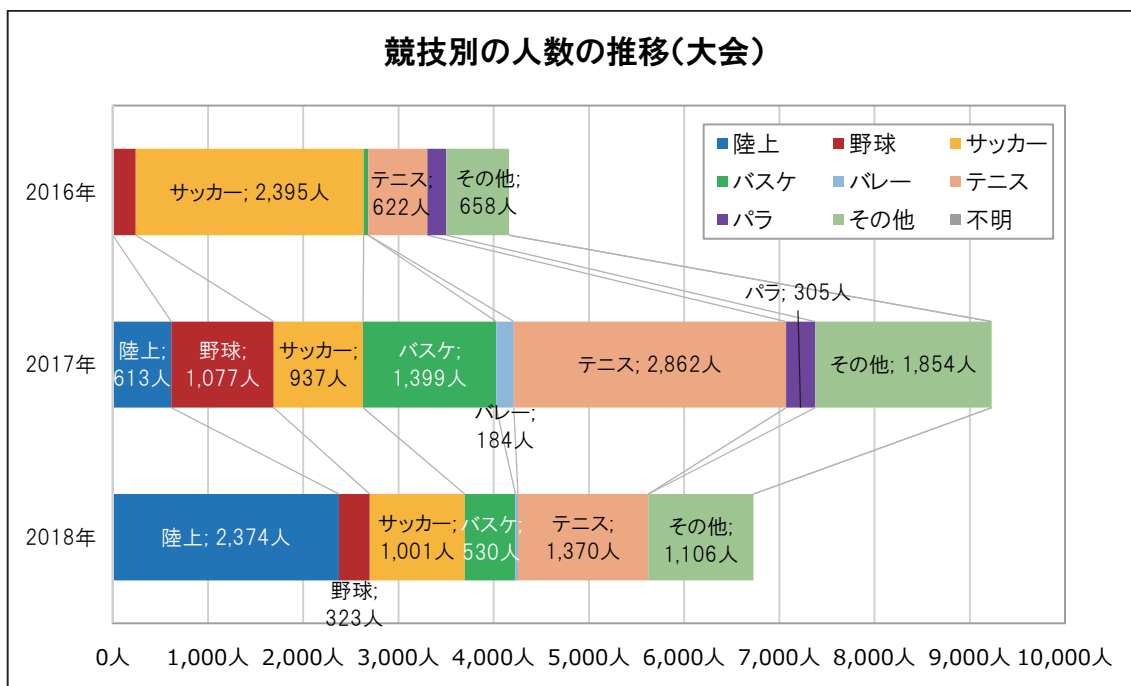
市内でのスポーツコンベンションへの平均参加人数（3年間平均）

平均参加人数（総数）	115.0人
平均参加人数（イベント除く総数）	39.1人
大会の平均参加人数	73.4人
合宿等の平均参加人数	23.4人
イベントの平均参加人数	7,866.6人



競技別の大会件数の推移

	陸上	野球	サッカー	バスケ	バレー	テニス	パラ	その他	不明	合計
2016年	0件	2件	23件	4件	0件	3件	1件	8件	0件	41件
2017年	8件	11件	25件	23件	11件	33件	3件	35件	0件	149件
2018年	40件	9件	25件	22件	2件	34件	0件	15件	0件	147件
合計	48件	22件	73件	49件	13件	70件	4件	58件	0件	337件



競技別の大会参加人数の推移

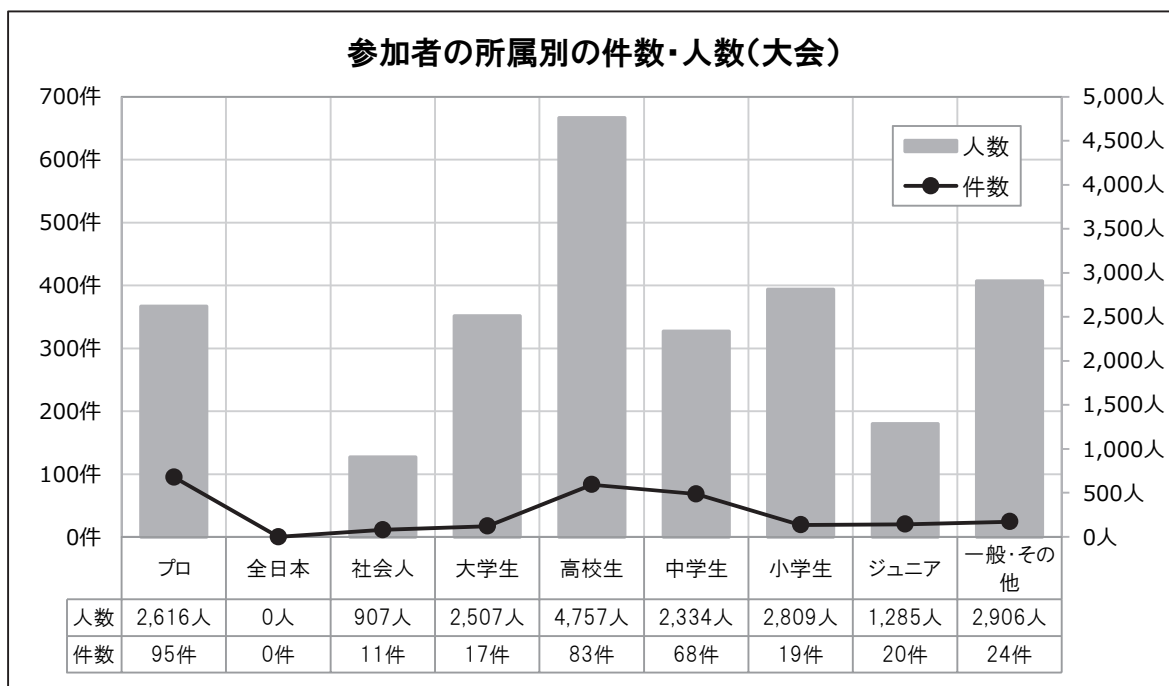
	陸上	野球	サッカー	バスケ	バレー	テニス	パラ	その他	不明	合計
2016年	0人	240人	2,395人	46人	0人	622人	200人	658人	0人	4,161人
2017年	613人	1,077人	937人	1,399人	184人	2,862人	305人	1,854人	0人	9,231人
2018年	2,374人	323人	1,001人	530人	25人	1,370人	0人	1,106人	0人	6,729人
合計	2,987人	1,640人	4,333人	1,975人	209人	4,854人	505人	3,618人	0人	20,121人

◆所属／居住地

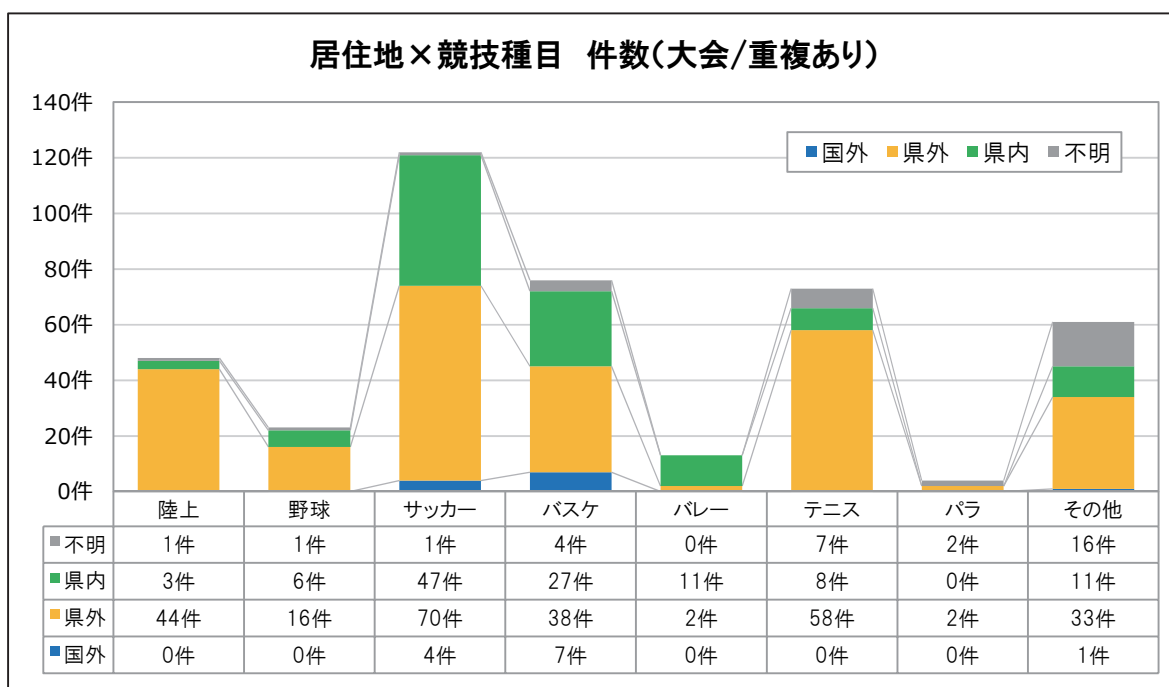
対象期間中の大会の件数・人数について、参加者の所属別にみると次のとおりである。件数・人数ともに高校生が最も多い。件数では、高校生、中学生、プロの順に多い。一方、人数では、高校生、一般・その他、小学生の順となった。一般・その他には、一般県民などが対象になっているものや、複数の年代が参加しており分類できないものが含まれる。

児童・生徒の大会が多い要因として、九州ブロック大会等の開催場所が沖縄県となっていたことなどが考えられる。また、バスケットボールやサッカーなどプロスポーツが、定期的に行われていることがうかがえる。

参加者の居住地別でみると、全体的に県外からの参加者が中心となっているが、合宿等と比較して県内利用者が多い傾向にある。また、バスケットボールやサッカーにおいて国外からの参加者がみられる。



※2016年1月から2018年12月の総数である。



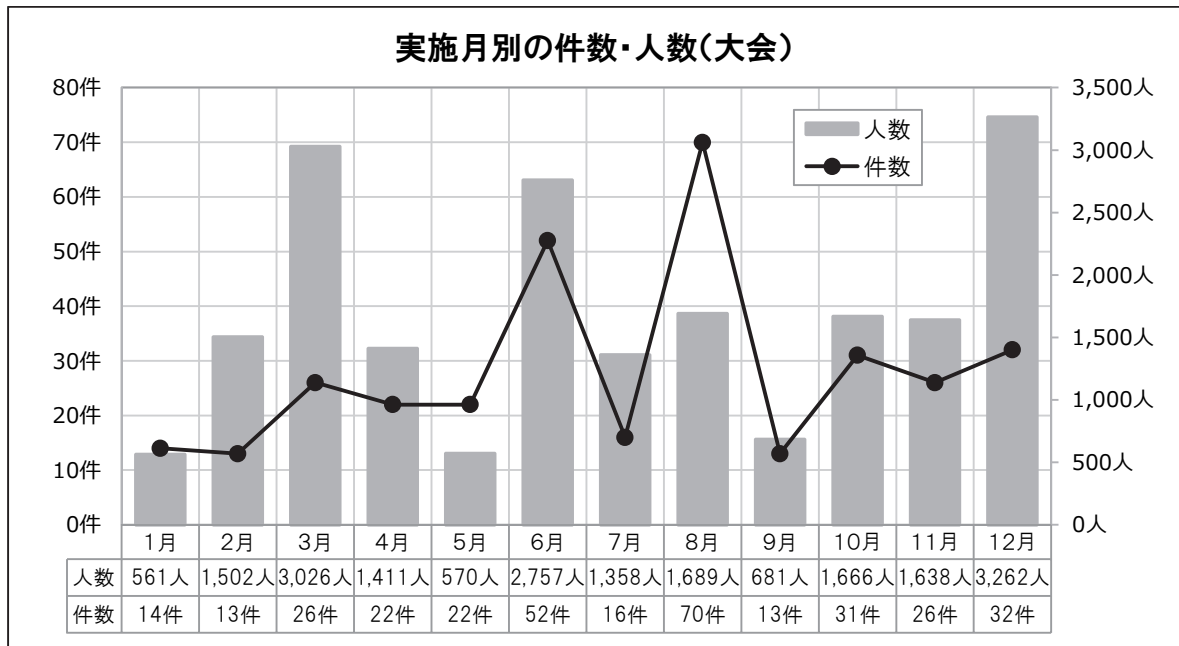
※2016年1月から2018年12月の総数である。

※ひとつの合宿等に、様々な地域からの参加者がいる場合があり、そのような場合は重複してカウントしている。

◆開催月／平均滞在日数

合宿等が1月から3月に集中しているのに対して、大会は年間を通じて開催されていることがわかる。対象期間中では、6月及び8月といった夏場の大会が多く、このふた月合わせて、件数ベースで122件(36%)、人数ベースで4,446人(22%)の大会が開催されている。

大会の平均滞在日数は、3.4日である。



※2016年1月から2018年12月の総数である。

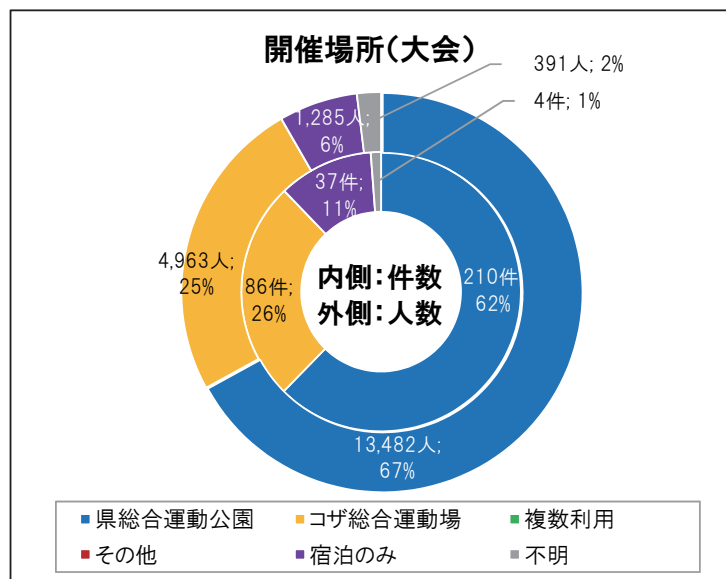
市内でのスポーツコンベンションにおける平均滞在日数（3年間平均）

平均滞在日数（総数）	6.3日
平均滞在日数（イベント除く総数）	6.3日
大会参加者の平均滞在日数	3.4日
合宿等参加者の平均滞在日数	7.9日
イベント参加者の平均滞在日数	2.7日

◆開催場所

大会においては、県総合運動公園の使用が中心となっており、件数ベースで210件、人数ベースで13,482人であり、6割を占める。コザ総合運動場の使用割合は、件数ベースで26%、人数ベースで25%と、合宿等とは正反対の結果となった。

また、大会会場は市外のスポーツ施設であったが、市内の宿泊施設に宿泊した件数が37件（11%）・1,285人（6%）となっており、宿泊地としての定着化がみられる。



※2016年1月から2018年12月の総数である。

(2) 競技別の特徴

ここでは、市内での大会において件数・人数が多かったテニス、サッカー、陸上、バスケットボールについて、特徴を整理する。

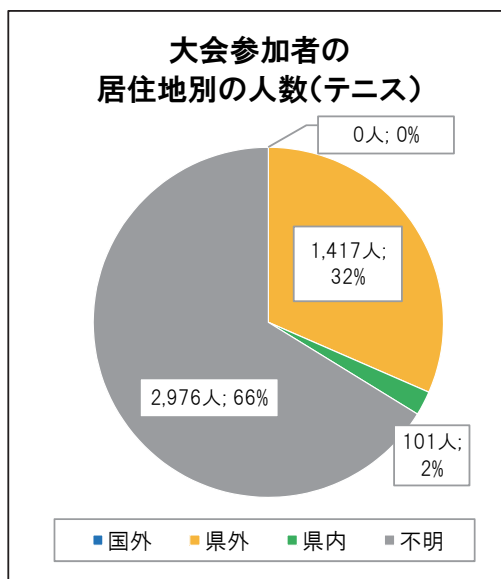
①テニス

「テニス」の大会の動向をみると、全参加者のうち32%が県外からの参加者である。県内からの参加者は2%となっている。なお、テニスについては2018年に九州大会や全国大会が開催されており、居住地が特定できなかつたため「不明」の人数が多くなっているが、このような大会参加者の多くは県外居住者と考えられるため、県外参加者の割合は、実際はもっと高いと考えられる。

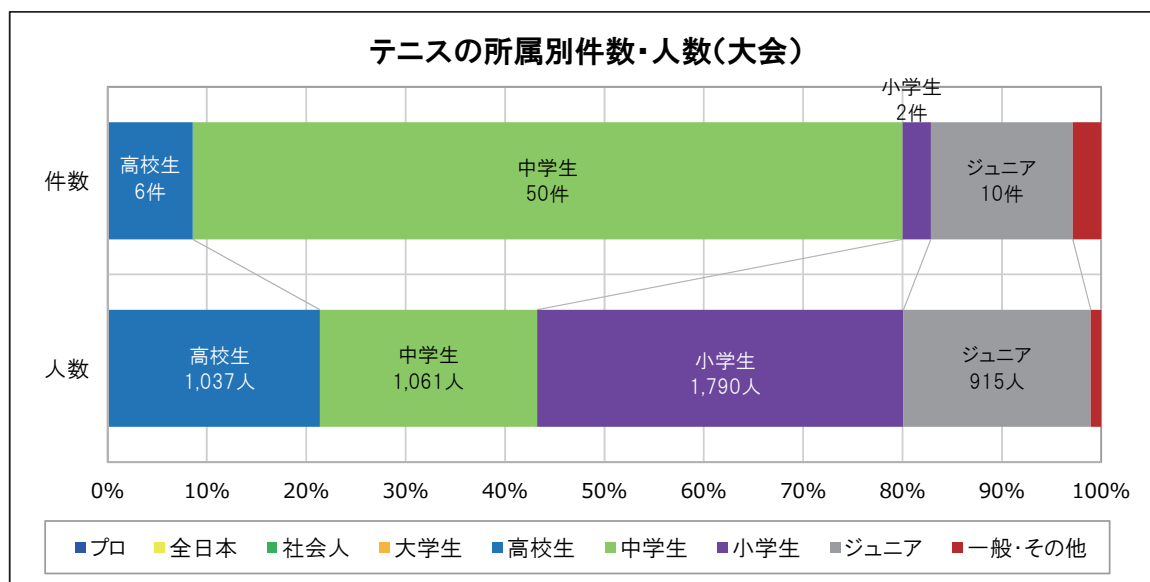
テニスの大会への平均参加人数は111.5人で、平均滞在日数は4.3日である。

参加者の所属別の件数・人数をみると、一般・その他による大会も若干ながらあるが、ほとんどが高校から小学校までの児童・生徒による大会である。件数では中学生が最も多く、次いで高校生、ジュニアと続く。人数では、小学生が最も多い。

この他、テニスでは「スポーツイベント」に分類される交流事業なども実施されている。



平均参加人数	111.5人
平均滞在日数	4.3日



※図表はすべて2016年1月から2018年12月の総数である。

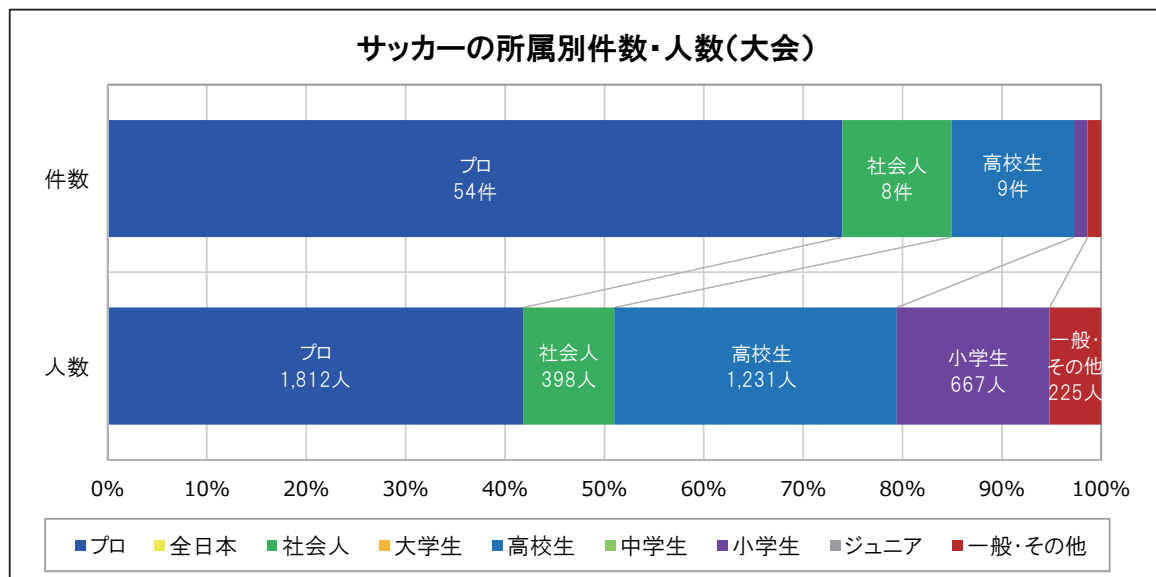
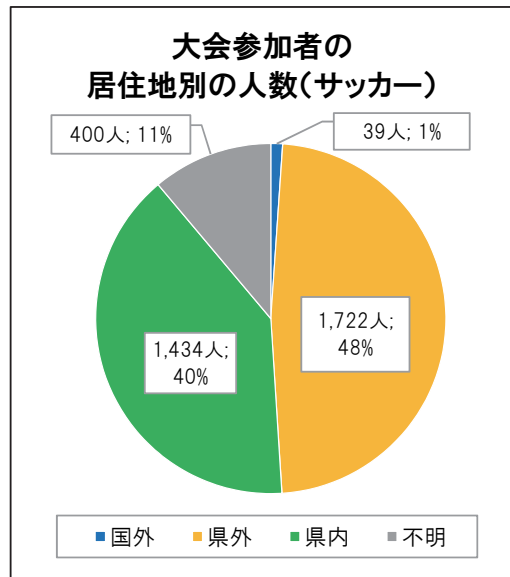
②サッカー

「サッカー」の大会の動向をみると、全参加者のうちおよそ半数が県外からの参加である。県内からの参加者の割合も高く、40%となっている。

サッカーの大会への平均参加人数は 60.6 人で、平均滞在日数は 2.1 日であった。

所属別の件数及び人数をみると、件数・人数ともにプロによる大会が最も多く、件数ベースで 54 件、人数ベースで 1,812 人となっている。件数では、プロに次いで高校生、社会人が多い。人数では、高校生、小学生と続く。

平均参加人数	60.6 人
平均滞在日数	2.1 日



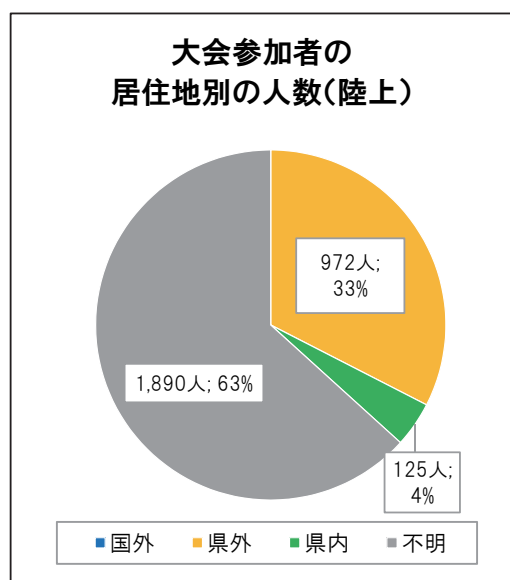
※図表はすべて 2016 年 1 月から 2018 年 12 月の総数である。

③陸上

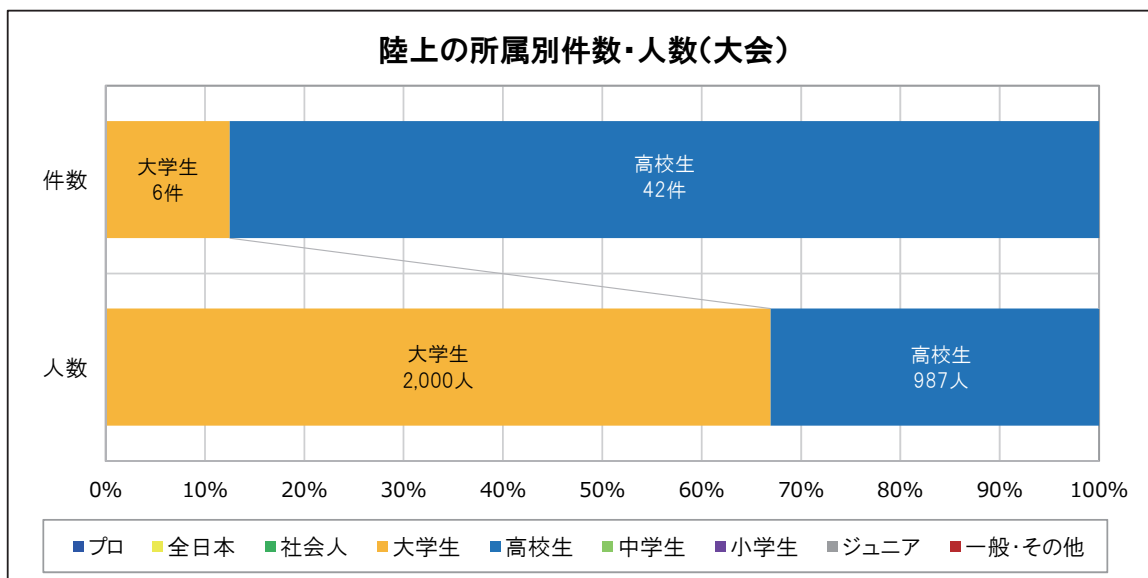
「陸上」の大会の動向をみると、全参加者のうち、県外からの参加者が 33%、県内からの参加者が 4% となっている。なお、テニスと同じく、陸上においても西日本大会や九州大会などが開催されたことから、居住地が不明な人数が多くなっている。

陸上の大会への平均参加人数は 45.3 人で、平均滞在日数は 3.7 日である。

所属別の件数・人数をみると、大学生と高校生によるものが中心となっている。件数ベースでは高校生の大会が最も多く、人数ベースでは大学生中心となっている。



平均参加人数	45.3 人
平均滞在日数	3.7 日



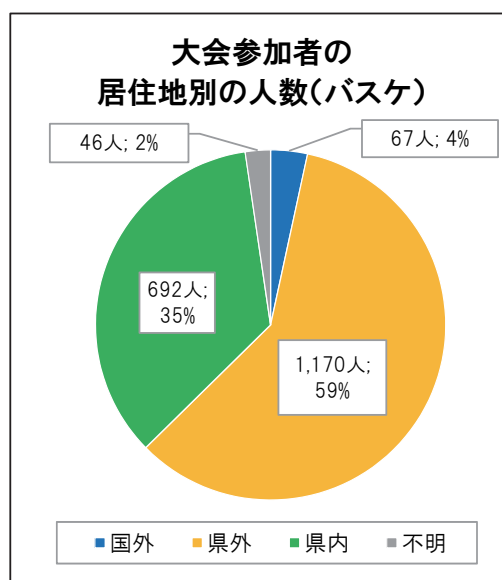
※図表はすべて2016年1月から2018年12月の総数である。

④バスケットボール

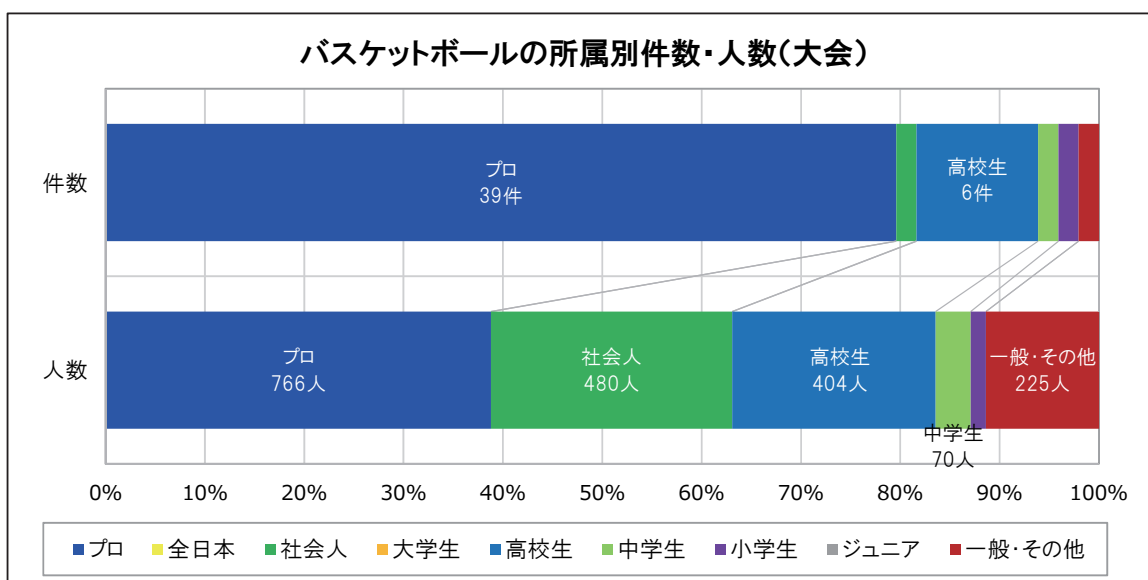
「バスケットボール」の大会の動向をみると、県外からの参加者が中心で、6割近くを占める。県内からの参加者35%で、また国外からの参加者も4%であった。

バスケットボールの大会への平均参加人数は33.4人で、平均滞在日数は2.9日である。

所属別の件数・人数をみると、件数ではプロによる大会が最も多く、次いで高校生となっている。人数では、プロが最も多く、次いで社会人、高校生、一般・その他となっている。



平均参加人数	33.4人
平均滞在日数	2.9日



⑤その他のスポーツ

その他のスポーツとして、野球において平均参加人数 124.6 人、平均滞在日数 3.5 日、バレーボールで平均参加人数 9.7 人、平均滞在日数 2.3 日という結果であった。

また、パラスポーツは対象期間中に、4 件・505 人の参加があり、平均参加人数 100.6 人、平均滞在日数 1.3 日であった。

	野球	バレー	パラスポーツ
平均参加人数	124.6 人	9.7 人	100.6 人
平均滞在日数	3.5 日	2.3 日	1.3 日

※2016 年 1 月から 2018 年 12 月の総数である。

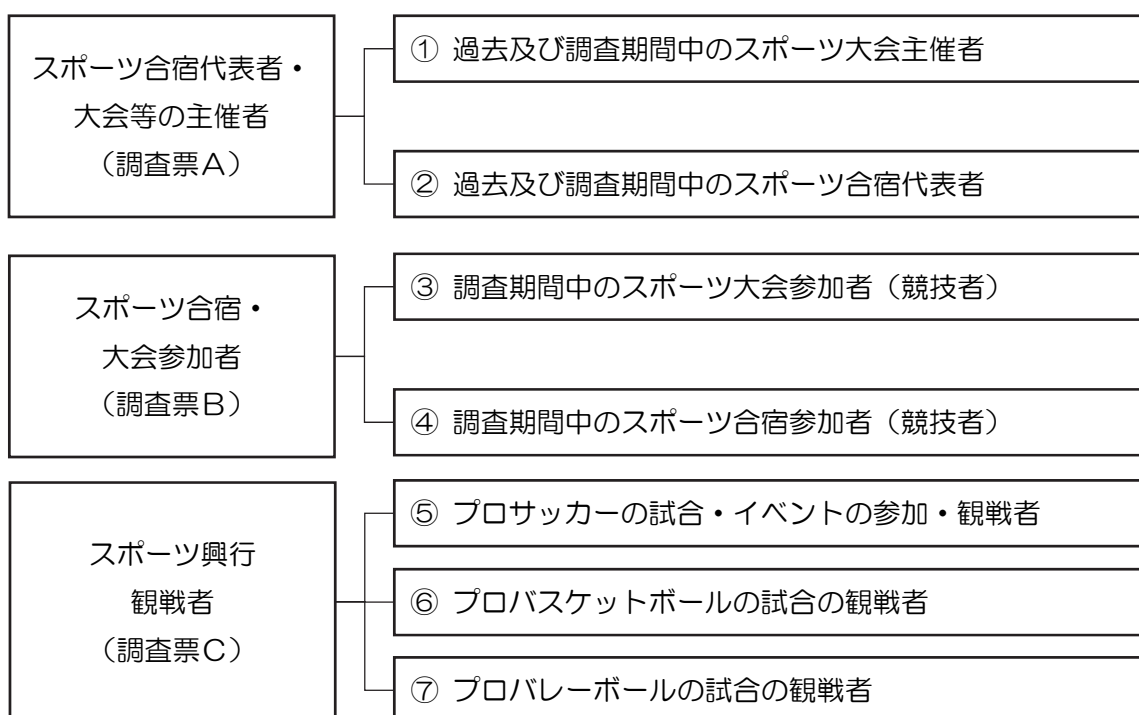
第3章 アンケート調査結果

1. アンケート調査について

(1) 調査対象の種類

本調査では、スポーツ合宿・大会等の代表者・主催者、スポーツ合宿・大会等の競技者、スポーツ興行の観戦者の3つの対象にアンケート調査を実施した。

アンケート調査の種類 () 内アルファベットは調査票の種類



(2) 調査結果の概要

① スポーツ合宿・大会参加者(合宿代表者及び大会主催者、競技者)調査

合宿地に沖縄市を選んだ理由は「毎年恒例である」が最も多い
合宿・大会等の開催地に求めることも「条件にあったスポーツ施設」や「快適な気候」

- ・スポーツ合宿で沖縄市を選んだ理由は、代表者・競技者ともに「毎年恒例である」が6割近くで、リピーター化が進んでいる
- ・合宿・大会等の開催地に求めるものは、「条件にあったスポーツ施設」で合宿代表者及び主催者は8割近く、競技者は7割近くで、合宿の場合はそれに加え、「快適な気候」が多い。
- ・合宿代表者及び大会主催者は、沖縄市での今後の合宿・大会等の利用意向は高い傾向にあり、6割前後が「次回も予定している」と回答

**大会・合宿の旅行手配は、チーム・団体に直接手配する
交通手段については、合宿の場合は、「宿による送迎」が最も多い**

- 大会・合宿を開催する場合の旅行の手配は、「個人・チーム・団体による手配」が 8 割を超える
- 交通手段は、合宿の場合は「宿による送迎」が 5 割を超える
- 市内での宿泊は、大会・合宿ともに 8 割を超え、滞在日数（宿泊数）は、大会競技者の場合は「1泊」が 7 割近く、合宿は「2～3泊」が 8 割

競技者のほとんどが沖縄市内の立ち寄りを行わず、消費もしてない状況

- 合宿・大会等で沖縄市を訪れた競技者のうち、観光や買物の立ち寄りを行わないと回答した人は 2 割前後、市外立ち寄りの人は 6 割を超える
- 市内の立ち寄りは約 2 割で、ほとんどが、スーパーマーケットやコンビニの利用。約 6 割は市外の観光施設で観光や買物をしている
- 立ち寄らない理由は、「時間がない」が 4 割を超える

4月から7月までの閑散期においては、ほとんどの団体が合宿を実施していない状況

- 閑散期において、別の地域で合宿・大会等を開催している団体は 2 割程度で、多くは陸上競技である
- この時期に必要な環境やサービスとして、「助成金などの支援」や暑さに対応できる「設備の充実」などが挙げられている
- 合宿を開催できないのは、気候が適さない、学業期間や大会シーズンと都合がつかないことが理由

②スポーツ興行の観戦者調査

**スポーツ観戦の前後の行動は、ほとんどが「自宅から直行」・「帰宅」
観戦前後に飲食や買物で市内に立ち寄った人は 3 割、消費した人は 2 割程度**

- 「仕事仲間」や「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」ファン、バスケットボールの観戦者は、他に比べて「飲食」「買物」する傾向がみられた
- スポーツ観戦の頻度が高いファンや 40～50 代の層は、比較的消費する傾向がみられた

時間がなかったり、もともと予定がないために市内に立ち寄っていない状況

- 「時間がない」「もともと予定がなかった」の 2 つの回答で 6 割を占めた
- 「友人・知人」「仕事仲間」や「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」コアなファンは、他に比べて「大会（イベント）で十分満足した」と回答した割合が高かった

**観戦者は、「20代」から「40代」の「県内（市外）」に住む「女性」が中心
「2～5人」の「家族」や「友人・知人」からなるグループ**

- 観戦の動機は、「スポーツ観戦が好き」や「友人・家族に誘われた」、「チケットをもらった」が中心
- 「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」「2～3か月に1回」のスポーツファンが約 6 割だが、バレーボールは「めったに行かない」が約 4 割であった
- 「自家用車・レンタカー」での移動が中心で、バスケットボールは「シャトルバス」の利用がみられた

2. 大会主催者及び合宿代表者アンケート結果（調査票A）

（1）調査概要

①目的

沖縄市で大会や合宿を実施した主催者及び代表者に対して郵送アンケートを実施した。主催者・代表者への調査については、大会及び合宿場所として沖縄市を選定した理由、実施にあたって困った点や改善点などを把握することを目的に実施した。

②対象者

沖縄市で開催されたスポーツ大会（県外チームが参加する大会）の主催者及びスポーツ合宿を行った県外団体の代表者を対象とした。調査対象は、過去の大会実績と今年度の施設予約情報より選出した。

対象者の種類

対象者	大会・合宿等の開催時期	調査期間
スポーツ大会主催者及び合宿代表者	2016年（平成28年度）4月～ 2018年（平成30年）11月	2018年（平成30年） 9月～12月

③実施方法

対象者に対し、依頼文書と調査票を郵送し、配布・回収する方法で調査を行った。希望する機関については、入力用データ（Excel）も用意し、メールにてデータを提供した。

④配布・回収件数

過去の大会主催者及び合宿代表者へのアンケートは、109件の配布依頼に対し、58件（53.2%）の回答を得た。

配布・回収件数

対象者	配布件数	回収件数	回収率
スポーツ大会主催者	10件	9件	90.0%
合宿代表者	99件	49件	49.5%
合計	109件	58件	53.2%

※大会主催者への調査票郵送は10件だが、配布先を通じて他の主催者から回答が得られたものも含むため、回収率が高くなっている。

(2) 調査結果のまとめ

ア. 沖縄市の選定理由や満足度

調査に協力いただいた大会主催者及び合宿代表者は、沖縄市での大会・合宿の開催を何度も経験している団体だった。沖縄市を開催地に選定した理由は、「気候などの環境が適しているから」や「スポーツ施設的环境がよい」などが大会・合宿の合計で6割を超えている。また、合宿については「毎年恒例である」が6割近くの回答になっており、沖縄市が大会・合宿の開催地として定着しつつあることがうかがえる。

満足度は、交通アクセスや周辺環境（飲食・娯楽・観光・医療施設等）が、スポーツ施設や宿泊施設などの項目に比べて低い傾向にあった。

また、沖縄市での開催で困ったことや改善すべき点については、スポーツ施設への設備環境への要望の他、施設の混雑、周辺地域の治安についての意見が確認できた。

イ. 大会・合宿地へのニーズ

大会・合宿地に求めるニーズとしては、「条件にあったスポーツ施設」が大会主催者で10割、合宿代表者で7割を超える回答となった。その他、合宿の場合「快適な気候」が8割近く、「条件にあった宿泊施設」で6割近くのニーズがみられた。

一方、閑散期（4月から7月）の合宿開催は厳しいことが確認できた。

大会・合宿の開催支援については、大会主催者は「スポーツ施設利用料の減免」が7割弱、合宿代表者は「宿泊・送迎バスの費用の助成」が5割であり、それぞれにとって、開催に関する資金面の支援・助成、送迎などに関する支援が求められていることが確認できる。

ウ. まとめ

大会主催者及び大会代表者にとっては、沖縄市での今後の大会・合宿の開催意向は高い意向にある。一方で、今後もピーク期の利用ニーズは避けられないことから、利用者が不利益にならないような対応策を講ずることが課題となる。

また、満足度の低い傾向にある交通アクセスについては、送迎を中心とする支援を強化することで、関係者の利便性の向上、安心・安全の提供といったケアが行えるものと考えられる。

(3) 調査結果

①利用回数及び開催動向

◆大会・合宿の実施回数

沖縄市での大会・合宿の実施回数を確認すると、2回以上利用した団体がほとんどである。大会の場合は「10回以上」の回答が最も多く55.6%、合宿の場合は「10回以上」が33.3%、「6回～9回目」が18.8%となっている。

沖縄市を開催地に選定した理由については、大会の場合は「スポーツ施設的环境がよい」が最も多く55.6%、次いで「毎年恒例である」と「気候などの環境が適しているから」が44.4%となっている。一方、合宿の場合は、「気候などの環境が適しているから」が最も多く65.3%、次いで「スポーツ施設的环境がよい」が61.2%、「毎年恒例である」が59.2%となっている。

沖縄市での大会・合宿の実施回数

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
初めて	1件	8件	9件	11.1%	16.7%	15.8%
2～5回目	3件	15件	18件	33.3%	31.3%	31.6%
6～9回目	0件	9件	9件	0.0%	18.8%	15.8%
10回以上	5件	16件	21件	55.6%	33.3%	36.8%
無回答	0件	1件	1件	-	-	-
合計（無回答除く）	9件	48件	57件	100.0%	100.0%	100.0%

沖縄市を開催地に選定した理由（複数回答）

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
毎年恒例（または持ち回りの会場）である	4件	29件	33件	44.4%	59.2%	56.9%
（競技関係者、関係機関等から）紹介された	3件	11件	14件	33.3%	22.4%	24.1%
スポーツ施設的环境がよい	5件	30件	35件	55.6%	61.2%	60.3%
陸上競技場がJOCの「陸上競技強化センター」に選ばれているから	0件	4件	4件	0.0%	8.2%	6.9%
スポーツ施設と宿泊施設の距離がちょうど良かった	3件	25件	28件	33.3%	51.0%	48.3%
宿泊施設の規模や質がよい	2件	20件	22件	22.2%	40.8%	37.9%
沖縄市が誘致しているから	0件	7件	7件	0.0%	14.3%	12.1%
助成・支援制度などがあるから	1件	-	1件	11.1%	-	1.7%
気候などの環境が適しているから	4件	32件	36件	44.4%	65.3%	62.1%
オフの休養娯楽の環境が充実しているから	1件	4件	5件	11.1%	8.2%	8.6%
交流（試合）したい相手があった	-	4件	4件	-	8.2%	6.9%
その他	2件	2件	4件	22.2%	4.1%	6.9%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	25件	168件	193件	-	-	-

※大会・合宿の設問内容が異なるため、質問に含まれない回答数は「-」と表示。割合欄の合計の数値は参考値。

◆使用した施設

施設については、大会の場合は、「（県総合運動公園）体育館」の利用者が33.3%と多く、次いで「（コザ運動公園）陸上競技場」と「（県総合運動公園）陸上競技場」が22.2%である。

合宿の場合は、「（コザ運動公園）陸上競技場」が61.2%で最も多く、次いで同施設の「（コザ運動公園）トレーニングルーム」で46.9%である。合宿については、コザ運動公園の利用者が多い傾向にある。

使用した施設

項目	回答数			割合			
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計	
コザ運動公園	陸上競技場	2件	30件	32件	22.2%	61.2%	55.2%
	トレーニングルーム	0件	23件	23件	0.0%	46.9%	39.7%
	コザしんきんスタジアム	1件	4件	5件	11.1%	8.2%	8.6%
	体育館	1件	3件	4件	11.1%	6.1%	6.9%
	多目的運動場	0件	2件	2件	0.0%	4.1%	3.4%
	サブトラック兼ソフトボール場	0件	1件	1件	0.0%	2.0%	1.7%
	庭球場	1件	0件	1件	11.1%	0.0%	1.7%
	武道館	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
県総合運動公園	陸上競技場	2件	18件	20件	22.2%	36.7%	34.5%
	補助競技場	1件	9件	10件	11.1%	18.4%	17.2%
	体育館	3件	1件	4件	33.3%	2.0%	6.9%
	水泳プール	0件	2件	2件	0.0%	4.1%	3.4%
	蹴球場	1件	0件	1件	11.1%	0.0%	1.7%
	庭球場	1件	0件	1件	11.1%	0.0%	1.7%
	レクリエーションドーム	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	3件	9件	12件	33.3%	18.4%	20.7%
無回答	0件	1件	1件	-	-	-	
合計（無回答除く）	16件	102件	118件	-	-	-	

◆宿泊動向（合宿のみ）

宿泊については、75.5%が沖縄市内の宿泊施設を利用している。

宿泊動向（合宿のみ）

項目	回答数	割合
日帰り	0件	0.0%
市内に宿泊	37件	75.5%
市外に宿泊	12件	24.5%
無回答	0件	-
合計（無回答除く）	49件	100.0%

◆予約窓口（合宿のみ）

合宿利用にあたっての予約窓口については、「窓口への問い合わせは行なわなかった（すべて直接手配した）」が20.7%と多かった。その他「競技団体などの県内機関」が13.8%、「旅行会社で手配」が12.1%となった。回答した合宿代表者による沖縄市のリピート利用が進んだ結果とみられる。

予約窓口（合宿のみ）

項目	回答数	割合
スポーツコミッション沖縄（沖縄県体育協会）	0件	0.0%
沖縄市の体育協会	0件	0.0%
沖縄市の観光協会	1件	1.7%
旅行会社で手配	7件	12.1%
競技団体の県内機関	8件	13.8%
問い合わせなどは行なわなかった（直接手配した）	12件	20.7%
覚えていない・知らない	1件	1.7%
その他	14件	24.1%
無回答	8件	-
合計（無回答除く）	6件	-

◆交通手段

交通手段については、大会の場合は「レンタカー（マイクロバス含む）」が66.7%と最も多く、合宿の場合は「宿による送迎」が61.2%と最も多く、次いで「レンタカー（マイクロバス含む）」が38.8%となった。「宿による送迎」は合宿利用者にとっては、最も有効な交通手段であると想定される。

交通手段

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
旅行会社による送迎	0件	1件	1件	0.0%	2.0%	1.7%
宿による送迎	1件	30件	31件	11.1%	61.2%	53.4%
路線バス	0件	1件	1件	0.0%	2.0%	1.7%
貸切バス（運転手を含めての手配）	3件	7件	10件	33.3%	14.3%	17.2%
レンタカー（マイクロバス含む）	6件	19件	25件	66.7%	38.8%	43.1%
タクシー	0件	2件	2件	0.0%	4.1%	3.4%
わからない・特に案内していない	3件	-	-	33.3%	-	-
その他	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0件	1件	1件	-	-	-
合計（無回答除く）	13件	60件	70件	-	-	-

②実施にあたっての満足度、困ったこと

◆スポーツ施設

スポーツ施設については、大会・合宿合わせて「とてもよい」が51.7%、「よい」が31.0%であり、8割以上が高い満足度を示している。

スポーツ施設についての満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	4件	26件	30件	44.4%	53.1%	51.7%
よい	2件	16件	18件	22.2%	32.7%	31.0%
ふつう	2件	5件	7件	22.2%	10.2%	12.1%
よくない	1件	1件	2件	11.1%	2.0%	3.4%
とてもよくない	0件	1件	1件	0.0%	2.0%	1.7%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	9件	49件	58件	100.0%	100.0%	100.0%

◆交通アクセス

交通アクセスについては、大会・合宿合わせて5割程度である。特に大会については、「とてもよくない」を選択した団体も1件確認できる。

交通アクセスについての満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	1件	5件	6件	11.1%	10.2%	10.3%
よい	1件	22件	23件	11.1%	44.9%	39.7%
ふつう	6件	18件	24件	66.7%	36.7%	41.4%
よくない	0件	4件	4件	0.0%	8.2%	6.9%
とてもよくない	1件	0件	1件	11.1%	0.0%	1.7%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	9件	49件	58件	100.0%	100.0%	100.0%

◆食事内容

食事内容（メニューの豊富さ、バランス）については、大会と合宿とで傾向が異なる。大会の場合は「よい」が37.5%、「ふつう」が62.5%に対し、合宿の場合は「とてもよい」が43.8%、「よい」が35.4%となっている。合宿においては宿泊施設での食事メニューを評価していると想定される。

食事内容（メニューの豊富さ、バランス）についての満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	0件	21件	21件	0.0%	43.8%	37.5%
よい	3件	17件	20件	37.5%	35.4%	35.7%
ふつう	5件	8件	13件	62.5%	16.7%	23.2%
よくない	0件	1件	1件	0.0%	2.1%	1.8%
とてもよくない	0件	1件	1件	0.0%	2.1%	1.8%
無回答	1件	1件	2件	-	-	-
合計（無回答除く）	8件	48件	56件	100.0%	100.0%	100.0%

◆宿泊施設

宿泊施設については、大会・合宿ともに「とてもよい」「よい」の割合が高く、回答数の合計をみると、「とてもよい」が35.7%、「よい」が42.9%であり、合わせて8割近くが高い満足度を示している。

宿泊施設についての満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	2件	18件	20件	25.0%	37.5%	35.7%
よい	3件	21件	24件	37.5%	43.8%	42.9%
ふつう	2件	6件	8件	25.0%	12.5%	14.3%
よくない	1件	1件	2件	12.5%	2.1%	3.6%
とてもよくない	0件	2件	2件	0.0%	4.2%	3.6%
無回答	1件	1件	2件	-	-	-
合計（無回答除く）	8件	48件	56件	100.0%	100.0%	100.0%

◆周辺環境

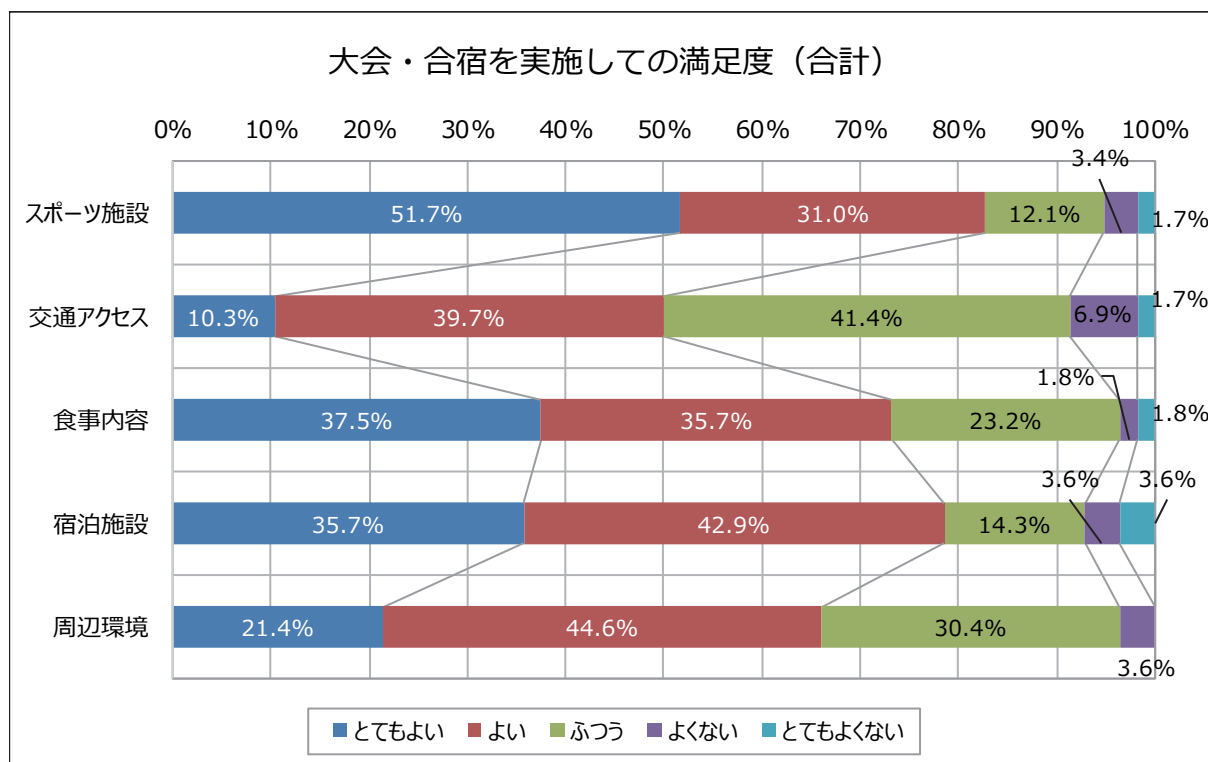
周辺環境（飲食・娯楽・観光・医療施設等）については、合宿の場合は「とてもよい」「よい」を合わせて6割を超えているが、大会の場合は「とてもよい」の回答がない状況である。

周辺環境（飲食・娯楽・観光・医療施設等）についての満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	0件	12件	12件	0.0%	25.0%	21.4%
よい	4件	21件	25件	50.0%	43.8%	44.6%
ふつう	3件	14件	17件	37.5%	29.2%	30.4%
よくない	1件	1件	2件	12.5%	2.1%	3.6%
とてもよくない	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1件	1件	2件	-	-	-
合計（無回答除く）	8件	48件	56件	100.0%	100.0%	100.0%

◆まとめ

スポーツ施設や宿泊施設の満足度は高い傾向だが、一方で交通アクセスや周辺環境（飲食・娯楽・観光・医療施設等）については、満足度がそれほど高くはないことがわかる。



③大会・合宿を行って良かったこと・改善点（自由意見）

◆良かったこと

大会・合宿を行って良かった点については、気候やスポーツ施設の環境に対する回答が最も多く、①で確認した沖縄市を選定した理由と共通する。その他、宿泊施設の食事やサービ

ス環境、関係者の受入対応についての意見も確認できる。また、余暇を利用した観光などを良かった点として挙げている団体もみられる。

沖縄市で大会・合宿を行って良かったこと

競技名	所属	使用施設	良かったこと	分類
ソフトボール	大学生	コザ	天候が暖かく練習がたくさん出来る。	気候
陸上	大学生	県	シーズン中のような気候の中で練習できたこと。	気候
陸上	一般・その他	コザ/県	暖かい。	気候
陸上	一般・その他	コザ	冬に実施していますがやはり暖かい、ここが一番	気候
陸上	社会人	コザ/県	12月～2月で使用させていただいています。ここでしか出来ないと思うほどにあたたかく感じています。	気候
陸上	社会人	コザ/県	冬に実施し、暖かい。	気候
陸上	大学生	コザ/県	名古屋に比べるとあたたかい。	気候
陸上	大学生	コザ/県	気候	気候
陸上	大学生	コザ/県	気候	気候
陸上	大学生	コザ/県	2月・3月の気温が関東に比べ高く、スピードを上げた練習ができた。	気候
野球	社会人	コザ/県	天候：寒い時期に暖かい所で合宿させて頂けるのは大変有難い。人柄：地域の方々や市役所、ホテル、運動場の職員の人が優しくとても過ごしやすい。	気候/ 受入対応
陸上	社会人	コザ/県	人が温かい。/気候も本土に比べ同時期とてもあたたかい。	気候/ 受入対応
陸上	大学生	コザ	気候、人、食事などすべて良かった。/施設もすぐ使え(陸上競技場・トレーニングルーム)たいへん助かった。	気候/ 受入対応/ 施設環境
陸上	一般・その他	コザ	1月に合宿を実施しています。宮城に比べて温暖なこと。また、他県も同様に合宿しており刺激があること。	気候/交流 相手の存在
陸上	大学生	コザ/県	2月に行ったが暖かい環境でできる。/ロードコースを安全に練習で使える。	気候/ 施設環境
陸上	一般・その他	コザ	まずもって、新年のスタートを切る上で温暖な気候に恵まれ、怪我の心配の要らない環境でトレーニングができ、コーチ・選手共にストレスなく練習をすることが素晴らしい。ここ数年、こちらで合宿をさせて頂いているが例年同じことを感じている。また、練習に使用する道具も多く、他団体と共有しなくても活用できる品揃えになっているので、これもストレスなく練習できるところである。	気候/ 施設環境
陸上	社会人	コザ	気候の良さ(主に気温)/競技場の設備(不自由なことが無い)	気候/ 施設環境
陸上	社会人	コザ/県	気候の良さ、市営競技場の設備が充実している。	気候/ 施設環境
陸上	大学生	コザ/県	春先の合宿で使用させていただき、気温が高くシーズンに向けての身体の調整にちょうどいい。/宿泊施設の近辺にコンビニやスーパーがありとても便利だった。	気候/ 施設環境

競技名	所属	使用施設	良かったこと	分類
陸上	社会人	コザ	温暖な気候でトレーニング積み、ホテル、競技場の方々が親切である。	気候/ 受入対応
陸上	大学生	県	気候もよく、食事困らない点	気候/食事
陸上	大学生	コザ	風は強かったですが暖かかったです。/食べ物がおいしかったです。	気候/食事
陸上	大学生	コザ/県	気候/食事	気候/食事
陸上	大学生	市外	気候	気候
陸上	社会人	県	総合運動公園のロードコースは走りやすかった。	施設環境
陸上	大学生	県	陸上競技場を使用させていただいて、整備されている点が良いと感じた。	施設環境
陸上	一般・その他	コザ	施設が使いやすい。	施設環境
陸上	高校生	コザ	陸上競技内で投てきの練習ができるのがすごありがたい。	施設環境
陸上	社会人	コザ/県	トレーニングを行うための施設、食事を含めたホテルと、合宿を行うために必要なものが揃っている。	施設環境/ 食事
サッカー	一般・その他	コザ/県	台風の影響が無い、毎年4月に九州リーグを開幕させて頂いています。沖縄市のグラウンド(芝)の状態もよく施設も整っており大変充実した開幕でした。	施設環境
陸上	一般・その他	コザ/県	練習環境(様々な種目のトレーニングができる)/気候/ホテルオリンピックでの食事/不自由する事がなかった。	施設環境/ 気候/食事
サッカー	高校生	県	施設(県総合運動公園陸上競技場)や宿泊施設(グランメールリゾート)などの環境が整っている/沖縄市からの助成金(30万)があり、大会運営に資金面でも助かっている。	施設環境/ 助成
サッカー	小学生	コザ/県	九州大会を開催した際に、①宿泊施設を集中して確保できたこと、②移動について相談に乗ってもらえたこと(マイクロバスなどの手配)、③開催場所と宿泊施設が比較的近いところでとれること、④空港からのアクセスが良いところ	宿泊環境
テニス	ジュニア	コザ/県	宿舎から近く交通アクセスが良い(便利)。	宿泊環境
陸上	高校生	県/市外	ホテルの食事	食事
陸上	社会人	コザ	ホテル、競技場ともに親切に対応してくれました。移動はホテルで車を借りることができ、とても助かりました。食事バランスよくおいしかったです。競技場のトレーニングルームの設備がとても充実しており驚きました。また利用させていただきたいです。	施設環境/ 受入対応/ 食事
野球	高校生	-	どこに行くにも短時間で移動できる。	アクセス環境
バスケット	社会人	県	普段の九州大会より観客が多かった/気候がいい暖かい。	観客/気候
野球	高校生	市外	毎年合宿しながら平和祈念公園に行き、戦争の歴史を学び、良い経験をさせていただいている。	観光
野球	高校生	コザ	合宿を行うことが目的ではあるが、それ以外に観光や買い物することも楽しみにしている。数年前にできたイオンモールも非常に喜んでいる。食事良い。	観光

競技名	所属	使用施設	良かったこと	分類
野球	ジュニア	コザ/市外	試合後ビーチを観光するチームもあり、大会に参加した仲間と共に、沖縄の自然や文化料理に触れることができ、参加選手にとって大変意義のある大会となりました。	観光
サッカー	大学生	市外	人が温かく、自然がきれい。	受入対応
ソフトボール	大学生	コザ	宿泊したホテルは配慮が行き届き、たいへん良かった。	受入対応
野球	大学生	コザ	球場職員の方々が大変親切であった。	受入対応
ラグビー	高校生	市内他	沖縄の人々がとても親切であったこと	受入対応
陸上	一般・その他	コザ/県	練習スケジュールに応じて閉館日なのに使用させていただきありがとうございました。	受入対応

※使用施設はコザ運動公園：「コザ」、県総合運動公園：「県」、市内のその他施設：「市内他」、市外施設：「市外」

◆困ったことや改善点

大会・合宿を行って困ったことや改善点については、施設環境（備品や設備、規模）に対する要望の他、施設の混雑、周辺地域の治安に対する意見が確認できる。特に施設の混雑については、ピーク期（1月から3月）の利用者が多く、スポーツ施設や宿泊施設の予約が厳しいこと、他団体との共用利用により練習内容の変更を余儀なくされた点などが指摘されている。

沖縄市で大会・合宿を行って困ったことや改善点

競技名	所属	使用施設	困ったことや改善点	分類
ソフトボール	大学生	コザ	雨天時に体育館を利用したが備品が少なく、照明なども別料金など今一つであった。	施設環境
陸上	一般・その他	コザ	欲を言えば、さらに数を揃えて頂けると多くの団体が集まった際にストレスなくトレーニングにのぞめると思う。	施設環境
陸上	社会人	コザ	トレーニングルームの規模が小さい(人数的に使えない器具、場所が多い)。	施設環境
陸上	社会人	コザ/県	長距離合宿が行いにくい(ロード走を出来る場所が少ない)。	施設環境
陸上	社会人	コザ	雨天の場合利用できる屋根付走路があると助かる。(100m程度の距離)	施設環境
陸上	社会人	コザ/県	チームでの合宿の場合は特に問題ないが、実業団(特に投てき)で合宿の場合、利用制限があり困っています。	施設環境
陸上	大学生	コザ/県	入浴施設がもう少しあれば良いと思う。	施設環境
サッカー	小学生	コザ/県	沖縄市陸上競技場で他の行事とかち合ってしまう、駐車場が確保できないことがあった。	施設環境
テニス	ジュニア	コザ/市外	室内コートの必要性を感じた(雨天の場合)。	施設環境
陸上	社会人	県	年末年始にグラウンドが使えなかったのは残念でした。/それ以上に宿泊したホテルの対応が忙しいときなのでずさんでした。	混雑

競技名	所属	使用施設	困ったことや改善点	分類
陸上	中学生	コザ/県	プロ野球のキャンプがあり、陸上競技場が十分に使用できない。そのため2月・3月の合宿が組み込めません。少し解放いただけたらありがたいです。	混雑
陸上	大学生	コザ/県	競技場の確保が難しかった。	混雑
野球	社会人	コザ	スケジュールを確定させるのに時間がかかる。(他団体の絡み)/ここ数年、合宿期間中に別のイベントが入り、球場が使えないことが続いている。	混雑
陸上	社会人	コザ/県	野球団体などによる占領利用に伴い、トレーニング内容を変更しなければならなかった。	混雑
陸上	社会人	コザ/県	口コミが広がるので致し方ないですが、特に2月は混雑しており、練習効率が上がらない日もあります。	混雑
陸上	社会人	コザ/県	以前は使えない日があって困ったこともあったが、現在は合宿を優先して使わせていただいているので、助かっています。時期によってとても混み合う時期があるので、希望の練習メニューが行いにくい時がある。	混雑
陸上	大学生	コザ/県	プロ野球の陸上競技場の占有利用は良くない。リハビリで使う程度ならやめてもらいたい。	混雑
陸上	大学生	コザ/県	日曜など朝練時のコザしんきんスタジアム周辺の治安が気になる。	治安
陸上	大学生	コザ	場所によっては治安が悪かったです。	治安
陸上	社会人	コザ	ホテルから一番近いコンビニまでの距離が少し遠いですが、ホテルで自転車を借りることができたのでよかったです。/ホテル周辺は夜になると少し治安が悪くなるようで不安です。	治安
陸上	一般・その他	コザ	周辺環境がやはりさびしい。	治安
サッカー	一般・その他	コザ/県	チームの宿泊施設が無く(少なく)那覇などに宿泊していたチームもあった様です。	宿泊施設
サッカー	小学生	県	宿泊場所が少なくなかなかとれない/県総体育館が雨漏りする。	宿泊施設/ 施設環境
陸上	大学生	市外	市内のホテルが高い/あまり貸切で競技場が使えない(市内だと)。	宿泊施設/ 混雑
陸上	大学生	県	合宿用の宿泊施設が整っていなかった。/競技場まで遠かった。	宿泊施設/ 交通
ラグビー	高校生	市内他	空港からのアクセス	交通
バスケットボール	社会人	県	会場の県総合運動公園体育館に行くのに車、タクシー、レンタカーでないといけない。	交通
陸上	大学生	県	交通機関があまりよくないと感じた。/台風が来たときの対応に困った。	交通/気候
陸上	大学生	コザ/県	やや雨が多いと感じました。	気候
陸上	大学生	コザ	困ったことは、女子のチームなので男子が上半身裸でうろうろすると教育上良くないと感じた。	その他
陸上	高校生	コザ	市外からの使用であったため、使用の連絡を観光課と競技場にしなければならぬのが不便です。	その他

※使用施設はコザ運動公園：「コザ」、県総合運動公園：「県」、市内のその他施設：「市内他」、市外施設：「市外」

④今後の利用意向

沖縄市に対する今後の利用意向については、大会・合宿の両者合計で「次回も予定している」が58.9%、「予定はないが機会があればぜひ行いたい」が19.6%となっている。特に合宿については、それぞれ61.7%、19.1%の回答を得ており、8割の団体が合宿地として沖縄市を利用したい意向があることがわかる。なお、「もう沖縄市で行いたくない」との回答が1件あり、宿泊施設の対応に不満があったことが指摘されている。

今後の沖縄市の利用意向

項目	回答数			回答数		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
次回も予定している	4件	29件	33件	44.4%	61.7%	58.9%
予定はないが、機会があればぜひ行いたい	2件	9件	11件	22.2%	19.1%	19.6%
沖縄市や沖縄県等による支援があれば検討したい	0件	3件	3件	0.0%	6.4%	5.4%
もう沖縄市では行いたくない	0件	1件	1件	0.0%	2.1%	1.8%
わからない	2件	4件	6件	22.2%	8.5%	10.7%
その他	1件	1件	2件	11.1%	2.1%	3.6%
無回答	0件	2件	2件	-	-	-
合計（無回答除く）	9件	47件	56件	100.0%	100.0%	100.0%

その他を選択した理由

沖縄県サッカー協会に一任している。/
基本的には北部で行っている。たまに沖縄市までおりにて練習を行っている。

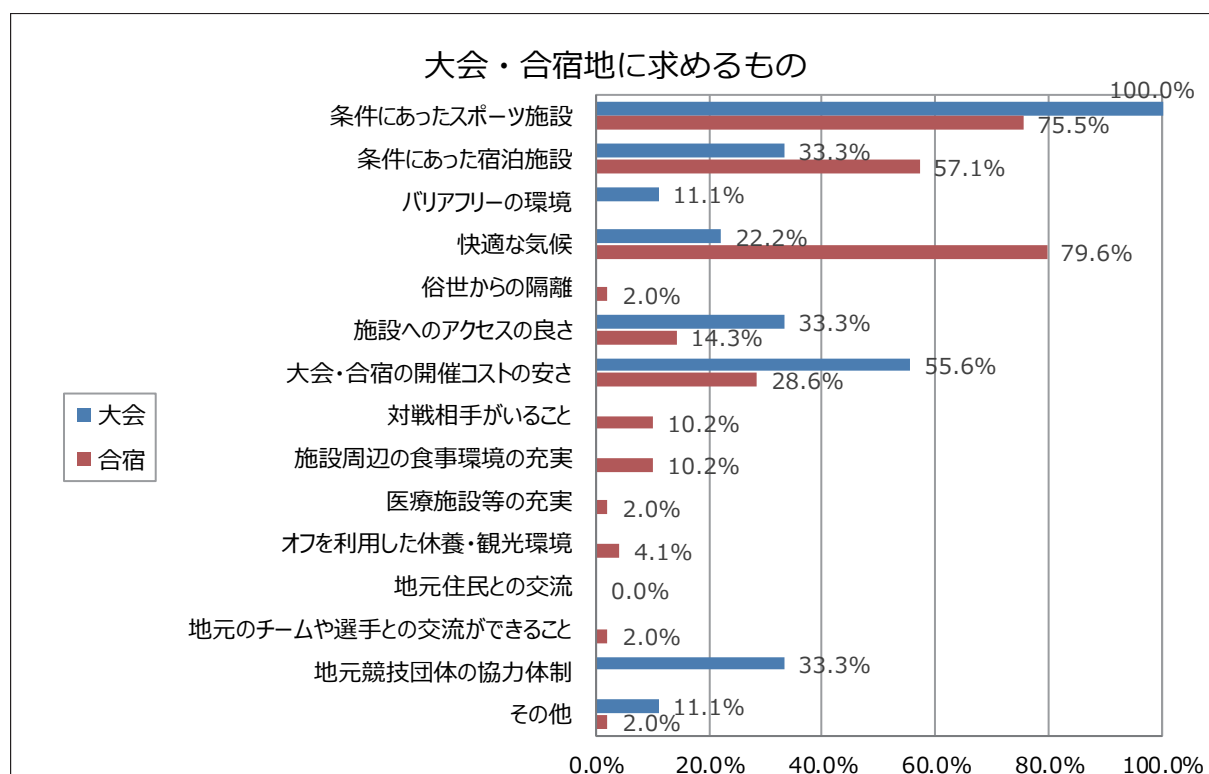
⑤大会・合宿地に求めるもの

大会・合宿地に求めるものについては、大会の場合は「条件にあったスポーツ施設」が100.0%、次いで「大会・合宿の開催コストの安さ」が55.6%となっている。合宿の場合は「快適な気候」が79.6%で最も多く、次いで「条件にあったスポーツ施設」が75.5%、「条件にあった宿泊施設」が57.1%と続く。この回答は、①の沖縄市を選定した理由と共通した傾向であり、沖縄市の強みとして今後も活かすことが有効である。

大会・合宿地に求めるもの（上位3つ選択）

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
条件にあったスポーツ施設	9件	37件	46件	100.0%	75.5%	79.3%
条件にあった宿泊施設	3件	28件	31件	33.3%	57.1%	53.4%
バリアフリーの環境	1件	0件	1件	11.1%	0.0%	1.7%
快適な気候	2件	39件	41件	22.2%	79.6%	70.7%
俗世からの隔離	-	1件	1件	-	2.0%	1.7%
施設へのアクセスの良さ	3件	7件	10件	33.3%	14.3%	17.2%
大会・合宿の開催コストの安さ	5件	14件	19件	55.6%	28.6%	32.8%
対戦相手がいること	-	5件	5件	-	10.2%	8.6%
施設周辺の食事環境の充実	0件	5件	5件	0.0%	10.2%	8.6%
医療施設等の充実	0件	1件	1件	0.0%	2.0%	1.7%
オフを利用した休養・観光環境	-	2件	2件	-	4.1%	3.4%
地元住民との交流	-	0件	0件	-	0.0%	0.0%
地元のチームや選手との交流ができること	-	1件	1件	-	2.0%	1.7%
地元競技団体の協力体制	3件	-	3件	33.3%	-	5.2%
その他	1件	1件	2件	11.1%	2.0%	3.4%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	27件	141件	168件	-	-	-

注：大会・合宿の設問内容が異なるため、質問に含まれない回答数は「-」と表示。割合欄の合計の数値は参考値。



⑥大会・合宿の開催に必要な支援策

大会や合宿の開催にあたって必要とされる支援策については、大会の場合は「スポーツ施設利用料の減免」が66.7%、次いで「宿泊・送迎バス等の費用の助成」が33.3%である。

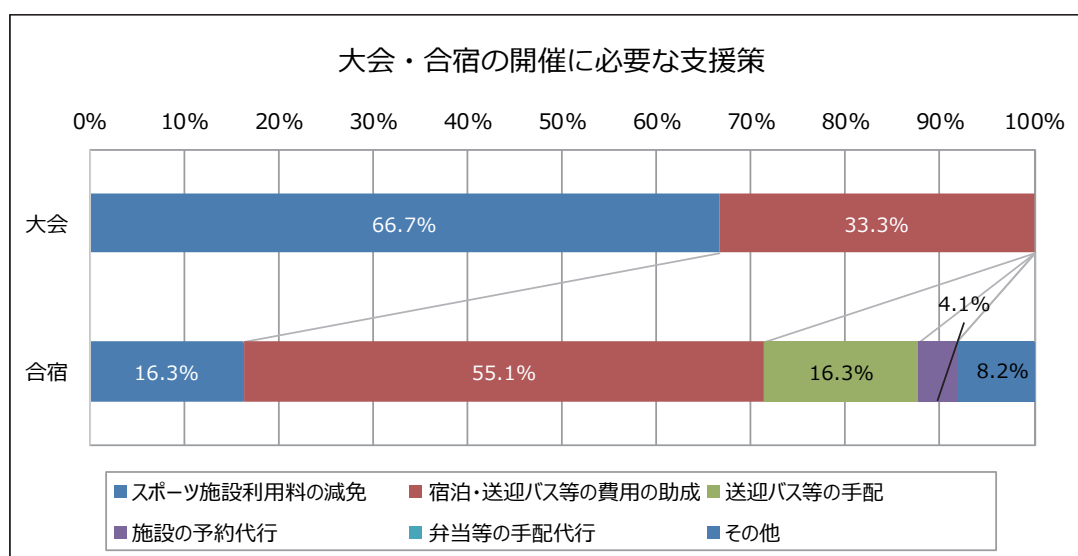
一方、合宿の場合は「宿泊・送迎バス等の費用の助成」が55.1%、次いで「スポーツ施設利用料の減免」と「送迎バス等の手配」が16.3%となっている。

大会・合宿の開催に必要な支援策

項目	回答数			回答数		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
スポーツ施設利用料の減免	6件	8件	14件	66.7%	16.3%	24.1%
宿泊・送迎バス等の費用の助成	3件	27件	30件	33.3%	55.1%	51.7%
送迎バス等の手配	0件	8件	8件	0.0%	16.3%	13.8%
施設の予約代行	0件	2件	2件	0.0%	4.1%	3.4%
弁当等の手配代行	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0件	4件	4件	0.0%	8.2%	6.9%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	9件	49件	58件	100.0%	100.0%	100.0%

その他を選択した理由

地域住民への周知交流（広島カープさんのように応援してもらえる団体）/混雑緩和/プロ野球と一般種目の住み分け/地域の人たちのあたたかさ



⑦閑散期への合宿誘致の可能性

現在の合宿は1月から3月の時期に集中しているため、閑散期（4月から7月）への誘致や施設利用の分散化の可能性を検討するため、合宿代表者に対して閑散期の合宿開催の可能性について質問した。

閑散期に別地域で合宿を実施している団体は24.5%、合宿を実施していない団体は73.5%であり、ほとんどの団体がこの時期の合宿は実施していないことが確認された。そのなかで、「この時期に沖縄市で合宿を実施している」のはサッカーの団体であり、「別の合宿地を使用している」と回答したのは陸上や野球、ソフトボールの団体だった。

また、この時期の開催に必要な環境・サービスについては助成金等の支援援助、屋内施設設備の充実、送迎の手配などが条件として挙げられている。しかし高校生や大学生などにつ

いては、気候の問題、学業期間や大会シーズンとの兼ね合いで実施は困難であることが自由意見でも確認できる。

4～7月の合宿の開催状況

項目	回答数	割合
この時期に沖縄市で合宿を実施している	1件	2.0%
この時期は別の合宿地を使用している	12件	24.5%
この時期は合宿を実施していない	36件	73.5%
無回答	0件	-
合計（無回答除く）	49件	100.0%

この時期に市内及び別の合宿地で実施していると回答した競技種目

市内：サッカー（1団体） 別の合宿地：陸上（8団体）/野球（2団体）/ソフトボール（2団体）

4～7月に合宿を行うにあたり必要な環境・サービス

競技	所属	必要な支援策	分類
陸上	大学生	本州より梅雨明けが早いので、その時期に合宿に対する支援援助があれば使用するかもしれない。	助成金
陸上	社会人	陸上競技ではハイシーズンになり、4月頭か7月中旬くらいの利用なら可能。/助成金等を積極的にしていただけると良い。	助成金
陸上	社会人	より試合に近い練習をするために審判などの派遣(スターターなど)	人材派遣
陸上	社会人	4月から7月の期間に沖縄へ行ったことがないため分からない部分はありますが、気温が高くなると思いますので、室内設備が充実していると良いと思います。	設備の充実
陸上	社会人	ナイターの充実/室内トレーニングの充実	設備の充実
ラグビー	高校生	送迎	送迎
陸上	大学生	送迎バスの手配	送迎
ソフトボール	大学生	インシーズンなので他のチームがいて試合ができることが重要。大学同士でなくても、社会人とでもまた高校生のスカウトも考えると同時期に高校生の大会が実施されているとなお有難い。	対戦相手
陸上	一般・その他	少し気候的に考えられない。	時期的に困難
陸上	大学生	大学なので、授業がありこの時期は合宿を行えない。	時期的に困難
ソフトボール	高校生	梅雨の時期で湿気が多いため、体育館での競技はフロアが滑りやすくなっているのでケガにつながるケースが多い。	時期的に困難
サッカー	大学生	リーグ戦があります。	時期的に困難
陸上	一般・その他	陸上はシーズン中で合宿をする必要がない。	時期的に困難
陸上	高校生	この時期の合宿は高校生には無理です。	時期的に困難
陸上	社会人	8月に涼しい所で合宿を行っている。夏はやはり時期的に避暑地を合宿的に選びやすいので、施設より気候的な環境が大事になってくると思います。	時期的に困難
陸上	一般・その他	学生が中心の為、就学期間となり、実施は難しい	時期的に困難

3. 大会及び合宿参加者（競技者）アンケート結果（調査票B）

（1）調査概要

①目的

大会及び合宿の実施動向や満足度及び市内回遊活動、さらに消費行動を把握する。また、合宿地として市を選定した理由を把握する。

②対象者

2018（平成30）年9月～2019（平成31）年1月までに沖縄市で開催されるスポーツ大会（県外チームが参加する大会）及びスポーツ合宿への参加競技者とした。

③実施方法

アンケート調査は、スポーツ施設と宿泊施設を対象とし、施設内へのポスターの掲示と調査票の留置き、施設スタッフによる調査票配布の協力を依頼した。調査は紙の調査票での回答またはWEB上での回答形式とした。

調査票・ポスター等設置依頼先

施設分類	施設名
スポーツ施設	沖縄市立総合運動場体育施設（コザ運動公園）、沖縄県総合運動公園
宿泊施設	デイゴホテル、クラウンホテル、ホテルニューセンチュリー、サンライズ観光ホテル、オキナワグランメールリゾート、オリンピア観光ホテル、ホテルコザ

④回収件数

競技者アンケートは、コザ運動公園での回収が75件、宿泊施設からの回収が16件、WEBでの回答が15件の合計106件となった。

配布・回収件数

対象者	回収件数	割合
沖縄市立総合運動場体育施設（コザ運動公園）	75件	70.8%
宿泊施設	16件	15.1%
WEB アンケート	15件	14.2%
合計	106件	100.0%

(2) 調査結果のまとめ

ア. 大会・合宿の動向

沖縄市での大会・合宿の開催が「初めて」の参加者は、大会は6割、合宿は4割弱であり、合宿のリピーター利用が確認できた。宿泊については、合宿は「2～3泊」が8割で、7泊の利用者も1割存在した。交通手段については、合宿の場合は、「宿による送迎バス」の利用者が5割おり、宿泊施設サービスを活用している状況が伺えた。

大会・合宿に求めることについては、「条件にあったスポーツ施設」や「気候」が重要な条件になっており、沖縄市を合宿地に選定した理由についても同様の傾向にあった。よって沖縄市の施設環境は大会・合宿のニーズにマッチングできていることがわかる。

一方、開催で困ったことや改善すべき点については、施設備品の無料貸出や早朝利用への要望の他、施設の混雑、周辺地域の治安についての意見が確認できた。施設の混雑については、ピーク期（1月から3月）の施設の集中利用が要因であるが、閑散期（4月から7月）の合宿開催は対応が厳しいことが確認された。

イ. 周遊・消費動向

大会・合宿の競技者による観光や買物の立ち寄り動向については、立ち寄りを行わないとの回答は、大会が16.7%、合宿が25.6%であった。市内の立ち寄りにおいても2割近くがスーパーマーケットやコンビニの利用となった。その理由としては、時間がないが4割を超えており、時間的余裕がない状況が確認できる。

ウ. まとめ

競技者にとっては、沖縄市での合宿・大会等の満足度は高い傾向にあり、今後の利用意向もあるため、今後引き続き、関係団体の利用が見込めるものと想定される。しかし、1月から3月の時期がピーク期にあたり、スポーツ施設の集中利用が混雑などを起こしていることも事実である。今後もピーク期の利用ニーズは避けられないことから、利用者が不利益にならないような対応策を講ずることが課題となる。

また、競技者が市内観光や買物を行うには時間的制約があることが確認できた。競技者による消費を喚起するためには、練習の合間のついで利用など、スーパーマーケットやコンビニなどの身近な買物環境を提供できるような仕組みを検討する必要があると考えられる。

(3) 調査結果

① 沖縄市への訪問回数及び旅行形態

◆ 大会・合宿による訪問回数

合宿・大会等による沖縄市への訪問回数を確認すると、大会の場合は「初めて」が60.0%とほとんどの回答となっている。一方、合宿の場合は、「2～5回目」が38.3%と「初めて」の36.2%より若干割合が高い傾向にある。また、合宿には「10回以上」が16.0%もいることから、合宿における沖縄市の利用の定着が確認できる。

大会・合宿による沖縄市への訪問回数

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
初めて	6件	34件	40件	60.0%	36.2%	38.5%
2～5回目	2件	36件	38件	20.0%	38.3%	36.5%
6～9回目	1件	9件	10件	10.0%	9.6%	9.6%
10回以上	1件	15件	16件	10.0%	16.0%	15.4%
無回答	0件	2件	2件	0.0%	2.1%	1.9%
合計（無回答除く）	10件	94件	104件	100.0%	100.0%	100.0%

◆旅行の手配

大会・合宿時の旅行プランについては、「個人・チーム・団体による手配」がほとんどで、両者合わせて83.0%の割合となった。

大会・合宿における旅行の手配方法

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
個人・チーム・団体による手配	9件	79件	88件	90.0%	82.3%	83.0%
主催者による手配	0件	6件	6件	0.0%	6.3%	5.7%
旅行会社による手配	1件	0件	1件	10.0%	0.0%	0.9%
パッケージ旅行の利用	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	0件	11件	11件	0.0%	11.5%	10.4%
無回答	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
合計（無回答除く）	10件	96件	106件	100.0%	100.0%	100.0%

◆宿泊動向

回答した競技者のうち、「市内に宿泊」は、大会の場合は90.0%、合宿の場合は77.1%であった。滞在日数（宿泊数）は、大会の場合は「1泊」が66.7%と最も多く、次いで「2～3泊」が22.2%、合宿の場合は「2～3泊」が81.1%と最も多く、次いで7泊が11.1%となった。合宿の方が滞在期間は多少長い傾向にあるが、ほぼ2～3泊の利用に集中している傾向にある。

大会・合宿における宿泊場所

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
日帰り	1件	0件	1件	10.0%	0.0%	0.9%
市内に宿泊	9件	74件	83件	90.0%	77.1%	78.3%
市外に宿泊	0件	22件	22件	0.0%	22.9%	20.8%
無回答	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
合計（無回答除く）	10件	96件	106件	100.0%	100.0%	100.0%

大会・合宿における滞在日数（宿泊数）

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
日帰り	1件	0件	1件	11.1%	0.0%	1.0%
1泊	6件	2件	8件	66.7%	2.2%	8.1%
2～3泊	2件	73件	75件	22.2%	81.1%	75.8%
4～6泊	0件	5件	5件	0.0%	5.6%	5.1%
7泊	0件	10件	10件	0.0%	11.1%	10.1%
無回答	1件	6件	7件	11.1%	6.7%	7.1%
合計（無回答除く）	9件	90件	99件	100.0%	100.0%	100.0%

◆交通手段

合宿・大会等における交通手段は、大会の場合は「旅行会社による送迎バス」と「レンタカー（マイクロバス含む）」が30.0%、「宿による送迎バス」が20.0%となっており、大会の規模や主催者案内等に応じて、旅行会社などの利用もあったと想定される。

合宿利用者の場合は、「宿による送迎バス」が最も多く51.0%、次いで「レンタカー（マイクロバス含む）」が36.5%であり、宿泊施設の送迎を利用していることがわかる。

大会・合宿における交通手段

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
旅行会社による送迎バス	3件	2件	5件	30.0%	2.1%	4.7%
宿による送迎バス	2件	49件	51件	20.0%	51.0%	48.1%
路線バス	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
貸切バス	0件	9件	9件	0.0%	9.4%	8.5%
レンタカー（マイクロバス含む）	3件	35件	38件	30.0%	36.5%	35.8%
タクシー	1件	1件	2件	10.0%	1.0%	1.9%
その他	1件	1件	2件	10.0%	1.0%	1.9%
無回答	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
合計（無回答除く）	10件	97件	107件	-	-	-

◆予約窓口（合宿のみ）

合宿の実施にあたっての予約窓口については、「わからない」が62.5%とほとんどだが、次いで「利用していない（すべて直接手配した）」の回答が11.5%となった。

予約窓口（合宿のみ）

項目	回答数	割合
スポーツコミッション沖縄（沖縄県体育協会）	0件	0.0%
沖縄市の体育協会	1件	1.0%
沖縄市の観光協会	3件	3.1%
旅行会社で手配	4件	4.2%
競技団体の県内機関	6件	6.3%
利用していない（すべて直接手配した）	11件	11.5%
わからない	60件	62.5%
その他	0件	0.0%
無回答	14件	-
合計（無回答除く）	85件	-

②実施にあたっての満足度

◆スポーツ施設

スポーツ施設については、大会の場合は「よい」が最も多く 70.0%、合宿の場合は「とてもよい」が最も多く 60.4%、次いで「よい」が 27.1%となり、合宿の方が高く評価されている。一方、大会においては、「よくない」と「とてもよくない」の回答が各 1 件あった。

スポーツ施設についての満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	0件	58件	58件	0.0%	60.4%	54.7%
よい	7件	26件	33件	70.0%	27.1%	31.1%
ふつう	1件	12件	13件	10.0%	12.5%	12.3%
よくない	1件	0件	1件	10.0%	0.0%	0.9%
とてもよくない	1件	0件	1件	10.0%	0.0%	0.9%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	10件	96件	106件	100.0%	100.0%	100.0%

◆交通アクセス

交通アクセスについては、合宿と大会での評価が分かれる結果となった。合宿の場合は「とてもよい」が 41.7%、「よい」が 35.4%と高い割合を示しているが、大会の場合は「よくない」が 50.0%、「ふつう」が 30.0%となった。

交通アクセスの満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	1件	40件	41件	10.0%	41.7%	38.7%
よい	1件	34件	35件	10.0%	35.4%	33.0%
ふつう	3件	20件	23件	30.0%	20.8%	21.7%
よくない	5件	2件	7件	50.0%	2.1%	6.6%
とてもよくない	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	10件	96件	106件	100.0%	100.0%	100.0%

◆食事内容

食事内容（メニューの豊富さ、バランス）については、大会・合宿ともに「とてもよい」「よい」が多く、回答数の合計をみると「とてもよい」が 53.3%、「よい」が 31.4%となっており、合わせて 8 割以上が高い満足度を示している。

食事内容（メニューの豊富さ、バランス）についての満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	4件	52件	56件	44.4%	54.2%	53.3%
よい	4件	29件	33件	44.4%	30.2%	31.4%
ふつう	1件	14件	15件	11.1%	14.6%	14.3%
よくない	0件	1件	1件	0.0%	1.0%	1.0%
とてもよくない	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1件	0件	1件	-	-	-
合計（無回答除く）	9件	96件	105件	100.0%	100.0%	100.0%

◆宿泊施設

宿泊施設については、大会・合宿ともに「とてもよい」「よい」が多く、回答数の合計をみると、「とてもよい」が51.4%、「よい」が31.4%となっており、合わせて8割以上が高い満足度を示している。

宿泊施設についての満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	3件	51件	54件	33.3%	53.1%	51.4%
よい	5件	28件	33件	55.6%	29.2%	31.4%
ふつう	1件	15件	16件	11.1%	15.6%	15.2%
よくない	0件	2件	2件	0.0%	2.1%	1.9%
とてもよくない	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1件	0件	1件	-	-	-
合計（無回答除く）	9件	96件	105件	100.0%	100.0%	100.0%

◆周辺環境

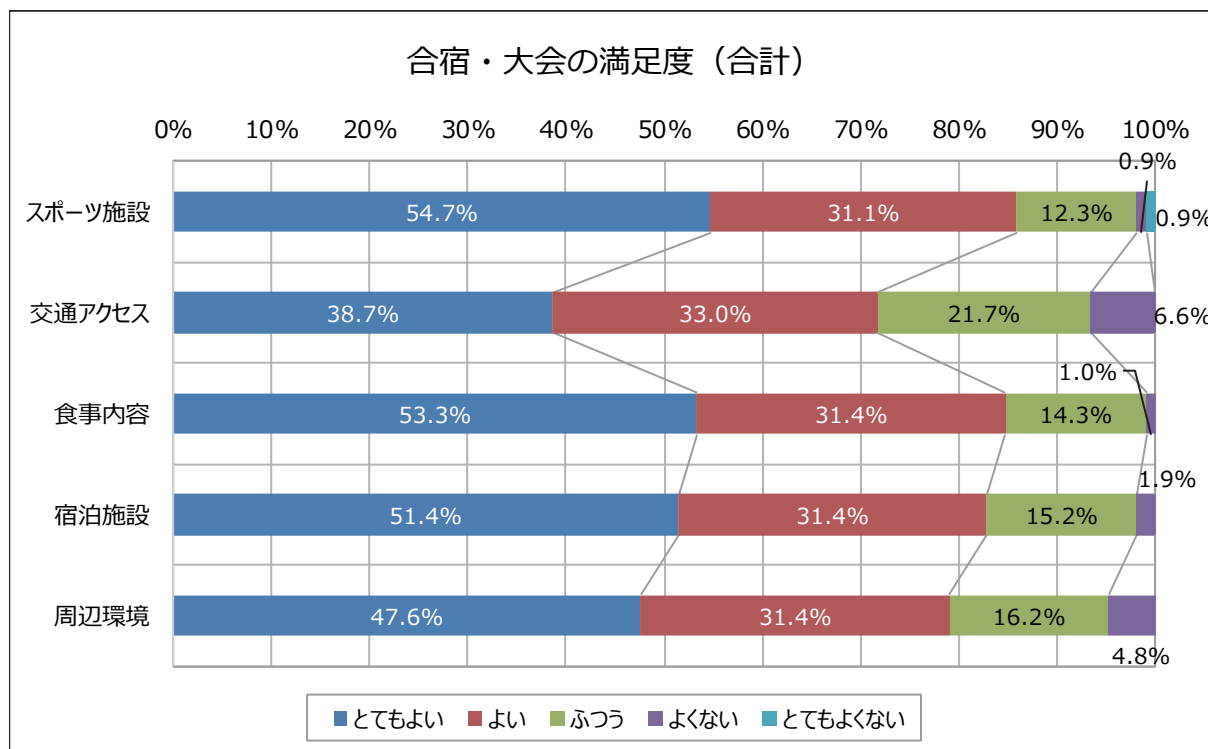
周辺環境（飲食・娯楽・観光・医療施設等）については、合宿の場合は、「とてもよい」が52.1%、「よい」が30.2%と多いが、大会の場合は「よい」が44.4%、次いで「よくない」が33.3%となった。

周辺施設（飲食・娯楽・観光・医療施設等）についての満足度

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
とてもよい	0件	50件	50件	0.0%	52.1%	47.6%
よい	4件	29件	33件	44.4%	30.2%	31.4%
ふつう	2件	15件	17件	22.2%	15.6%	16.2%
よくない	3件	2件	5件	33.3%	2.1%	4.8%
とてもよくない	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	1件	0件	1件	-	-	-
合計（無回答除く）	9件	96件	105件	100.0%	100.0%	100.0%

◆まとめ

大会・合宿を合わせた満足度は、スポーツ施設や宿泊施設、食事内容については全体的には高い傾向にあり、「とてもよい」と「よい」の回答を合わせると8割を超える結果となった。交通アクセスについては、他の項目に比べ満足度は低い傾向にあり、「とてもよい」と「よい」の回答を合わせても7割に達する程度であり、一方、「よくない」の回答もみられた。



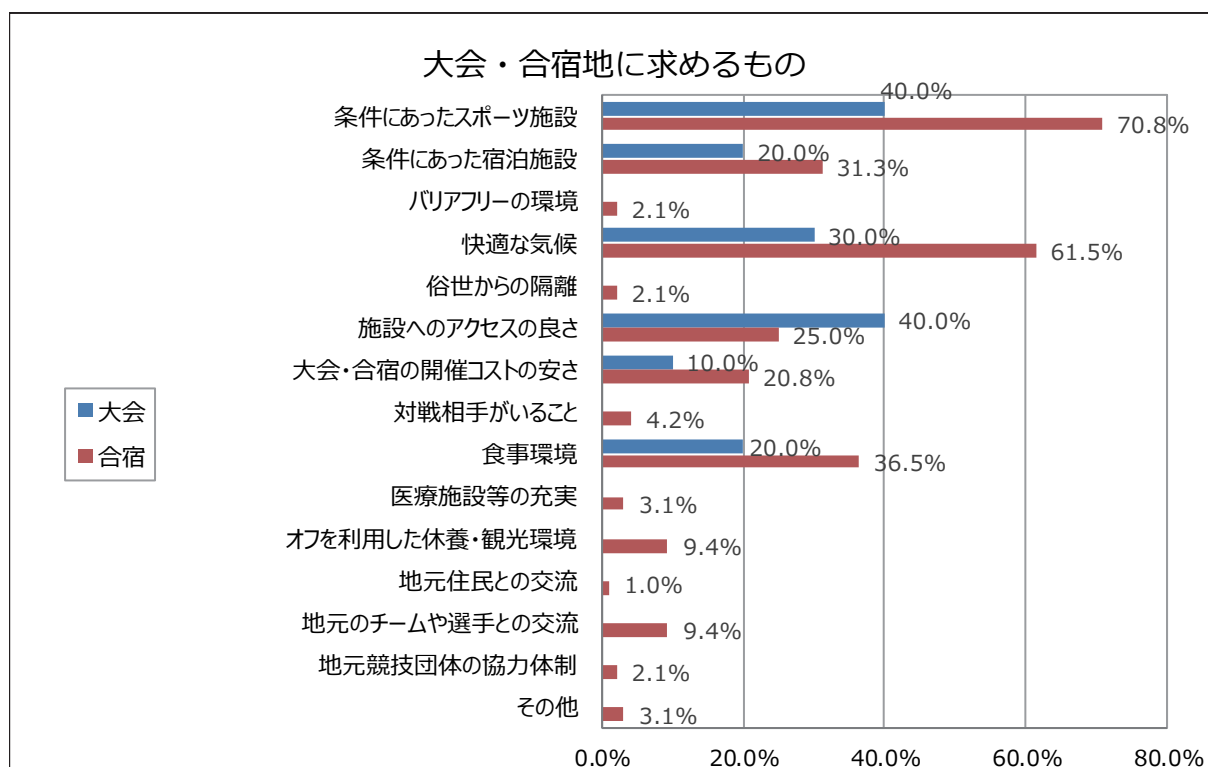
④大会・合宿地へのニーズ

◆大会・合宿地に求めること

大会・合宿地に求めるものについては、大会の場合は「条件にあったスポーツ施設」と「施設へのアクセスの良さ」が40.0%、次いで「快適な気候」が30.0%となった。合宿の場合は「条件にあったスポーツ施設」が70.8%、次いで「快適な気候」が61.5%、「食事環境」の36.5%や「条件にあった宿泊施設」の31.3%と続いており、スポーツ施設や気候に加え、食事、宿泊施設が合宿実施には重要な要素であることがわかる。

大会・合宿地に求めるもの（上位3つ選択）

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
条件にあったスポーツ施設	4件	68件	72件	40.0%	70.8%	67.9%
条件にあった宿泊施設	2件	30件	32件	20.0%	31.3%	30.2%
バリアフリーの環境	0件	2件	2件	0.0%	2.1%	1.9%
快適な気候	3件	59件	62件	30.0%	61.5%	58.5%
俗世からの隔離	0件	2件	2件	0.0%	2.1%	1.9%
施設へのアクセスの良さ	4件	24件	28件	40.0%	25.0%	26.4%
大会・合宿の開催コストの安さ	1件	20件	21件	10.0%	20.8%	19.8%
対戦相手がいること	0件	4件	4件	0.0%	4.2%	3.8%
食事環境	2件	35件	37件	20.0%	36.5%	34.9%
医療施設等の充実	0件	3件	3件	0.0%	3.1%	2.8%
オフを利用した休養・観光環境	0件	9件	9件	0.0%	9.4%	8.5%
地元住民との交流	0件	1件	1件	0.0%	1.0%	0.9%
地元のチームや選手との交流	0件	9件	9件	0.0%	9.4%	8.5%
地元競技団体の協力体制	0件	2件	2件	0.0%	2.1%	1.9%
その他	0件	3件	3件	0.0%	3.1%	2.8%
無回答	5件	3件	8件	-	-	-
合計（無回答除く）	16件	271件	287件	-	-	-



◆沖縄市を選定した理由（合宿のみ）

合宿利用者に対し沖縄市を選定した理由を質問したところ、「毎年恒例である」が 58.3%と最も高い割合となっている他、「スポーツ施設の環境がよい」が 22.9%、「気候などの環境が適しているから」が 21.9%となっている。

沖縄市を合宿地に選んだ理由（合宿利用のみ、複数回答）

項目	回答数	割合
毎年恒例（または持ち回りの会場）である	56件	58.3%
（競技関係者、関係機関等から）紹介された	8件	8.3%
スポーツ施設的环境（機能、設備、備品等）がよい	22件	22.9%
スポーツ施設と宿泊施設の距離がちょうど良かった	9件	9.4%
宿泊施設の規模や質がよい	11件	11.5%
沖縄市が誘致しているから（市や券や関係機関からの紹介）	2件	2.1%
助成・支援制度などがあるから	5件	5.2%
気候などの環境が適しているから	21件	21.9%
オフの休養娯楽の環境が充実しているから	2件	2.1%
交流（試合）したい相手がいるから	4件	4.2%
陸上競技場がJOCの「陸上競技強化センター」に選ばれているから	3件	3.1%
わからない（決定する権限がない）	22件	22.9%
その他	2件	2.1%
無回答	4件	-
合計（無回答除く）	167件	-

⑤大会・合宿を行っての良かったこと・改善点（自由意見）

◆良かったこと

大会・合宿を行って良かった点については、気候やスポーツ施設の環境に対する回答が最も多い。その他、スポーツ施設と宿泊施設との距離の近さや関係者の受入対応、交流相手がいることなどの意見も確認できる。宿泊施設の近くにスーパーマーケットが立地することも良かったこととして挙げられている。

沖縄市で大会・合宿を行って良かったこと

競技種目	所属	良かったこと	分類
野球	社会人	暖かくて動きやすい。	気候
野球	社会人	気候	気候
陸上	学生	暖かい。	気候
陸上	学生	気候が非常に良い。	気候
陸上	学生	気温	気候
陸上	学生	気温が高い/すごしやすい。	気候
陸上	学生	気候が良い。	気候
陸上	学生	暖かくて練習しやすい環境	気候
陸上	学生	気温が高く、とても練習しやすかった。	気候
陸上	学生	暖かいこと	気候
陸上	社会人	暖かい環境でやることができた。	気候
陸上	社会人	天気が良い。	気候
陸上	社会人	暖かい。	気候
陸上	社会人	冬でも暖かく質が高い練習ができる。	気候
陸上	社会人	暖かい環境の中で練習ができる。	気候
陸上	社会人	冬でも暖かい場所で練習ができること	気候

競技種目	所属	良かったこと	分類
陸上	社会人	12月の寒い時期に暖かく整った環境でトレーニングができたこと	気候
陸上	学生	とても地元より暖かいから、スピードやたくさん練習をすることができた。	気候/施設環境
陸上	社会人	気温が高く、競技場での器具も充実していて、とても充実した合宿になりました。	気候/施設環境
陸上	社会人	温暖な地域で充実したトレーニングができる/施設が使用しやすい。	気候/施設環境
陸上	社会人	気候が温暖/設備面で充実している/車さえあれば大体困らない。	気候/施設環境
陸上	学生	いつでも暖かい→ケガしない/綺麗	気候/周辺環境
陸上	社会人	暖かく人も良い。	気候/受入対応
陸上	学生	投擲場などがきれいだった/道具もそろっていて良いと思う。	施設環境
陸上	学生	設備	施設環境
陸上	学生	器具が多い。	施設環境
陸上	学生	色んな施設が充実している。	施設環境
陸上	社会人	市営陸上競技場のスタッフの対応やメディシンや器具の充実がとれもよい。	施設環境
陸上	その他	施設がたくさんあり、使用料が安いことがとても使いやすい点だと思います。	施設環境
陸上	学生	競技場にはいろいろな運動施設があり、使いやすかった。	施設環境
陸上	学生	設備が整っている。	施設環境
陸上	学生	練習場所が広かったこと/用具がたくさんあったこと	施設環境
陸上	学生	トラックが走りやすかった。	施設環境
陸上	プロチーム	環境が良い。	施設環境
陸上	学生	施設の器具が大変備わっていて、宿の食事とても美味しかった。	施設環境/食事
陸上	社会人	ホテルが良い/景色が良い。	宿泊環境/ 周辺環境
サッカー	プロチーム	ホテルの部屋が広く、ホテル内にジムがある。	宿泊環境
体操	学生	ホテルがめちゃくちゃ快適だった。	宿泊環境
陸上	学生	ホテルから競技場までの距離が近い。	宿泊環境
陸上	学生	ホテルから競技場までの距離が近い。	宿泊環境
陸上	学生	ホテルとスポーツ施設が近い。	宿泊環境
陸上	学生	ごはんがおいしかった。	食事
陸上	学生	ごはんが美味しい。	食事
陸上	学生	ご飯がおいしかった。	食事
陸上	社会人	ご飯がおいしかった。	食事
陸上	プロチーム	ホテルのご飯が美味しかった/イオンが近くて良かった。	食事/周辺環境
体操	学生	ご飯がおいしい/海がきれいでリラックスできる/1日目に美ら海水族館に行けた/タクシーの手配が楽/サービスが充実	食事/周辺環境/ 交通/受入対応
陸上	学生	ホテル、競技場の対応が素晴らしい。	受入対応
陸上	学生	店員さんがとても笑顔で優しい。	受入対応
陸上	社会人	とても困る事がない。	受入対応
陸上	社会人	合宿の予定に合わせて食事や移動の手配をしていただけるのでとても助かっている。	受入対応
陸上	社会人	快適だから	受入対応

競技種目	所属	良かったこと	分類
陸上	社会人	サービスが充実している。	受入対応
陸上	その他	受け入れてくれる方々にもてなしの気持ちがあり気持ちが良い。	受入対応
陸上	社会人	人が優しい/食事が美味しい。	受入対応/食事
陸上	学生	ホテル周辺にスーパーや百円均一ショップがあり良かった。	周辺環境
陸上	学生	海	周辺環境
陸上	学生	景色がきれい。	周辺環境
陸上	学生	海がきれいでした。	周辺環境
陸上	学生	宿舍の近くにスーパーがある。	周辺環境
陸上	学生	近くにスーパーがある。	周辺環境
陸上	学生	自然がたくさんある/練習の設備が整っている。	周辺環境/ 施設環境
陸上	学生	施設には強い選手がたくさんいるので学ぶことができる。	交流相手の存在
陸上	学生	フォームについていろいろと聞けた。	交流相手の存在
陸上	学生	沖縄にはたくさんの強い人がいて、とても勉強になりました。	交流相手の存在
陸上	学生	競技場でたくさんのすごい選手がいたこと/いろいろな物がそろっている。	交流相手の存在 /施設環境
陸上	学生	交通が便利	交通
野球	その他	アクセスしやすい	交通

◆困ったことや改善点

大会・合宿を行って困ったことや改善点については、施設環境については、練習用具の無料貸出や早朝利用に対する要望、利用者が多く混雑していることが挙げられている。また、周辺に施設が少ない点や治安の悪さなど周辺環境に対する意見が確認できる。

沖縄市で大会・合宿を行って困ったことや改善点

競技種目	所属	困ったことや改善点	分類
陸上	社会人	ハンドウォッシュ不足/ウォシュレット不足	施設環境
陸上	その他	9:00ではなく、早朝から使用できるとさらに充実した練習ができると思います。	施設環境
陸上	学生	競技場の練習用具が無料で借りられればもっと良いと思った。	施設環境
陸上	学生	用具を無料で貸し出して欲しい。(使いたいものをすぐに使いたいため)	施設環境
陸上	学生	用具が有料	施設環境
陸上	学生	道具が有料	施設環境
体操	学生	体操器具が出し入れしにくい/保管場所がバラバラ	施設環境
陸上	学生	様々な選手がいて、少しせまく感じてしまったこと	混雑
陸上	社会人	トレーニングルームが混雑する/ハンマー投げの選手は練習場所がない/車がない場合は交通手段が少ない。	混雑
野球	社会人	遊ぶところがなく、施設も少ない。	周辺環境
陸上	学生	近くに駅がない。	周辺環境
陸上	学生	近くに駅がない。	周辺環境
陸上	学生	携帯ショップがない。	周辺環境
体操	学生	ホテルの周りにコンビニがなかったので、かなり歩いた。	周辺環境
サッカー	プロチーム	コンビニがホテルから遠い。	周辺環境

競技種目	所属	困ったことや改善点	分類
体操	学生	安い飲食店が少し遠い/コンビニが遠い/器具の状態が少し悪い。	周辺環境/施設環境
陸上	学生	雨が多い/大浴場欲しい。	気候/施設環境
陸上	学生	治安が悪い。	治安
陸上	学生	治安が悪い気がする。	治安
陸上	学生	治安が悪い。	治安
陸上	学生	大会で空港又は宿からの移動手段（合宿では困ったことはない）	交通
野球	その他	送迎してくれるところが少ない/高い料金	交通
陸上	学生	部屋がくさい/チリソースがからい/メニュー（食事）を書いて欲しい。	宿泊施設
陸上	学生	宿の Wi-Fi が上手く繋がらなくて残念だった。	宿泊施設
陸上	学生	ご飯の野菜を増やして欲しい。	食事
陸上	学生	宿の肉が多い。	食事
陸上	学生	天候が悪かった。	気候
陸上	社会人	雨が多かった事	気候
陸上	社会人	雨が多い。	気候

⑥周遊・消費動向

◆周遊動向

大会・合宿期間中の観光や買物などの立ち寄り先を聞いたところ、「観光や買物はしていない（立ち寄らない）」が大会の場合は 16.7%、合宿の場合は 25.6%となった。

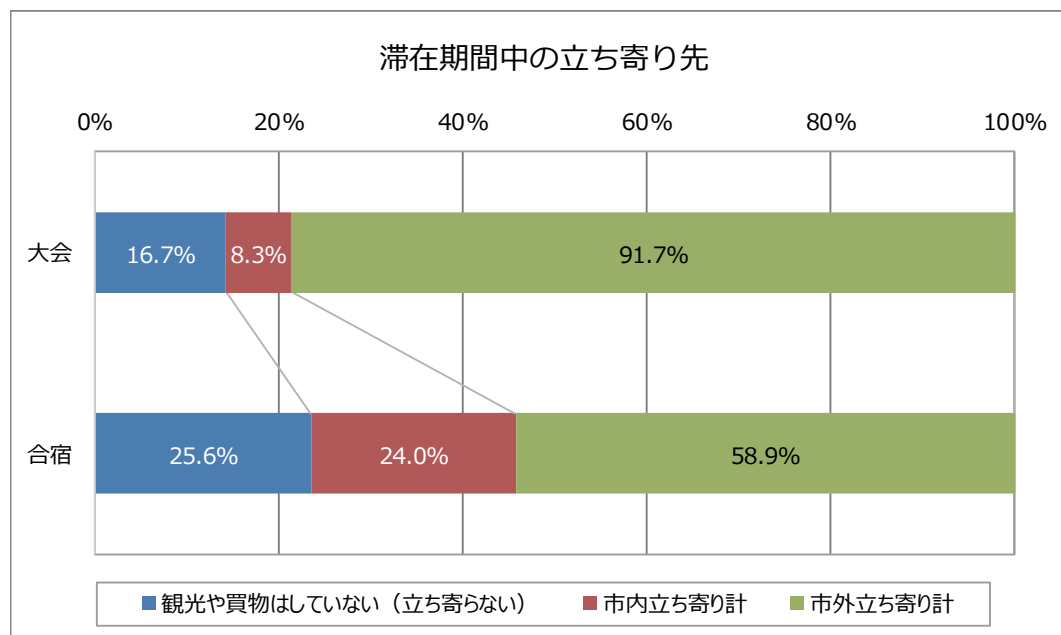
市内の立ち寄りについては、「その他」が大会・合宿を合わせて 19.8%の割合となっているが、その詳細はスーパーマーケットやコンビニである。市内の他の立ち寄り先は、沖縄子ども国（8.5%）とパヤオ直売店（1.9%）があった。

市外の立ち寄り先については、大会の場合は、国際通り（40.0%）や海洋博公園（30.0%）の割合が高いが、合宿の場合は、国際通り、イオンモール、北谷・アメリカンビレッジ、海・ビーチ・海浜リゾートがそれぞれ 15%前後の割合を示しており、国際通りを除き、沖縄市の近場を選択する傾向にあると考えられる。

沖縄市内の施設に立ち寄らなかった理由は、大会・合宿を合わせて「時間がない」が 42.9%、「合宿参加で十分満足した」が 25.4%、「もともと予定がなかった」が 23.8%であり、観光や買物を行う時間的余裕がない状況が確認できる。

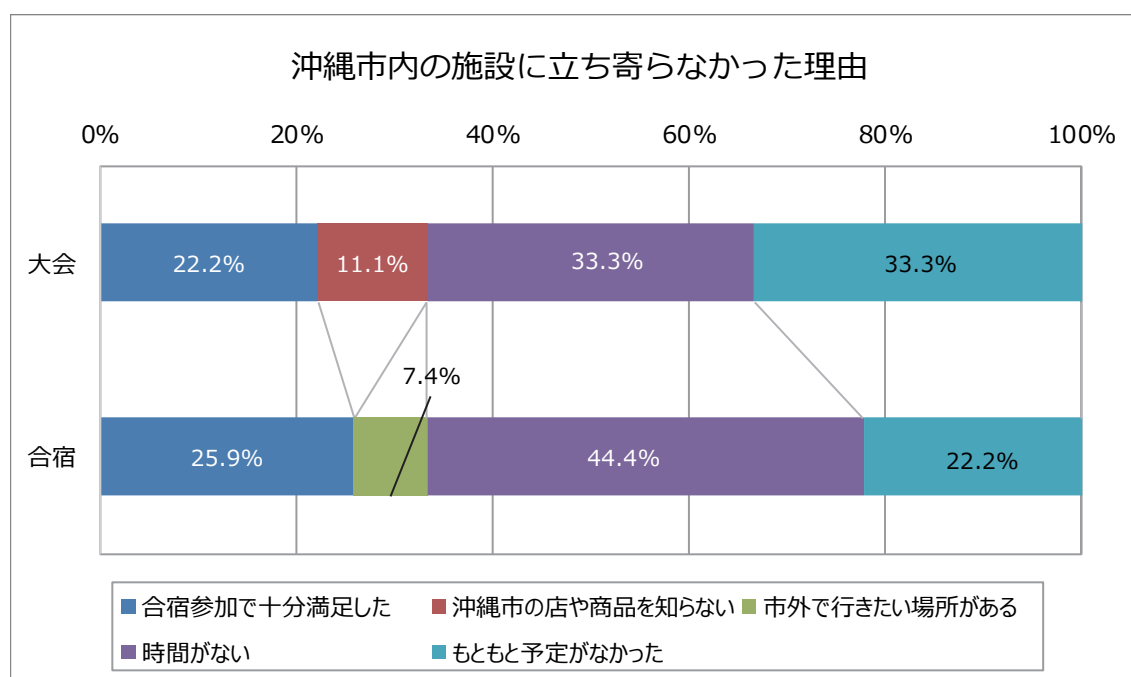
観光や買物などの立ち寄り先

項目	回答数			割合			
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計	
市内	コザ・ミュージックタウン、エイサー会館	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	沖縄こどもの国	0件	9件	9件	0.0%	9.4%	8.5%
	東南植物楽園	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	プラザハウス	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	パヤオ直売店	0件	2件	2件	0.0%	2.1%	1.9%
	ライブハウス	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	ヒストリート	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	市内その他	1件	20件	21件	10.0%	20.8%	19.8%
市外	海洋博公園（美ら海水族館等）	3件	2件	5件	30.0%	2.1%	4.7%
	国際通り	4件	16件	20件	40.0%	16.7%	18.9%
	世界遺産（首里城、斎場御嶽、グスク等）	0件	2件	2件	0.0%	2.1%	1.9%
	イオンモール沖縄ライカム	1件	12件	13件	10.0%	12.5%	12.3%
	北谷・アメリカンビレッジ	0件	10件	10件	0.0%	10.4%	9.4%
	アウトレットモールあしびなー	0件	3件	3件	0.0%	3.1%	2.8%
	景勝地（万座毛等）	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	戦跡地	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	海、ビーチ、海浜リゾート	1件	14件	15件	10.0%	14.6%	14.2%
	工房・工芸体験施設	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	道の駅	0件	1件	1件	0.0%	1.0%	0.9%
	テーマパーク型施設（おきなわワールド等）	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
	農水産物の直売所	0件	2件	2件	0.0%	2.1%	1.9%
	市外その他	2件	14件	16件	20.0%	14.6%	15.1%
回答者合計	10件	96件	106件	100.0%	100.0%	100.0%	
観光や買物はしていない（立ち寄らない）	2件	33件	35件	16.7%	25.6%	24.8%	
市内立ち寄り計	1件	31件	32件	8.3%	24.0%	22.7%	
市外立ち寄り計	11件	76件	87件	91.7%	58.9%	61.7%	
全回答合計	12件	129件	141件	100.0%	100.0%	100.0%	



沖縄市内の施設に立ち寄りなかった理由

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
合宿参加で十分満足した	2件	14件	16件	22.2%	25.9%	25.4%
沖縄市の店や商品知らない	1件	0件	1件	11.1%	0.0%	1.6%
市外で行きたい場所がある	0件	4件	4件	0.0%	7.4%	6.3%
時間がない	3件	24件	27件	33.3%	44.4%	42.9%
もともと予定がなかった	3件	12件	15件	33.3%	22.2%	23.8%
その他	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	2件	48件	50件	-	-	-
合計（無回答除く）	9件	54件	63件	100.0%	100.0%	100.0%



◆（参考）消費金額

沖縄市内に立ち寄った方（32名）のうち、市内で消費した金額を聞いたところ、次のような傾向が確認できた。回答者数が少なく、そのほとんどが0円または無回答であり、さらに宿泊費及び交通費については、ホテルパックなどの料金も含まれると想定されるため、本設問の結果については、参考として提示する。

飲食費用については、平均消費額が4,060円で最大値が10,000円、最小値が300円となった。施設入館料は1,300円の回答が1件ある。土産・買物代については、平均消費額は4,427円で、最大7,000円、最小値が1,500円となった。

沖縄市内での消費額（平均、最大値、最小値）

項目	宿泊費	飲食費	交通費	施設入館料	娯楽費	土産・買物代
平均消費額	34,167円	4,060円	43,000円	1,300円	0円	4,427円
最大値	75,000円	10,000円	43,000円	1,300円	0円	7,000円
最小値	13,000円	300円	0円	0円	0円	1,500円

沖縄市内で消費した金額

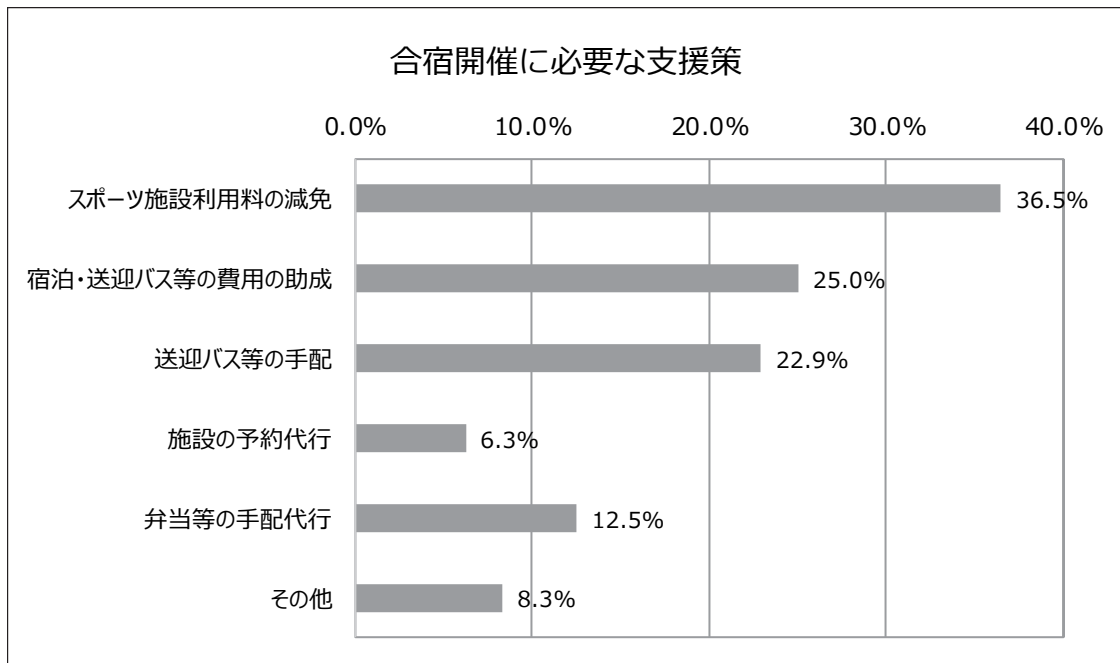
項目		宿泊費	飲食費	交通費	施設入館料	娯楽費	土産・買物代
0円	回答数	8件	7件	10件	10件	11件	5件
	割合	47.1%	58.3%	90.9%	90.9%	100.0%	26.3%
1円～1,000円未満	回答数	0件	1件	0件	0件	0件	0件
	割合	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1,000円～2,000円未満	回答数	0件	1件	0件	1件	0件	1件
	割合	0.0%	8.3%	0.0%	9.1%	0.0%	5.3%
2,000円～3,000円未満	回答数	0件	0件	0件	0件	0件	1件
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
3,000円～4,000円未満	回答数	0件	0件	0件	0件	0件	2件
	割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%
4,000円～5,000円未満	回答数	0件	1件	0件	0件	0件	1件
	割合	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
5,000円以上	回答数	9件	2件	1件	0件	0件	9件
	割合	52.9%	16.7%	9.1%	0.0%	0.0%	47.4%
無回答	回答数	12件	17件	18件	18件	18件	10件
	割合	-	-	-	-	-	-
合計（無回答除く）	回答数	17件	12件	11件	11件	11件	19件
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

⑦合宿に必要な支援策（合宿のみ）

合宿への参加にあたって必要な支援策については、「スポーツ施設利用料の減免」が36.5%と最も多く、次いで「宿泊・送迎バス等の費用の助成」が25.0%、「送迎バス等の手配」が22.9%となった。③大会・合宿で困ったこと・要望でも、用具などの無料化が要望されていたことから、施設利用料の減免などは、競技者にとっては最も重要な支援であるととらえられる。

合宿に必要な支援策

項目	回答数	割合
スポーツ施設利用料の減免	35件	36.5%
宿泊・送迎バス等の費用の助成	24件	25.0%
送迎バス等の手配	22件	22.9%
施設の予約代行	6件	6.3%
弁当等の手配代行	12件	12.5%
その他	8件	8.3%
無回答	20件	-
合計（無回答除く）	107件	-



⑧ 沖縄市での今後の開催意向

沖縄市で今後の合宿開催意向については、「予定はないが、機会があればぜひ行いたい」が45.7%、次いで「次回も予定している」が37.0%となり、4割近くが次回の合宿利用を予定していることが確認された。

今後の開催意向

項目	回答数	割合
次回も予定している	34件	37.0%
予定はないが、機会があればぜひ行いたい	42件	45.7%
沖縄市や沖縄県等による支援があれば検討したい	1件	1.1%
もう沖縄市では行いたくない	0件	0.0%
わからない	15件	16.3%
その他	0件	0.0%
無回答	4件	-
合計（無回答除く）	92件	100.0%

⑨ 閑散期への合宿誘致の可能性

現在の合宿は1月から3月の時期に集中していることから、ピーク期の混雑緩和を図り、閑散期への誘致を検討するため、合宿利用者に対しては閑散期（4～7月）の合宿開催の可能性について質問し、その結果、「この時期は合宿を実施していない」の回答が87.8%となり、閑散期の合宿開催はほとんどないことを確認した。

この時期の開催に必要な環境・サービスについては、屋内施設に対する暑さ対策や設備の充実、送迎の手配などが挙げられている。

4～7月の合宿の開催状況

項目	回答数	割合
この時期に沖縄市で合宿を実施している	3件	3.7%
この時期は別の合宿地を使用している	7件	8.5%
この時期は合宿を実施していない	72件	87.8%
無回答	14件	-
合計（無回答除く）	82件	100.0%

4～7月に合宿を行うにあたり必要な環境・サービス

競技種目	所属	必要な支援策	分類
野球	その他	年間を通して、宿泊・送迎バス等の費用の助成、送迎バスの手配、施設の予約代行といった支援があれば助かる。	助成金等の支援/ 送迎バスの手配/ 施設の予約代行
陸上	社会人	食事のバランス/陸上競技場を使用の際、投てきの練習（フィールド内でのやり、円盤等）ができるグラウンドがすくない。	食事環境/ 設備の充実
野球	社会人	屋内施設の充実	設備の充実
陸上	学生	気温などに対する対策	設備の充実
陸上	学生	熱中症にならないように、水分を提供したり、冷房室を作ったりとか・・・。	設備の充実
陸上	社会人	室内練習場の暑さ対策	設備の充実
陸上	社会人	料金を下げる	施設料金
陸上	学生	アイシング用の氷	設備の充実
陸上	学生	暑いから冷やすもの	設備の充実
陸上	社会人	投擲種目でフィールド内を使用するのが難しい競技場が多いので、投擲ができる環境を増やしてほしい。	設備の充実
陸上	その他	航空チケットが高いため、本州（北陸）からなかなか厳しいです/大きな全国大会規模の試合があるなら、事前合宿として活用したいと考えております。	その他

⑩基本属性

アンケートに回答した大会・合宿の競技者の傾向は次のとおりである。

◆性別・年代・居住地

性別は男性 51.9%、女性 48.1%とほぼ半数の割合に分かれた。

年齢層は10代が 57.5%、20代が 32.1%、30代が 8.5%となった。

居住地は、県外が 97.2%で、県内（市外）の3件の回答者のうち2件は離島だった。

性別

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
男性	7件	48件	55件	70.0%	50.0%	51.9%
女性	3件	48件	51件	30.0%	50.0%	48.1%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	10件	96件	106件	100.0%	100.0%	100.0%

年齢

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
10代	3件	58件	61件	30.0%	60.4%	57.5%
20代	4件	30件	34件	40.0%	31.3%	32.1%
30代	3件	6件	9件	30.0%	6.3%	8.5%
40代	0件	2件	2件	0.0%	2.1%	1.9%
50代	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
60代	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
70代以上	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	10件	96件	106件	100.0%	100.0%	100.0%

居住地

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
県内（市外）	3件	0件	3件	30.0%	0.0%	2.8%
国内	7件	96件	103件	70.0%	100.0%	97.2%
国外	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0件	0件	0件	-	-	-
合計（無回答除く）	10件	96件	106件	100.0%	100.0%	100.0%

◆競技種目、所属

競技種目は、「陸上」がほとんどで84.8%となった。その他、「野球」、「サッカー」、「体操」の競技者である。

所属については、「学生チーム」への所属が最も多く65.7%、次いで「社会人・クラブチーム」が26.7%である。

競技種目

項目	回答数	割合
陸上	89件	84.8%
野球	9件	8.6%
サッカー	1件	1.0%
体操	6件	5.7%
無回答	1件	-
合計（無回答除く）	105件	100.0%

所属

項目	回答数			割合		
	大会	合宿	合計	大会	合宿	合計
学生	7件	62件	69件	70.0%	65.3%	65.7%
社会人・クラブチーム	0件	28件	28件	0.0%	29.5%	26.7%
プロチーム	1件	2件	3件	10.0%	2.1%	2.9%
その他	2件	3件	5件	20.0%	3.2%	4.8%
無回答	0件	1件	1件	-	-	-
合計（無回答除く）	10件	95件	105件	100.0%	100.0%	100.0%

◆使用施設

使用した施設については、調査票の回収先がコザ運動公園で7割を超えていることもあり、「コザ運動公園」が77.7%、「県総合運動公園」が12.5%、「その他」が9.8%となった。「その他」は市外の競技施設を利用し、沖縄市内に宿泊した競技者などである。

使用した施設

項目	回答数	割合
コザ運動公園	87	77.7%
県総合運動公園	14	12.5%
その他	11	9.8%
無回答	3	-
合計（無回答除く）	112	-

4. 観戦者アンケート結果（調査票 C）

（1）調査概要

①目的

沖縄市における今後のスポーツ興行の施策を考える上での基礎資料を得るために、市内スポーツ興行における観戦者の基本属性や興味・関心、消費行動などを把握することを目的にアンケートを実施した。

②対象者

沖縄市で行われたスポーツ興行に参加した県内（市外）在住の観戦者を対象とした。

③実施方法

スポーツ興行を実施する会場にて、試合前後に調査員による対面調査を実施するとともに、許可を得た大会では、QR コードを印刷したチラシを配布し、WEB アンケートも実施した。

対象とするスポーツ興行

競技	大会名	調査日時	WEB
サッカー	全島サッカー 1 万人祭	7月7日（土）14 時～21 時	—
バスケットボール	琉球ゴールデンキングス公式戦 1	10月13日（土）13 時～18 時半	—
バスケットボール	琉球ゴールデンキングス公式戦 2	10月26日（金）20 時～22 時 （WEB アンケートのみ実施）	○
サッカー	FC 琉球公式戦	11月3日（土）15 時～21 時	○
バレーボール	パナソニックパンサーズ公式戦	2019 年 1 月 20 日（日） 11 時～18 時半（2 試合開催）	○

④回収件数

調査票の回収数は全体で 1,042 件であった。そのうち、市外は 866 件（83.1%）、市内は 176 件（16.9%）であった。

アンケート回収数

競技	大会名	回収数	市外	市内
サッカー	全島サッカー 1 万人祭	400 件	318 件	82 件
バスケットボール	琉球ゴールデンキングス公式戦 1	221 件	189 件	32 件
バスケットボール	琉球ゴールデンキングス公式戦 2	55 件	44 件	11 件
サッカー	FC 琉球公式戦	224 件	201 件	23 件
バレーボール	パナソニックパンサーズ公式戦	142 件	114 件	28 件
合計		1,042 件	866 件	176 件

⑤分析対象

分析にあたっては、市内居住者を除く県内（市外）、県外の回答者を対象とした。また、本報告書では、「全島サッカー1万人祭」を除く、3競技（バスケットボール・サッカー・バレーボール）の4大会分を対象としている。よって、分析対象件数は市外回答者866件のうち548件（1万人祭の318件を除いた件数）である。

「全島サッカー1万人祭」は、会場でイベントも催されていることから、イベント型スポーツ興行として取り扱い、分析結果は資料編に整理し特筆すべき傾向は文中に記載した。

（2）調査結果のまとめ

ア．観戦者の動向

大会前の動向としては、どこにも立ち寄らず「自宅から直行」したという回答が多く、飲食や買物などで「市内」へ立ち寄ったとの回答は33.2%と低かった。ただし、「仕事仲間」のグループや「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」コアなファンは、他の層に比べて「飲食」「買物」をする割合が高い傾向であった。競技別でみると、バスケットボールの観戦者は、他の競技に比べ「飲食」「買物」をする傾向がみられた。

大会後の動向としては、大会前と同様に、「帰宅」という回答が半数近くあり、飲食や買物などで「市内」へ立ち寄る予定との回答は37.2%であった。

市内に立ち寄らなかった理由として、「時間がない」「もともと予定がなかった」の2つの回答で6割を占めた。一方、「友人・知人」「仕事仲間」といった気の合う仲間同士や、「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」コアなファンは、他に比べて「大会（イベント）で十分満足した」と回答した割合が高かった。

大会前後に沖縄市でお金を「使った（使う予定がある）」人は2割程度にとどまった。スポーツ観戦の頻度の高いファンや、40～50代の層は比較的消費する傾向がみられた。

イ．観戦者の姿

観戦者は、「20代」「30代」「40代」の「県内（市外）」に住む「女性」が中心であった。

また、同行者としては、「家族」や「友人・知人」からなる「2～5人」のグループが中心だった。

今回のスポーツ観戦の動機は、「スポーツ観戦が好き」や「友人・家族に誘われた」、「チケットをもらった」という理由が中心であり、また、スポーツ観戦の頻度についても、「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」「2～3ヶ月に1回」というスポーツファンが約6割を占めていたことから、コアなスポーツファン層が中心であったと考えられる。一方、開催機会の少ないバレーボールについては、「めったに行かない」が約4割であった。

交通手段は、「自家用車・レンタカー」が中心であり、バスケットボールでは「シャトルバス」の利用も多くみられた。イベント型のスポーツ興行では、会場までの交通アクセスは、半数以上が好評価の回答である一方で、駐車場数の満足度は交通アクセスに比べて「よくない」と答えた割合が高かった。

ウ. まとめ

観戦者の傾向として、アンケート結果からは、大会前後に市内への立ち寄りや消費をしている人はあまりみられなかった。その理由として、大会への参加自体を楽しみにしている人（もともと予定がなかった人）が多いことや、試合終了時間が夜遅かったために、どこにも立ち寄らずに帰宅する人が多いためではないかと考えられる。

ただし、スポーツ観戦の頻度が高い層や40～50代の層は、他の層よりも消費額が高い傾向がみられたことから、今後、スポーツファンや中高年層を取り込む戦略も重要になってくると考えられる。

(3) 調査結果

①観戦者の動向

ア. 大会前の行動、立ち寄り先

大会前の行動について3競技合計をみると、「自宅から直行」が38.7%で最も多く、次いで「飲食」が32.7%、「買物」が18.6%であった。競技別でみると、バスケットボールの観戦者による飲食の比率が他に比べ高くなっている。

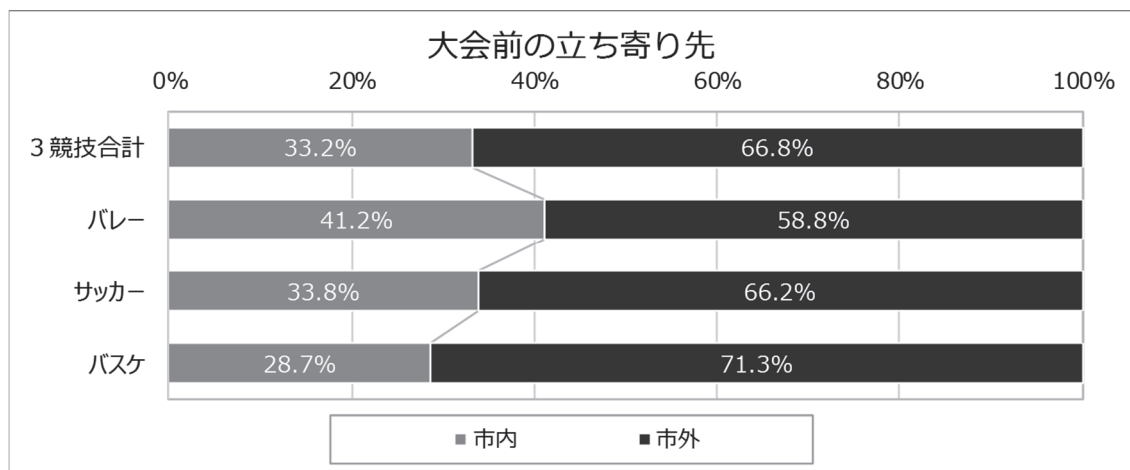
大会前に立ち寄った先については、「市外」が66.8%、「市内」が33.2%であったことから、スポーツ観戦者の消費行動を市内に波及させることは課題である。一方、イベント型スポーツ興行では、「市内」が41.4%となっており、スポーツ観戦者に比べると市内に立ち寄る傾向がみられる。

大会の行動（複数回答）

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
飲食	96件	56件	27件	179件	41.2%	27.9%	23.7%	32.7%
買物	38件	43件	21件	102件	16.3%	21.4%	18.4%	18.6%
娯楽	3件	4件	8件	15件	1.3%	2.0%	7.0%	2.7%
観光	4件	13件	14件	31件	1.7%	6.5%	12.3%	5.7%
仕事	31件	24件	2件	57件	13.3%	11.9%	1.8%	10.4%
自宅から直行	83件	76件	53件	212件	35.6%	37.8%	46.5%	38.7%
その他	8件	13件	5件	26件	3.4%	6.5%	4.4%	4.7%
無回答	1件	1件	0件	2件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	263件	229件	130件	622件	-	-	-	-

大会前の立ち寄り先

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
市内	29件	24件	21件	74件	28.7%	33.8%	41.2%	33.2%
市外	72件	47件	30件	149件	71.3%	66.2%	58.8%	66.8%
無回答	31件	39件	10件	80件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	101件	71件	51件	223件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



◆同行者クロス

大会前の行動を同行者別で見ると、同行者が「自分ひとり」「仕事仲間」と答えた回答者は、他の同行者に比べて大会前に「飲食」をしている割合が高く、「仕事仲間」と答えた回答者は、他の同行者に比べ「買物」をしている割合が高い。

「自宅から直行」している割合については、「部活・サークル」の場合が高く、「仕事仲間」の場合が低い。

大会前の行動×同行者

項目	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
飲食	35.7%	25.6%	31.3%	35.3%	15.2%
買物	12.5%	19.7%	11.5%	23.5%	18.2%
娯楽	1.8%	1.6%	3.4%	0.0%	9.1%
観光	1.8%	4.2%	6.7%	0.0%	3.0%
仕事	10.7%	8.4%	9.1%	26.5%	6.1%
帰宅	35.7%	35.9%	34.1%	11.8%	39.4%
その他	1.8%	4.5%	3.8%	2.9%	9.1%

◆観戦頻度クロス

スポーツ観戦の頻度別では、「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」「2～3ヶ月に1回」と回答した人は、他の回答者よりも大会の前に「飲食」や「買物」をしている割合が高い。また、「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」と回答した人は市内の店舗への立ち寄りが他よりも高くなっている。

スポーツ観戦の頻度が「めったに行かない」と回答した人は、他の回答者に比べて「飲食」の割合が低く、「自宅から直行」の割合が高い。

大会前の行動×観戦頻度

項目	ほぼ毎試合行く	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
飲食	30.1%	37.6%	22.1%	30.0%	18.3%
買物	18.2%	18.8%	8.8%	13.3%	18.3%
娯楽	0.8%	2.7%	2.9%	3.3%	5.4%
観光	7.2%	4.0%	4.4%	0.0%	2.2%
仕事	8.5%	12.1%	10.3%	10.0%	6.5%
自宅から直行	26.3%	32.2%	47.1%	43.3%	49.5%
その他	4.7%	2.0%	4.4%	3.3%	7.5%

大会前の立ち寄り先×観戦頻度

項目	ほぼ毎試合行く	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
市内	41.0%	27.7%	40.0%	25.0%	33.3%
市外	59.0%	72.3%	60.0%	75.0%	66.7%

イ. 大会後の行動、立ち寄り先

大会後の行動について3競技合計をみると、「帰宅」が45.6%で最も多く、次いで「飲食」が38.1%、「買物」が16.6%であった。競技別でみると、サッカーでは「飲食」の割合が他よりも高く、バスケットボールでは「買物」の割合が他よりも高い。

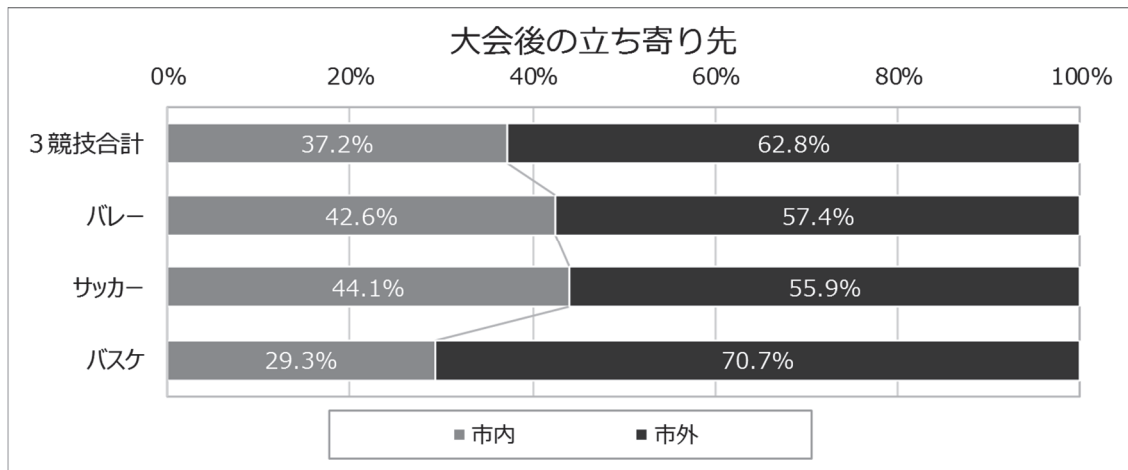
大会後に立ち寄った先としては、「市外」が62.8%、「市内」が37.2%で、大会前に比べ若干「市内」の割合が高くなっている。

大会後の行動（複数回答）

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
飲食	84件	86件	39件	209件	36.1%	42.8%	34.2%	38.1%
買物	58件	14件	19件	91件	24.9%	7.0%	16.7%	16.6%
娯楽	8件	3件	4件	15件	3.4%	1.5%	3.5%	2.7%
観光	4件	9件	9件	22件	1.7%	4.5%	7.9%	4.0%
仕事	3件	1件	0件	4件	1.3%	0.5%	0.0%	0.7%
帰宅	100件	94件	56件	250件	42.9%	46.8%	49.1%	45.6%
その他	10件	9件	5件	24件	4.3%	4.5%	4.4%	4.4%
無回答	6件	5件	1件	12件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	267件	216件	132件	615件	-	-	-	-

大会後の立ち寄り先

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
市内	24件	26件	20件	70件	29.3%	44.1%	42.6%	37.2%
市外	58件	33件	27件	118件	70.7%	55.9%	57.4%	62.8%
無回答	54件	48件	16件	118件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	82件	59件	47件	188件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



◆同行者クロス

同行者別では、同行者が「仕事仲間」「友人・知人」と答えた回答者は、他の同行者に比べて大会後に「飲食」をする予定である割合が高い。

他の同行者に比べて、「帰宅」をする予定である割合は「部活・サークル」の場合が高く、「仕事仲間」や「友人・知人」の場合が低い。

大会後の行動×同行者

項目	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
飲食	34.6%	29.9%	41.6%	43.2%	16.1%
買物	13.5%	18.4%	9.1%	13.5%	12.9%
娯楽	0.0%	2.6%	3.3%	2.7%	3.2%
観光	1.9%	3.9%	2.9%	2.7%	0.0%
仕事	1.9%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%
帰宅	46.2%	41.4%	37.3%	35.1%	64.5%
その他	1.9%	3.6%	4.3%	2.7%	3.2%

◆観戦頻度クロス

スポーツ観戦の頻度別では、「年に1回」「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」と回答した人は、他の回答者よりも大会の後に「飲食」をする予定の割合が高い。また、「2～3ヶ月に1回」と回答した人は、他の回答者よりも大会の後に「買物」をする予定の割合が高い。

スポーツ観戦の頻度が「めったに行かない」と回答した人は、他の回答者に比べて「飲食」の割合が低く、「帰宅」の割合が高い。

大会後の行動×観戦頻度

項目	ほぼ毎試合行く	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
飲食	39.0%	34.2%	27.9%	40.0%	25.8%
買物	16.1%	18.8%	11.8%	6.7%	8.6%
娯楽	2.1%	2.7%	4.4%	0.0%	1.1%
観光	7.2%	1.3%	1.5%	0.0%	0.0%
仕事	0.4%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
帰宅	31.4%	36.2%	50.0%	46.7%	62.4%
その他	3.8%	4.7%	4.4%	6.7%	2.2%

大会後の立ち寄り先×観戦頻度

項目	ほぼ毎試合行く	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
市内	28.0%	43.8%	60.0%	27.3%	50.0%
市外	72.0%	56.3%	40.0%	72.7%	50.0%

ウ. 大会前後に立ち寄りなかった理由

大会前後に市内に立ち寄りなかった理由を3競技合計で見ると、「もともと予定がなかった」が33.5%で最も多く、次いで「時間がない」が31.8%、「大会で十分満足した」が28.5%であった。

大会前後に市内に立ち寄りなかった理由（複数回答）

項目	回答数				割合			
	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計
大会で十分満足した	46件	37件	19件	102件	28.4%	28.2%	29.2%	28.5%
沖縄市の店や商品を知らない	10件	7件	6件	23件	6.2%	5.3%	9.2%	6.4%
市外で行きたい場所がある	11件	7件	4件	22件	6.8%	5.3%	6.2%	6.1%
時間がない	38件	47件	29件	114件	23.5%	35.9%	44.6%	31.8%
もともと予定がなかった	64件	38件	18件	120件	39.5%	29.0%	27.7%	33.5%
その他	16件	9件	1件	26件	9.9%	6.9%	1.5%	7.3%
無回答	23件	28件	15件	66件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	185件	145件	77件	407件	-	-	-	-

◆同行者クロス

同行者別では、同行者が「友人・知人」「仕事仲間」と答えた回答者は、他の同行者に比べて「大会で十分満足した」という回答の割合が高い。同行者が「部活・サークル」「自分ひとり」と答えた回答者は、他の同行者に比べて「時間がない」という回答の割合が高い。

大会前後に市内に立ち寄りなかった理由×同行者

項目	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
大会で十分満足した	9.8%	23.6%	30.9%	27.3%	24.1%
沖縄市の店や商品知らない	4.9%	6.2%	4.3%	4.5%	10.3%
市外で行きたい場所がある	4.9%	2.6%	9.4%	9.1%	0.0%
時間がない	36.6%	30.3%	24.5%	13.6%	37.9%
もともと予定がなかった	29.3%	29.7%	27.3%	31.8%	27.6%
その他	14.6%	7.7%	3.6%	13.6%	0.0%

◆観戦頻度クロス

スポーツ観戦の頻度別でみると、「年に1回」「めったに行かない」と答えた回答者は、他の回答者に比べ「時間がない」「もともと予定がなかった」という回答の割合が高い。

大会前後に市内に立ち寄りなかった理由×観戦頻度

項目	ほぼ毎試合行く	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
大会で十分満足した	25.6%	24.5%	27.9%	21.7%	23.3%
沖縄市の店や商品知らない	7.5%	3.6%	11.6%	4.3%	2.7%
市外で行きたい場所がある	6.8%	7.3%	4.7%	0.0%	4.1%
時間がない	27.1%	26.4%	25.6%	26.1%	34.2%
もともと予定がなかった	23.3%	31.8%	25.6%	39.1%	34.2%
その他	9.8%	6.4%	4.7%	8.7%	1.4%

②市内への立ち寄りや消費がみられた層

ア. 大会前後に市内で消費した層

大会前後にお金を使ったか（使う予定があるか）どうかについての質問には、3競技合計でみると、「0円」が73.0%と最も多く、次いで「5,000円以上」が11.9%であった。競技別でみると、バレーボールでは「5,000円以上」が22.8%となっており、他の競技に比べ消費額の高い回答者の割合が多い。

大会前後での消費総額の金額について、最も高い額は「410,000円」、最も低い額は「208円」であった。

消費総額

項目	回答数				割合			
	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計
0円	170件	157件	73件	400件	73.0%	78.1%	64.0%	73.0%
1円～1,000円未満	7件	4件	3件	14件	3.0%	2.0%	2.6%	2.6%
1,000円～2,000円未満	10件	8件	6件	24件	4.3%	4.0%	5.3%	4.4%
2,000円～3,000円未満	7件	14件	1件	22件	3.0%	7.0%	0.9%	4.0%
3,000円～4,000円未満	8件	3件	3件	14件	3.4%	1.5%	2.6%	2.6%
4,000円～5,000円未満	6件	1件	2件	9件	2.6%	0.5%	1.8%	1.6%
5,000円以上	25件	14件	26件	65件	10.7%	7.0%	22.8%	11.9%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	201件	114件	548件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

◆性別、年代別クロス

性別で見ると、「5,000円以上」は男性が多く、「5,000円未満」は女性が多い。

年代別で見ると、10～30代では「3,000円未満」と「5,000円以上」に分かれており、40代50代では「5,000円以上」が半数を超えている。

性別・年代別×消費総額

	回答数	1円～1,000円未満	1,000円～2,000円未満	2,000円～3,000円未満	3,000円～4,000円未満	4,000円～5,000円未満	5,000円以上
全体	147件	9.5%	16.3%	15.0%	9.5%	6.1%	43.5%
男性	51件	7.8%	11.8%	15.7%	5.9%	3.9%	54.9%
女性	96件	10.4%	18.8%	14.6%	11.5%	7.3%	37.5%
10代	6件	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%
20代	21件	4.8%	19.0%	23.8%	4.8%	4.8%	42.9%
30代	47件	12.8%	27.7%	12.8%	8.5%	4.3%	34.0%
40代	39件	7.7%	10.3%	12.8%	10.3%	7.7%	51.3%
50代	29件	3.4%	3.4%	17.2%	13.8%	3.4%	58.6%
60代	4件	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
70代以上	1件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

◆観戦頻度クロス

スポーツ観戦の頻度別にみると、「ほぼ毎試合行く」「2～3ヶ月に1回」「半年に1回」と回答した人は、「5,000円以上」と答える割合が高く、「年に1回」「めったに行かない」と回答した人は「1,000～2,000円未満」が高い。

消費総額×観戦頻度

項目	好きなスポーツはほぼ毎試合行く	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない	その他
1円～1,000円未満	6.6%	9.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
1,000円～2,000円未満	13.1%	14.3%	23.1%	50.0%	25.0%	50.0%
2,000円～3,000円未満	21.3%	7.1%	15.4%	33.3%	16.7%	0.0%
3,000円～4,000円未満	11.5%	4.8%	7.7%	0.0%	16.7%	50.0%
4,000円～5,000円未満	3.3%	11.9%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
5,000円以上	44.3%	52.4%	46.2%	16.7%	16.7%	0.0%

◆同行者クロス

同行者別にみると、「友人知人」「自分ひとり」「家族」と回答した人は、「5,000円以上」と答える割合が高い。

消費総額×同行者

項目	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
1円～1,000円未満	6.3%	9.6%	6.7%	12.5%	33.3%
1,000円～2,000円未満	12.5%	14.5%	15.6%	50.0%	33.3%
2,000円～3,000円未満	6.3%	19.3%	15.6%	12.5%	0.0%
3,000円～4,000円未満	12.5%	10.8%	6.7%	0.0%	33.3%
4,000円～5,000円未満	12.5%	3.6%	4.4%	25.0%	0.0%
5,000円以上	50.0%	42.2%	51.1%	0.0%	0.0%

◆消費金額（大会前後）の内訳結果

大会前後における消費金額の内訳を以下に整理する。

宿泊費

項目	回答数				割合			
	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計
0円	222件	199件	97件	518件	95.3%	99.0%	85.1%	94.5%
1円～1,000円未満	0件	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1,000円～2,000円未満	0件	1件	0件	1件	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%
2,000円～3,000円未満	0件	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3,000円～4,000円未満	0件	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4,000円～5,000円未満	0件	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5,000円以上	11件	1件	17件	29件	4.7%	0.5%	14.9%	5.3%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	201件	114件	548件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

飲食費

項目	回答数				割合			
	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計
0円	196件	181件	87件	464件	84.1%	90.0%	76.3%	84.7%
1円～1,000円未満	6件	4件	2件	12件	2.6%	2.0%	1.8%	2.2%
1,000円～2,000円未満	12件	5件	7件	24件	5.2%	2.5%	6.1%	4.4%
2,000円～3,000円未満	7件	7件	1件	15件	3.0%	3.5%	0.9%	2.7%
3,000円～4,000円未満	7件	2件	4件	13件	3.0%	1.0%	3.5%	2.4%
4,000円～5,000円未満	2件	0件	2件	4件	0.9%	0.0%	1.8%	0.7%
5,000円以上	3件	2件	11件	16件	1.3%	1.0%	9.6%	2.9%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	201件	114件	548件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

交通費

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
0円	220件	198件	96件	514件	94.4%	98.5%	84.2%	93.8%
1円～1,000円未満	5件	1件	3件	9件	2.1%	0.5%	2.6%	1.6%
1,000円～2,000円未満	4件	1件	4件	9件	1.7%	0.5%	3.5%	1.6%
2,000円～3,000円未満	0件	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3,000円～4,000円未満	1件	0件	2件	3件	0.4%	0.0%	1.8%	0.5%
4,000円～5,000円未満	0件	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5,000円以上	3件	1件	9件	13件	1.3%	0.5%	7.9%	2.4%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	201件	114件	548件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

施設入館料

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
0円	226件	199件	109件	534件	97.0%	99.0%	95.6%	97.4%
1円～1,000円未満	0件	1件	1件	2件	0.0%	0.5%	0.9%	0.4%
1,000円～2,000円未満	2件	0件	0件	2件	0.9%	0.0%	0.0%	0.4%
2,000円～3,000円未満	0件	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3,000円～4,000円未満	2件	0件	0件	2件	0.9%	0.0%	0.0%	0.4%
4,000円～5,000円未満	1件	0件	0件	1件	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%
5,000円以上	2件	1件	4件	7件	0.9%	0.5%	3.5%	1.3%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	201件	114件	548件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

娯楽費

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
0円	230件	199件	110件	539件	98.7%	99.0%	96.5%	98.4%
1円～1,000円未満	0件	1件	0件	1件	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%
1,000円～2,000円未満	1件	0件	0件	1件	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%
2,000円～3,000円未満	1件	1件	0件	2件	0.4%	0.5%	0.0%	0.4%
3,000円～4,000円未満	0件	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4,000円～5,000円未満	0件	0件	0件	0件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
5,000円以上	1件	0件	4件	5件	0.4%	0.0%	3.5%	0.9%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	201件	114件	548件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

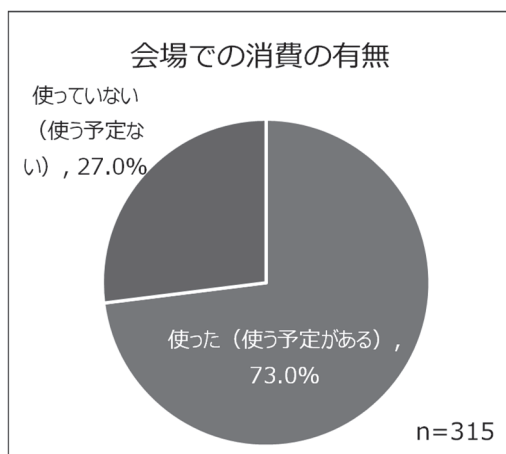
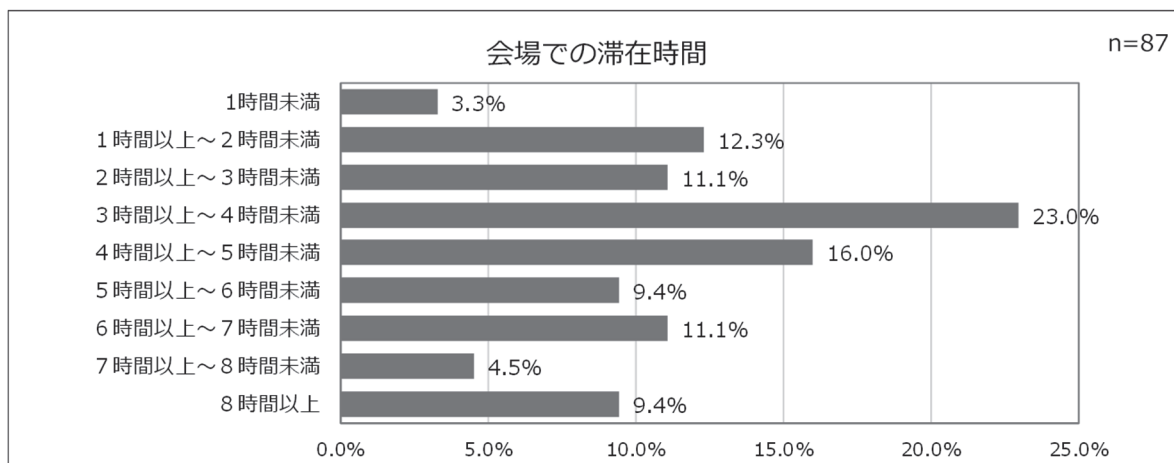
土産・買物代

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
0円	225件	193件	103件	521件	96.6%	96.0%	90.4%	95.1%
1円～1,000円未満	1件	1件	0件	2件	0.4%	0.5%	0.0%	0.4%
1,000円～2,000円未満	3件	3件	2件	8件	1.3%	1.5%	1.8%	1.5%
2,000円～3,000円未満	2件	3件	0件	5件	0.9%	1.5%	0.0%	0.9%
3,000円～4,000円未満	1件	1件	0件	2件	0.4%	0.5%	0.0%	0.4%
4,000円～5,000円未満	0件	0件	1件	1件	0.0%	0.0%	0.9%	0.2%
5,000円以上	1件	0件	8件	9件	0.4%	0.0%	7.0%	1.6%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	201件	114件	548件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

イ. イベント型スポーツ興行における会場での消費行動

フードフェスティバルやステージなどのイベントが付随して開催された「全島サッカー1万人祭」では、イベントの前後に市内への立ち寄りや消費をしている人は、他の競技同様、あまりみられなかったが、会場に「3時間以上～4時間未満」滞在している人が多く、4分の3近くの230人（73.0%）が会場内でお金を使っていた。

イベント会場で使用した消費額の総額については、「0円」（27.3%）が最も多くなっているが、次いで「1,000～2,000円」（20.6%）、「2,000円～3,000円」（18.3%）であった。消費総額で、最も高い額は「10,000円」、最も低い額は「100円」であった。



イベントでの消費総額

消費総額	回答数	割合
0円	85件	27.3%
1円～1,000円未満	43件	13.8%
1,000円～2,000円未満	64件	20.6%
2,000円～3,000円未満	57件	18.3%
3,000円～4,000円未満	37件	11.9%
4,000円～5,000円未満	7件	2.3%
5,000円以上	18件	5.8%
無回答	4件	-
合計（無回答除く）	311件	100.0%

③基本属性

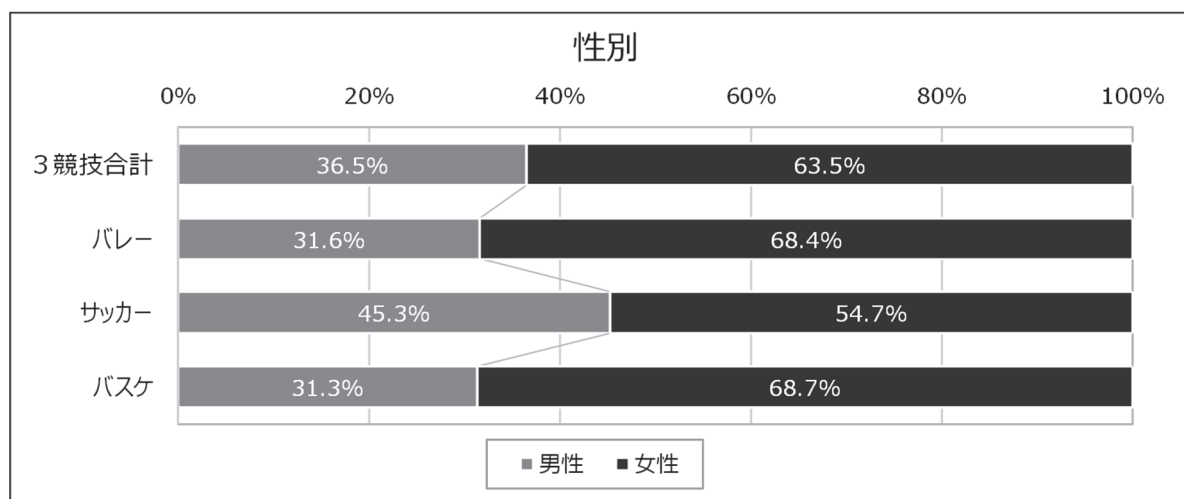
ア. 性別・年齢

回答者の性別について3競技合計で見ると、「女性」が63.5%となっており、女性が占める割合が高くなっている。競技別で見ると、バスケットボールとバレーボールで「女性」が約7割となっている。

回答者の年代について3競技合計で見ると、「40代」が25.9%で最も多く、次いで「30代」が25.2%、「20代」が20.9%となっており、20～40代で全体の約7割を占めている。競技別で見ると、バスケットボールでは20～40代、サッカーでは30～40代、バレーボールでは10代と40代がそれぞれ多くなっている。

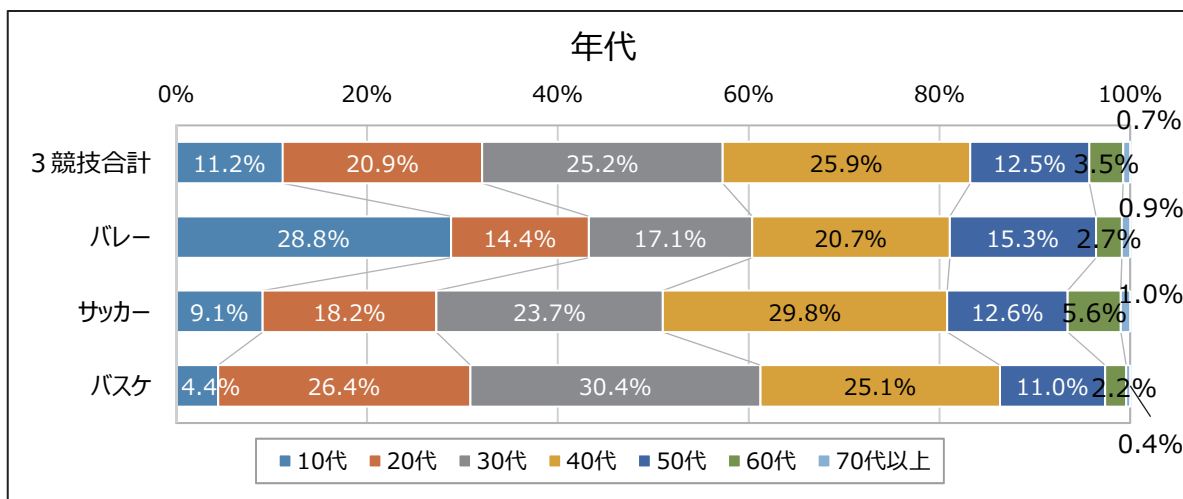
性別

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
男性	73件	91件	36件	200件	31.3%	45.3%	31.6%	36.5%
女性	160件	110件	78件	348件	68.7%	54.7%	68.4%	63.5%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	201件	114件	548件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



年代

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
10代	10件	18件	32件	60件	4.4%	9.1%	28.8%	11.2%
20代	60件	36件	16件	112件	26.4%	18.2%	14.4%	20.9%
30代	69件	47件	19件	135件	30.4%	23.7%	17.1%	25.2%
40代	57件	59件	23件	139件	25.1%	29.8%	20.7%	25.9%
50代	25件	25件	17件	67件	11.0%	12.6%	15.3%	12.5%
60代	5件	11件	3件	19件	2.2%	5.6%	2.7%	3.5%
70代以上	1件	2件	1件	4件	0.4%	1.0%	0.9%	0.7%
無回答	6件	3件	3件	12件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	227件	198件	111件	536件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

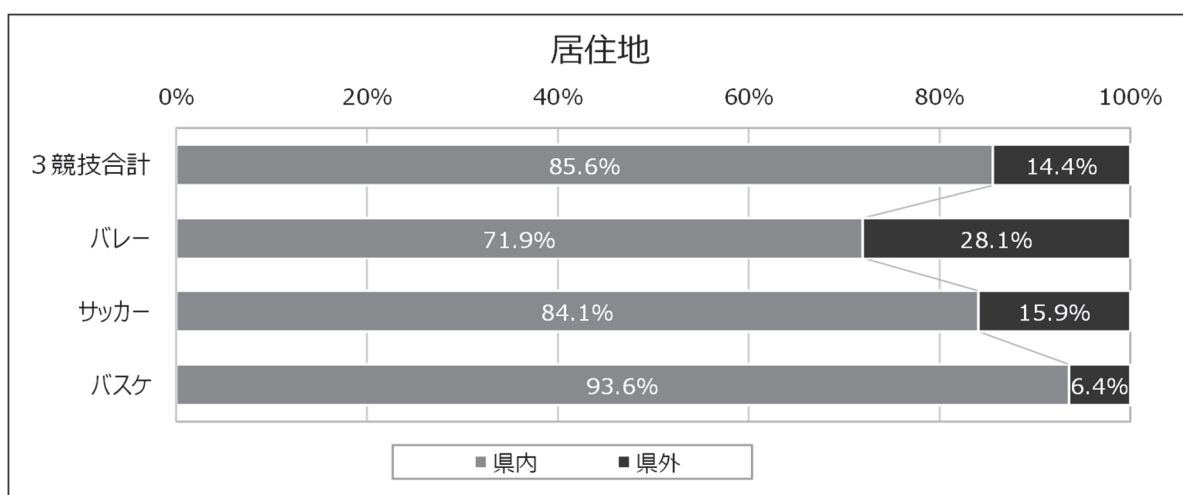


イ. 居住地

回答者の居住地について3競技合計でみると、「県内（市外）」が85.6%とほとんどを占めており、「県外」居住者はわずかであった。競技別でみると、バスケットボールでは「県内（市外）」が9割以上を占めており、バレーボールでは「県外」が約3割と他の競技に比べ多くなっている。

居住地

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
県内	218件	169件	82件	469件	93.6%	84.1%	71.9%	85.6%
県外	15件	32件	32件	79件	6.4%	15.9%	28.1%	14.4%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	201件	114件	548件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



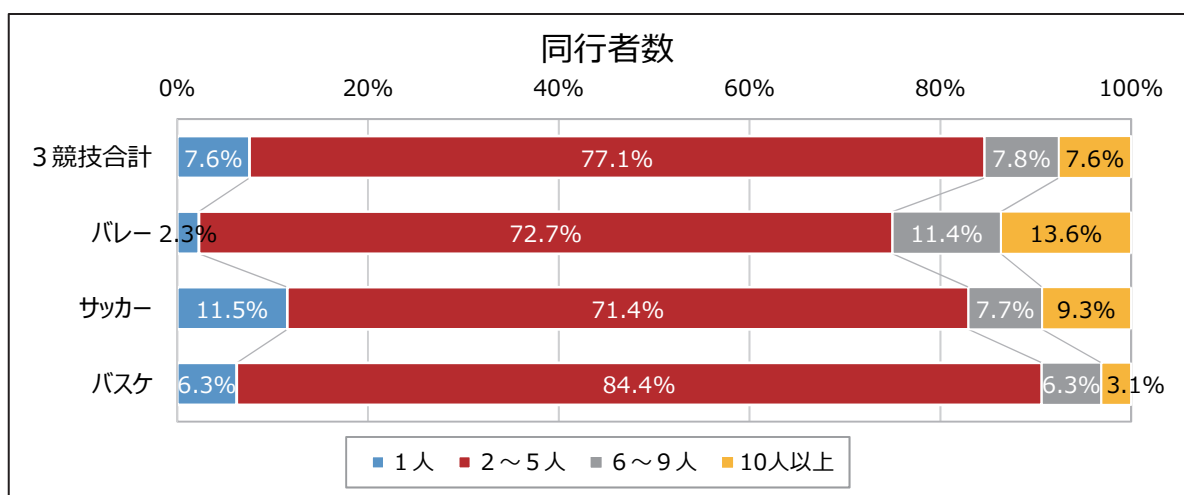
ウ. 同行者及び人数

回答者の同行人数について3競技合計でみると、「2～5人」のグループが77.1%とほとんどを占めている。

同行者の種類について3競技合計でみると、「家族」が48.9%と最も多く、次いで「友人、知人」が34.5%、「自分ひとり」が9.1%であった。競技別でみると、バレーボールで「部活・サークル」が比較的多くなっている。

同行者数

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
1人	12件	21件	2件	35件	6.3%	11.5%	2.3%	7.6%
2～5人	162件	130件	64件	356件	84.4%	71.4%	72.7%	77.1%
6～9人	12件	14件	10件	36件	6.3%	7.7%	11.4%	7.8%
10人以上	6件	17件	12件	35件	3.1%	9.3%	13.6%	7.6%
無回答	41件	19件	14件	74件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	192件	182件	88件	462件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



同行者の種類（複数回答）

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
自分ひとり	16件	24件	10件	50件	6.9%	11.9%	8.8%	9.1%
家族	127件	96件	45件	268件	54.5%	47.8%	39.5%	48.9%
友人・知人	87件	67件	35件	189件	37.3%	33.3%	30.7%	34.5%
仕事仲間	12件	17件	1件	30件	5.2%	8.5%	0.9%	5.5%
部活・サークル	0件	6件	24件	30件	0.0%	3.0%	21.1%	5.5%
その他	2件	7件	1件	10件	0.9%	3.5%	0.9%	1.8%
無回答	0件	0件	1件	1件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	244件	217件	116件	577件	-	-	-	-

エ. 会場までの交通手段

交通手段について3競技合計でみると、「自家用車・レンタカー」が71.2%と最も多くなっており、次いで「シャトルバス」が21.4%であった。

競技別でみると、バレーボールでは「自家用車・レンタカー」の割合が多く、バスケットボールでは「シャトルバス」の割合が多くなっている。

イベント型のスポーツ興行では、会場までの交通アクセスは、半数以上が好評価の回答である一方で、駐車場数の満足度は交通アクセスに比べて「よくない」と答えた割合が高かった。

会場までの交通手段（複数回答）

項目	回答数				割合			
	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計
自家用車・レンタカー	141件	155件	94件	390件	60.5%	77.1%	82.5%	71.2%
シャトルバス	88件	29件	0件	117件	37.8%	14.4%	0.0%	21.4%
路線バス	6件	3件	7件	16件	2.6%	1.5%	6.1%	2.9%
タクシー	8件	4件	1件	13件	3.4%	2.0%	0.9%	2.4%
家族等による送迎	11件	9件	11件	31件	4.7%	4.5%	9.6%	5.7%
その他	5件	12件	2件	19件	2.1%	6.0%	1.8%	3.5%
無回答	0件	0件	0件	0件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	259件	212件	115件	586件	-	-	-	-

④観戦者の興味・関心

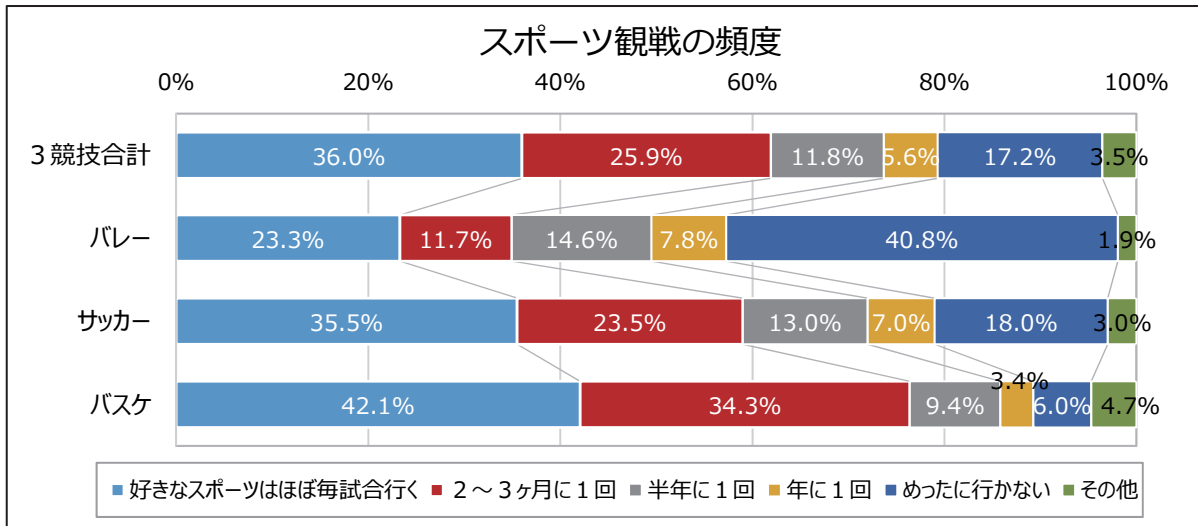
ア. スポーツ観戦の頻度

スポーツ観戦の頻度について3競技合計でみると、「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」というスポーツファンが36.0%で最も多く、次いで「2～3ヶ月に1回」が25.9%、「めったに行かない」が17.2%であった。

競技別でみると、バスケットボールでは「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」と「2～3ヶ月に1回」を併せると76.4%と観戦頻度が高く、スポーツファンが多く来訪していることがわかる。サッカーについても同様の傾向がみられるが、開催機会の少ないバレーボールについては、「めったに行かない」が40.8%となった。

観戦の頻度

項目	回答数				割合			
	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計	バスケット	サッカー	バレー	3競技合計
好きなスポーツはほぼ毎試合行く	98件	71件	24件	193件	42.1%	35.5%	23.3%	36.0%
2～3ヶ月に1回	80件	47件	12件	139件	34.3%	23.5%	11.7%	25.9%
半年に1回	22件	26件	15件	63件	9.4%	13.0%	14.6%	11.8%
年に1回	8件	14件	8件	30件	3.4%	7.0%	7.8%	5.6%
めったに行かない	14件	36件	42件	92件	6.0%	18.0%	40.8%	17.2%
その他	11件	6件	2件	19件	4.7%	3.0%	1.9%	3.5%
無回答	0件	1件	0件	1件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	233件	200件	103件	536件	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



イ. 参加動機

参加動機について3競技合計でみると、「ファンだから」が60.2%で最も多く、次いで「スポーツ観戦が好き」が25.9%、「友人・家族に誘われた」が16.1%であった。

競技別でみると、バスケットボールでは「ファンだから」が79.8%となっており、コアなファンが他の競技よりも多いことがわかる。

参加動機（複数回答）

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
ファンだから	186件	94件	50件	330件	79.8%	46.8%	43.9%	60.2%
スポーツ観戦が好き	51件	50件	41件	142件	21.9%	24.9%	36.0%	25.9%
イベントがおもしろそう	6件	6件	4件	16件	2.6%	3.0%	3.5%	2.9%
友人・家族に誘われた	27件	42件	19件	88件	11.6%	20.9%	16.7%	16.1%
チケットをもらった	12件	24件	11件	47件	5.2%	11.9%	9.6%	8.6%
近くに来たついで	2件	4件	1件	7件	0.9%	2.0%	0.9%	1.3%
その他	1件	23件	12件	36件	0.4%	11.4%	10.5%	6.6%
無回答	0件	1件	1件	2件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	285件	243件	138件	666件	-	-	-	-

ウ. 観戦してみたい競技

観戦してみたい競技について3競技合計でみると、「バスケットボール」が61.1%で最も多く、次いで「バレーボール」が39.2%、「サッカー」が35.9%、「野球」が34.3%であった。

競技別でみると、サッカーやバレーボールの観戦者は、バスケットボールの観戦意向が高く、バスケットボールの人気の高さがわかる。

観戦してみたい競技（複数回答）

項目	回答数				割合			
	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計	バスケ	サッカー	バレー	3競技合計
野球	84件	68件	36件	188件	36.1%	33.8%	31.6%	34.3%
バスケットボール	162件	116件	57件	335件	69.5%	57.7%	50.0%	61.1%
バレーボール	79件	45件	91件	215件	33.9%	22.4%	79.8%	39.2%
サッカー	57件	116件	24件	197件	24.5%	57.7%	21.1%	35.9%
ハンドボール	36件	26件	12件	74件	15.5%	12.9%	10.5%	13.5%
テニス	36件	19件	18件	73件	15.5%	9.5%	15.8%	13.3%
陸上	22件	15件	11件	48件	9.4%	7.5%	9.6%	8.8%
相撲	25件	13件	5件	43件	10.7%	6.5%	4.4%	7.8%
空手	15件	9件	3件	27件	6.4%	4.5%	2.6%	4.9%
格闘技（相撲、空手以外）	25件	9件	11件	45件	10.7%	4.5%	9.6%	8.2%
モータースポーツ	19件	14件	5件	38件	8.2%	7.0%	4.4%	6.9%
ローラダービー	0件	1件	0件	1件	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%
卓球	18件	5件	10件	33件	7.7%	2.5%	8.8%	6.0%
フットサル	7件	19件	2件	28件	3.0%	9.5%	1.8%	5.1%
その他	12件	15件	6件	33件	5.2%	7.5%	5.3%	6.0%
無回答	25件	13件	5件	43件	-	-	-	-
合計（無回答除く）	597件	490件	291件	1,378件	-	-	-	-

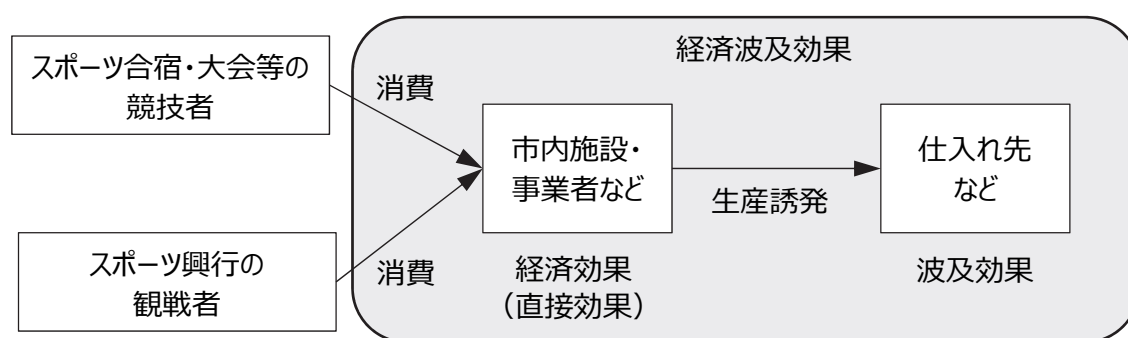
第4章 スポーツ合宿等による経済効果の分析

1. 経済効果の分析について

(1) 経済効果について

第2章や第3章において述べたとおり、沖縄市では、様々な合宿・大会等、スポーツ興行が開催されており、多くの競技者や観戦者が来訪している。ここでは、競技者や観戦者の来訪によって、市内にどの程度の経済効果がもたらされているのかを推計する。

スポーツ合宿等による経済効果



(2) 各調査の名称

推計にあたっては、本業務の各調査結果を用いており、本章では次のように表記する。

本業務の調査の名称

調査名称	関連する章	本章における表記
スポーツ合宿の実態調査、スポーツ大会等の実態調査	第2章	実態調査
大会及び合宿参加者（競技者）アンケート、観戦者アンケート	第3章	アンケート調査

(3) 対象期間

今回、経済効果を算出する対象期間は、次のとおりである。

調査項目と対象期間

調査項目	対象期間
ア スポーツ合宿・大会等の競技者による直接効果	2016（平成28）年1月～2018（平成30）年12月
イ スポーツ興行の観戦者による直接効果	2018（平成30）年1月～2018（平成30）年12月、 2019（平成31）年1月
ウ スポーツ興行の観戦者による市内への経済波及効果	2018（平成30）年1月～2018（平成30）年12月、 2019（平成31）年1月

(4) 結果の概要

スポーツ合宿等による経済効果は、次のとおり推計される。

ア. スポーツ合宿・大会等の競技者による直接効果

分析項目	2016年	2017年	2018年	合計
スポーツ施設への効果	8,705千円	20,176千円	28,639千円	57,520千円
宿泊施設への効果	199,575千円	151,902千円	182,321千円	533,798千円
商業施設への効果	14,681千円	15,346千円	20,035千円	50,062千円
医療施設への効果	-	-	-	-
合計	222,961千円	187,424千円	230,995千円	641,380千円

※対象期間：2016年1月から2018年12月

イ. スポーツ興行の観戦者による直接効果

2018年	2019年1月	合計
188,561千円	17,422千円	205,983千円

ウ. スポーツ興行の観戦者による市内への経済波及効果

分析項目	2018年	2019年1月
観戦者の消費総額	374百万円	56百万円
消費総額のうち、域内にとどまった消費額	230百万円	34百万円
観光関連産業で生じた付加価値	98百万円	15百万円
生産波及効果の総額	506百万円	75百万円
経済波及効果の総額	880百万円	131百万円

2. スポーツ合宿等による直接効果

(1) スポーツ合宿・大会等の競技者による直接効果

合宿や大会実施に伴う直接効果として、競技者の消費によって、市内のスポーツ施設や宿泊施設、医療施設、商業施設等が受ける効果がある。

それぞれの効果について、実態調査やアンケート調査の結果、施設の利用料金などを用いて直接効果を推計する。

今回、推計を行う対象期間は、2016年1月から2018年12月であり、それぞれ、単年度ごと及び合算した直接効果を推計する。

①スポーツ施設への効果

市内の合宿・大会等は主にコザ運動公園と県総合運動公園で開催されており、今回はこの2施設への効果を対象とする。スポーツ施設への効果は、対象期間内の施設の利用件数と施設の利用料金、合宿・大会等の平均開催日数をもとに算出する。効果の算出にあたっては、実態調査におけるコンベンション種別を用いるが、「大会」と「スポーツイベント」、「その他」をひとつにまとめ、「大会・スポーツイベント・その他」と「合宿・自主トレ・キャンプ」の2項目から算出する。

$$\text{施設の利用件数} \times \text{施設利用料金} \times \text{合宿・大会等の平均開催日数}$$

◆施設の利用件数

実態調査から得られた施設の利用件数は次のとおりである。

施設の利用件数

施設名	大会・スポーツイベント・その他			合宿・自主トレ・キャンプ		
	2016年	2017年	2018年	2016年	2017年	2018年
コザ運動公園	15件	39件	32件	80件	118件	150件
沖繩市体育館	7件	28件	21件	4件	2件	2件
沖繩市武道館	4件	6件	3件	1件	3件	0件
コザしんきんスタジアム	2件	5件	8件	4件	5件	3件
沖繩市陸上競技場	2件	0件	0件	67件	70件	69件
トレーニングルーム	0件	0件	0件	3件	32件	71件
沖繩市多目的運動場	0件	0件	0件	0件	3件	0件
沖繩市サブトラック兼ソフトボール場	0件	0件	0件	0件	2件	0件
投球練習場	0件	0件	0件	0件	1件	0件
沖繩市グリーンフィールド	0件	0件	0件	1件	0件	5件
県総合運動公園	29件	86件	133件	30件	7件	34件
タピック県総ひやごんスタジアム	22件	30件	59件	30件	6件	33件
テニスコート	3件	32件	32件	0件	1件	0件
レクリエーションドーム	0件	5件	35件	0件	0件	0件
体育館	3件	19件	6件	0件	0件	0件
蹴球場	1件	0件	1件	0件	0件	1件
合計	44件	125件	165件	110件	125件	184件

※実態調査において、1団体につき複数の施設利用がある場合は、施設ごとに件数をカウントした。

※県総合運動公園の自転車競技場の利用が2件確認されたが、利用料が不明なため推計の対象から除いた。

◆施設利用料金

合宿や大会での施設の利用を想定して、各施設のホームページから利用料金を確認し、次のとおり設定した。

- 利用区分は市外の大学生・一般とし、9時から17時（8時間）の利用料金を設定した。
- 利用人数や利用競技などは、実態調査における傾向を踏まえて設定した。

- 大会での施設の専用利用の場合は、入場料を徴収しない場合の利用料を確認し、コートなどの利用範囲は、全面利用を想定した。
- 備品費、設備費、衛生費、付随施設利用料などは含まないものとした。

合宿・大会等で使用する場合の施設利用料金

施設名		区分	利用料金	利用場面	備考
コザ運動公園	沖縄市体育館	市外	20,700円	大会	専用利用
		大学生・一般/市外	12,000円	合宿	バスケットコート2面の利用を想定、1時間あたり1,500円
	沖縄市武道館	大学生・一般/市外	14,400円	大会	第1道場(畳)2面の利用を想定
		大学生・一般/市外	18,000円	合宿	1人2時間あたり90円の50名利用を想定
	コザしんきんスタジアム	大学生・一般/市外	12,000円	合宿・大会	1時間あたり1,500円
	沖縄市陸上競技場	大学生・一般/市外	15,000円	大会	専用利用
		大学生・一般/市外	7,200円	合宿	専用利用(練習)、2時間あたり1,800円
	トレーニングルーム	大学生・一般/市外	36,000円	合宿・大会	1人2時間あたり300円の30名利用を想定
	沖縄市多目的運動場	大学生・一般/市外	10,320円	合宿	全面利用1時間あたり1,290円
	沖縄市サブトラック兼ソフトボール場	大学生・一般/市外	6,000円	合宿	練習(野球)での利用、2時間あたり1,500円
投球練習場	大学生・一般/市外	12,000円	合宿	1時間あたり1面300円×5面の利用を想定	
沖縄市グリーンフィールド	大学生・一般/市外	15,600円	合宿	全面利用1時間あたり1,950円	
県総合運動公園	タピック県総ひやごんスタジアム	一般・学生	20,960円	大会	専用利用
		一般・学生	3,600円	合宿	共用利用、1人1回あたり180円×50名利用を想定
	テニスコート	一般・学生	7,520円	大会	1面470円×16面の利用を想定
	レクリエーションドーム	一般・学生	24,640円	大会	全面利用1時間あたり3,080円
	体育館	一般・学生	12,420円	大会	専用利用、メインアリーナ
	蹴球場	一般・学生	4,800円	合宿・大会	専用利用

◆施設利用額

施設の利用件数に利用料金を乗算して、施設利用額を次のとおり算出した。

施設利用額

施設名	大会・スポーツイベント・その他			合宿・自主トレ・キャンプ		
	2016年	2017年	2018年	2016年	2017年	2018年
コザ運動公園	256,500円	726,000円	573,900円	720,000円	1,848,960円	3,190,800円
沖繩市体育館	144,900円	579,600円	434,700円	48,000円	24,000円	24,000円
沖繩市武道館	57,600円	86,400円	43,200円	18,000円	54,000円	0円
コザしんきんスタジアム	24,000円	60,000円	96,000円	48,000円	60,000円	36,000円
沖繩市陸上競技場	30,000円	0円	0円	482,400円	504,000円	496,800円
トレーニングルーム	0円	0円	0円	108,000円	1,152,000円	2,556,000円
沖繩市多目的運動場	0円	0円	0円	0円	30,960円	0円
沖繩市サブトラック兼ソフトボール場	0円	0円	0円	0円	12,000円	0円
投球練習場	0円	0円	0円	0円	12,000円	0円
沖繩市グリーンフィールド	0円	0円	0円	15,600円	0円	78,000円
県総合運動公園	525,740円	1,228,620円	2,419,000円	108,000円	21,600円	123,600円
タピック県総ひやごんスタジアム	461,120円	628,800円	1,236,640円	108,000円	21,600円	118,800円
テニスコート	22,560円	240,640円	240,640円	0円	0円	0円
レクリエーションドーム	0円	123,200円	862,400円	0円	0円	0円
体育館	37,260円	235,980円	74,520円	0円	0円	0円
蹴球場	4,800円	0円	4,800円	0円	0円	4,800円
合計	782,240円	1,954,620円	2,992,900円	828,000円	1,870,560円	3,314,400円

◆合宿・大会等の平均開催日数

実態調査から、コザ運動公園と県総合運動公園で開催された合宿・大会等の平均開催日数を次のとおり算出した。

合宿・大会等の平均開催日数（コザ運動公園・県総合運動公園）

項目	2016年	2017年	2018年
大会・スポーツイベント・その他	1.9日	1.9日	2.3日
合宿・自主トレ・キャンプ	8.7日	8.8日	6.6日

◆スポーツ施設への効果の推計

上記を踏まえ、施設の利用件数と施設利用料金、合宿・大会等の平均開催日数を乗算し、市内スポーツ施設への効果を次のとおり算出した。

スポーツ施設への効果

項目	2016年	2017年	2018年	合計
大会・スポーツイベント・その他	1,508千円	3,635千円	6,825千円	11,968千円
合宿・自主トレ・キャンプ	7,197千円	16,541千円	21,814千円	45,552千円
合計	8,705千円	20,176千円	28,639千円	57,520千円

②宿泊施設への効果

宿泊施設への効果は、対象期間内に合宿・大会等で市内に宿泊した競技者の人数、市内ホテルの平均宿泊料金、平均宿泊日数から算出する。

$$\text{合宿・大会等の市内宿泊者数} \times \text{市内ホテル平均宿泊料金} \times \text{平均宿泊日数}$$

◆合宿・大会等の市内宿泊者数

実態調査から、対象期間における競技者の市内宿泊者数を算出した。2016年については宿泊動向が把握できないため、経済波及効果の推計用として、2017年と2018年の平均値を設定した。

市内ホテル宿泊者数

施設名	2016年※	2017年	2018年
デイゴホテル	744人	629人	859人
クラウンホテル	293人	240人	345人
ホテルニューセンチュリー	688人	652人	724人
サンライズ観光ホテル	239人	197人	281人
オキナワグランメールリゾート	968人	770人	1,165人
オリンピック観光ホテル	2,782人	2,508人	3,056人
ホテルコザ	38人	45人	30人
その他市内ホテル	27人	0人	53人
合計	5,777人	5,041人	6,513人

※2016年は宿泊動向が把握できないため、2017年と2018年の平均値とした。

◆市内ホテル平均宿泊料金

アンケート調査において、市内で飲食費を支払った競技者は、106人中わずか5人であることが確認され、多くの競技者は外食しない傾向があることが明らかとなった。そのため、合宿・大会等の際には、少なくとも1部屋2名、1日2食（朝夕）付きプランを利用するものと考えられる。宿泊料金を市内ホテルのホームページなどから確認したところ、朝食付きのみのプランが主であったため、夕食分の料金として1,000円を加算し、平均宿泊料金を次のとおり算出した。

市内ホテル平均宿泊料金

施設名	宿泊料金	備考
デイゴホテル	7,550円	ツイン5,050円～6,800円、朝食付き（追加料金750円）
クラウンホテル	7,400円	ツイン6,600円～7,400円、朝食付き
ホテルニューセンチュリー	6,000円	ツイン、朝食付き
サンライズ観光ホテル	5,450円	合宿プラン、2名部屋、朝食付き
沖縄グランドメーリリゾート	7,000円	レギュラープラン、スタンダードルーム（2名部屋）、朝食付き
オリンピック観光ホテル	5,500円	ダブル、朝夕2食付き(KOZAWEBより確認)
ホテルコザ	7,000円	スタンダード、ツイン、朝食なし
平均宿泊料金	6,557円	朝食付きプランの平均宿泊料金
金額調整後の平均宿泊料金	7,557円	平均宿泊料金に夕食分の料金1,000円を加算

※季節などによって価格に変動が出ないよう、割引価格でない料金を確認した。（2019年2月12日時点）

◆平均宿泊日数

市内に宿泊した競技者は、合宿・大会等の期間中は連泊するものと想定し、実態調査から算出した平均開催日数から、1日を減算した日数を平均宿泊日数とした。

合宿・大会等の平均宿泊日数

項目	2016年	2017年	2018年
大会・スポーツイベント・その他	0.9日	1.1日	1.8日
合宿・自主トレ・キャンプ	8.2日	6.9日	5.6日

◆宿泊施設への効果の推計

上記を踏まえ、合宿・大会等の市内宿泊者数と市内ホテル平均宿泊料金、平均宿泊日数を乗算し、宿泊施設への効果を次のとおり算出した。

宿泊施設への効果

2016年	2017年	2018年	合計
199,575千円	151,902千円	182,321千円	533,798千円

③商業施設等への効果

商業施設等への効果は、市内における合宿・大会等の参加者数、競技者の滞在期間中の市内平均消費額、市内で消費した観戦者の割合から算出する。

$$\text{合宿・大会等の参加者数} \times \text{競技者の市内平均消費額} \times \text{市内で消費した競技者の割合}$$

◆合宿・大会等の参加者数

市内の合宿・大会等の参加者数は、実態調査から次のとおり算出した。

合宿・大会等の参加者数

項目	2016年	2017年	2018年
大会・スポーツイベント・その他	24,366人	24,954人	31,813人
合宿・自主トレ・キャンプ	2,881人	3,527人	5,371人
合計	27,247人	28,481人	37,184人

◆競技者の市内平均消費額

競技者の滞在期間中の市内平均消費額は次のとおりであり、アンケート調査から算出した。ただし、消費額が0円であった競技者も含めて算出しているため、第3章で算出した競技者の平均消費額よりも低い額となっている。

競技者の市内平均消費額

項目	平均消費額
飲食費	564円
交通費・駐車場代	1,344円
施設入館料	43円
娯楽費	0円
土産・買物代	1,409円
総額	3,360円

※消費額が0円であった競技者も含めて平均消費額を算出した

◆競技者の消費額

合宿・大会等の参加者数に競技者の市内平均消費額を乗算して、競技者の消費額を次のとおり算出した。

競技者の消費額

項目	2016年	2017年	2018年	合計
大会・スポーツイベント・その他	81,861千円	83,835千円	106,880千円	272,576千円
飲食費	13,740千円	14,071千円	17,939千円	45,750千円
交通費・駐車場代	32,742千円	33,532千円	42,749千円	109,023千円
施設入館料	1,056千円	1,081千円	1,379千円	3,516千円
娯楽費	0千円	0千円	0千円	0千円
土産・買物代	34,323千円	35,151千円	44,813千円	114,287千円
合宿・自主トレ・キャンプ	9,679千円	11,849千円	18,045千円	39,573千円
飲食費	1,625千円	1,989千円	3,029千円	6,643千円
交通費・駐車場代	3,871千円	4,739千円	7,217千円	15,827千円
施設入館料	125千円	153千円	233千円	511千円
娯楽費	0千円	0千円	0千円	0千円
土産・買物代	4,058千円	4,968千円	7,566千円	16,592千円

◆市内で消費した競技者の割合

合宿・大会等に参加した競技者のうち、市内で消費した競技者の割合は、アンケート調査から算出した割合を用いる。

市内で消費した競技者の割合

項目	人数	割合
消費した競技者	17人	16.0%
消費していない競技者	89人	84.0%
合計	106人	100.0%

◆商業施設等への効果の推計

上記を踏まえ、合宿・大会等の参加者数に競技者の市内平均消費額を乗算した額に、市内で消費する競技者の割合を乗算し、競技者による商業施設等への効果を次のとおり算出した。

市内商業施設等への効果

項目	2016年	2017年	2018年	合計
大会・スポーツイベント・その他	13,129千円	13,445千円	17,141千円	43,715千円
合宿・自主トレ・キャンプ	1,552千円	1,900千円	2,894千円	6,347千円
合計	14,681千円	15,346千円	20,035千円	50,062千円

④医療施設への効果

医療施設への効果を推計するために、本調査において、競技者の治療や診断を行う市内の主要な医療施設にヒアリング調査を行った。ヒアリング調査から明らかとなったのは、大会や合宿での医療施設の利用はほとんど見受けられないということだった。わずかに、プロ野

球キャンプ期間中（2月）のみ、選手が怪我した際のMRI検査での利用が確認されたが、全体としては微々たる額であるため、市内医療施設への効果はほとんどないものと想定する。

（2）スポーツ興行の観戦者による直接効果

スポーツ興行の開催に伴う直接効果として、観戦者の消費によって市内商業施設等が受ける効果がある。これらの効果について、実態調査やアンケート調査、市内で開催されたスポーツ興行の観戦者数をもとに直接効果を推計する。

推計の対象は、入場料を徴収する主要なプロの試合として、FC琉球、琉球ゴールデンキングス（以下、キングス）、パナソニックパンサーズ（以下、パンサーズ）の公式戦を対象とする。対象期間は、パンサーズの試合を含めるため、2018年1月から2019年1月の13か月に設定する。

①商業施設等への効果

市内商業施設等への効果は、市内で開催されたスポーツ興行の観戦者数と観戦者の市内平均消費額、市内で消費した観戦者の割合から算出する。

$$\text{スポーツ興行の観戦者数} \times \text{観戦者の市内平均消費額} \times \text{市内で消費した観戦者の割合}$$

◆スポーツ興行の観戦者数

スポーツ興行の観戦者数は、各リーグのホームページで公表されている観戦者数を用いる。

スポーツ興行の観戦者数

観戦者数	2018年	2019年1月	合計
FC琉球	51,394人	0人	51,394人
琉球ゴールデンキングス	95,124人	9,769人	104,893人
パナソニックパンサーズ	0人	3,768人	3,768人
合計	146,518人	13,537人	160,055人

FC琉球公式戦における観戦者数（会場：タピック県総ひやごんスタジアム）

試合日	観戦者数	対戦相手	試合日	観戦者数	対戦相手
2018/3/11	4,815人	カターレ富山	2018/7/21	1,289人	Y.S.C.C.横浜
2018/3/21	2,331人	ガイナレ鳥取	2018/8/25	886人	グルージャ盛岡
2018/4/7	1,782人	セレッソ大阪U-23	2018/9/8	2,317人	FC東京U-23
2018/5/3	1,824人	ガンバ大阪U-23	2018/9/22	3,386人	鹿児島ユナイテッドFC
2018/5/6	1,791人	ブラウブリッツ秋田	2018/10/6	2,309人	ギラヴァンツ北九州
2018/5/26	1,064人	FC今治	2018/10/13	2,649人	福島ユナイテッドFC
2018/6/2	2,473人	AC長野パルセイロ	2018/11/3	7,810人	ザスパクサツ群馬
2018/6/23	2,817人	アスルクアロ沼津	2018/11/23	4,562人	SC相撲原
2018/7/7	7,289人	藤枝MYFC	合計	51,394人	

参照：J.LEAGUE Data Site

琉球ゴールデンキングス公式戦における観戦者数（会場：沖縄市体育館）

試合日	観戦者数	対戦相手	試合日	観戦者数	対戦相手
2018/1/1	3,595人	島根スサノオマジック	2018/10/13	3,261人	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
2018/1/2	3,655人	島根スサノオマジック	2018/10/24	3,146人	大阪エヴェッサ
2018/2/3	3,350人	京都ハンナリーズ	2018/10/26	3,311人	川崎ブレイベンサンダース
2018/2/4	3,401人	京都ハンナリーズ	2018/10/27	3,362人	川崎ブレイベンサンダース
2018/2/10	3,451人	滋賀レイクスターズ	2018/11/7	3,321人	ライジングゼファー福岡
2018/2/11	3,440人	滋賀レイクスターズ	2018/11/17	3,558人	アルバルク東京
2018/3/2	3,131人	大阪エヴェッサ	2018/11/18	3,467人	アルバルク東京
2018/3/3	3,302人	大阪エヴェッサ	2018/12/12	3,269人	京都ハンナリーズ
2018/3/17	3,298人	島根スサノオマジック	2018/12/22	3,336人	サンロッカーズ渋谷
2018/3/18	3,301人	島根スサノオマジック	2018/12/23	3,381人	サンロッカーズ渋谷
2018/4/7	3,389人	川崎ブレイベンサンダース	2018/12/30	3,341人	横浜ビー・コルセアーズ
2018/4/8	3,501人	川崎ブレイベンサンダース	2018/12/31	3,295人	横浜ビー・コルセアーズ
2018/4/28	3,701人	アルバルク東京	2019/1/5	3,281人	大阪エヴェッサ
2018/4/29	3,709人	アルバルク東京	2019/1/6	3,228人	大阪エヴェッサ
2018/5/2	3,612人	大阪エヴェッサ	2019/1/23	3,260人	滋賀レイクスターズ
2018/10/12	3,240人	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	合計	104,893人	

参照：B.LEAGUE 公式サイト

パナソニックパンサーズ公式戦における観戦者数（会場：沖縄市体育館）

試合日	観戦者数	対戦相手
2019/1/19	1,811人	堺ブレイザーズ
2019/1/20	1,957人	豊田合成トフェルサ
合計	3,768人	

参照：V LEAGUE 公式サイト

※パンサーズの前座試合として、他チームの試合が行われているが、1つのチケットで2試合観戦が可能であり、観戦者の大幅な入れ替わりはないと考えられるため、パンサーズの観戦者数のみを活用する。

◆観戦者の市内平均消費額

観戦者の1日あたりの市内平均消費額は次のとおりであり、アンケート調査で分析した3競技の公式戦における調査結果をもとに算出している（イベント型スポーツ興行での調査結果は除く）。

観戦者の市内平均消費額

項目	平均消費額
宿泊費	1,181円
飲食費	1,398円
交通費・駐車場代	732円
施設入館料	303円
娯楽費	222円
土産・買物代	929円
総額	4,765円

※消費額が0円であった観戦者も含めて平均消費額を算出した。

◆市内で消費した観戦者の割合

スポーツ興行の観戦者のうち、市内で消費する観戦者の割合は、アンケート調査から算出した割合を用いる。

市内で消費した観戦者の割合

項目	人数	割合
消費した観戦者	148人	27.0%
消費していない観戦者	400人	73.0%
合計	548人	100.0%

◆商業施設等への効果の推計

上記を踏まえ、スポーツ興行の観戦者数に観戦者の市内平均消費額を乗算して算出した額に、市内で消費する観戦者の割合を乗算し、観戦者による商業施設等への効果を次のとおり算出した。

市内商業施設等への効果

項目	2018年	2019年1月	合計
宿泊費	46,745千円	4,319千円	51,064千円
飲食費	55,324千円	5,112千円	60,436千円
交通費・駐車場代	28,954千円	2,675千円	31,629千円
施設入館料	12,003千円	1,109千円	13,112千円
娯楽費	8,773千円	811千円	9,584千円
土産・買物代	36,762千円	3,396千円	40,158千円
総額	188,561千円	17,422千円	205,983千円

3. スポーツ興行の観戦者による市内への経済波及効果

スポーツ興行の観戦者による市内商業施設等が受ける効果については、前述したとおりだが、その消費に伴う効果は市内の各産業へ波及していく。

ここでは、経済産業省の「観光経済波及効果簡易推計システム」（以下、推計システム）を用いて、スポーツ興行の観戦者による市内への経済波及効果を推計する。

推計の対象は、入場料を徴収する主要なプロの試合として、FC 琉球、キングス、パンサーズの公式戦を対象とする。対象期間は、パンサーズの試合を含めるため、2018年1月から2019年1月の13か月に設定する。

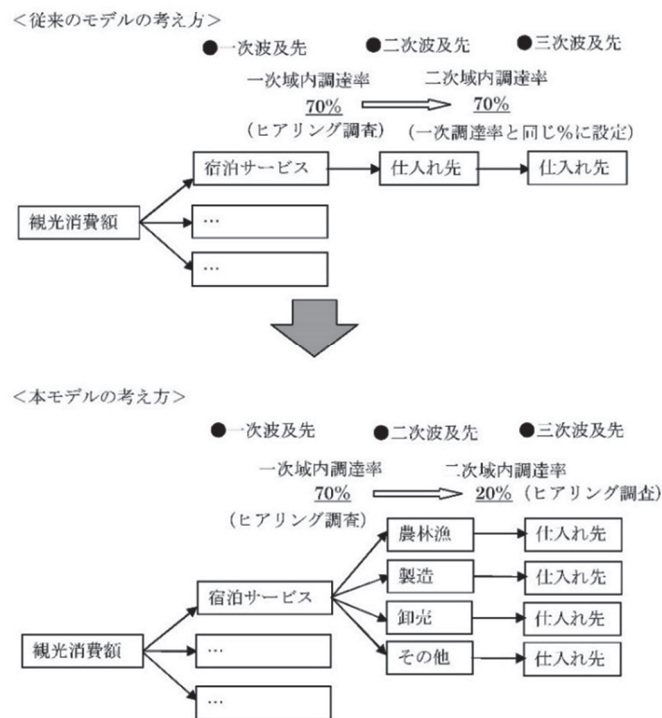
(1) 経済波及効果推計の考え方

経済波及効果の推計には、「産業連関表」を用いた手法と乗数理論に基づく手法があり、今回活用する推計システムは後者の手法によるもので、観光やイベントが市町村全体に及ぼす経済波及効果の把握を目的としている。

波及の基本的な考え方としては、観光客がもたらす観光消費額（観光客数×消費単価）をもとに、まずは直接的な支出先（一次波及先）となる観光関連事業者8分類（宿泊、飲食、旅客運送、輸送設備レンタル、旅行代理店その他予約、文化、スポーツ・娯楽、小売）に消費額が配分され、そこからさらに各仕入れ先に配分されていく考え方となっている。

推計システムの特徴

図表4 従来のモデルに対する本モデルの特徴



出典：「観光産業の地域経済への波及効果分析手法の検討及び地域ストーリーづくりに関する調査」日本交通公社平成27年3月

(2) 推計に使用したデータ

推計システムでは「観光客数」、「観光消費単価」、「域内調達率」、「経費構造」のデータ及びその他の指標の入力が必要となる。今回、「観光客数」は「観戦者数」とし、「観光消費単価」は「観戦者消費単価」に置き換えて推計を行う。

市町村単位でのデータ収集にあたっては、当該地域の既存統計あるいは独自調査（アンケート調査、ヒアリング調査など）が必要だが、沖縄市には産業関連表や関連する統計データがないことから、データの一部は沖縄県の統計データをもとに算出するものとする。他の統計データで代用できない場合の数値は0で計算する。

また、本推計システムの分類（8業種）は、各統計の対応する業種を振り分けてデータを使用した。各データの推計方法を次にまとめる。

①観戦者数

観戦者数は、前述した「2. (2) スポーツ興行の観戦者による直接効果」でまとめた、各リーグのホームページで公表されている観戦者数をもとに設定する。推計システムでは日帰り客数と宿泊客数を設定する必要があり、アンケート調査における回答者の割合をもとに、次のとおり設定した。

アンケート調査における日帰り客と宿泊客の割合

項目	日帰り客	宿泊客
FC琉球	99.0%	1.0%
琉球ゴールデンキングス	98.7%	1.3%
パナソニックパンサーズ	86.0%	14.0%
平均	94.6%	5.4%

スポーツ興行における日帰り客数と宿泊客数

項目	2018年（1月～12月）			2019年（1月）		
	日帰り客数	宿泊客数	合計	日帰り客数	宿泊客数	合計
FC琉球	50,883人	511人	51,394人	0人	0人	0人
琉球ゴールデンキングス	93,899人	1,225人	95,124人	9,643人	126人	9,769人
パナソニックパンサーズ	0人	0人	0人	3,239人	529人	3,768人
合計	144,782人	1,736人	146,518人	12,882人	655人	13,537人

②観戦者の消費単価

アンケート調査から、日帰り客と宿泊客の観戦者の消費単価を次のとおり算出した。

アンケート調査における1人あたりの市内平均消費額

アンケート項目	日帰り客	宿泊客
宿泊費	0円	17,292円
飲食費	818円	10,756円
交通費・駐車場代	267円	8,219円
施設入館料	223円	1,594円
娯楽費	61円	2,813円
土産・買物代	662円	5,234円
総額	2,031円	45,908円

推計システムの区分に対応させた観戦者の消費単価

推計システムの区分	アンケート項目	日帰り客	宿泊客	備考
宿泊サービス	宿泊費	0円	17,292円	
飲食サービス	飲食費	818円	10,756円	
旅客輸送サービス(※)	交通費・駐車場代	133.5円	4,110円	交通費・駐車場代の半分とした
運送設備レンタルサービス(※)	交通費・駐車場代	133.3円	4,110円	交通費・駐車場代の半分とした
旅行代理店その他の予約サービス	－	0円	0円	代用できるデータがないため0とする
文化サービス	施設入館料	223円	1,594円	
スポーツ・娯楽サービス	娯楽費	61円	2,813円	
小売	土産・買物代	662円	5,234円	

※アンケート調査項目の「交通費・駐車場代」を、推計システムの「旅客輸送サービス」と「運送設備レンタルサービス」に半分ずつ割り当てた。

③域内調達率

域内調達率とは、対象施設が対象地域内から原材料や雇用者などを調達する率である。推計システムにおいては、観光関連産業と全産業の売上原価、営業経費、人件費の域内調達率の数値が必要となる。

売上原価と営業経費の域内調達率については市の統計データがないため、市と沖縄県の域内調達率の構造が同じであるという前提のもと、県の既存統計を活用した。人件費については、国の既存統計に掲載されている市の数値を活用した。

- 売上原価の域内調達率については、「沖縄県産業連関表報告書（平成 23 年）」に掲載されている自給率を採用する。
- 営業経費の域内調達率については、直近の「沖縄県観光産業実態調査報告書（平成 15 年度）」に掲載されている数値を採用する。「運送設備レンタルサービス」と「文化サービス」は調査項目に含まれていなかったため、数値を0%とする。
- 人件費の域内調達率については、「国勢調査 従業地・通学地集計（平成 27 年）」から、沖縄市における就業者のうち、市内と市外の居住者の割合を算出した。

域内調達率の一覧

推計システムの区分	売上原価	営業経費	人件費
宿泊サービス	82.6%	78.3%	67.4%
飲食サービス	82.6%	85.0%	67.4%
旅客輸送サービス	67.5%	98.0%	54.2%
運送設備レンタルサービス	74.5%	0.0%	62.1%
旅行代理店その他の予約サービス	67.5%	100.0%	60.2%
文化サービス	92.5%	0.0%	51.6%
スポーツ・娯楽サービス	74.5%	92.7%	60.2%
小売	75.3%	92.5%	60.0%
全産業	73.7%	91.1%	60.3%

④経費構造

経費構造とは、事務所（店舗）の売上高に対する経費・営業利益の比率であり、推計システムでは観光関連産業と全産業の売上原価率、営業経费率、人件费率、その他率、営業利益率の数値が必要となる。

経費構造に関する市の統計がないため、市と沖縄県の経費構造が同じであるという前提のもと、国の既存統計に掲載されている県の数値を活用した。経費構造は、「経済センサス 活動調査確報集計（企業等に関する集計）第7表（平成28年）」から対応する項目を抽出して使用した。

- 推計システムの各費目の割合は、経済センサスの「売上（収入）」に占める割合を算出した。
- 推計システムの「売上原価」、「人件費」、「その他経費」の割合は、経済センサス上で対応する項目に応じて算出した。
- 推計システムの「営業利益」は、経済センサスの「売上（収入）」から「費用総額」を差し引いた額とし、「営業経費」は、経済センサスの「売上（収入）」から、推計システムの「売上原価」、「人件費」、「その他経費」、「営業利益」の割合を差し引いた額とした。

経費構造の一覧

推計システムの区分	売上原価	営業経費	人件費	その他経費	営業利益
宿泊サービス	24.7%	29.8%	23.4%	5.4%	16.7%
飲食サービス	24.7%	29.8%	23.4%	5.4%	16.7%
旅客輸送サービス	47.8%	11.3%	27.7%	4.9%	8.3%
運送設備レンタルサービス	48.0%	13.0%	13.2%	13.0%	12.8%
旅行代理店その他の予約サービス	64.2%	16.8%	10.7%	2.6%	5.7%
文化サービス	34.8%	18.2%	31.5%	4.6%	11.0%
スポーツ・娯楽サービス	64.2%	16.8%	10.7%	2.6%	5.7%
小売	66.3%	16.3%	8.7%	1.7%	7.1%
全産業	46.1%	28.5%	15.2%	3.5%	6.7%

⑤その他の指標

その他、推計に必要な指標と数値の算出方法は次のとおりである。

その他推計指標の算出方法

推計に必要なデータ	今回使用するデータ	数値
限界消費性向	所得の増加分に対する消費の増加分の割合のことを指す。「沖縄県家計調査」の2人以上の勤労者世帯の実収入の増加分に対する消費支出の増加分の比率は年毎の変動が大きいため、厚生労働省の「平成24年版 労働経済の分析」から、1996年から2011年の間の限界消費性向の全国平均値を用いた。	52.0%
域内消費率	域内消費率は、消費を行う際に地域内で使う割合のことを指す。推計にあたっては、「平成26年度沖縄県買物動向調査」に掲載されている産業別の地元購買率（沖縄市）から平均値を算出した。	40.4%
年間給与所得平均（全国）	「平成29年賃金構造基本統計調査」の全国の年間給与を算出した。	¥4,911,500
給与地域補正值	雇用効果を推計する際に利用する指標で、自地域の所得水準を全国平均100としたものと比較したもの。「平成29年賃金構造基本統計調査」の沖縄県の年間給与について、全国の年間給与に対する比率を算出した。	¥3,611,900 74.6%
域内人口	沖縄市人口統計（2019年2月1日時点）を参照した。	142,259人
域内事業者の本社比率	「平成28年経済センサス活動調査 事業所に関する集計」の産業分類を推計システムに当てはめ、沖縄市内の事業所数を算出した。	次表のとおり

市内事業者の本社比率

推計システムの区分	本社率
宿泊サービス	86%
飲食サービス	86%
旅客輸送サービス	80%
運送設備レンタルサービス	91%
旅行代理店その他の予約サービス	85%
文化サービス	89%
スポーツ・娯楽サービス	85%
小売	74%
農林漁業者	100%
製造業者	89%
卸売業（問屋）	74%
全産業（17業種）	80%

(3) 推計結果

①観戦者数と消費額の状況

観戦者数について、2018年は146,518人（うち日帰り客144,782人、宿泊客1,736人）、2019年1月は13,537人（うち日帰り客12,882人、宿泊客655人）である。これにそれぞれの消費単価を乗じて、観戦者の消費総額を推計すると、2018年で約3億7,400万円、2019年1月で約5,600万円になる。

観戦者の消費総額	2018年	2019年1月
日帰り客	294百万円	26百万円
宿泊客	80百万円	30百万円
合計	374百万円	56百万円

②観戦者の消費がもたらす効果

ア. 直接的な効果

観戦者の消費総額のうち、直接効果として域内に留まる額は2018年で約2億3,000万円、2019年1月で約3,400万円と推計される。また、観光関連産業で生じた付加価値は2018年で約9,800万円、2019年1月で約1,500万円と推計される。

直接的な効果	2018年	2019年1月
域内にとどまった消費額	230百万円	34百万円
観光関連産業で生じた付加価値	98百万円	15百万円

イ. 波及効果

直接効果をもとに、市内にもたらされる生産波及効果の総額は、2018年で約5億600万円、2019年1月で約7,500万円と推計される。

波及効果	2018年	2019年1月
生産波及額の総額	506百万円	75百万円

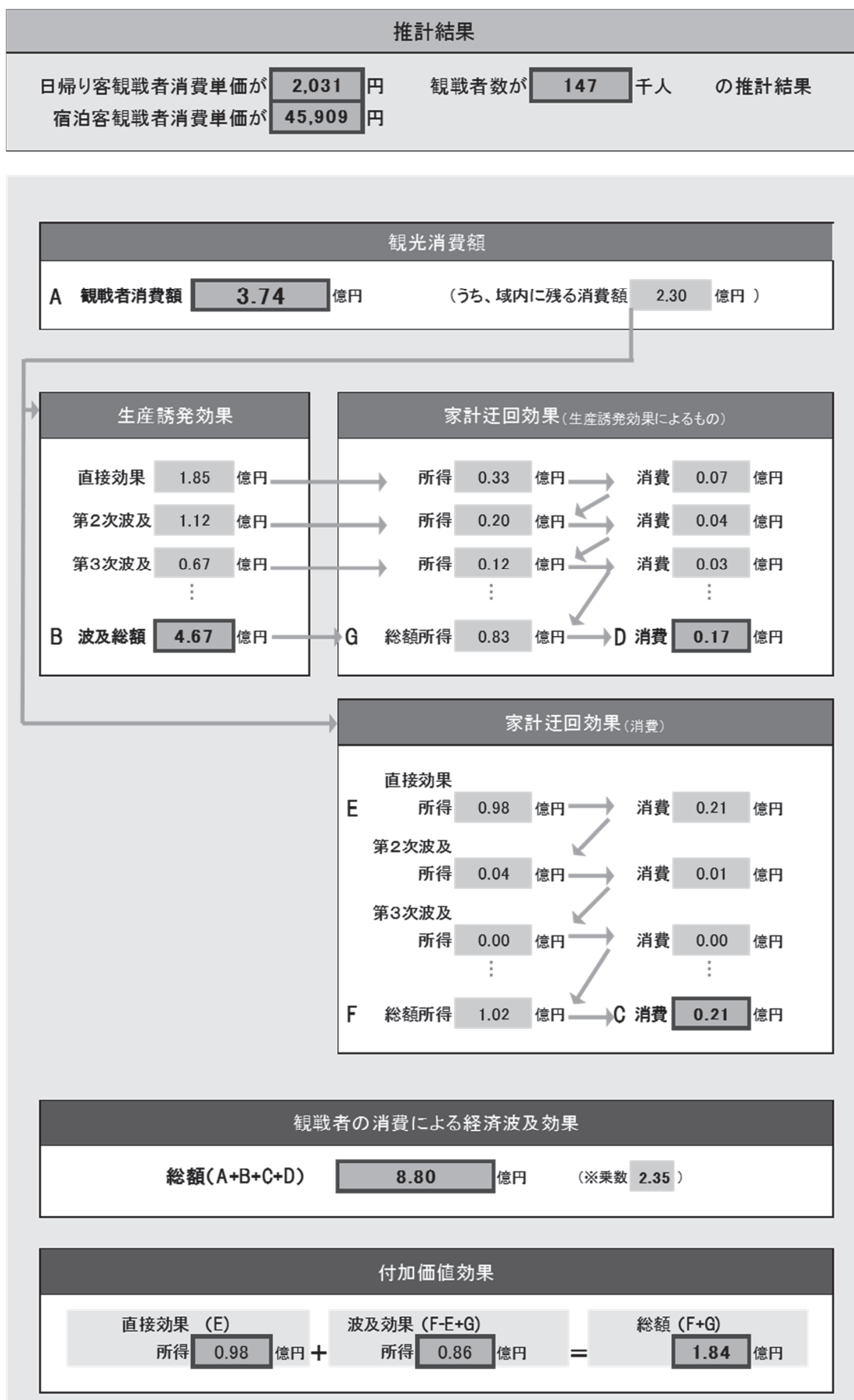
ウ. 総額

以上より、観戦者の消費によって沖縄市にもたらされた経済波及効果の総額は、2018年で約8億7900万円、2019年1月で約1億3,100万円となる。

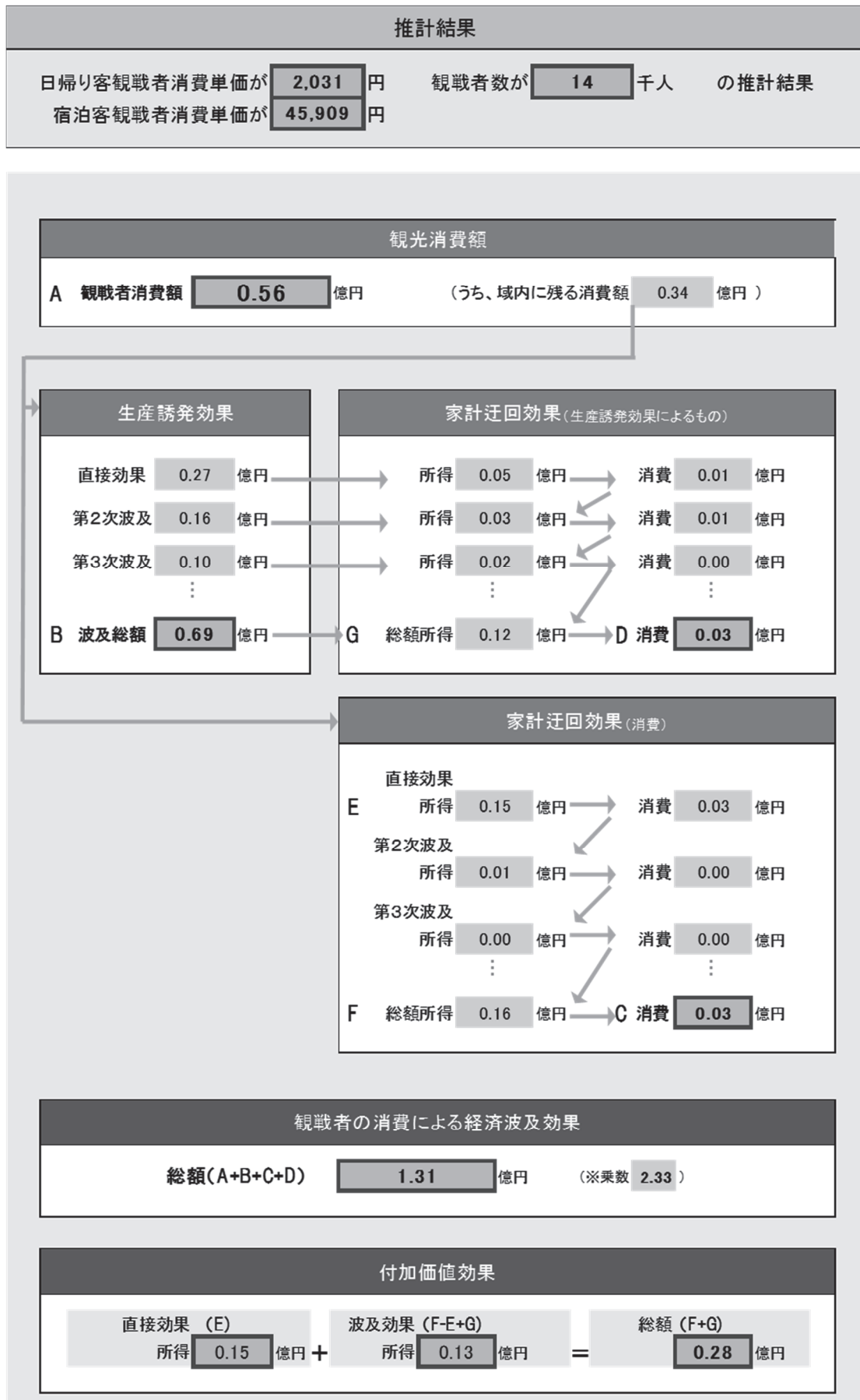
総額	2018年	2019年1月
経済波及効果の総額	880百万円	131百万円
乗数効果(※)	2.35	2.33

※乗数効果は、消費額に対し、どの程度の規模の効果が生じたかを図る目安となる。

2018 年における観戦者の消費による経済波及効果フロー図



2019年1月における観戦者の消費による経済波及効果フロー図



第5章 新たな合宿誘致案の提案

1. 沖縄市におけるスポーツ合宿・大会等開催状況の強み・弱み

(1) 強み

①スポーツ施設環境の充実

市内にはコザ運動公園と県総合運動公園のふたつのスポーツ施設があり、特に陸上競技場は2か所ともに、陸上競技連盟公認強化施設として陸上競技の関係者に周知されている。そのため合宿地として毎年利用する団体も多数存在する。公園内にはトレーニングルームや体育館、多目的練習場などの他の施設も整備されており、競技者や関係者の評価も高い状況にある。競技者にとっては、練習後に利用するアイスバスなど、新たな設備の要望もあることから、競技者の満足度を高めるために継続的な施設環境の充実を図る必要がある。

②宿泊施設のサービス

スポーツ合宿・大会等の受け入れに慣れた宿泊施設が増えていることもあり、競技者アンケートでも宿泊施設に対する評価は高い傾向にあった。競技者の多くが食事のほとんどを宿泊施設にてとる傾向にあり、昼食を含めた食事サービスは、競技者が練習に集中する環境づくりに寄与していると想定される。また、宿泊施設のうち数か所は、空港への送迎やアイスバスなどのサービス提供をしており、こちらも合宿関係者の満足度を高める要素となっている。

合宿の場合はリピート利用も進んでいることから、今後も宿泊、食事、送迎を組み合わせた受け入れ体制を強化していくことが重要と考えられる。

③施設間の近接性

コザ運動公園の周辺には多くの宿泊施設が立地しており、スポーツ施設と宿泊施設との近接性、アクセスの利便性については、評価が高い。こうした立地環境を活かし、競技者や観戦者が気軽に立ち寄れる場所をつくることで、周遊や消費行動につながると想定される。

④競技者間の交流機会

大会・合宿の受入地として定着していることから、ピーク期には、陸上、サッカー、野球などの関係団体が多数利用することとなる。そのため、練習試合やチーム間の交流など、競技者同士が交流する機会が増え、合宿の満足度を高める要素となっている。

⑤高速道路からのアクセス環境

コザ運動公園は、沖縄南インターチェンジに隣接していることもあり、那覇近郊や県内各地へ移動するのに適した環境にある。

(2) 弱み

①ピーク期への対応

合宿のシーズンが重複しており、ピーク期（1月～3月）とその後の閑散期の差が激しい。ピーク期には宿泊施設の予約だけでなく、スポーツ施設においても施設の混雑が課題となっている。しかしながら、本調査では合宿時期を閑散期に分散化することは、競技団体の動向から厳しいことを確認しており、ピーク期の受け入れ対応は検討が必要である。

今後、「(仮称) 沖縄市多目的アリーナ」の整備を踏まえ、施設の受け入れ、大会や合宿等運営マネジメントの対応を図る必要がある。

②公共交通機関の活用

大会・合宿等の競技者の多くは、団体行動となるため、空港から沖縄市内、さらに宿泊施設とスポーツ施設間の交通機関の手配・支援は重要な支援のひとつである。宿泊施設で実施している送迎サービスは好評だが、すべての施設が同様のサービスを提供できるわけでもないため、公共交通機関を活用した支援策も検討が必要である。

競技者の場合は体や手荷物も大きいことから、マイクロバスなどの利用に頼る傾向にある。また安全面から競技者自ら運転することは避ける傾向にあるため、レンタカー利用よりも公共交通を利用した送迎サービスの展開が必要と考えられる。例えば、ミニバンタイプやユニバーサルデザインタクシーを競技者が利用できるよう、タクシーやレンタカー会社との連携や情報提供を行うことも必要である。

③駐車場不足による周遊機会の喪失

市内の2か所のスポーツ施設には駐車場が整備されているが、施設利用が増える週末を中心に、駐車場は慢性的に不足している状況にある。特にスポーツ興行の際は、市外の大型商業施設に駐車場を配置することとなり、結果として市内周辺地域への周遊機会を失う結果となっている。観戦者アンケート調査でも、スポーツ興行の前後には、近隣の大型商業施設での購買行動が多くみられた。

駐車場の設置は難しい環境にあるが、訪問者の何割かを市内へ留め、周遊する機会、仕掛けをつくることが重要である。

④周辺地域への誘客

競技者及び観戦者アンケートによると、市内周遊行動はほとんどみられず、その理由としては時間的な余裕がないことが確認されている。一方、スポーツ観戦頻度の高いファン層については、消費傾向がみられることから、リピート観戦者をターゲットにした誘客 PR を展開するなど、誘客方法の検討が必要である。例えば、チームのオフィシャルグッズの販売拠点の設置やタイアップ企画など、市内の店舗や業者が関われる仕組みをつくることが重要と考えられる。

⑤スポーツ医療との連携の不足

医療関係者へのヒアリングで判明したことだが、スポーツ大会・合宿等の利用者で市内の医療機関を利用するのはごくわずかである。これは、特にプロスポーツの場合はチームドクターやトレーナーなどを帯同していることによる理由が大きいとはいえ、受入地側のアクションがないことも一因だといえる。この結果、医療面での経済波及効果はごく限られたものとなり、本来ならば需要があるはずの、疲労回復の医療行為や施術、医薬品の販売などの機会を損失している。

この状況に対し、スポーツコミッション沖縄、県や市の体育協会、スポーツ医・科学委員会を通じて、スポーツ医療施設の住所や連絡先、受けられるサービスや料金などのリストを作成し、発信していくことの重要性が指摘されている。同時に、これらの機関が主体となり、スポーツ合宿・大会等の主催者に積極的にプロモートすることが必要であろう。

2. 新たな誘致の展望

(1) 誘致の基本事項

沖縄市のスポーツ合宿・大会等をますます促進していくためには、市が主体となり、従来以上に戦略性のある誘致活動が必要となる。スローガン、ターゲット、プロモーションの3点について以下に述べる。

①誘致スローガンの設定と共有

市行政がスポーツ振興を行うことは市民への福利厚生や健康増進が主目的であり、スポーツ合宿・大会等の誘致とは目的が異なる。このことを市民によく納得してもらったうえで、市民の理解・協力を得ながら他のスポーツ振興策との調和がとれる形で誘致を進めなければならない。

そのためにまず、沖縄市のスポーツ合宿・大会等の誘致スローガンを定める必要がある。これは主として「経済効果」を目的とするものであり、「スポーツ合宿・大会等誘致による経済効果を最大限地域に波及させる」などの市民や市内事業者の目線でのスローガンを設定し、市全体で共有する。このようにスローガンを広く浸透させることで、市民や関係者が誘致に積極的に関わり、協力するような合意形成を図る必要がある。

②誘致ターゲットの明確化と通年化

ターゲットを絞り込む理由として、「地域の特徴が明確になり、アピールすべき魅力が高まる」「限られた資源を有効活用できる」「利用者からわかりやすくなる」などの効果がある。絞り込む基準として、「経済効果の最大化」「地域特性（施設条件等）の発揮」「市民満足度の向上」などの指標と照合する必要がある。

特に沖縄市ではスポーツ合宿が冬場に集中しているため、その平準化（通年化）を図るためにも、季節ごとの誘致ターゲットの設定が必要とされる。例えば沖縄市の場合は、陸上競技の利用者が多く、閑散期（4月から7月）のうちの梅雨を除いた時期頃ならば合宿開催の意向を示す団体もみられたことから、暑さ対策や日差し対策などを適切に行い、誘致を図る

戦略が求められる。年間を通じて体験可能なスポーツアクティビティやその受入体制を構築し、スポーツによる恒常的な交流人口拡大を図る活動を支援することも必要である。

ターゲットのニーズを知ることも重要で、スポーツ合宿・大会等の場合はリピート顧客も多いため、目新しさ以外の消費を引き出すための対策が必要となる。

③誘致プロモーションの強化

上述のターゲットに合わせて、沖縄市のスポーツ合宿・大会等に関する様々な情報を効果的に PR するプロモーション活動を展開し、国内外のスポーツ団体などの認知度を高める必要がある。パンフレットやウェブサイトなど広報ツールの整備・充実と発信、スポーツコンベンション主催者やプレスなどのメディアへの情報発信、球団などのプレスリリースの活用、Facebook・Instagram・Twitter・YouTube の活用、スマートフォンアプリを活用した周遊促進など、様々なチャネルを活用して多角的にプロモーションする。

このプロモーションはシティセールスや市観光のブランディングにつながるものであり、その意識をもって関係各課と協働しながら進めることが望まれる。特にスポーツ合宿のインバウンド推進は潤沢な需要の余地があると考えられ、都市間競争に打ち勝つためにも先行して取組む意義は高い。

「する側」だけでなく「観る側」へのプロモーションも重要である。スポーツファンの階層としては以下がイメージでき、誘致するスポーツに合わせてコアターゲット／サブターゲットを区別して誘致に取り組むのがよいと考えられる。

<p style="text-align: center;">ライト級 スポーツファン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツには興味あるが、積極的に関わりたいとは今は考えていない。 ○友だちにスポーツファンがいて、カッコいいユニフォームは持っている。 ○沖縄観光の経験はあるが、スポーツキャンプには行ったことがない。
<p style="text-align: center;">ミドル級 スポーツファン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○最員のチームがあって、なるべくホームゲームは応援に行っている。 ○スポーツは好きだが、生活の中心ではない。 ○沖縄観光の経験はあるが、スポーツキャンプには行ったことがない。
<p style="text-align: center;">ヘビー級 スポーツファン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○最員のチームがあって、遠征を含め頻繁に応援に行っている。 ○練習を見学することもあり、沖縄キャンプ（合宿）にも行ったことがある。

（２）特に提案したい誘致策

スポーツ合宿・大会等の誘致には、直接的な誘致活動以外にも、利便性を高めるための様々な対策が必要とされる。それらの中から、特に沖縄市の課題解決に有効な具体策をピックアップして提案する。

①スポーツ利用予約の簡便化

スポーツ合宿の場合、指導者の人脈、強豪校との練習試合の実施などがあるため、予約を利用者が直接行うことも多いが、逆にこうした慣習が新たな需要の掘り起こしを妨げている

面もある。誰もが気軽にスポーツ合宿への参加、スポーツ大会の観戦などができるような予約システムの導入が必要とされる。

既存の観光ポータルサイトにこうした予約機能を追加したりリンクさせたり、全国版のスポーツ合宿情報サイトに登録したりなどの対応が考えられる。また、観光、ツアー、体験アクティビティ等の予約受付から顧客管理までオールインワン対応が可能なシステムが開発されており（例：リザベーション・エンジン、EIPrO(エイプロ)）、こうしたネットサービスを積極的に利用することも一手である。市や市観光協会がコンシェルジュとなって、宿泊、飲食、スポーツ施設など市内の事業者へこうしたサービスを周知させ、導入を補助するなどの取組みを行う必要がある。一方、ピーク期には施設の集中利用もみられるため、事業者間の横断的な連携を図り、受け入れの分散化を図ることも必要である。

②魅力あるスポーツ観光商品の開発・市場化

スポーツ関係団体と旅行代理店、市観光協会、メディアなどとの関係が十分に構築できず、スポーツ合宿・大会等の参加者に対し、合宿・大会前後の魅力的な旅行商品が提供できていないため、消費が伸びない傾向にある。また、観光ルートの紹介も不足している。

合宿や大会に来た競技者、観戦者を観光に誘導することが重要であり、これらの協力関係の構築が必要である。また、宿泊の有無で消費額が大きく異なるため、前泊・後泊で地域にお金が落ちる仕組みをつくる必要がある。例えばマラソンなら、前後日にランニングのレッスン、関連商品・グッズの見本市等を行うことが有効である。また、トーナメント方式のスポーツ大会の場合は、負け帰りの大会参加者が引き続き合宿滞在できるように、宿泊施設がスポーツ施設を予約するなどのサービスが求められる。

海外からのスポーツ観光を誘客するにあたり、対象国の選定が行われておらず、対象国の好まれるスポーツの種類や言語、情報デバイスの種類にあわせた情報発信ができていない。対象国を明確にしたスポーツコンテンツの発掘・開発が必要である。

③オリンピック・パラリンピックとの連携とレガシーの構築

2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会との連携を強化する。すでに決定しているニュージーランドの空手代表の事前合宿に加えて、他の参加国や競技の事前合宿、関連スポーツイベントなど、オリンピックの前後をとおしてスポーツを契機とした市民交流につなげることも重要である。その際にも、前述の暑さ対策や日差し対策などの弱みを強みに変える誘致戦略が必要である。

また、オリンピック・パラリンピックに関連する活動の成果をレガシー（遺産）として構築することで、大会後も他都市との差別化が図れる取組みを続けていくことができる。例えば、決定済みのニュージーランド空手の事前合宿の際に、市内の空手道場に協力してもらい、イベントや交流会、講習会などを開催することで、今後もニュージーランドの空手をはじめ、世界の空手人口1億人を対象にした合宿や大会等の誘致活動に箔をつけることができるというレガシーが得られる。

沖縄市は巨大な米軍基地の嘉手納飛行場に隣接しており、米軍統治下の頃から軍属の米国人が市内の道場に通い、帰国後も空手を続けて師範格に成長し、自分の道場を開くケースが

みられる。彼らは今も沖縄空手との交流を続けており、空手需要をスポーツツーリズムに広げる際の重要な拠点となる。

④ネームバリューを持つ国際的なスポーツ大会の誘致

ワールドゲームズとは「第2のオリンピック」といわれる国際総合競技大会であり、オリンピックに採用されていない種目から構成され（開催地が有する施設を使用して開催可能な種目だけでよい）、競技団体が選んだトップアスリートが参加する。ワールドマスターズゲームズは、30歳以上の成人・中高年の一般アスリートを対象とした生涯スポーツの国際総合競技大会で、最低年齢以上で参加費を払えば、原則誰でもエントリーできる。ザ・コーポレートゲームズは、一般市民の参加を想定した団体競技を主とするスポーツ大会で、企業だけでなく家族や友人で集まり、ユニフォームさえ統一されていればエントリーできる。

このような国際的なスポーツ大会の誘致は単独では難しいかもしれないが、沖縄県や他市町村と連携して誘致し、開催地の知名度向上に伴う観光客の増加に結びつけることが考えられる。ワールドゲームズの種目にはニュースポーツも多く含まれており、従来スポーツに関心が薄かった市民や観光客に向けて、レクリエーション系のニュースポーツをアピールして、新たなスポーツ資源とすることも可能である。同様に、オンラインを中心としたeスポーツ大会の誘致も射程に入れるべきだろう。

(3) 誘致にあたっての課題

上記のような誘致策を進めていくにあたり、沖縄市の現状でボトルネックになっている事柄がいくつかあるので、その解決の方向性を展望する。

①市民理解の醸成

スポーツ合宿・大会等の効果は一般の市民には理解しづらいため、市民をあげての取組みに結びつきにくいことが課題である。市民に対して沖縄市の誘致スローガンを広く浸透させることで、スポーツ大会や合宿の誘致に積極的に協力してもらえる市民サポーターを見出し、「支えるスポーツ」への合意形成を図ることが必要とされる。そのために、アスリートと触れ合う機会や大会に参加する機会づくりを今以上に拡大していく。

②スポーツ合宿・大会等実施環境の整備

スポーツ合宿・大会等誘致の支援として、誘致費用の補助だけでなく、競技ごとに必要なトレーニング設備の整備、障がい者スポーツに対応したバリアフリー改修、国際大会に対応した競技場の改修、滞在型総合スポーツトレーニング研修センターの整備、国際的スポーツ会議・セミナーの誘致、規制緩和などを含めた適正かつ総合的な支援メニューづくりを進める。ハード整備では、用地確保など必要に応じた特区制度の検討・活用も視野に入れながら、PPP・PFIなど官民連携による様々な手法を検討する。

沖縄市出身者をはじめプレイヤーとして活躍した選手がその経験を活かし、インストラクターや指導者として地域で活躍し、合宿・大会等の誘致にも関わることで経済的にも自立していくための環境づくりも求められる。

③誘致・受入体制の強化

スポーツ合宿・大会等誘致を推進するにあたり、誘致や受け入れの専門人材と市民ボランティアの不足が大きな課題となっている。沖縄市への誘致可能性のある競技やスポーツ団体のキーパーソンとのパイプづくりを強化し、ゲスト・ホストが協働しながら具体的な取組を進めていくことが重要であり、市体育協会や市観光協会を中心にした誘致・受入体制の構築が必要である。競技施設だけでなく、宿泊施設、飲食・交通などのアフタースポーツ機能も含めた市内の民間事業者とのネットワーク窓口となり、経済効果の地域還元を促進する役割が期待される。具体的には、競技団体との連携、大会開催情報の早期キャッチ、事業費・スポンサーの確保、ボランティアなど運営面のサポート確保などを行う。

沖縄市だけでなく、スポーツコミッション沖縄との連携、近隣市町村との広域連合などにより、市町村の垣根を越えた受入体制の構築、ピーク期の施設利用の調整などの環境整備にも取組む必要がある。

3. 観戦者の周遊促進に向けた取組の提案

コザ運動公園ではバスケットボールとバレーボールのプロ公式戦が行われており、2月にはプロ野球のキャンプの実施により多くのスポーツ観戦者が訪れている。ここでは、市内中心市街地の活性化に資するため、コザ運動公園を中心とするスポーツ興行の観戦者の周遊促進に向けた取組を提案する。

①周辺施設と交通サービスのセットプランの提供

コザ運動公園及び中心市街地は、沖縄南インターチェンジに隣接しており、那覇近郊へのアクセス性に適している。その一方で、駐車場不足に伴う近隣商業施設の駐車場とのシャトルバスの運行、さらに夜間の試合終了の影響もあり、周辺地域への周遊機会の喪失が生じている。

アンケート調査では、観戦頻度の高い観戦者ほど、観戦後の飲食機会が多いことが明らかとなっている。そこでコザ運動公園周辺への滞在時間を延長するため、市内中心市街地の店舗や宿泊施設と、那覇近郊へのシャトルバスの送迎サービスをセットとしたプランの提供を提案する。主なターゲットは、観戦中にアルコールをとる層、観戦後の飲食を予定する層、県外宿泊者などである。夜間（深夜）や試合翌日を含めた送迎サービスを提供することで、試合終了後の周辺地域での夜間滞在の延長や宿泊促進を狙うものである。同様に市内タクシー会社と連携し、行きはシャトルバス、帰宅はタクシーといった好きな時間帯に帰宅する方法も考えられる。

②チームや選手に由来するスポットの開拓・PR

女性観戦者については、特定のチームや選手を熱心に応援するコアな客層もおり、県外客も多い状況である。バスケットボールやバレーボールの観戦者は、若い女性の割合が高いことがアンケートやヒアリングで明らかとなっている。

沖縄市はディープなまちとして認知される一方、スポーツ観戦者と店舗とのマッチングは

進んでいないと考えられる。特に女性客のみでは気軽に立ち寄りにくい印象がある。

そこで女性観戦者が関心を示し、周遊を誘発する仕掛けとして、中心市街地とチームや選手とのつながりにアプローチし、「場所」「食事」「商品」の開拓やPRを提案したい。熱心なファン層にとっては、大会観戦だけでなく、選手の練習場所や行きつけの店についても関心が高いと考えられる。観光物産協会などが一部のスポットを紹介しているが、今後、チームや選手の協力を得ながら、関連スポットを開拓し、周辺店舗・企業と連携した旅行プランや商品の開発、PRを進めることが考えられる。また、ナイトツーリズムの一環として試合後の特別ツアーを提供するなど、宿泊とセットにした誘客方法も考えられる。

女性観戦者に限らず、チームの公式グッズの設置は、試合前後の消費機会につながるものである。大会会場だけでなく、日常的にグッズや関連商品を設置・販売できるテナントの誘致も必要である。

【資料編】

資料 1. アンケート調査記録

1. 全島サッカー 1 万人祭の調査分析

(1) 実施概要

対面調査によって、アンケート調査を実施した。実施概要は下記のとおりである。

アンケート調査実施概要

項目	概要
実施期間	FC 琉球公式戦（全島サッカー 1 万人祭）2018 年 7 月 7 日（土）
実施方法	会場にて調査員による対面調査の実施
回収数	合計 400 件（市外 318 件／市内 82 件）
試合時間	18：00 開始 20：00 終了

(2) 調査結果の概要

調査の分析にあたっては、市内を除いた県内（市外）、県外、国外の回答について分析を行った。アンケート調査の結果として、下記のような傾向がみられた。

ア. 観戦者の姿

- 観戦者は、「30 代」と「40 代」の「県内（市外）」に住む「女性」が中心であった。
- 観戦者は、「家族」や「友人・知人」からなる「2～5 人」の少人数のグループが中心だった。
- 今回のイベントの参加動機は、「スポーツ観戦が好き」や「友人・家族に誘われた」、「チケットをもらった」という理由が中心であり、また、スポーツ観戦の頻度についても、「めったに行かない」が 4 割を占めていたことから、普段、チームの試合をあまり観戦しない層が中心であったと考えられる。
- 交通手段は、「自家用車・レンタカー」が中心であり、「シャトルバス」の利用はあまりみられなかった。会場までの交通アクセスは、半数以上が好評価の回答である一方で、駐車場数の満足度は交通アクセスに比べて「よくない」と答えた割合が高かった。

イ. 観戦者の動向

- イベント前にどこにも立ち寄らず、「自宅から直行」したという回答が半数を占めた。ただし、「仕事仲間」のグループや「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」コアなファンは、他の層に比べて「飲食」をする割合が高い傾向であった。
- イベントの前に「飲食」、「買物」、「娯楽」、「観光」、「その他」の行動をした人のうち、「市内」の店舗に立ち寄ったのは、4 割程度であった。
- 会場には、「3 時間以上～4 時間未満」滞在している人が多く、4 分の 3 近くの人が会場でお金を「使った（使う予定がある）」としており、試合の前後に会場で飲食やグッズ購入をしていることがうかがえる。
- イベント後の行動については、予定を含むので実際の行動と異なる可能性があるが、「帰宅」する予定の人が 6 割近かった。なかでも、特に「家族」や「部活・サークル」のグループは、「帰宅」する割合が高い傾向がみ

られた。一方で、「友人・知人」や「仕事仲間」、「2～3ヶ月に1回」スポーツを観戦する層は、他の層に比べて「飲食」をする割合が高い傾向がみられた。

- イベントの後に「飲食」、「買物」、「娯楽」、「観光」、「その他」の行動をする予定の人のうち、「市内」の店舗に立ち寄る予定と答えた人は、3割程度であった。
- 市内に立ち寄らなかった理由として、4割の人が「もともと予定がなかった」と回答した。なかでも「部活・サークル」のグループは特にその傾向がみられた。また、2割程度の人が「時間がない」と回答しており、特に「家族」のグループにその傾向がみられた。「友人・知人」や「仕事仲間」、「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」コアなファンは、他に比べて「大会（イベント）で十分満足した」と回答した割合が高かった。
- イベント前後に沖縄市でお金を「使った（使う予定がある）」人は1割程度にとどまった。「自分ひとり」や「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」コアなファンは、他よりも消費する傾向がみられた。消費した項目については、ほぼ飲食費であり、1,000円～3,000円の範囲で消費している傾向がみられた。

ウ. 総括

今回のFC琉球公式戦は、「全島サッカー1万人祭」として、フードフェスティバルやステージなどのイベントが付随して開催されたものであった。

観戦者の傾向として、アンケート結果からは、イベントの前後に市内への立ち寄りや消費をしている人はあまりみられなかった。その理由として、イベントへの参加自体を楽しみにしている人（もともと予定がなかった人）が多いことや、試合終了時間が夜遅かったために、どこにも立ち寄らずに帰宅する人が多いためではないかと考えられる。

ただし、仕事仲間のグループやスポーツ観戦の頻度が高い層は、他の層よりもイベント前後に会場で飲食をする傾向がみられたことから、今後、情報発信や店舗の充実によって市内立ち寄りを促すことが可能ではないかと考えられる。

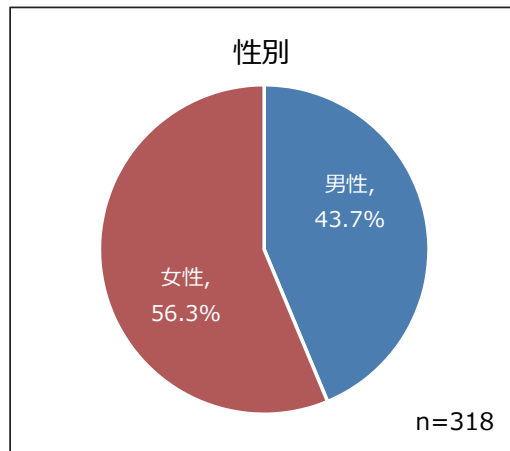
(3) アンケート調査結果

①基本属性

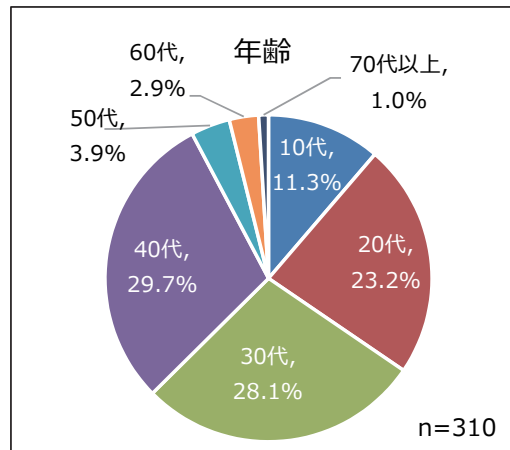
◆性別・年齢

- アンケート回答者の性別は、女性 179 人（56.3%）、男性 139 人（43.7%）であった。
- 年齢は、30代と40代がそれぞれ3割近くを占めており、次いで20代が多い。

性別	回答数	割合
男性	139件	43.7%
女性	179件	56.3%
無回答	0件	-
合計（無回答除く）	318件	100.0%



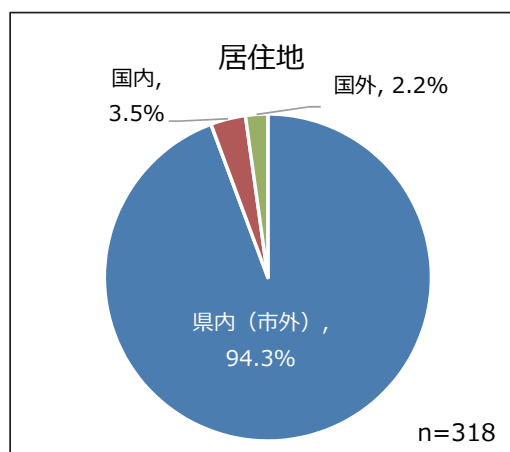
年齢	回答数	割合
10代	35件	11.3%
20代	72件	23.2%
30代	87件	28.1%
40代	92件	29.7%
50代	12件	3.9%
60代	9件	2.9%
70代以上	3件	1.0%
無回答	8件	-
合計（無回答除く）	310件	100.0%



◆居住地

- 回答者の居住地は、県内（市外）が 300 人（94.3%）とほとんどを占める。少数ではあるが、国内や国外からの観戦者もみられた。

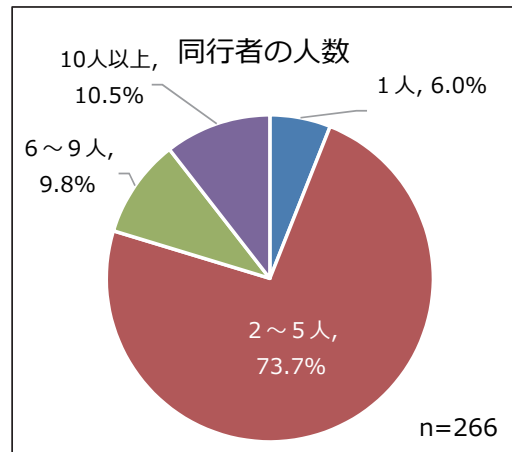
居住地	回答数	割合
県内（市外）	300件	94.3%
国内	11件	3.5%
国外	7件	2.2%
無回答	0件	-
合計（無回答除く）	318件	100.0%



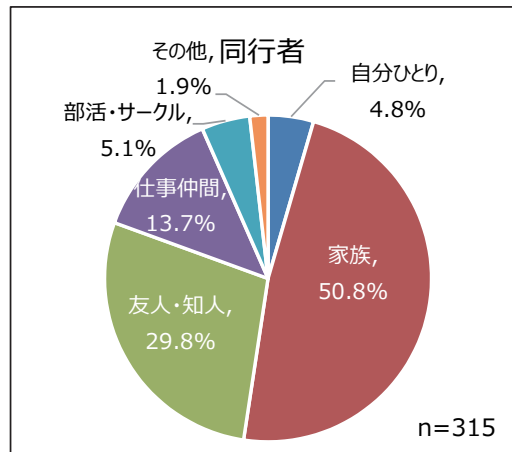
◆同行者及び人数

- 回答者の人数は、「2～5人」のグループが 196 人（73.7%）と最も多かった。次いで、「10人以上」（10.5%）、「6～9人」（9.8%）であり、「1人」は 16 人（6.0%）であった。
- 同行者は「家族」が 160 人（50.8%）と半数を占め、次いで「友人、知人」が 94 人（29.8%）、「仕事仲間」43 人（13.7%）であった。

同行人数（複数回答）	回答数	割合
1人	16件	6.0%
2～5人	196件	73.7%
6～9人	26件	9.8%
10人以上	28件	10.5%
無回答	52件	-
合計（無回答除く）	266件	100.0%



同行者（複数回答）	回答数	割合
自分ひとり	15件	4.8%
家族	160件	50.8%
友人・知人	94件	29.8%
仕事仲間	43件	13.7%
部活・サークル	16件	5.1%
その他	6件	1.9%
無回答	3件	-
合計（無回答除く）	334件	-

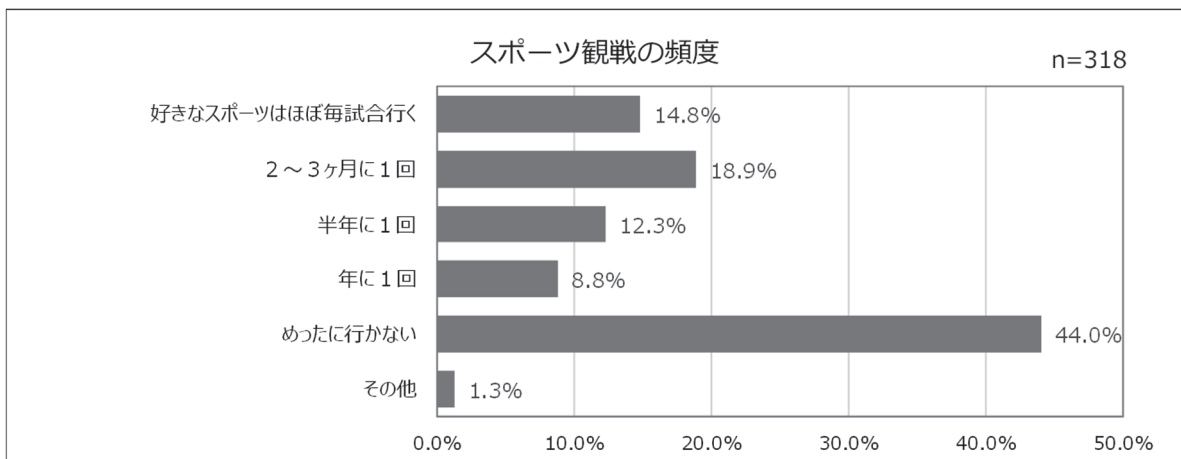


②観戦者の興味・関心

◆スポーツ観戦の頻度

- 回答者のうち、スポーツ観戦は「めったに行かない」が140人（44.0%）で最も多く、次いで「2～3ヶ月に1回」が60人（18.9%）であった。
- 「好きなスポーツは毎試合行く」というスポーツファンは47人（14.8%）であった。

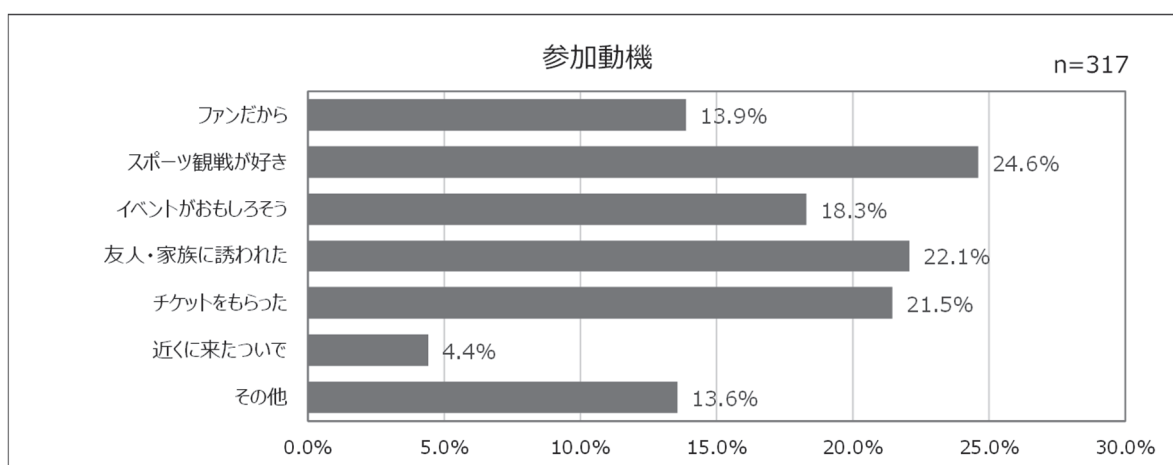
スポーツ観戦の頻度	回答数	割合
好きなスポーツはほぼ毎試合行く	47件	14.8%
2～3ヶ月に1回	60件	18.9%
半年に1回	39件	12.3%
年に1回	28件	8.8%
めったに行かない	140件	44.0%
その他	4件	1.3%
無回答	0件	-
合計（無回答除く）	318件	100.0%



◆参加動機

- 参加動機については、回答者のうち 78 人（24.6%）が「スポーツ観戦が好き」と回答した。次いで、「友人・家族に誘われた」が 70 人（22.1%）、「チケットをもらった」が 68 人（21.5%）と同程度を占めた。
- 他に「イベントがおもしろそう」が 58 人（18.3%）で、「ファンだから」という回答者は 44 人（13.9%）にとどまった。

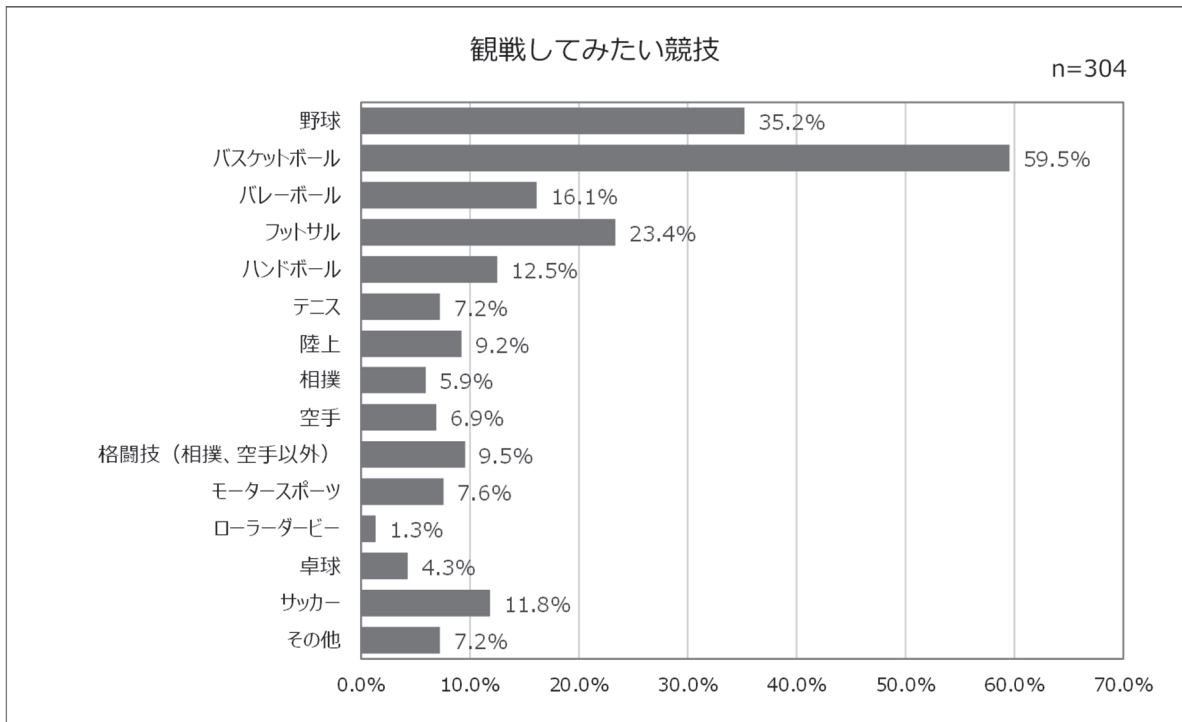
参加動機（複数回答）	回答数	割合
ファンだから	44件	13.9%
スポーツ観戦が好き	78件	24.6%
イベントがおもしろそう	58件	18.3%
友人・家族に誘われた	70件	22.1%
チケットをもらった	68件	21.5%
近くに来たついで	14件	4.4%
その他	43件	13.6%
無回答	1件	-
合計（無回答除く）	375件	-



◆観戦してみたい競技

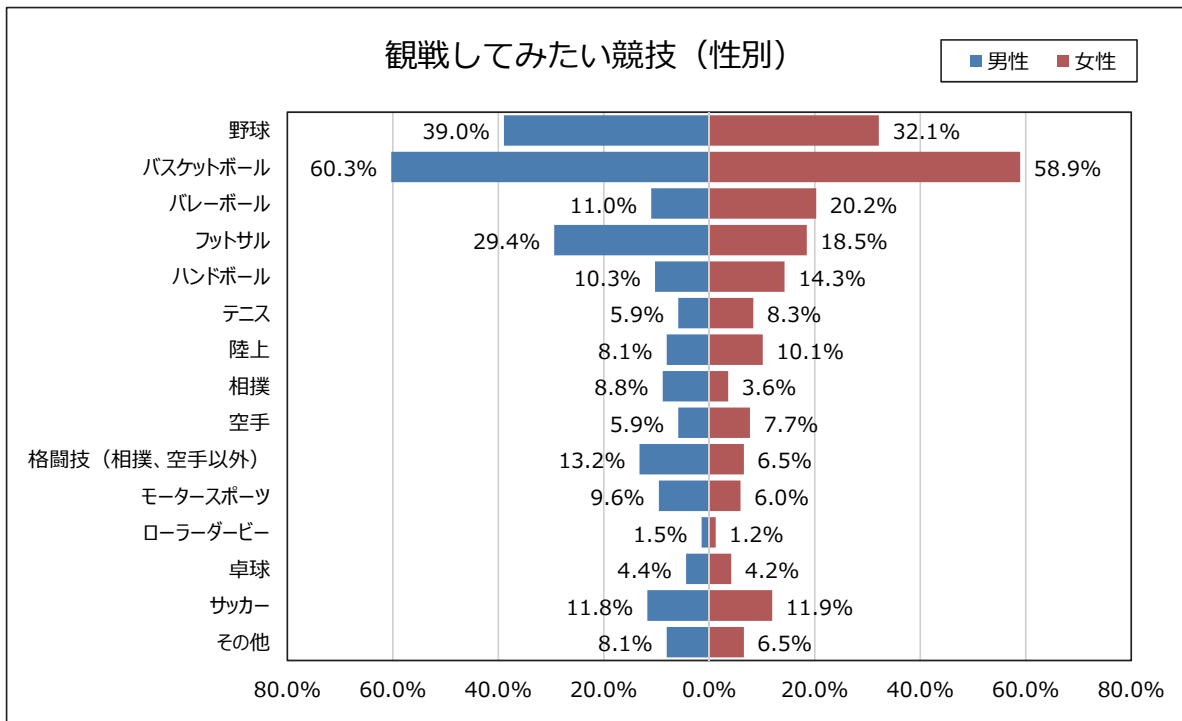
- 観戦してみたい競技については、回答者のうち、181 人（59.5%）が「バスケットボール」と回答しており、最も多かった。
- 次いで、「野球」が 107 人（35.2%）、「フットサル」が 71 人（23.4%）、「バレーボール」（16.1%）であった。
- 最も関心が低かった競技は「ローラダービー」で 4 人（1.3%）であった。
- 「その他」の競技としては、「アメフト」、「ラグビー」、「バドミントン」、「プロレス」、「ダーツ」、「水球」などの回答があった。

観戦してみたい競技（複数回答）	回答数	割合
野球	107件	35.2%
バスケットボール	181件	59.5%
バレーボール	49件	16.1%
フットサル	71件	23.4%
ハンドボール	38件	12.5%
テニス	22件	7.2%
陸上	28件	9.2%
相撲	18件	5.9%
空手	21件	6.9%
格闘技（相撲、空手以外）	29件	9.5%
モータースポーツ	23件	7.6%
ローラダービー	4件	1.3%
卓球	13件	4.3%
サッカー	36件	11.8%
その他	22件	7.2%
無回答	14件	-
合計（無回答除く）	662件	-



【性別クロス】

- 「野球」、「フットサル」、「相撲」、「格闘技（相撲、空手以外）」は、女性よりも男性のほうが回答する率が高かった。一方で、「バレーボール」については、女性の方が高かった。

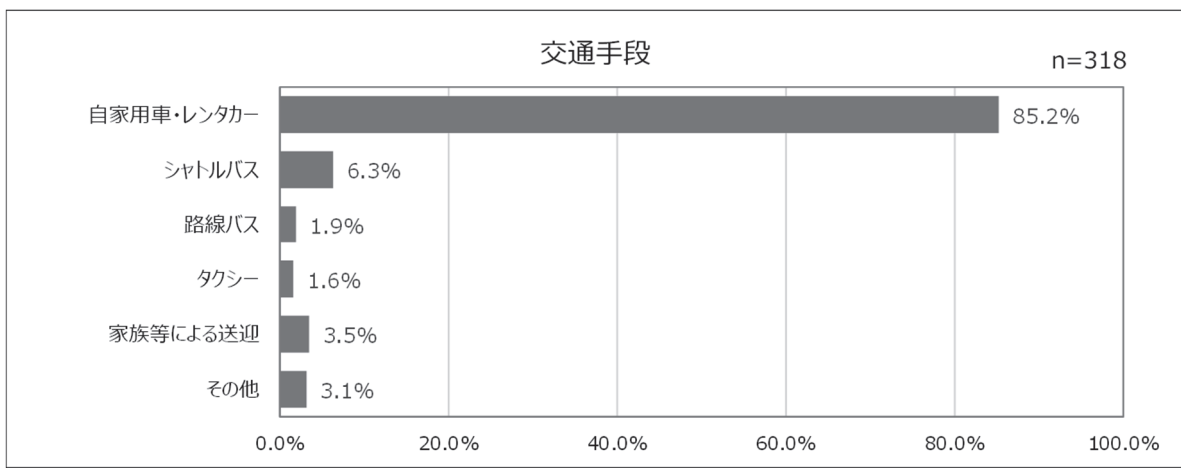


③交通手段やアクセスなどの満足度

◆会場までの交通手段

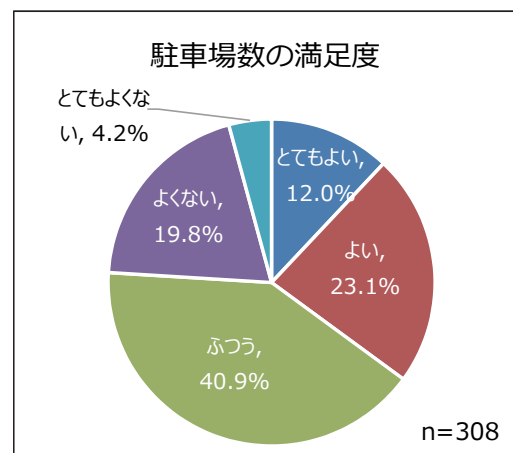
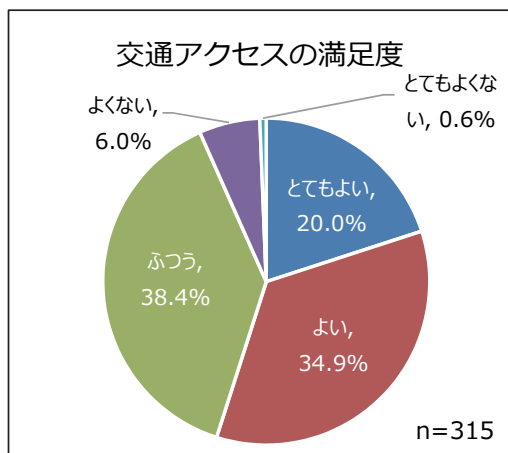
- 交通手段は、回答者のうち 271 人（85.2%）が「自家用車・レンタカー」と回答しており、ほとんどを占めた。
- 「シャトルバス」の利用は 20 人（6.3%）にとどまった。

交通手段（複数回答）	回答数	割合
自家用車・レンタカー	271件	85.2%
シャトルバス	20件	6.3%
路線バス	6件	1.9%
タクシー	5件	1.6%
家族等による送迎	11件	3.5%
その他	10件	3.1%
無回答	0件	-
合計（無回答除く）	323件	-



◆会場までの交通アクセスと駐車場の満足度

- 今回のイベントの交通アクセスの満足度は、「ふつう」が 121 人（38.4%）と最も多かった。「よい」が 110 人（34.9%）、「とてもよい」が 63 人（20.0%）であり、合わせると回答者の半数以上が好評価の回答であった。
- 駐車場数の満足度は、「ふつう」が 126 人（40.9%）と最も多かった。次いで、「よい」が 71 人（23.1%）、「よくない」が 61 人（19.8%）であり、交通アクセスに比べると、「よくない」の割合が高かった。



交通アクセスの満足度	回答数	割合
とてもよい	63件	20.0%
よい	110件	34.9%
ふつう	121件	38.4%
よくない	19件	6.0%
とてもよくない	2件	0.6%
無回答	3件	-
合計（無回答除く）	315件	100.0%

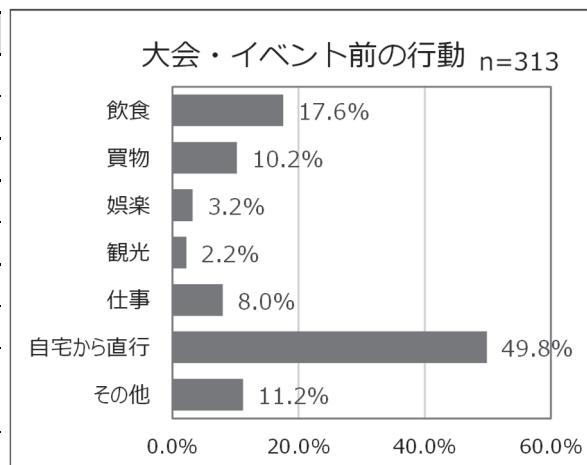
駐車場数の満足度	回答数	割合
とてもよい	37件	12.0%
よい	71件	23.1%
ふつう	126件	40.9%
よくない	61件	19.8%
とてもよくない	13件	4.2%
無回答	10件	-
合計（無回答除く）	308件	100.0%

④観戦者の動向

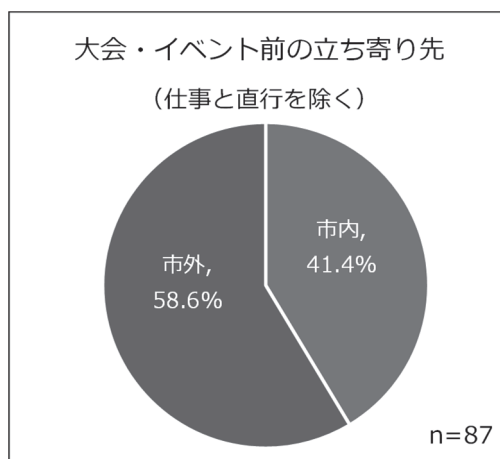
◆大会・イベント前の立ち寄り先、行動

- 大会・イベント前に行った行動については、回答者の約半数の 156 人（49.8%）が「自宅から直行」と回答した。次いで、「飲食」が 55 人（17.6%）、「買物」が 32 人（10.2%）であった。
- 「その他」の内容としては、「子どもの部活／練習試合／サッカー／試合場／野球観戦／リーグ戦運営」、「ゴルフ」、「魚釣り」、「スクール」、「セミ取り」、「七夕まつり」、「ボランティア」などの回答がみられた。
- 大会・イベント前に「飲食」、「買物」、「娯楽」、「観光」、「その他」の行動をした人の立ち寄り先としては、「市外」が 51 人（58.6%）、「市内」が 36 人（41.4%）であった。

大会・イベント前の行動（複数回答）	回答数	割合
飲食	55件	17.6%
買物	32件	10.2%
娯楽	10件	3.2%
観光	7件	2.2%
仕事	25件	8.0%
自宅から直行	156件	49.8%
その他	35件	11.2%
無回答	5件	-
合計（無回答除く）	320件	-



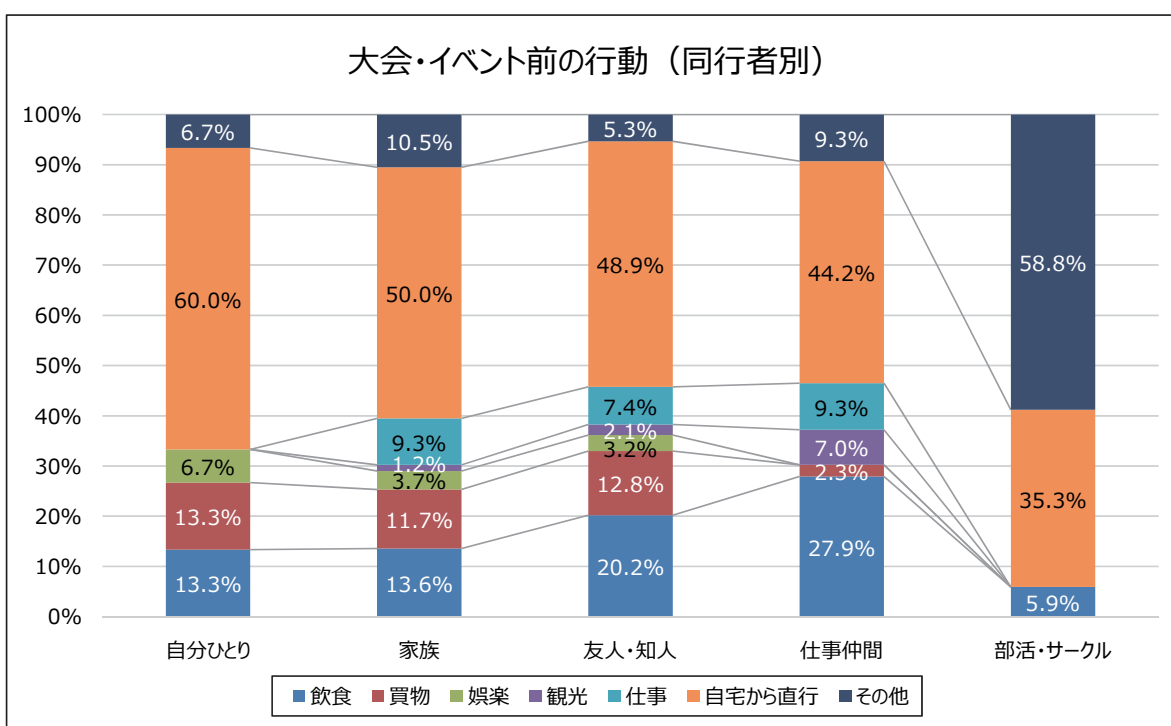
大会・イベント前の立ち寄り先	回答数	割合
市内	36件	41.4%
市外	51件	58.6%
無回答	47件	-
合計（無回答除く）	87件	100.0%



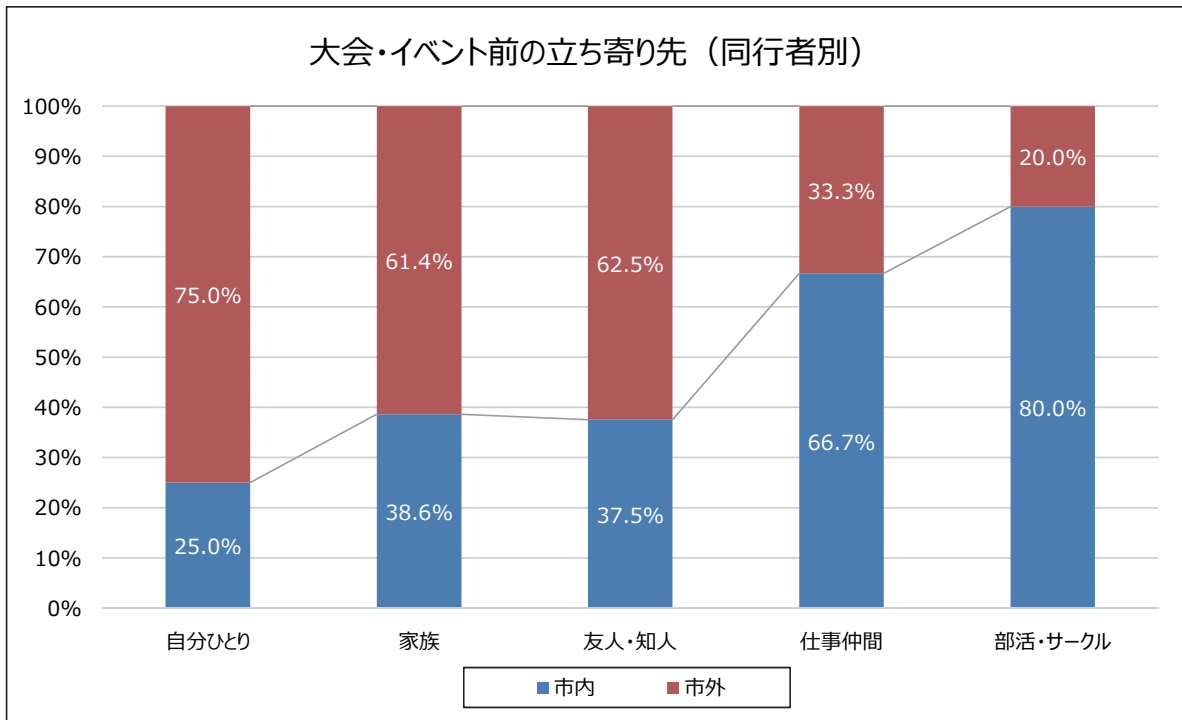
【同行者クロス】

- 同行者別では、同行者が「仕事仲間」と答えた回答者は、他の同行者に比べて大会・イベント前に「飲食」や「観光」をしている割合が高い。
- 他の同行者に比べて、「自宅から直行」している割合は「自分ひとり」の場合が高く、「部活・サークル」の場合が低い。
- 同行者が「仕事仲間」または「部活・サークル」と回答した人のうち、大会・イベント前の行動として、「仕事」と「自宅から直行」を選んだ人以外は、6割以上が市内の店舗に立ち寄っている。

大会・イベント前の行動（複数回答）	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
飲食	13.3%	13.6%	20.2%	27.9%	5.9%
買物	13.3%	11.7%	12.8%	2.3%	0.0%
娯楽	6.7%	3.7%	3.2%	0.0%	0.0%
観光	0.0%	1.2%	2.1%	7.0%	0.0%
仕事	0.0%	9.3%	7.4%	9.3%	0.0%
自宅から直行	60.0%	50.0%	48.9%	44.2%	35.3%
その他	6.7%	10.5%	5.3%	9.3%	58.8%



大会・イベント前の立ち寄り先	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
市内	25.0%	38.6%	37.5%	66.7%	80.0%
市外	75.0%	61.4%	62.5%	33.3%	20.0%

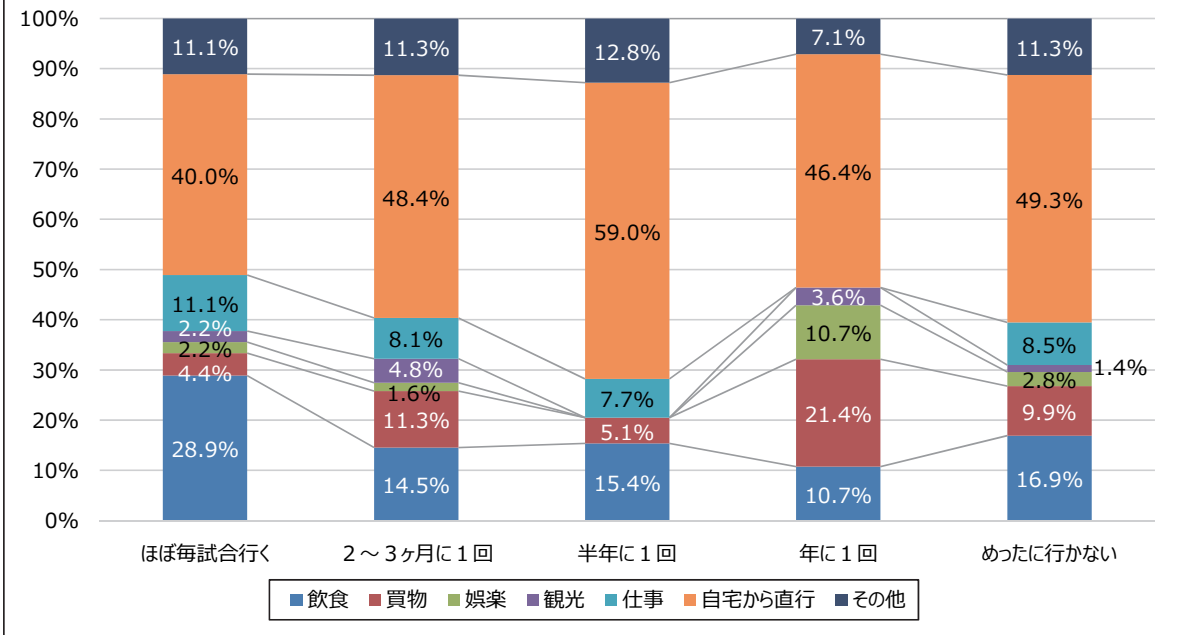


【観戦頻度クロス】

- スポーツ観戦の頻度別では、「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」と答えた回答者は、他の回答者よりも大会・イベントの前に「飲食」している割合が高い。
- スポーツ観戦の頻度が「年に1度」と回答した人は、他の回答者に比べて「買物」や「娯楽」をしている割合が高い。
- スポーツ観戦の頻度が「年に1度」と回答した人のうち、大会・イベント前の行動として「仕事」と「自宅から直行」を選んだ人以外は、全員が市外の店舗に立ち寄っている。

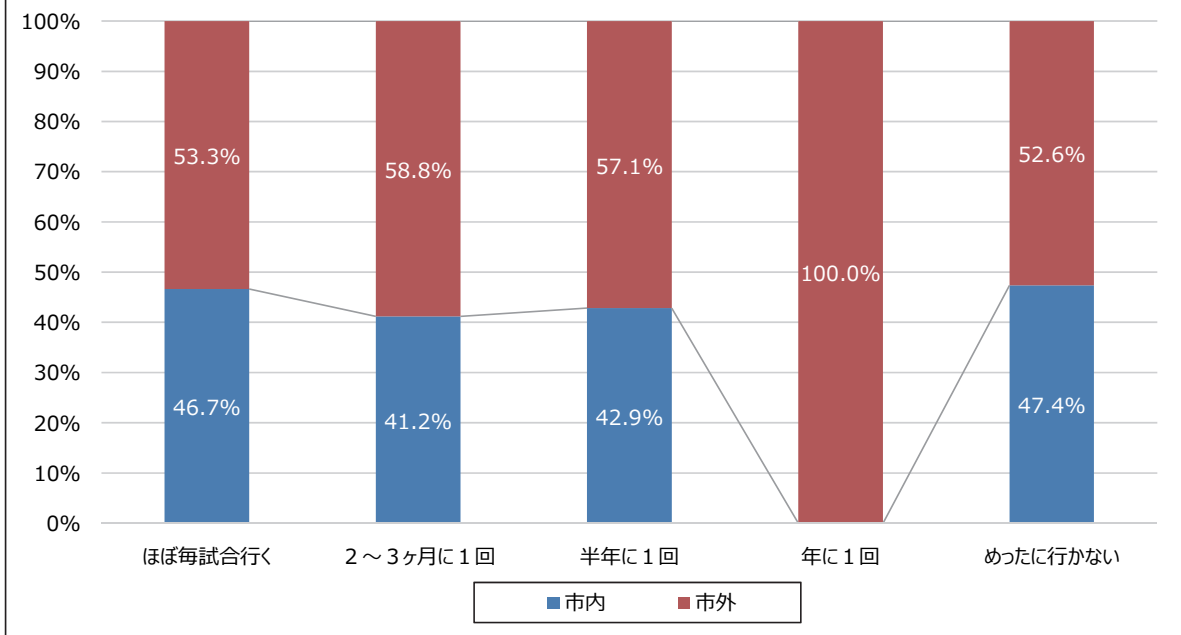
大会・イベント前の行動（複数回答）	ほぼ毎試合	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
飲食	28.9%	14.5%	15.4%	10.7%	16.9%
買物	4.4%	11.3%	5.1%	21.4%	9.9%
娯楽	2.2%	1.6%	0.0%	10.7%	2.8%
観光	2.2%	4.8%	0.0%	3.6%	1.4%
仕事	11.1%	8.1%	7.7%	0.0%	8.5%
自宅から直行	40.0%	48.4%	59.0%	46.4%	49.3%
その他	11.1%	11.3%	12.8%	7.1%	11.3%

大会・イベント前の行動（観戦頻度別）



大会・イベント前の立ち寄り先	ほぼ毎試合	2〜3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
市内	46.7%	41.2%	42.9%	0.0%	47.4%
市外	53.3%	58.8%	57.1%	100.0%	52.6%

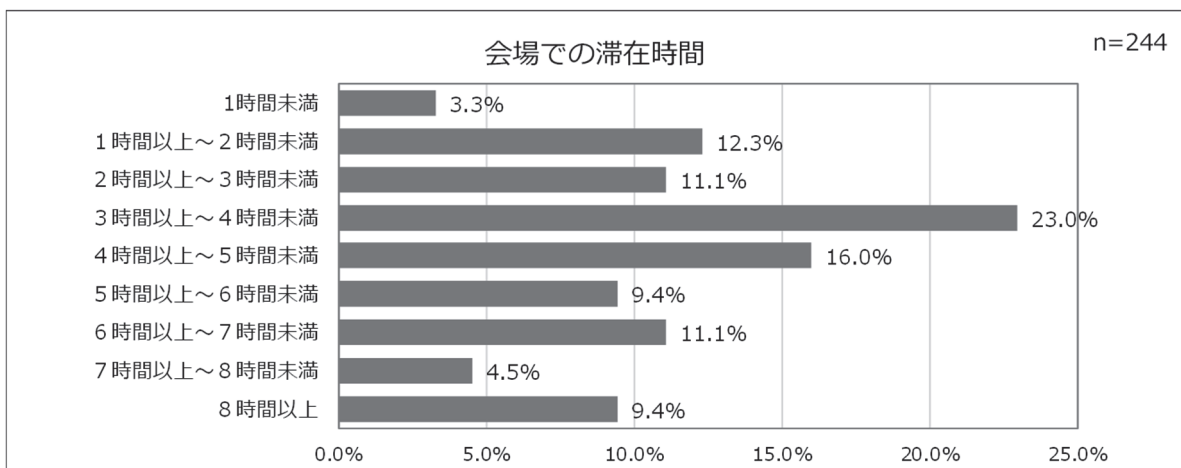
大会・イベント前の立ち寄り先（観戦頻度別）



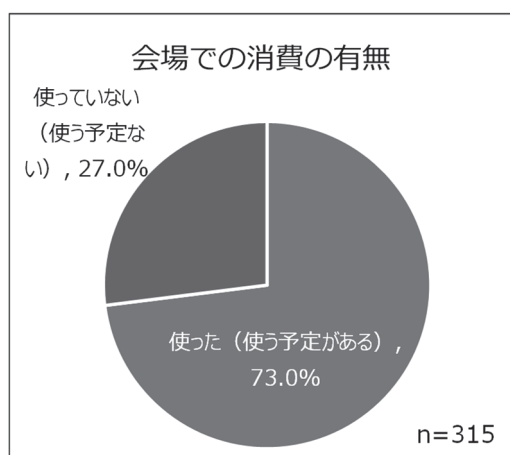
◆大会・イベント会場での滞在時間、消費の有無

- 今回の大会・イベント会場での滞在時間は、「3時間以上～4時間未満」が56人（23.0%）で最も多く、次いで、「4時間以上～5時間未満」が39人（16.0%）であった。
- 今回、最も長い滞在時間は「8時間以上」で、最も短い滞在時間は「1時間未満」であった。
- 会場でお金を使ったか（使う予定があるか）どうかについての質問には、回答者のうち、4分の3近くの230人（73.0%）が「使った（使う予定がある）」と回答した。

会場での滞在時間	回答数	割合
1時間未満	8件	3.3%
1時間以上～2時間未満	30件	12.3%
2時間以上～3時間未満	27件	11.1%
3時間以上～4時間未満	56件	23.0%
4時間以上～5時間未満	39件	16.0%
5時間以上～6時間未満	23件	9.4%
6時間以上～7時間未満	27件	11.1%
7時間以上～8時間未満	11件	4.5%
8時間以上	23件	9.4%
無回答	74件	-
合計（無回答除く）	244件	100.0%



会場での消費の有無	回答数	割合
使った（使う予定がある）	230件	73.0%
使っていない（使う予定ない）	85件	27.0%
無回答	3件	-
合計（無回答除く）	315件	100.0%

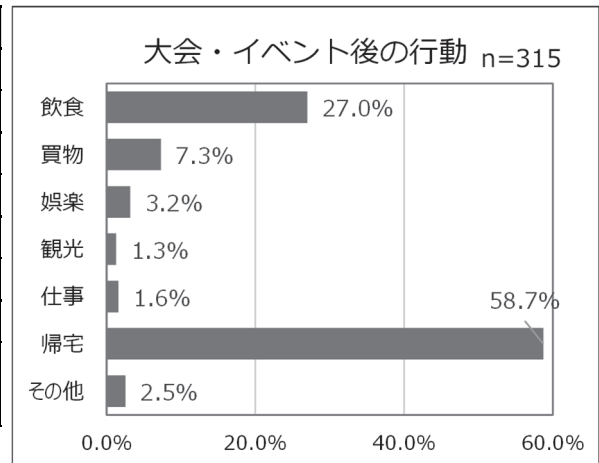


◆大会・イベント後の行動、立ち寄り先

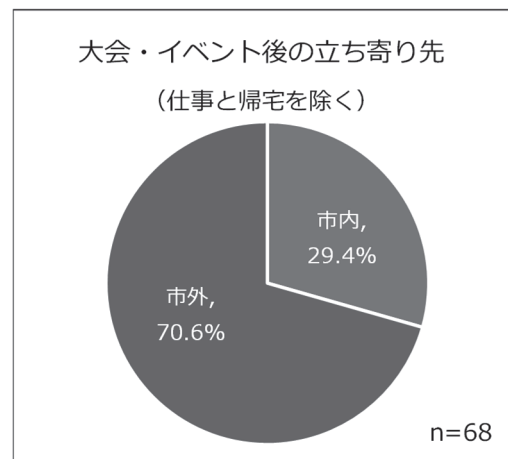
- 大会・イベント後に行う行動については、回答者の約6割の185人（58.7%）が「帰宅」と回答した。次いで、「飲食」が85人（27.0%）、「買物」が23人（7.3%）であった。
- 「その他」の内容としては、「公園で遊ぶ」、「模合」、「ホテル」、「未定」などの回答がみられた。

- 大会・イベント後に「飲食」、「買物」、「娯楽」、「観光」、「その他」の行動をする予定の人の立ち寄り先としては、「市外」が48人（70.6%）、市内が20人（29.4%）であった。

大会・イベント後の行動（複数回答）	回答数	割合
飲食	85件	27.0%
買物	23件	7.3%
娯楽	10件	3.2%
観光	4件	1.3%
仕事	5件	1.6%
帰宅	185件	58.7%
その他	8件	2.5%
無回答	3件	-
合計（無回答除く）	320件	-



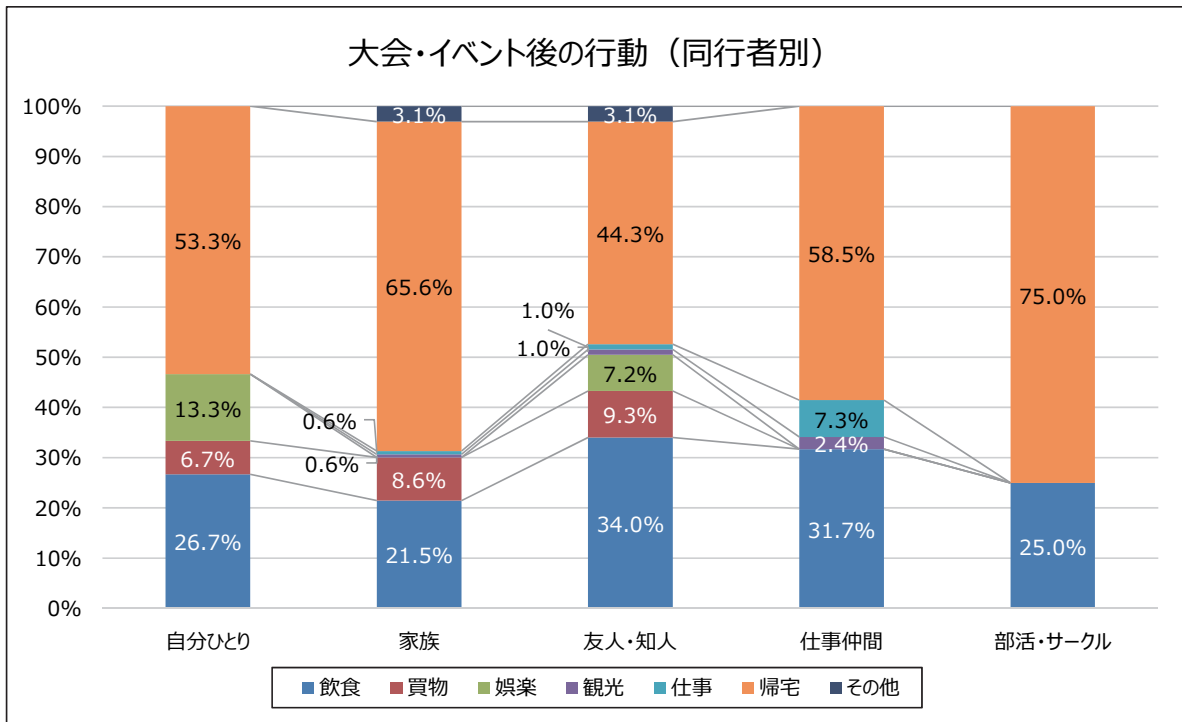
大会・イベント後の立ち寄り先	回答数	割合
市内	20件	29.4%
市外	48件	70.6%
無回答	57件	-
合計（無回答除く）	68件	100.0%



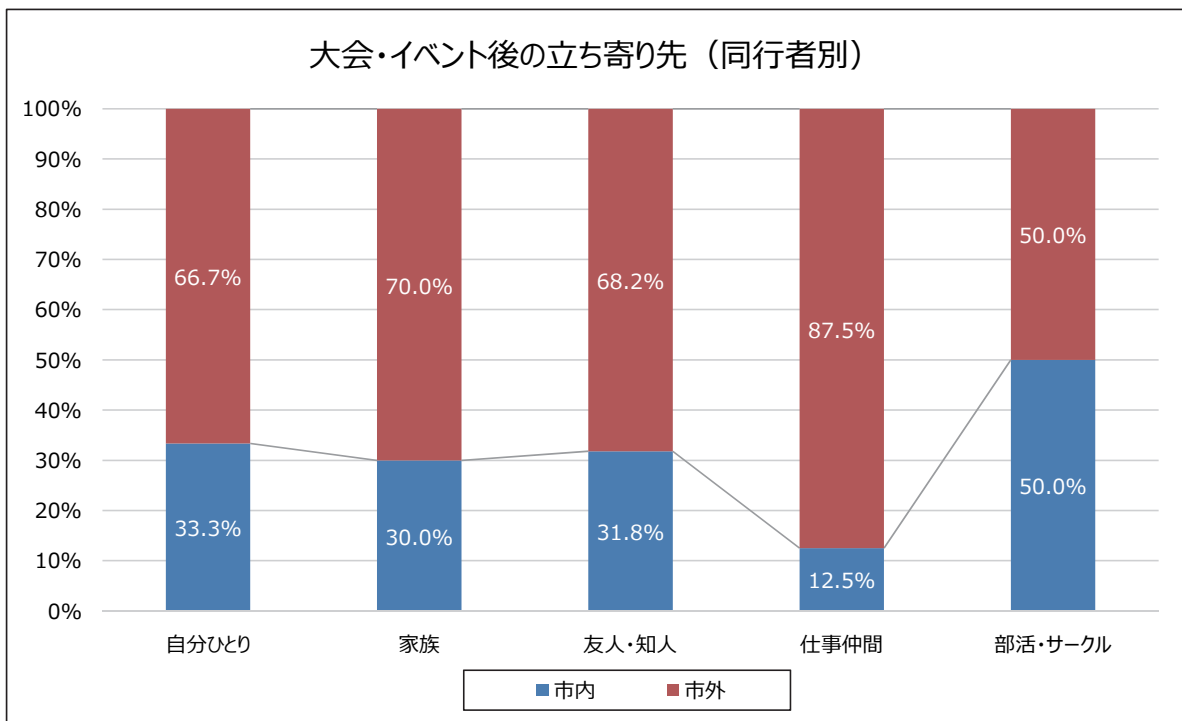
【同行者クロス】

- 同行者別では、同行者が「友人・知人」と答えた回答者は、他の同行者に比べて大会・イベント後に「飲食」をする予定である割合が高い。
- 他の同行者に比べて、「帰宅」をする予定である割合は「家族」や「部活・サークル」の場合が高く、「友人・知人」の場合が低い。
- 同行者が「仕事仲間」または「部活・サークル」と回答した人のうち、大会・イベント後の行動として、「仕事」と「帰宅」を選んだ人以外は、半数が市内の店舗に立ち寄る予定である。

大会・イベント後の行動（複数回答）	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
飲食	26.7%	21.5%	34.0%	31.7%	25.0%
買物	6.7%	8.6%	9.3%	0.0%	0.0%
娯楽	13.3%	0.0%	7.2%	0.0%	0.0%
観光	0.0%	0.6%	1.0%	2.4%	0.0%
仕事	0.0%	0.6%	1.0%	7.3%	0.0%
帰宅	53.3%	65.6%	44.3%	58.5%	75.0%
その他	0.0%	3.1%	3.1%	0.0%	0.0%



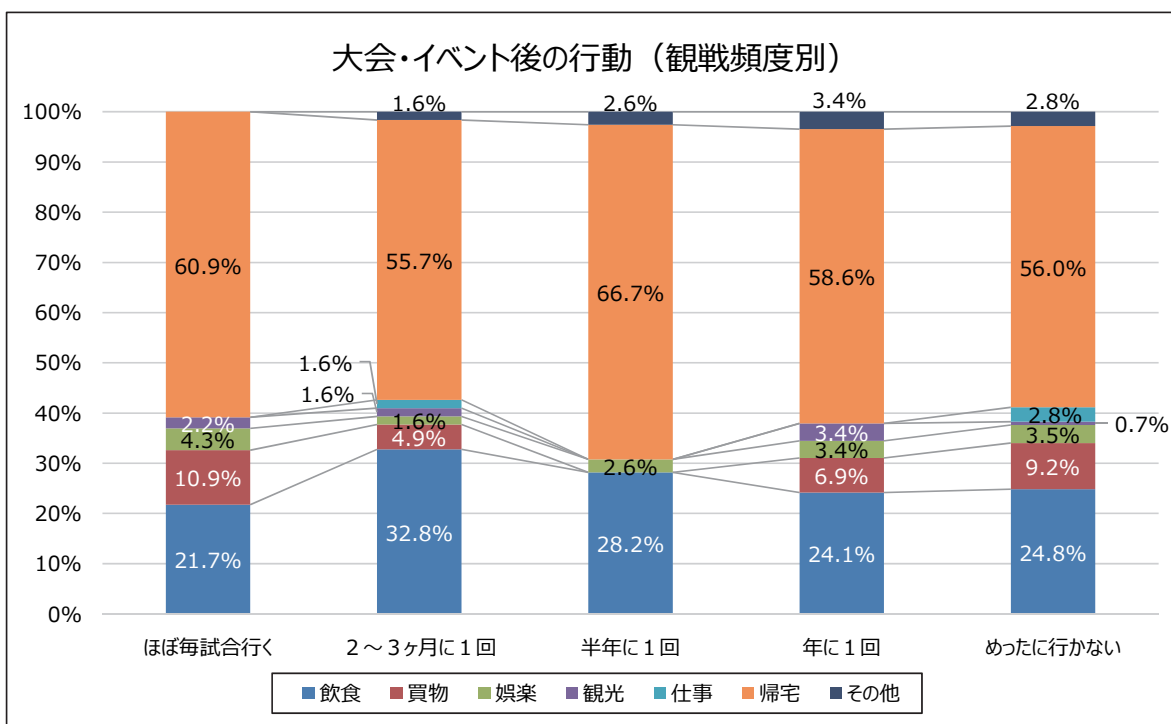
大会・イベント後の立寄り先	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
市内	33.3%	30.0%	31.8%	12.5%	50.0%
市外	66.7%	70.0%	68.2%	87.5%	50.0%



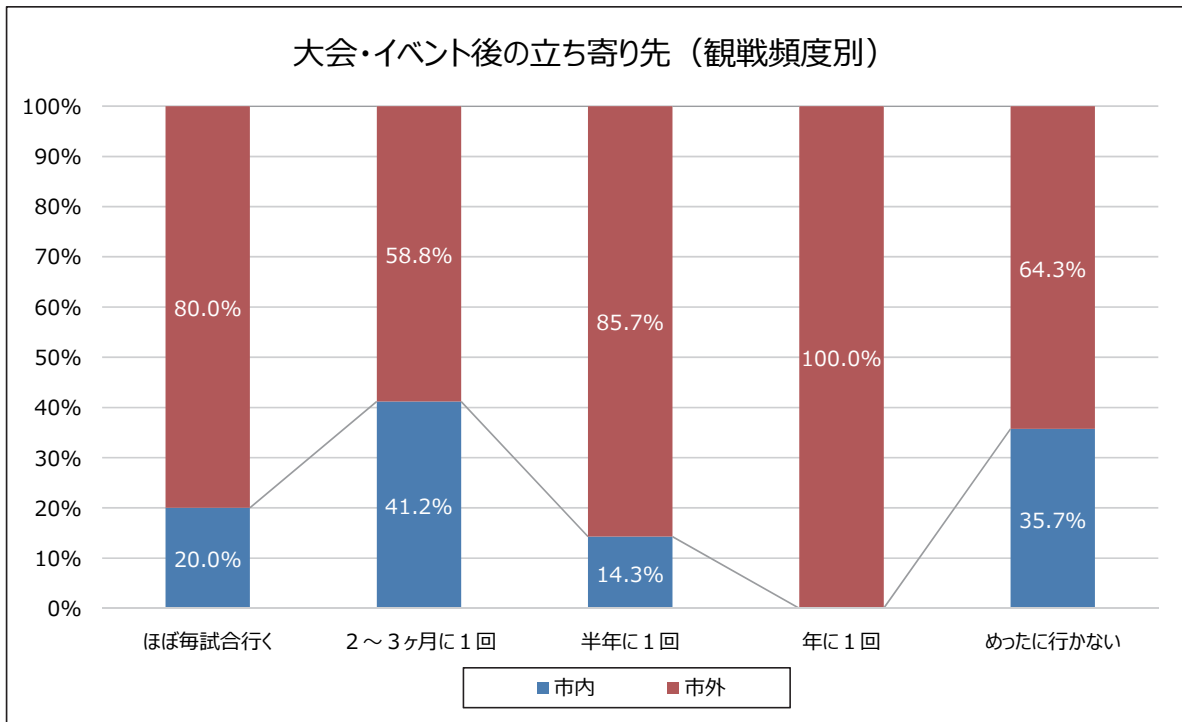
【観戦頻度クロス】

- スポーツ観戦の頻度別では、「2～3ヶ月に1回」と答えた回答者は、他の同行者に比べて大会・イベント後に「飲食」をする予定である割合が高い。
- スポーツ観戦の頻度が「2～3ヶ月に1回」または「めったに行かない」と回答した人のうち、大会・イベント後の行動として、「仕事」と「帰宅」を選んだ人以外の約4割が市内の店舗に立ち寄っている。

大会・イベント後の行動（複数回答）	ほぼ毎試合	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
飲食	21.7%	32.8%	28.2%	24.1%	24.8%
買物	10.9%	4.9%	0.0%	6.9%	9.2%
娯楽	4.3%	1.6%	2.6%	3.4%	3.5%
観光	2.2%	1.6%	0.0%	3.4%	0.7%
仕事	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	2.8%
帰宅	60.9%	55.7%	66.7%	58.6%	56.0%
その他	0.0%	1.6%	2.6%	3.4%	2.8%



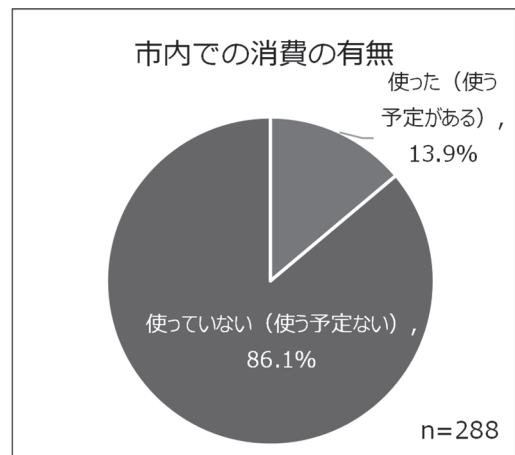
大会・イベント後の立寄り先	ほぼ毎試合	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
市内	20.0%	41.2%	14.3%	0.0%	35.7%
市外	80.0%	58.8%	85.7%	100.0%	64.3%



◆大会・イベント前後の市内での消費の有無

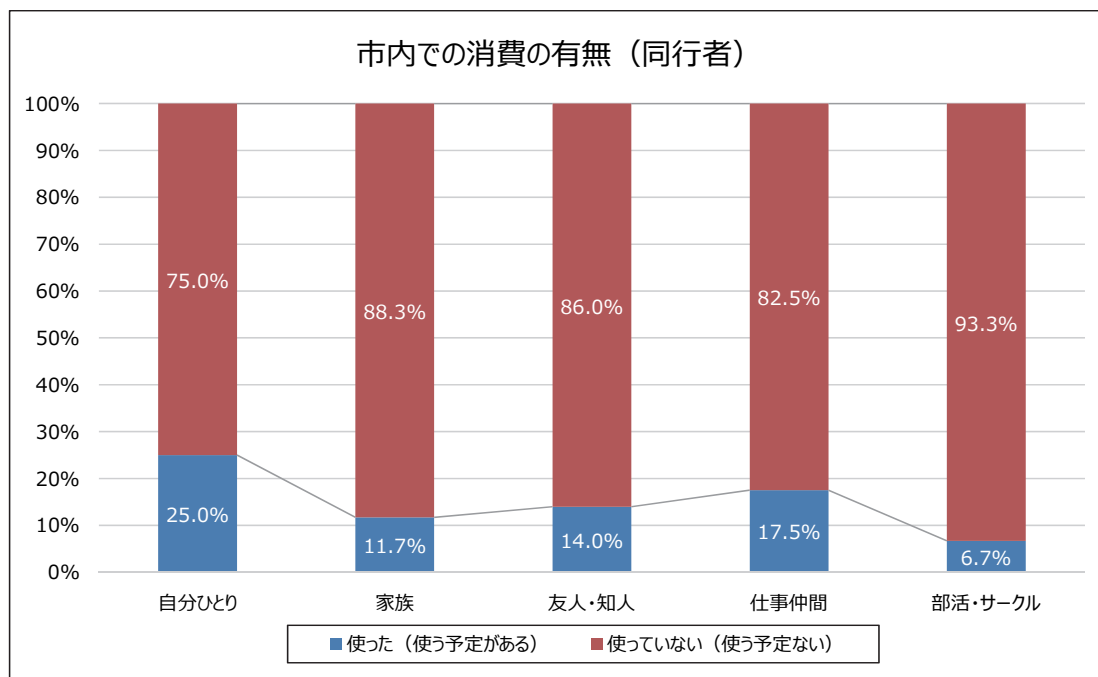
- 大会・イベント前後に市内でお金を使ったか（使う予定があるか）どうかについての質問には、回答者のうち 248 人（86.1%）が「使っていない（使う予定はない）」と回答し、「使った（使う予定がある）」は 40 人（13.9%）にとどまった。

市内での消費の有無	回答数	割合
使った（使う予定がある）	40件	13.9%
使っていない（使う予定ない）	248件	86.1%
無回答	30件	-
合計（無回答除く）	288件	100.0%



【同行者クロス】

- 同行者別では、同行者が「自分ひとり」と答えた回答者は、他の同行者に比べて大会・イベント後に市内で消費をする（予定である）割合が高い。
- 「部活・サークル」と答えた回答者は他の回答者に比べて消費をする（予定である）割合が低くなっている。

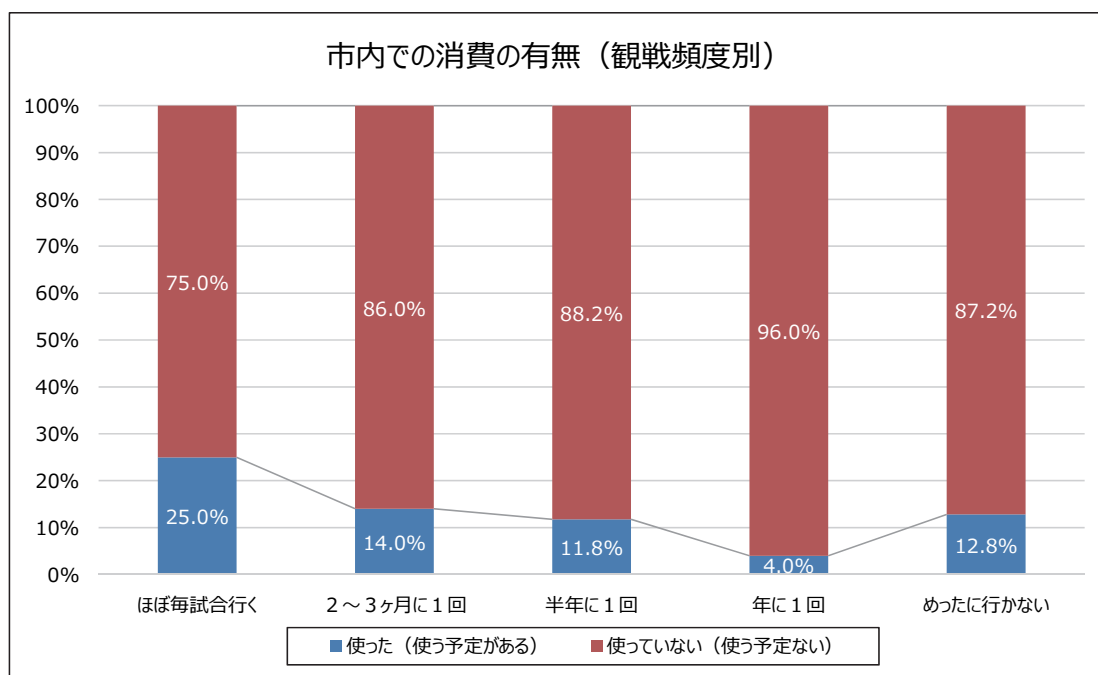


市内での消費の有無	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
使った（使う予定がある）	25.0%	11.7%	14.0%	17.5%	6.7%
使っていない（使う予定ない）	75.0%	88.3%	86.0%	82.5%	93.3%

【観戦頻度クロス】

- スポーツ観戦の頻度別では、「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」と答えた回答者は、他の同行者に比べて大会・イベント前後に市内で消費をする（予定である）割合が高い。
- 「年に1回」と答えた回答者は他の回答者に比べて消費をする（予定である）割合が低くなっている。

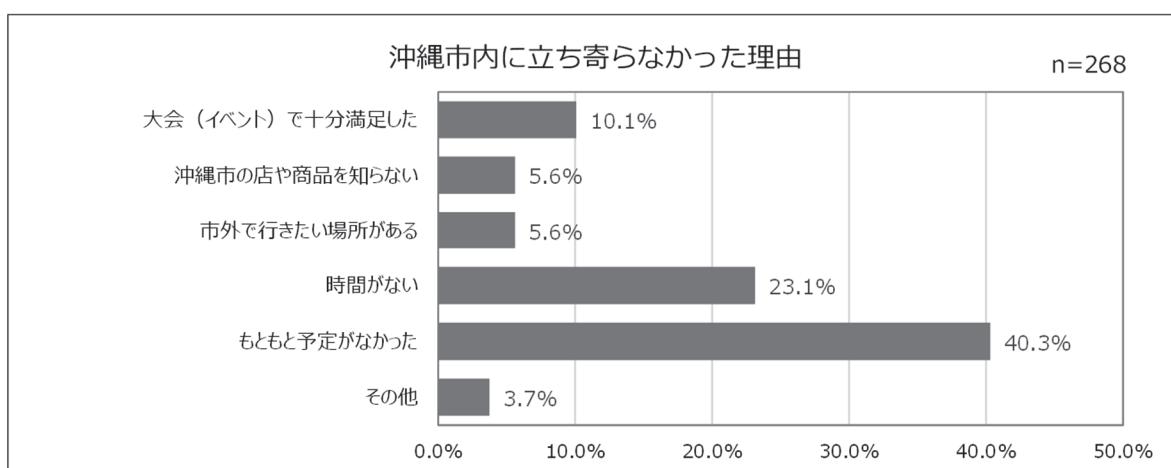
市内での消費の有無	ほぼ毎試合	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
使った（使う予定がある）	25.0%	14.0%	11.8%	4.0%	12.8%
使っていない（使う予定ない）	75.0%	86.0%	88.2%	96.0%	87.2%



◆大会・イベント前後に立ち寄りなかった理由

- 大会・イベント前後に市内に立ち寄りなかった理由としては、「もともと予定がなかった」と回答した人が108人（40.3%）と最も多かった。
- 次いで、「時間がない」が62人（23.1%）、「大会（イベント）で十分満足した」が27人（10.1%）であった。

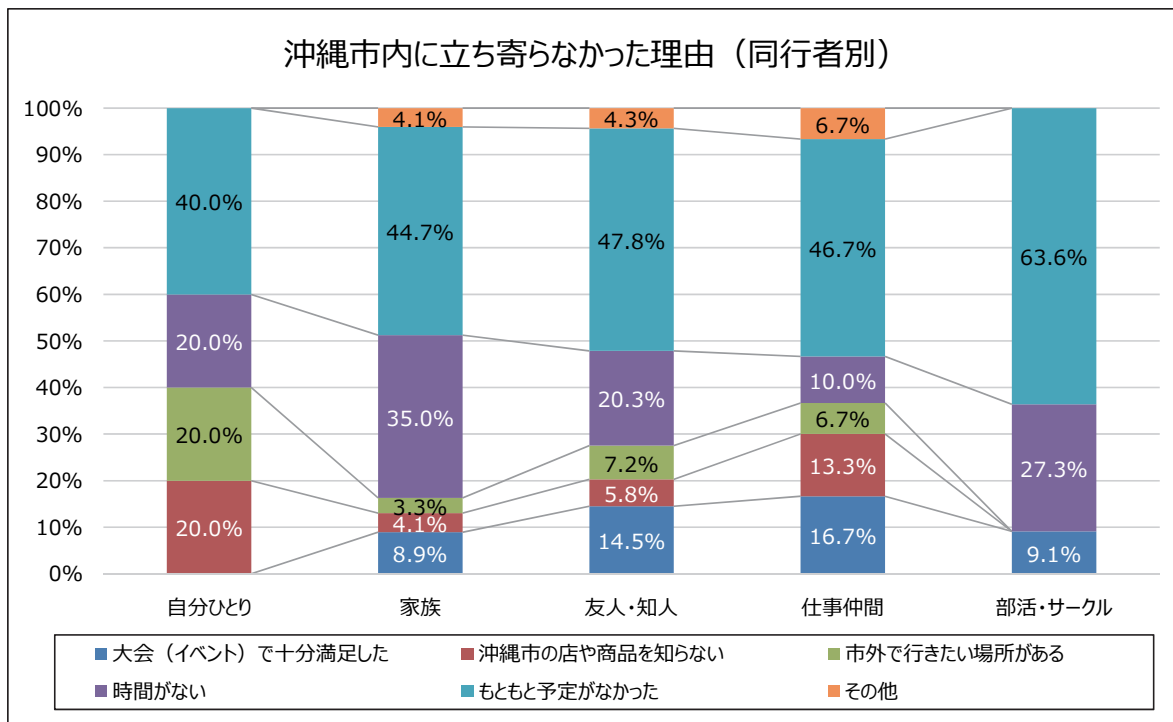
市内に立ち寄りない理由（複数回答）	回答数	割合
大会（イベント）で十分満足した	27件	10.1%
沖縄市の店や商品を知らない	15件	5.6%
市外で行きたい場所がある	15件	5.6%
時間がない	62件	23.1%
もともと予定がなかった	108件	40.3%
その他	10件	3.7%
無回答	45件	-
合計（無回答除く）	237件	-



【同行者クロス】

- 同行者別では、同行者が「自分ひとり」と答えた回答者は、他の回答者に比べて「沖縄市の店や商品を知らない」や「市外で行きたい場所がある」と回答した割合が高い。
- 同行者が「家族」と答えた回答者は、他の回答者に比べて「時間がない」と回答した割合が高い。
- 「友人・知人」や「仕事仲間」の場合は、他の回答者より「大会（イベント）で十分満足した」と回答している割合が高く、「部活・サークル」の場合は、「もともと予定がなかった」と回答している割合が高い。

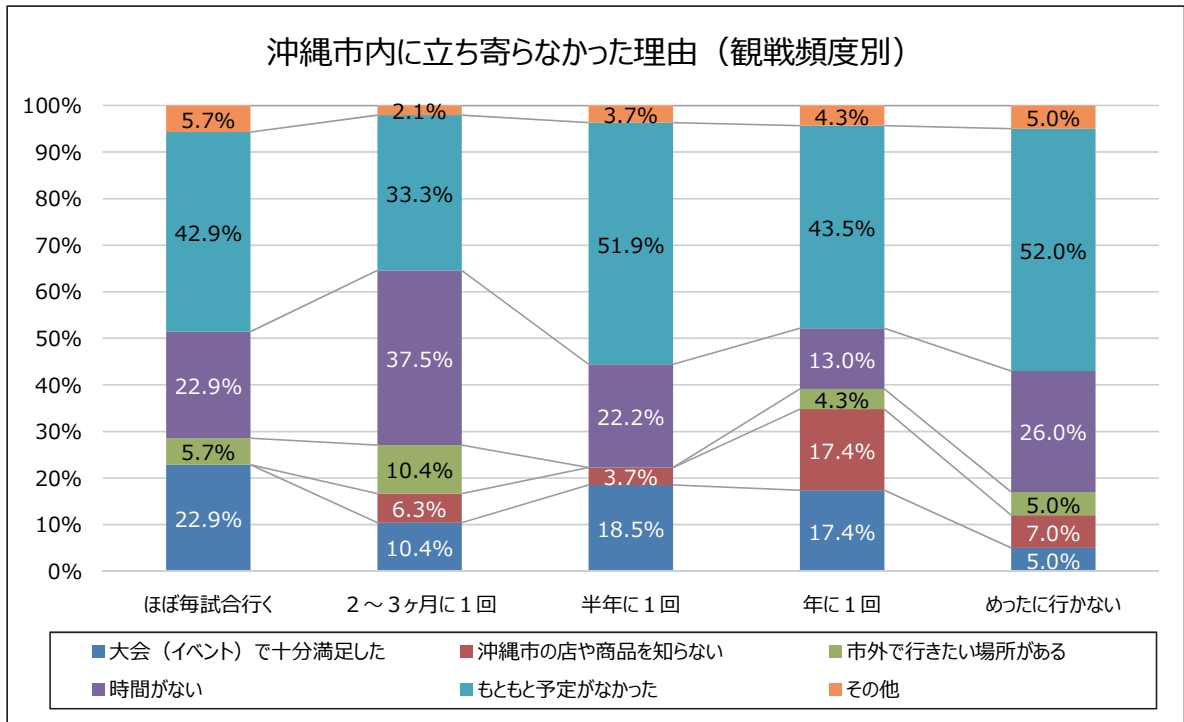
市内に立ち寄りない理由（複数回答）	自分ひとり	家族	友人・知人	仕事仲間	部活・サークル
大会（イベント）で十分満足した	0.0%	8.9%	14.5%	16.7%	9.1%
沖縄市の店や商品を知らない	20.0%	4.1%	5.8%	13.3%	0.0%
市外で行きたい場所がある	20.0%	3.3%	7.2%	6.7%	0.0%
時間がない	20.0%	35.0%	20.3%	10.0%	27.3%
もともと予定がなかった	40.0%	44.7%	47.8%	46.7%	63.6%
その他	0.0%	4.1%	4.3%	6.7%	0.0%



【観戦頻度クロス】

- スポーツ観戦の頻度別では、「好きなスポーツはほぼ毎試合行く」と答えた回答者は、他の回答者に比べて「大会（イベント）で十分満足した」と回答した割合が高い。
- 観戦の頻度が「年に1回」の場合は、他の回答者より「沖縄市の店や商品を知らない」と回答している割合が高く、「2～3ヶ月に1回」の場合は、「時間がない」と回答している割合が高い。

市内に立ち寄りない理由（複数回答）	ほぼ毎試合	2～3ヶ月に1回	半年に1回	年に1回	めったに行かない
大会（イベント）で十分満足した	22.9%	10.4%	18.5%	17.4%	5.0%
沖縄市の店や商品を知らない	0.0%	6.3%	3.7%	17.4%	7.0%
市外で行きたい場所がある	5.7%	10.4%	0.0%	4.3%	5.0%
時間がない	22.9%	37.5%	22.2%	13.0%	26.0%
もともと予定がなかった	42.9%	33.3%	51.9%	43.5%	52.0%
その他	5.7%	2.1%	3.7%	4.3%	5.0%



⑤消費額

◆イベント会場での消費額

消費総額

- イベント会場で使用した消費額の総額は、「0円」（27.3%）が最も多く、次いで「1,000～2,000円」（20.6%）、「2,000円～3,000円」（18.3%）であった。
- 消費総額で、最も高い額は「10,000円」、最も低い額は「100円」であった。

消費総額	回答数	割合
0円	85件	27.3%
1円～1,000円未満	43件	13.8%
1,000円～2,000円未満	64件	20.6%
2,000円～3,000円未満	57件	18.3%
3,000円～4,000円未満	37件	11.9%
4,000円～5,000円未満	7件	2.3%
5,000円以上	18件	5.8%
無回答	4件	-
合計（無回答除く）	311件	100.0%

入場料

- 入場料では、「0円」（84.4%）が最も多く、会場でチケットを購入する人は少ない状況がみられた。次いで、「1,000円～2,000円未満」（9.3%）であった。

飲食費

- 飲食費では、「1,000円～2,000円未満」（31.2%）が最も多く、次いで「2,000円～3,000円」（23.4%）、「1円～1,000円未満」（21.5%）であった。
- 飲食費で、最も高い額は「10,000円」で、最も低い額は「50円」であった。

入場料	回答数	割合
0円	173件	84.4%
1円～1,000円未満	1件	0.5%
1,000円～2,000円未満	19件	9.3%
2,000円～3,000円未満	8件	3.9%
3,000円～4,000円未満	3件	1.5%
4,000円～5,000円未満	1件	0.5%
5,000円以上	0件	0.0%
無回答	25件	-
合計（無回答除く）	205件	100.0%

グッズ購入費

- グッズ購入費では、「0 円」（88.3%）が最も多かった。次いで、「1,000 円～2,000 円未満」（5.3%）であった。

その他

- その他では、「0 円」（96.6%）が最も多かった。

飲食費	回答数	割合
0円	13件	6.3%
1円～1,000円未満	44件	21.5%
1,000円～2,000円未満	64件	31.2%
2,000円～3,000円未満	48件	23.4%
3,000円～4,000円未満	26件	12.7%
4,000円～5,000円未満	5件	2.4%
5,000円以上	5件	2.4%
無回答	25件	-
合計（無回答除く）	205件	100.0%

グッズ購入費	回答数	割合	その他	回答数	割合
0円	182件	88.3%	0円	199件	96.6%
1円～1,000円未満	1件	0.5%	1円～1,000円未満	3件	1.5%
1,000円～2,000円未満	11件	5.3%	1,000円～2,000円未満	3件	1.5%
2,000円～3,000円未満	5件	2.4%	2,000円～3,000円未満	1件	0.5%
3,000円～4,000円未満	3件	1.5%	3,000円～4,000円未満	0件	0.0%
4,000円～5,000円未満	1件	0.5%	4,000円～5,000円未満	0件	0.0%
5,000円以上	3件	1.5%	5,000円以上	0件	0.0%
無回答	24件	-	無回答	24件	-
合計（無回答除く）	206件	100.0%	合計（無回答除く）	206件	100.0%

◆大会・イベント前後の市内での消費額

消費総額

- イベント前後に市内で使用した消費額の総額は、「0 円」（87.0%）が最も多く、次いで「1,000～2,000 円未満」（5.3%）、「2,000 円～3,000 円未満」（4.2%）であった。
- 消費総額で、最も高い額は「25,000 円」、最も低い額は「500 円」であった。

消費総額	回答数	割合
0円	248件	87.0%
1円～1,000円未満	3件	1.1%
1,000円～2,000円未満	15件	5.3%
2,000円～3,000円未満	12件	4.2%
3,000円～4,000円未満	4件	1.4%
4,000円～5,000円未満	0件	0.0%
5,000円以上	3件	1.1%
無回答	3件	-
合計（無回答除く）	285件	100.0%

宿泊費

- 宿泊費では、回答者の全員が「0 円」と回答しており、市内の宿泊施設に泊まった観戦者はみられなかった。

飲食費

- 飲食費では、「1,000 円～2,000 円未満」（32.4%）と「2,000 円～3,000 円未満」（32.4%）が最も多かった。
- 飲食費で、最も高い額は「2,5000 円」、最も低い額は「500 円」であった。

宿泊費	回答数	割合
0円	34件	100.0%
1円～1,000円未満	0件	0.0%
1,000円～2,000円未満	0件	0.0%
2,000円～3,000円未満	0件	0.0%
3,000円～4,000円未満	0件	0.0%
4,000円～5,000円未満	0件	0.0%
5,000円以上	0件	0.0%
無回答	6件	-
合計（無回答除く）	34件	100.0%

交通費

- 交通費では、回答者のほとんど（94.1%）が「0円」と回答した。
- 「1円～1,000円未満」、「1,000円～2,000円未満」と回答した人が1人ずつにみられた。

施設入館料

- 施設入館料では、全ての回答者が「0円」と回答しており、イベントの前後に市内の施設に立ち寄った人はみられなかった。

娯楽費

- 娯楽費では、回答者のほとんど（97.1%）が「0円」と回答した。
- 「1,000円～2,000円未満」と回答した人が1人みられた。

土産・買物代

- 土産・買物代では、回答者のほとんど（94.1%）が「0円」と回答した。
- 「2,000円～3,000円未満」と回答した人が2名みられ、消費額はどちらも「2,000円」であった。

飲食費	回答数	割合
0円	3件	8.8%
1円～1,000円未満	3件	8.8%
1,000円～2,000円未満	11件	32.4%
2,000円～3,000円未満	11件	32.4%
3,000円～4,000円未満	3件	8.8%
4,000円～5,000円未満	0件	0.0%
5,000円以上	3件	8.8%
無回答	6件	-
合計（無回答除く）	34件	100.0%

交通費	回答数	割合
0円	32件	94.1%
1円～1,000円未満	1件	2.9%
1,000円～2,000円未満	1件	2.9%
2,000円～3,000円未満	0件	0.0%
3,000円～4,000円未満	0件	0.0%
4,000円～5,000円未満	0件	0.0%
5,000円以上	0件	0.0%
無回答	6件	-
合計（無回答除く）	34件	100.0%

施設入館料	回答数	割合
0円	34件	100.0%
1円～1,000円未満	0件	0.0%
1,000円～2,000円未満	0件	0.0%
2,000円～3,000円未満	0件	0.0%
3,000円～4,000円未満	0件	0.0%
4,000円～5,000円未満	0件	0.0%
5,000円以上	0件	0.0%
無回答	6件	-
合計（無回答除く）	34件	100.0%

娯楽費	回答数	割合
0円	33件	97.1%
1円～1,000円未満	0件	0.0%
1,000円～2,000円未満	1件	2.9%
2,000円～3,000円未満	0件	0.0%
3,000円～4,000円未満	0件	0.0%
4,000円～5,000円未満	0件	0.0%
5,000円以上	0件	0.0%
無回答	6件	-
合計（無回答除く）	34件	100.0%

土産・買物代	回答数	割合
0円	32件	94.1%
1円～1,000円未満	0件	0.0%
1,000円～2,000円未満	0件	0.0%
2,000円～3,000円未満	2件	5.9%
3,000円～4,000円未満	0件	0.0%
4,000円～5,000円未満	0件	0.0%
5,000円以上	0件	0.0%
無回答	6件	-
合計（無回答除く）	34件	100.0%

⑥ 県外居住者の動向

- 県外居住者は、回答者のうち 18 人（5.7%）であった。
- 宿泊の有無を問う質問では、「市内に宿泊」と回答した人はおらず、回答者の全員が「県内に宿泊」と回答した。
- 沖縄訪問の目的を問う質問では、約半数（54.5%）が「観光」と回答しており、次いで「本大会（イベント）への参加」（27.3%）、「ビジネス」（18.2%）であった。
- 沖縄へ来る際に利用した旅行プランを問う質問では、半数近く（45.5%）が「個人で手配（ANA、JAL、SKY 等の既存キャリア）」と回答した。他の回答として、「個人で手配（LCC：格安航空会社）」、「旅行会社で手配（応援ツアー）」、「旅行会社で手配（パックツアー、フリープラン）」が同率で 2 割近く（18.2%）であった。

問12. 貴団体が合宿地に求めるものはどのようなことですか。

【重要なものから順に3つ選択】

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ① 条件にあったスポーツ施設 | ② 条件にあった宿泊施設 |
| ③ バリアフリーの環境 | ④ 快適な気候 |
| ⑤ 俗世からの隔離 | ⑥ 施設へのアクセスの良さ |
| ⑦ 大会・合宿の開催コストの安さ | ⑧ 対戦相手がいること |
| ⑨ 施設周辺の食事環境の充実 | ⑩ 医療施設等の充実 |
| ⑪ オフを利用した休養・観光環境 | ⑫ 地元住民との交流 |
| ⑬ 地元のチームや選手との交流ができること | |
| ⑭ その他 () | |

1つ目→	<input type="text"/>
2つ目→	<input type="text"/>
3つ目→	<input type="text"/>

問13. 合宿の実施にあたって、どのような支援策があればよいと思いますか。

【ひとつだけ】

- | | |
|----------------|------------------|
| ① スポーツ施設利用料の減免 | ② 宿泊・送迎バス等の費用の助成 |
| ③ 送迎バス等の手配 | ④ 施設の予約代行 |
| ⑤ 弁当等の手配代行 | ⑥ その他 |
| | () |

ひとつだけ記入→

問14. 貴団体では4～7月にも合宿は行っていますか。

もし4～7月に沖縄市で合宿を行う際には、どのような環境、サービスが必要だと思いますか。

【ひとつだけ】

- | |
|----------------------|
| ① この時期に沖縄市で合宿を実施している |
| ② この時期は別の合宿地を使用している |
| ③ この時期は合宿を実施していない |

ひとつだけ記入→

■ 沖縄市で4～7月に合宿を行うにあたり、必要な環境、サービス（自由記入）

ご多忙の折のご協力、誠にありがとうございます。

返信先（受託者）株式会社 国建 地域計画部 担当：崎浜・後藤

FAX: 098-868-4771

②大会主催者アンケート調査票

大会主催者アンケート調査票

団体名：

※回答は、太枠のなかにご記入ください。

問 1. 貴団体が主催した大会について、使用した沖縄市のスポーツ施設を教えてください。

【利用した施設をすべて選択】

【沖縄市コザ運動公園】

- ① コザしんきんスタジアム（沖縄市野球場）
- ② 沖縄市サブトラック兼ソフトボール場
- ③ 沖縄市陸上競技場
- ④ トレーニングルーム
- ⑤ 沖縄市庭球場
- ⑥ 沖縄市多目的運動場
- ⑦ 沖縄市体育館
- ⑧ 沖縄市武道館
- ⑩ その他（

【沖縄県総合運動公園】

- ⑨ 陸上競技場
- ⑩ 補助競技場
- ⑪ 蹴球場
- ⑫ 庭球場
- ⑬ レクリエーションドーム
- ⑭ 体育館
- ⑮ 水泳プール

当てはまるもの
すべて記入→

問 2. 沖縄市で大会を実施した満足度はどうですか。5段階評価で選んでください。

- | | | |
|----------------------------|---------------------------------|----------------------|
| 1 スポーツ施設 | ①とてもよい ②よい ③ふつう ④よくない ⑤とてもよくない→ | <input type="text"/> |
| 2 交通アクセス | ①とてもよい ②よい ③ふつう ④よくない ⑤とてもよくない→ | <input type="text"/> |
| 3 食事内容
(メニューの豊富さ、バラ) | ①とてもよい ②よい ③ふつう ④よくない ⑤とてもよくない→ | <input type="text"/> |
| 4 宿泊施設 | ①とてもよい ②よい ③ふつう ④よくない ⑤とてもよくない→ | <input type="text"/> |
| 5 周辺環境
(飲食・娯楽・観光・医療施設等) | ①とてもよい ②よい ③ふつう ④よくない ⑤とてもよくない→ | <input type="text"/> |

問 3. 沖縄市で大会を行った際に、良かったと感じたことがありましたか。

あれば、その内容についてご記入ください。

■自由記入

問10. 問9で「④もう沖縄市では行いたくない」と回答した場合、その理由について教えてください。

■自由記入

問11. 貴団体が大会開催地に求めるものはどのようなことですか。

【重要なものから順に3つ選択】

- | | |
|----------------|--------------|
| ① 条件にあったスポーツ施設 | ② 条件にあった宿泊施設 |
| ③ バリアフリーの環境 | ④ 快適な気候 |
| ⑤ 施設へのアクセスの良さ | ⑥ 開催コストの安さ |
| ⑦ 施設周辺の食事環境の充実 | ⑧ 医療施設等の充実 |
| ⑨ 地元競技団体の協力体制 | |
| ⑩ その他 () | |

1つ目→	<input type="checkbox"/>
2つ目→	<input type="checkbox"/>
3つ目→	<input type="checkbox"/>

問12. 大会の実施にあたって、どのような支援策があればよいと思いますか。

【ひとつだけ】

- | | |
|----------------|------------------|
| ① スポーツ施設利用料の減免 | ② 宿泊・送迎バス等の費用の助成 |
| ③ 送迎バス等の手配 | ④ 施設の予約代行 |
| ⑤ 弁当等の手配代行 | ⑥ その他 |
| () | () |

ひとつだけ記入→

ご多忙の折のご協力、誠にありがとうございます。

返信先（受託者）株式会社 国建 地域計画部 担当：崎浜・後藤

FAX: 098-868-4771

③大会及び合宿競技者アンケート調査票

平成 30 年度 沖縄市スポーツ合宿等統計調査業務(沖縄市)

沖縄市におけるスポーツ大会・合宿に関するアンケート

沖縄市では、スポーツコンベンションをさらに促進していくため、スポーツ大会や合宿に関する実態調査を行っています。沖縄市を訪れた競技者の皆さまのご意見を参考にしたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。本調査で得られた個人情報適切に取扱い、その保護に万全を期す所存です。

★アンケートは Web でも回答できます！500 円分の Amazon ギフト券をプレゼント！

Web 上でご回答いただいた方のなかから、抽選で 500 円分の Amazon ギフト券(E メールタイプ)を贈呈いたします。URL またはQRコードよりアクセスしてください。

URL アドレス <https://jp.surveymonkey.com/r/L8W7MFB>



問1 あなたご自身についておたずねします。

性別	①男性	②女性	年齢	() 歳
お住まい	①市外() 市町村)		②県外() 都道府県) ②海外() 国名)	
所属	①学生 ②社会人・クラブチーム ③プロチーム ⑤その他()			
市への来訪目的	①合宿 ②大会 ③その他()			

問2 あなたのチームと、大会・合宿内容について教えてください。

競技種目	合宿・大会の日程	月 日～ 月 日	参加人数	人
利用施設	①沖縄市立総合運動場(コザ運動公園) (施設名:)			
	②県総合運動公園 (施設名:)			
	③その他 (施設名:)			

問3 あなたが大会や合宿で沖縄市を訪れたのは、今回で何回目ですか。【ひとつだけ】

①初めて	②2～5回目	③6～9回目	④10回以上	⑤わからない
------	--------	--------	--------	--------

問4 今回、どのような旅行プランをご利用ですか？【ひとつだけ】

①個人・チーム・団体による手配	②主催者による手配	③旅行会社による手配
③パッケージ旅行の利用(観光地巡遊、航空券、ホテルなど)	⑤わからない	

問5 今回の大会・合宿では、県内に宿泊しましたか(しますか)？【ひとつだけ】

①日帰り	②県内に宿泊(宿泊施設名:)
------	-----------------

問6 今回の空港(県内の方は出発地)から大会・合宿地までの交通手段を教えてください。【あてはまるもの全て】

①旅行会社による送迎バス	②宿による送迎バス	③路線バス	④貸切バス
⑤レンタカー(マイクロバス含む)	⑥タクシー	⑦その他()	

問7 今回の沖縄市での大会・合宿の満足度はどうですか。満足度を5段階評価で選んでください。

スポーツ施設	①とてもよい	②よい	③ふつう	④よくない	⑤とてもよくない
交通アクセス	①とてもよい	②よい	③ふつう	④よくない	⑤とてもよくない
食事内容 (メニューの豊富さ、バランス)	①とてもよい	②よい	③ふつう	④よくない	⑤とてもよくない
宿泊施設	①とてもよい	②よい	③ふつう	④よくない	⑤とてもよくない
周辺環境 (飲食・娯楽・観光・医療施設等)	①とてもよい	②よい	③ふつう	④よくない	⑤とてもよくない

問8 これまでの沖縄市における大会・合宿で、良かったことや困ったこと、改善が必要だと感じたことがありましたか。問7の答えの理由を教えてください。

■良かったこと（自由記入）	■困ったことや改善点（自由記入）

問9 今回の大会・合宿期間中、観光や買物（ウインドウショッピング含む）などをしました（します）か。立ち寄り先について行った所を教えてください。【あてはまるもの全て】

【沖縄市内】		
①コザ・ミュージックタウン、エイサー会館	②沖縄こどもの国	③東南植物楽園
④プラザハウス	⑤パヤオ直売店	⑥ライブハウス
⑦ヒストリート	⑧その他（ ）	
【沖縄市外】		
⑨海洋博公園（美ら海水族館等）	⑩国際通り	⑪世界遺産（首里城、斎場御嶽、グスク等）
⑫イオンモール沖縄ライカム	⑬北谷・アメリカンビレッジ	⑭アウトレットモールあしびなー
⑮景勝地（万座毛等）	⑯戦跡地	⑰海、ビーチ、海浜リゾート
⑱工房・工芸体験施設	⑲道の駅	⑳テーマパーク型施設（おきなわワールド等）
㉑農水産物の直売所	㉒その他（ ）	㉓観光や買物はしていない（立ち寄らない）

●問9で「沖縄市内の施設に立ち寄った方」(①～⑧と答えた方)にお聞きます。

問10 今回の大会・合宿期間中に、沖縄市内で使った（使う）1人あたりの金額を、それぞれの費目ごとに教えてください。※使っていない場合やホテルパックなどでまとめて支払った項目は0円とご記入ください。

支出項目	沖縄市内での支出	支出項目	沖縄市内での支出
①宿泊費	円	④施設入館料	円
②飲食費	円	⑤娯楽費	円
③交通費・駐車場代	円	⑥土産・買物代	円

●問9で「沖縄市内の施設に立ち寄らなかった方」(①～⑧と答えなかった方)にお聞きます。

問11 今回、沖縄市内の施設に立ち寄らなかった（立ち寄らない）理由は何ですか？【あてはまるもの全て】

①合宿参加で十分満足した	②沖縄市の店や商品を知らない	③市外で行きたい場所がある
④時間がない	⑤もともと予定がなかった	⑥その他（ ）

問12 あなたが大会・合宿地に求めるものはどのようなことですか。【重要だと思うものから3つまで選択】

①条件にあったスポーツ施設	②条件にあった宿泊施設	③バリアフリーの環境
④快適な気候	⑤俗世からの隔離	⑥施設へのアクセスの良さ
⑦大会・合宿参加コストの安さ	⑧対戦相手がいること	⑨食事環境
⑩医療施設等の充実	⑪オフを利用した休養・観光環境	⑫地元住民との交流
⑬地元のチームや選手との交流	⑭地元競技団体の協力体制	⑮その他（ ）

以下は、合宿で訪れた方のみお聞きします。

問 13 今回、沖縄市を合宿場所にした理由はなんですか。【あてはまるものすべて】

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| ①毎年恒例（または持ち回りの会場）である | ②（競技関係者、関係機関等から）紹介された |
| ③スポーツ施設の環境（機能、設備、備品等）がよい | ④スポーツ施設と宿泊施設の距離がちょうど良かった |
| ⑤宿泊施設の規模や質がよい | ⑥沖縄市が誘致しているから（市や県の関係機関からの紹介） |
| ⑦助成・支援制度などがあるから | ⑧気候などの環境が適しているから |
| ⑨オフの休養娯楽の環境が充実しているから | ⑩交流（試合）したい相手がいるから |
| ⑪陸上競技場がJOCの「陸上競技強化センター」に選ばれているから | |
| ⑫わからない（決定する権限がない） | ⑬その他（ ） |

問 14 今回の合宿の実施（開催地の決定～施設の予約、交通方法の手配など）にあたって、沖縄県内の関係窓口を利用しましたか。【あてはまるものすべて】

- | | |
|------------------------|---------------------|
| ①スポーツコミッション沖縄（沖縄県体育協会） | ②沖縄市の体育協会 |
| ③沖縄市の観光協会 | ④旅行会社で手配（旅行会社名： ） |
| ⑤競技団体の県内機関（団体名： ） | ⑥利用していない（すべて直接手配した） |
| ⑦わからない | ⑧その他（ ） |

問 15 沖縄市で今後も合宿を行いたいと思いますか。【ひとつだけ】

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ①次回も予定している | ②予定はないが、機会があればぜひ行いたい |
| ③沖縄市や沖縄県等による支援があれば検討したい | ④もう沖縄市では行いたくない |
| ⑤わからない | ⑥その他（ ） |

問 16 問 15 で「④もう沖縄市では行いたくない」と回答した場合、その理由について教えてください。

■自由記入

問 17 合宿参加にあたって、どのような支援策があればよいと思いますか。【あてはまるもの全て】

- | | |
|---------------|-----------------|
| ①スポーツ施設利用料の減免 | ②宿泊・送迎バス等の費用の助成 |
| ③送迎バス等の手配 | ④施設の予約代行 |
| ⑤弁当等の手配代行 | ⑥その他（ ） |

問 18 あなたの団体では4～7月頃に合宿を行っていますか。沖縄市において4～7月頃に合宿を行う際には、どのようなサービスや受入環境が必要だと思いますか。【ひとつだけ】

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ①この時期に沖縄市で合宿を実施している | ②この時期は別の合宿地を使用している |
| ③この時期は合宿を実施していない | |

■沖縄市で4～7月に合宿を行うにあたり、必要なサービスや受入環境（自由記入）

ご協力ありがとうございました！！

④観戦者アンケート調査票（1万人サッカー大会）

観戦者アンケート調査にご協力をお願いします。

沖縄市では、スポーツによる観光誘客を図るため、スポーツ大会や合宿に関する実態調査を行っています。本大会(イベント)にお越しいただいた皆さまのご意見を参考にしたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

性別	①男性	②女性	年齢	(歳)
お住まい	①県内(市町村)	②県外(都道府県)	③海外(国名)

問1 今回の大会(イベント)の同行者とその人数を教えてください。【1つまで】

①自分ひとり	②家族	③友人・知人	④仕事仲間	ご自身を含めた人数	
⑤部活・サークル	⑥その他()		(人)

問2 会場までの交通手段を教えてください。【あてはまるもの全て】

①自家用車・レンタカー	②シャトルバス	③路線バス	④タクシー	⑤家族等による送迎
⑥その他()			

問3 スポーツ観戦(有料)は、どのくらいの頻度で行きますか?【1つまで】

①好きなスポーツはほぼ毎試合行く	②2~3ヶ月に1回	③半年に1回	
④年に1回	⑤めったに行かない	⑥その他()

問4 今回の大会(イベント)は、どのようにして知りましたか?【あてはまるもの全て】

①知人や家族から	②チームのウェブサイト・SNS	③その他のウェブサイト・SNS		
④テレビ・ラジオ	⑤新聞・雑誌	⑥ポスター・チラシ	⑦その他()

問5 この大会(イベント)に参加しようと思ったきっかけは何ですか?【あてはまるもの全て】

①ファンだから(チーム名:)	②スポーツ観戦が好き	③イベントがおもしろそう		
④友人・家族に誘われた	⑤チケットをもらった	⑥近くに来たついで	⑦その他()

問6 今回の大会(イベント)の満足度はどうですか?満足度を5段階評価で選んでください。【1つまで】

交通アクセス	①とてもよい	②よい	③ふつう	④よくない	⑤とてもよくない
駐車場の数	①とてもよい	②よい	③ふつう	④よくない	⑤とてもよくない

問7 機会があれば観戦してみたい競技はありますか?【あてはまるもの全て】

①野球	②バスケットボール	③バレーボール	④フットサル
⑤ハンドボール	⑥テニス	⑦陸上	⑧相撲
⑨空手	⑩格闘技(⑧・⑨以外)	⑪モータースポーツ	⑫ローラードービー
⑬卓球	⑭その他()	

※市内には、沖縄こどもの国、東南植物楽園、コザ・ミュージックタウン、プラザハウス、パヤオ直売店、コリンザ、ゲート通り、中央パークアベニューなどがあります。なお、イオンモール沖縄ライカムは市外なので、消費額に含めないでください。

問8 今日、大会(イベント)の「前」に何をしましたか？【あてはまるもの全て】

① 飲食	② 買物	③ 娯楽	④ 観光	⑤ 仕事	➔ 立寄り先は(①市内 ②市外)だった (店名等:)
⑥ 自宅から直行	⑦ その他()				

問9 今日、大会(イベント)の「後」に何をしますか？【あてはまるもの全て】

① 飲食	② 買物	③ 娯楽	④ 観光	⑤ 仕事	➔ 立寄り先は(①市内 ②市外)の予定 (店名等:)
⑥ 帰宅	⑦ その他()				

●大会(イベント)の前後に沖縄市内に立ち寄らなかった人にお聞きします。

問10 沖縄市内に立ち寄らなかった理由は何ですか？【あてはまるもの全て】

① 大会(イベント)で十分満足した	② 沖縄市の店や商品を知らない	③ 市外で行きたい場所がある)
④ 時間がない	⑤ もともと予定がなかった	⑥ その他()	

●今日、大会(イベント)会場と沖縄市内で使った(使う)金額を教えてください。

問11 会場

①使った	②使っていない	合計	円
------	---------	----	---

【使用額内訳】

使用内容	使った金額
①入場料	円
②飲食費	円
③グッズ購入費	円
④その他()	円

【会場での滞在時間】

約	時間
---	----

問12 沖縄市内

①使った	②使っていない	合計	円
------	---------	----	---

【使用額内訳】

使用内容	使った金額
①宿泊費	円
②飲食費	円
③交通費・駐車場代	円
④施設入館料	円
⑤娯楽費	円
⑥土産・買物代	円

●県外にお住まいの方にのみお聞きします。

問13 今日は県内に宿泊しますか？【1つまで】

①県外に帰る	②県内に宿泊(ホテル名)
--------	---------------

問14 今回の沖縄訪問の主な目的を教えてください。【1つまで】

①本大会(イベント)への参加	②観光	③ビジネス	④帰省・知人訪問	⑤その他
----------------	-----	-------	----------	------

問15 今回の旅行は、どのような旅行プランをご利用ですか？【1つまで】

①個人で手配(LCC: 格安航空会社)	②個人で手配(ANA, JAL, SKY等の既存キャリア)
③旅行会社で手配(応援ツアー)	④旅行会社で手配(バックツアー、フリープラン)
⑤その他()	

⑤観戦者アンケート調査票（通常の大会）

観戦者アンケート調査にご協力をお願いします。

沖縄市では、スポーツによる観光誘客を図るため、スポーツ大会や合宿に関する実態調査を行っています。本大会にお越しいただいた皆さまのご意見を参考にしたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

性別	①男性	②女性	年齢	(歳)
お住まい	①県内(市町村)	②県外(都道府県)	③海外(国名)

問1 今回の大会の同行者とその人数を教えてください。【あてはまるもの全て】

①自分ひとり	②家族	③友人・知人	④仕事仲間	ご自身を含めた人数
⑤部活・サークル	⑥その他()	(人)

問2 会場までの交通手段を教えてください。【あてはまるもの全て】

①自家用車・レンタカー	②シャトルバス	③路線バス	④タクシー	⑤家族等による送迎
⑥その他()			

問3 スポーツ観戦(有料)は、どのくらいの頻度で行きますか？【1つだけ】

①好きなスポーツはほぼ毎試合行く	②2～3か月に1回	③半年に1回
④年に1回	⑤めったに行かない	⑥その他(

問4 今回の大会は、どのようにして知りましたか？【あてはまるもの全て】

①知人や家族から	②チームのウェブサイト・SNS	③その他のウェブサイト・SNS
④テレビ・ラジオ	⑤新聞・雑誌	⑥ポスター・チラシ

問5 この大会を観戦しようと思ったきっかけは何ですか？【あてはまるもの全て】

①ファンだから(チーム名:)	②スポーツ観戦が好き	③イベントがおもしろそう
④友人・家族に誘われた	⑤チケットをもらった	⑥近くに来たついで

問6 機会があれば観戦してみたい競技はありますか？【あてはまるもの全て】

①野球	②バスケットボール	③バレーボール	④サッカー
⑤ハンドボール	⑥テニス	⑦陸上	⑧相撲
⑨空手	⑩格闘技(⑧・⑨以外)	⑪モータースポーツ	⑫ローラダービー
⑬卓球	⑭フットサル	⑮その他()

問7 今回の大会で良かったことや困ったこと、改善が必要だと感じたことがありましたか。

■良かったこと(自由記入)	■困ったことや改善点(自由記入)

※市内には、沖縄こどもの国、東南植物楽園、コザ・ミュージックタウン、プラザハウス、パヤオ直売店、コリンザ、ゲート通り、中央パークアベニューなどがあります。なお、イオンモール沖縄ライカムは市外なので、消費額に含めないでください。

問8 今日、大会に来る「前」に何をしましたか？【あてはまるもの全て】 ※会場での行動は含まないでください。

①飲食 ②買物 ③娯楽 ④観光 ⑤仕事 ⑥自宅等から直行 ⑦その他()	➡	立寄り先は(①市内 ②市外)だった (店名等:)
---	---	------------------------------

問9 今日、大会に来る「前」に「沖縄市内」でお金を使いましたか？ ※使っていない場合は0円とご記入ください。

支出項目	沖縄市内での支出	支出項目	沖縄市内での支出
①宿泊費	円	④施設入館料	円
②飲食費	円	⑤娯楽費	円
③交通費・駐車場代	円	⑥土産・買物代	円

問10 今日、大会が終わった「後」に何をしますか？【あてはまるもの全て】 ※会場での行動は含まないでください。

①飲食 ②買物 ③娯楽 ④観光 ⑤仕事 ⑥帰宅 ⑦その他()	➡	立寄り先は(①市内 ②市外)の予定 (店名等:)
------------------------------------	---	------------------------------

問11 今日、大会が終わった「後」に「沖縄市内」でお金を使う予定がありますか？

支出項目	沖縄市内での支出	支出項目	沖縄市内での支出
①宿泊費	円	④施設入館料	円
②飲食費	円	⑤娯楽費	円
③交通費・駐車場代	円	⑥土産・買物代	円

●大会の前後に「沖縄市内に立ち寄らなかった(立ち寄らない)人」にお聞きします。

問12 沖縄市内に立ち寄らなかった(立ち寄らない)理由は何ですか？【あてはまるもの全て】

①大会で十分満足	②沖縄市の店や商品を知らない	③市外で行きたい場所がある
④時間がない	⑤もともと予定がなかった	⑥その他()

●「県外」にお住まいの方にのみお聞きします。

問13 今日県内に宿泊しますか？【1つだけ】

①県外に帰る	②県内に宿泊(ホテル名)
--------	---------------

問14 今回の沖縄訪問の主な目的を教えてください。【1つだけ】

①本大会への参加 ②観光 ③ビジネス ④帰省・知人訪問 ⑤その他()

問15 今回の旅行は、どのような旅行プランをご利用ですか？【1つだけ】

①個人で手配(LCC:格安航空会社)	②個人で手配(ANA、JAL、SKY等の既存キャリア)
③旅行会社で手配(応援ツアー)	④旅行会社で手配(パックツアー、フリープラン) ⑤その他()

ご協力ありがとうございました！！

⑥大会及び合宿競技者アンケート用ポスター

沖縄市の スポーツ大会・合宿 に関するアンケートに ご協力をお願いします！

※市外から参加している
18歳以上の方が対象です

あなたの声をお聞かせください！

アンケートのお礼に…
「Amazonギフト券」
を抽選でプレゼント！

Webアンケートにお答えいただいた方から抽選で、500円分の「Amazonギフト券（Eメールタイプ）」を贈呈いたします！

【回答方法】
URLまたはQRコードからアクセス！
<https://jp.surveymonkey.com/r/L8W7MFB>

「平成30年度 沖縄市スポーツ合宿等統計調査業務」
事業担当：沖縄市 観光振興課 観光振興係
問合せ先：（株）国建 地域計画部（担当：崎浜、後藤、大城） ☎ 098-861-0578 ※平日9時～18時対応

⑦観戦者アンケート調査(WEB用チラシ)

スポーツ観戦者 アンケートに ご協力をお願いします！

※沖縄市の会場で
スポーツ観戦をした方が対象です

あなたの声をお聞かせください！

アンケートのお礼に…
Amazonギフト券
を抽選でプレゼント！

Webアンケートにお答えいただいた方から抽選で、500円分の「Amazonギフト券（Eメールタイプ）」を贈呈いたします！

【回答方法】
URLまたはQRコードからアクセス！
<https://jp.surveymonkey.com/r/2MHSTK5>

「平成30年度 沖縄市スポーツ合宿等統計調査業務」
事業担当：沖縄市 観光振興課 観光振興係
問合せ先：（株）国建 地域計画部（担当：崎浜、後藤、大城） ☎ 098-861-0578 ※平日9時～18時対応

資料 2. GPS 調査レポート

1. 調査の概要

(1) 目的

市内で大型キャンプが実施される期間において、市内外の人々がどのような動きをしているのかを確認することを目的に、GPS を活用した動態調査を実施した。

(2) 調査期間

2018 年 12 月 1 日～2019 年 2 月 28 日

(3) 調査手法

GPS を活用した動態調査として、株式会社フリークアウトが提供している ASE アナリティクスを利用した。ASE は、提携した大手スマートフォンアプリベンダー・位置情報データプラットフォームから位置情報を取得し、国内最大規模の位置情報データベースを構築、そのデータベースをもとに、競合分析等を行うツールを提供するサービスである。

スマートフォン等に ASE と提携したアプリをインストールしたユーザーが、予め指定した調査地点に入ると、来訪者としてカウントされる。調査地点①をベースに、⑧まで調査地点を設定でき、調査地点間の来訪者の流入・流出を調べることができる。したがって、すべての来訪者を調査できるわけではないが、アンケートでは網羅できない来訪者の実際の行動の傾向を概観するための参考資料として取りまとめる。

(4) 調査地点

① A グループ (カープキャンプ特化)

キャンプ見学に訪れたカープファンが、市内のホテルで宿泊しているのか、あるいは市内の観光地に立ち寄っているのかを確認することを目的として、調査地点を設定した。

設定地点

No.	地点名	立ち寄り目的の想定
①	コザ運動公園 (コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド)	キャンプ利用施設
②	ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	市内での宿泊の有無を確認
③	ホテルコザ	〃
④	クラウンホテル	〃
⑤	コザ・ミュージックタウン	ランチ・観光、夕食・飲み
⑥	パークアベニュー	夕食・飲み
⑦	プラザハウスショッピングセンター	ランチ
⑧	沖縄自動車道 (沖縄南) 出入り口	市外の宿泊・観光、那覇空港へ移動

②Bグループ（合宿中心）

競技者や観戦者が、合宿や観戦前後に市内観光地に立ち寄っているか、市外へ出ているのかを確認することを目的として、調査地点を設定した。

設定地点

No.	地点名	立ち寄り目的の想定
①	コザ運動公園（陸上競技場）	合宿利用施設
②	コザ運動公園（体育館）	バスケットボール大会利用施設
③	イオンモール沖縄ライカム	競合施設（多くはここへ誘引されていると想定）
④	美浜アメリカンビレッジ	競合施設（一定割合はここへ誘引されていると想定）
⑤	プラザハウスショッピングセンター	ランチ
⑥	パークアベニュー	観光、夕食・飲み
⑦	コザ・ミュージックタウン	ランチ・観光、夕食・飲み
⑧	沖縄自動車道（沖縄南）の出入り口	自宅等からの直行直帰

（5）調査結果の概要

2月の大型キャンプ見学者のほとんどは、その他施設へ立ち寄っていないと想定

- キャンプ実施期間中、コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドのみに滞在し、その他の施設へ立ち寄りない件数（のべ訪問回数）が増えることから、キャンプ見学者の多くはキャンプのみを見学していると想定される。
- キャンプ期間中のスタジアムのみ訪問割合は、全体の8割である（のべ訪問回数）。

合宿等利用者・スポーツ興行観戦者のほとんどが、すぐに市外観光施設へ移動している

- 体育館・多目的運動場を訪れた観戦者の流れる先としては、イオンモール沖縄ライカム、美浜アメリカンビレッジが中心となっている。
- 公式戦の開催された日に市内観光施設を訪れた人の割合は、全体の1割に満たない。

キャンプ見学者やスポーツ興行観戦者は、市内観光施設を訪れていないわけではない

- 若干ではあるが、コザしんきんスタジアムや沖縄市体育館の直前直後に、市内の観光施設（プラザハウスショッピングセンター、パークアベニュー、コザ・ミュージックタウン）を訪れている様子が見られる。
- 訪れている施設としては、プラザハウスショッピングセンターやパークアベニューが多い傾向がある。

キャンプ見学者について、若干ではあるが市内に宿泊する様子が見られる

- 調査対象期間中、コザしんきんスタジアムとホテル間を行き来する様子が見られた。
- 2月の大型キャンプ開催期間中には、個人プランが充実したホテルへの宿泊が見られる。

2. 調査結果

(1) Aグループの動向

①基本事項

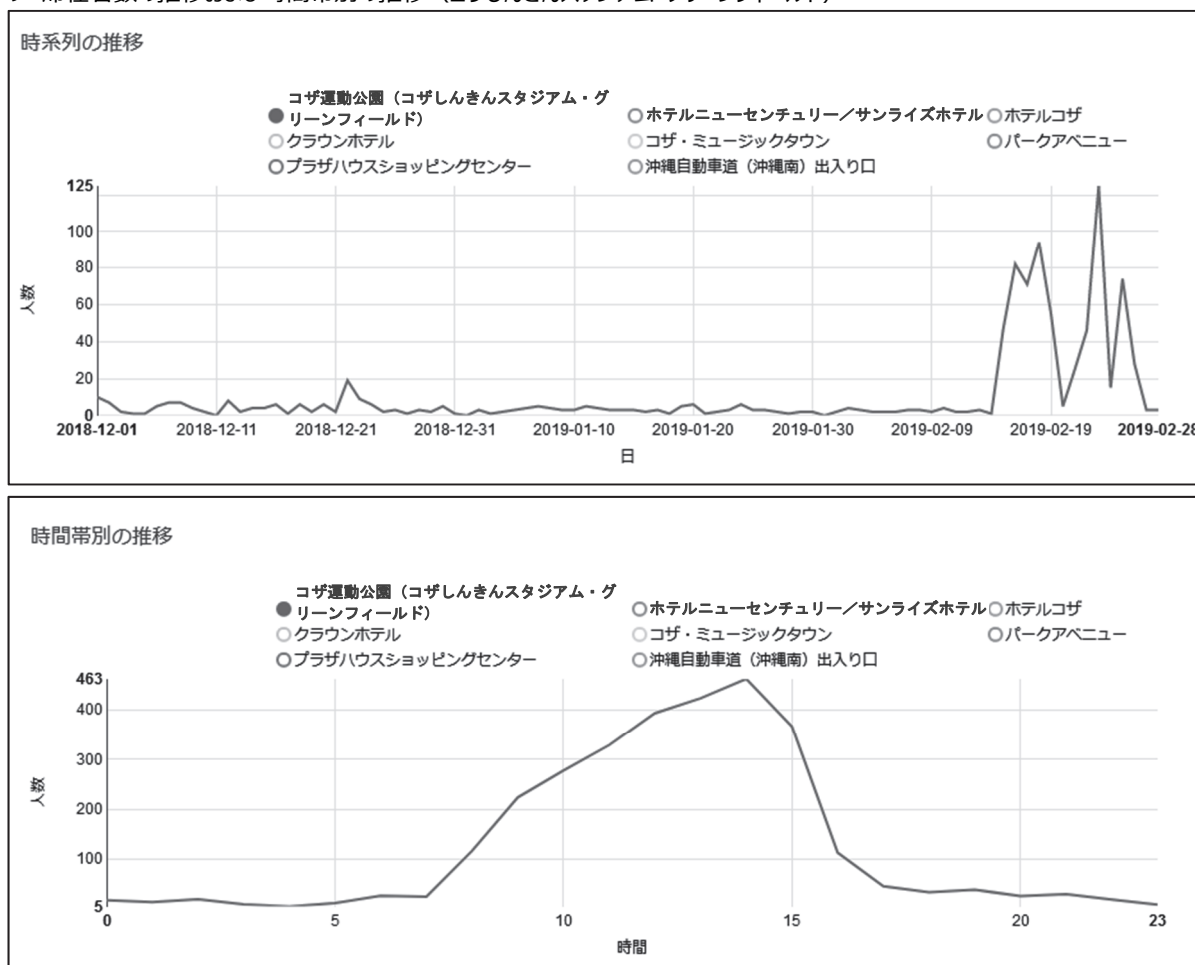
◆のべ滞在者数

調査期間中に、調査地点であるコザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）を訪れたのべ滞在者数は、934 人である。時間帯別では、8時頃から滞在者が増え始め、14時をピークに16時頃までの訪問が中心となっている。

のべ滞在者数をみると、コザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）の12月や1月の滞在者数が100人前後なのに対して、プロ野球のキャンプが行われる2月の滞在者数は700人とおよそ7倍の数値となっており、キャンプの集客力の大きさがうかがえる。

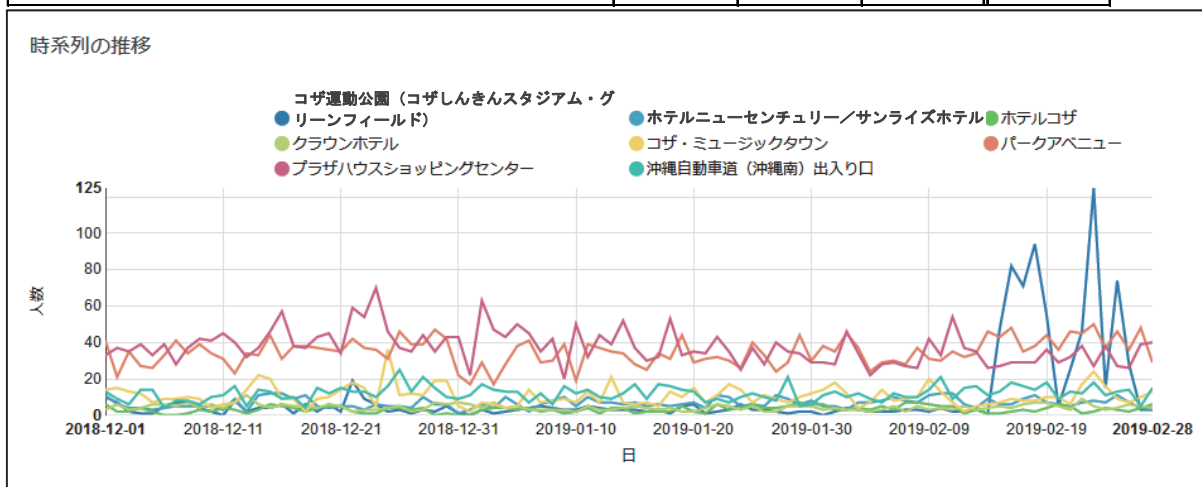
また、各地点ののべ滞在者数をみると、通常はパークアベニューやプラザハウスショッピングセンターの滞在者が多い傾向があるが、キャンプが行われる2月時点では、これらの商業施設をはるかに超える人数の滞在があることがわかる。

のべ滞在者数の推移および時間帯別の推移（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）



のべ滞在者数（Aグループ各地点）

対象店舗	12月	1月	2月	合計
コザ運動公園（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）	138人	88人	708人	934人
ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	186人	206人	206人	598人
ホテルコザ	84人	105人	101人	290人
クラウンホテル	155人	120人	122人	397人
コザ・ミュージックタウン	375人	292人	289人	956人
パークアベニュー	1,092人	980人	1,054人	3,126人
プラザハウスショッピングセンター	1,284人	1,173人	913人	3,370人
沖縄自動車道（沖縄南）出入口	361人	358人	358人	1,077人
合計	3,675人	3,322人	3,751人	10,748人



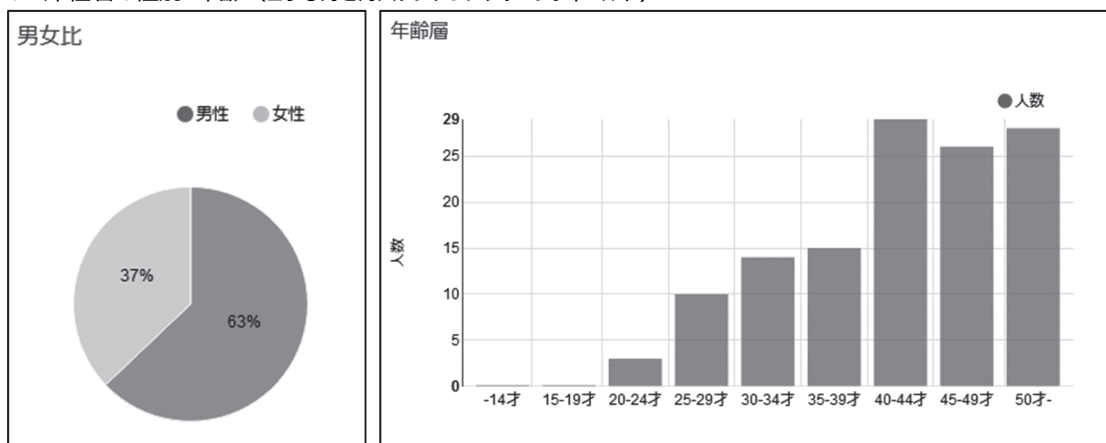
※2018年12月から2019年2月の総数である。

◆滞在者の姿

滞在者の男女比率は、男性のほうが多くなっている。年齢は20歳～50歳以上まで分布しているが、40歳以上が中心となっている。

滞在者の推定生活圏は、市内在住者が全滞在者数の37.5%（のべ滞在者数）、次いで県内在住者が45.9%、県外在住者が16.6%となっている。県外の居住地は、東京都、愛知県、大阪府、広島県、福岡県、長崎県である。

のべ滞在者の性別・年齢（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）



滞在者の推定生活圏別の人数（コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド）

地域	のべ滞在者数	ユニーク滞在者数	平均滞在時間
沖縄県 沖縄市	253人	236人	2.51時間
沖縄県 那覇市	138人	122人	2.48時間
沖縄県 うるま市	37人	34人	2.18時間
沖縄県 宜野湾市	16人	16人	3.35時間
沖縄県 中頭郡北谷町	25人	24人	2.36時間
沖縄県 浦添市	19人	18人	3.26時間
沖縄県 中頭郡読谷村	3人	3人	3.33時間
沖縄県 中頭郡北中城村	5人	4人	5.31時間
沖縄県 中頭郡中城村	5人	5人	2.00時間
沖縄県 豊見城市	8人	7人	2.54時間
沖縄県 名護市	10人	10人	2.97時間
沖縄県 島尻郡南風原町	6人	6人	2.68時間
沖縄県 中頭郡嘉手納町	1人	1人	2.32時間
沖縄県 糸満市	5人	5人	4.01時間
沖縄県 中頭郡西原町	4人	3人	3.21時間
沖縄県 国頭郡恩納村	12人	12人	3.02時間
沖縄県 南城市	2人	2人	2.97時間
沖縄県 島尻郡八重瀬町	3人	3人	1.10時間
沖縄県 国頭郡金武町	3人	2人	4.15時間
沖縄県 島尻郡与那原町	5人	4人	3.65時間
沖縄県 石垣市	3人	3人	2.90時間
東京都 大田区	6人	6人	2.10時間
東京都 世田谷区	9人	9人	3.23時間
東京都 三鷹市	6人	4人	3.28時間
東京都 目黒区	7人	6人	3.33時間
東京都 練馬区	2人	2人	4.15時間
東京都 品川区	2人	2人	2.38時間
東京都 港区	6人	6人	2.60時間
東京都 杉並区	1人	1人	2.96時間
東京都 新宿区	4人	4人	3.20時間
東京都 渋谷区	1人	1人	4.15時間
愛知県 名古屋市緑区	13人	10人	3.71時間
愛知県 常滑市	2人	2人	2.97時間
大阪府 大阪市北区	4人	3人	0.00時間
大阪府 大阪市中央区	4人	4人	4.13時間
広島県 広島市中区	11人	10人	2.80時間
広島県 広島市安佐南区	8人	6人	3.66時間
広島県 広島市佐伯区	6人	6人	2.24時間
広島県 広島市西区	13人	12人	4.47時間
福岡県 福岡市博多区	2人	2人	2.47時間
福岡県 福岡市西区	1人	1人	4.39時間
福岡県 福岡市早良区	3人	3人	2.97時間
長崎県 佐世保市	1人	1人	4.39時間

※図表はすべて2018年12月から2019年2月の総数である。

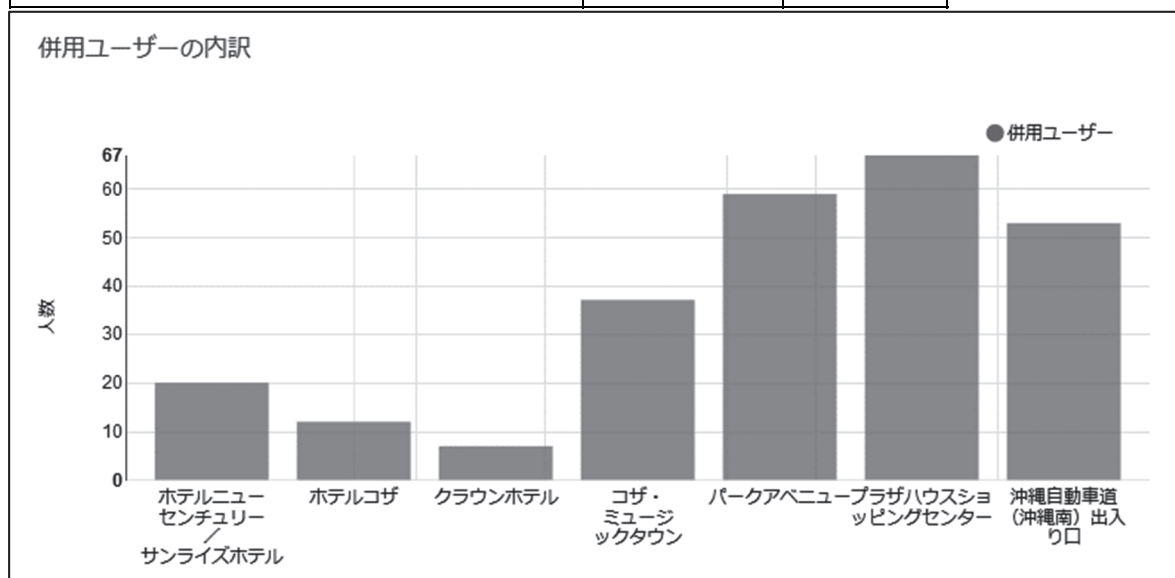
②滞在者の行動

◆併用ユーザー

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドを訪れ、かつ他の調査地点を訪れた滞在者の傾向は次のとおりである。プラザハウスショッピングセンターやパークアベニューといった市内観光地を訪れる傾向が強い。併用ユーザー全 255 人のうち、プラザハウスショッピングセンター、パークアベニュー、コザ・ミュージックタウンのいずれかを訪れた人数は 163 人で 63.9%である。また、沖縄自動車道（沖縄南）出入り口を利用した滞在者は 53 人で、およそ 2 割がコザしんきんスタジアムの前後に沖縄自動車道を利用したことがわかる。市内に宿泊したとみられる人数は 39 人で、割合は 15.3%である。

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールド及びその他の調査地点を訪れたユニーク滞在者数

調査地点	ユニーク滞在者数	割合
プラザハウスショッピングセンター	67人	26.3%
パークアベニュー	59人	23.1%
沖縄自動車道（沖縄南）出入り口	53人	20.8%
コザ・ミュージックタウン	37人	14.5%
ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	20人	7.8%
ホテルコザ	12人	4.7%
クラウンホテル	7人	2.7%
合計	255人	100.0%



※2018年12月から2019年2月の総数である。

◆コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドの直前に立ち寄った施設

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドを訪れた滞在者が、その日のうちに当該施設を訪れる直前に立ち寄った調査地点としては、沖縄自動車道（沖縄南）出入り口が最も多かった。また、パークアベニュー及びプラザハウスショッピングセンターの観光地の人数も多く、若干ながら観光地とあわせたスポーツ施設の利用がみられる。ただし、滞在者のおよ

そ4割が市内在住者であることから、移動経路の中にこの2施設が位置していたか、買い物などのために立ち寄った可能性もある。

少数ではあるが、市内のホテルから直接コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドを訪れている滞在者も見られる。

キャンプが行われた2月15日から25日の期間だけをみると、大きな傾向は変わらないが、プラザハウスショッピングセンターからコザしんきんスタジアム等へ流れた人数が少なくなっている。

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドへの流入元

[全体] 流入元	人数
沖縄自動車道（沖縄南）出入り口	22人
パークアベニュー	21人
プラザハウスショッピングセンター	14人
ホテルコザ	12人
クラウンホテル	7人
ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	7人
コザ・ミュージックタウン	4人

※2018年12月から2019年2月の総数である。

[キャンプ期間] 流入元	人数
沖縄自動車道（沖縄南）出入り口	17人
パークアベニュー	14人
ホテルコザ	10人
クラウンホテル	6人
プラザハウスショッピングセンター	3人
ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	2人
コザ・ミュージックタウン	2人

※2019年2月15日から2月25日の総数である。

◆コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドの直後に立ち寄った施設

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドを訪れた滞在者が、その日のうちに当該施設を訪れた直後に立ち寄った調査地点としては、沖縄自動車道（沖縄南）出入り口が最も多かった。また、パークアベニューやプラザハウスショッピングセンターへの立ち寄りも見られることから、市内への回遊という効果はあるものと考えられる。

キャンプ期間の動向をみると、全体と比較して、特定の宿泊施設への流れがあることがわかる。ただし、その他の宿泊施設へ流れる割合が増えているわけではないため、キャンプ観戦者が市内で宿泊しているとはいえない。

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドからの流出先

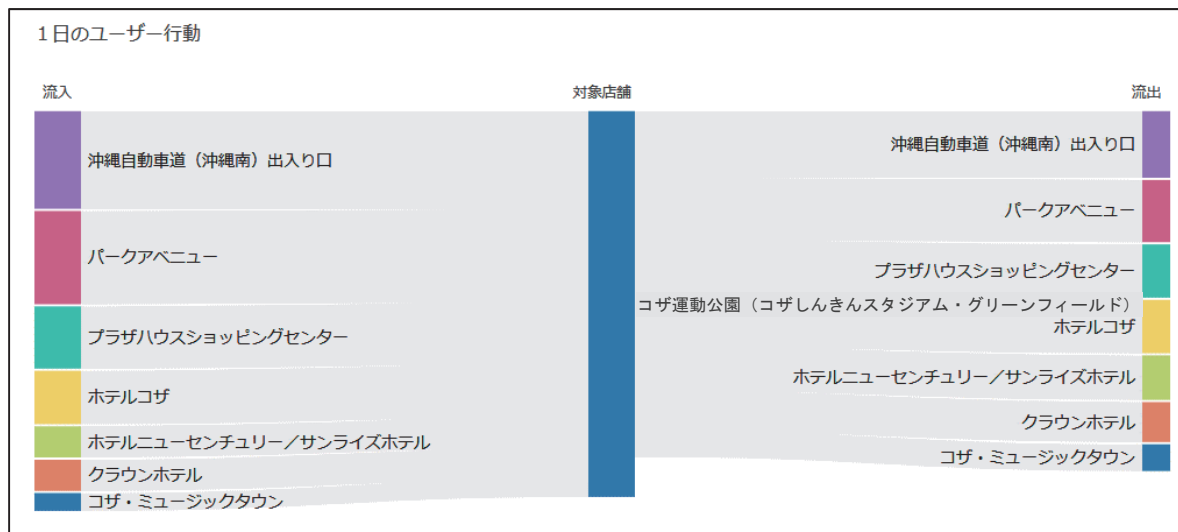
[全体] 流出先	人数
沖縄自動車道（沖縄南）出入り口	15人
パークアベニュー	14人
ホテルコザ	12人
プラザハウスショッピングセンター	12人
ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	10人
クラウンホテル	9人
コザ・ミュージックタウン	6人

※2018年12月から2019年2月の総数である。

[キャンプ期間] 流出先	人数
沖縄自動車道（沖縄南）出入り口	11人
ホテルコザ	9人
パークアベニュー	8人
プラザハウスショッピングセンター	7人
クラウンホテル	3人
コザ・ミュージックタウン	2人
ホテルニューセンチュリー／サンライズホテル	0人

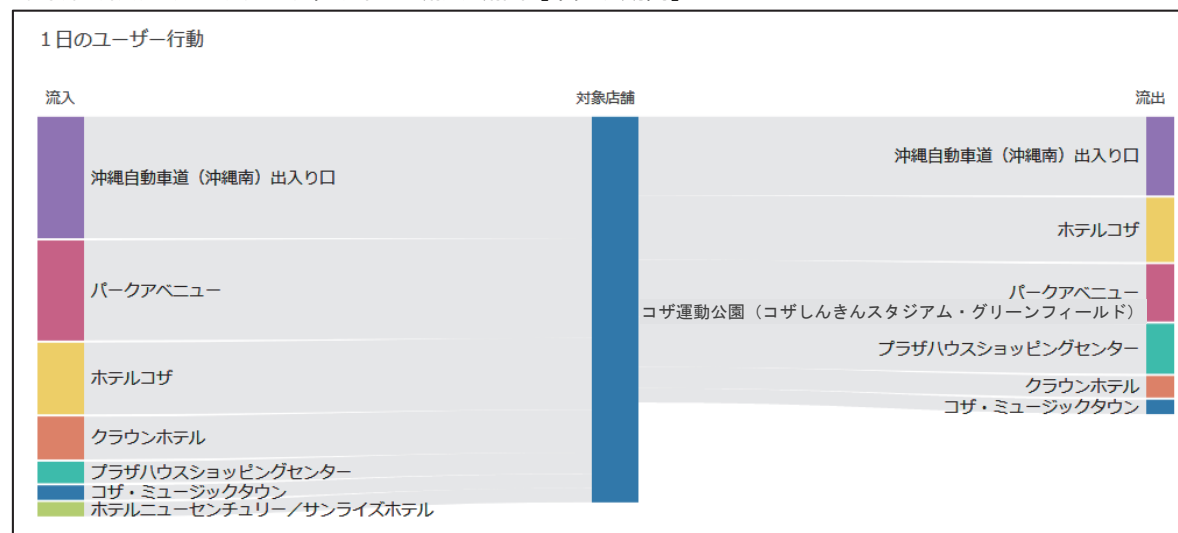
※2019年2月15日から2月25日の総数である。

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドへの流入・流出 [全体]



※2018年12月から2019年2月の総数である。

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドへの流入・流出 [キャンプ期間]



※2019年2月15日から2月25日の総数である。

◆コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドのみの滞在者について

コザしんきんスタジアム・グリーンフィールドのみを訪れた滞在者（のべ訪問回数）は、対象期間全体では63.9%だったが、キャンプ期間では80.5%となっている。キャンプ期間の滞在者は、キャンプのみを見学し、その他の施設へ立ち寄っていない可能性がうかがえる。

併用ユーザーの割合（のべ訪問回数）

区分	期間全体		キャンプ期間	
	のべ回数	割合	のべ回数	割合
スタジアムのみ滞在	636	63.9%	535	80.5%
併用ユーザー	360	36.1%	130	19.5%
合計	996	100.0%	665	100.0%

※2018年12月から2019年2月の総数である。

(2) Bグループの動向

①基本事項

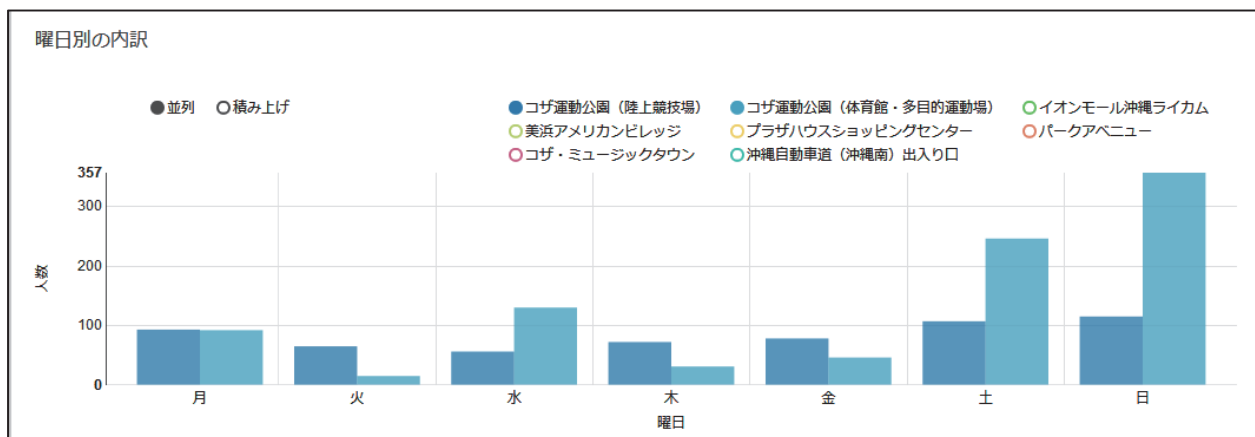
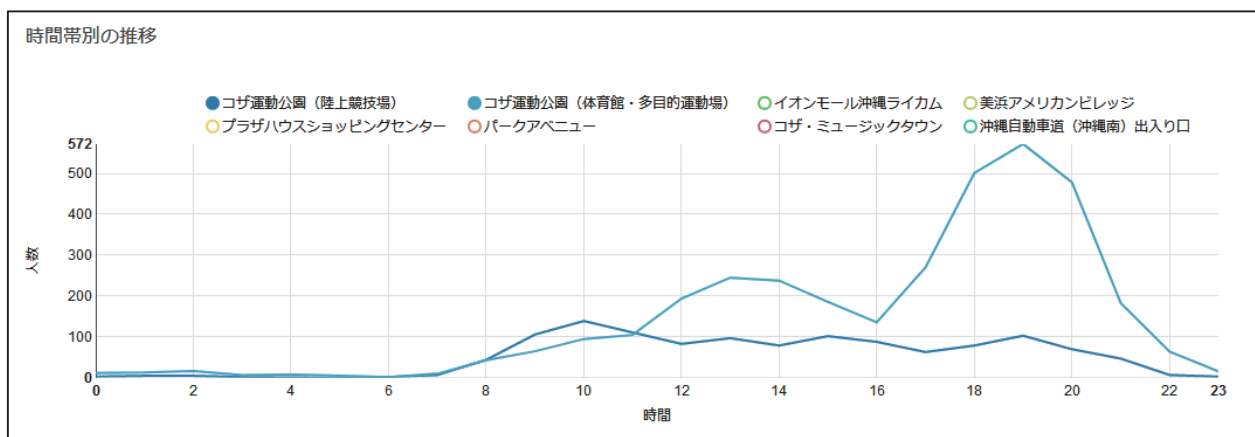
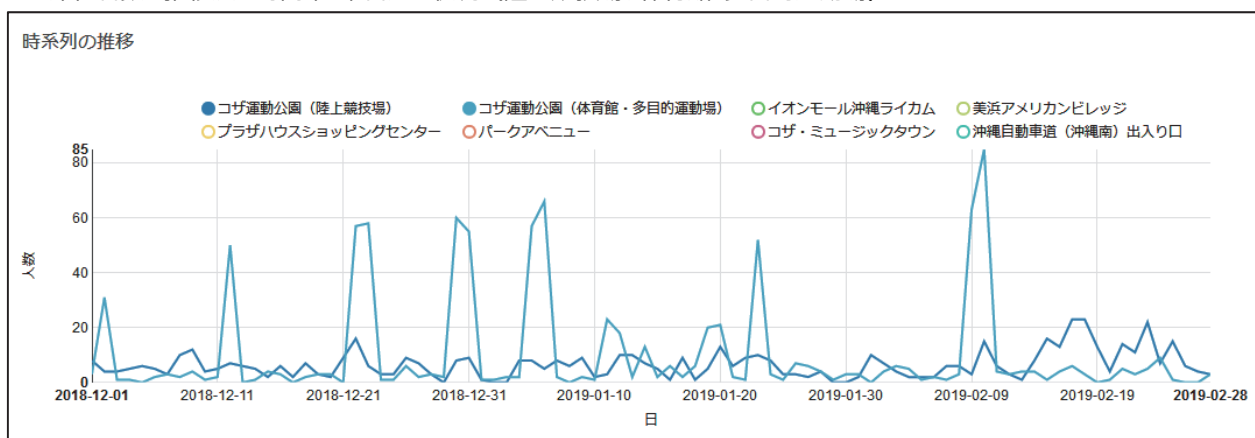
◆のべ滞在者数

調査期間中に、調査地点であるコザ運動公園（陸上競技場）を訪れたのべ滞在者数は 586 人、コザ運動公園（体育館・多目的運動場）を訪れたのべ滞在者数は 917 人である。

時間帯別では、陸上競技場が午前中（8 時頃～12 時頃）を中心に 20 時頃まで平均的に滞在があるのに対して、体育館・多目的運動場は 11 時頃～15 時頃の山と、17 時頃～21 時頃の山が見られる。これは、バスケットボール等の公式戦観戦者によるものだと考えられる。

また、曜日別にみると、体育館・多目的運動場は土日に集中していることがうかがえる。

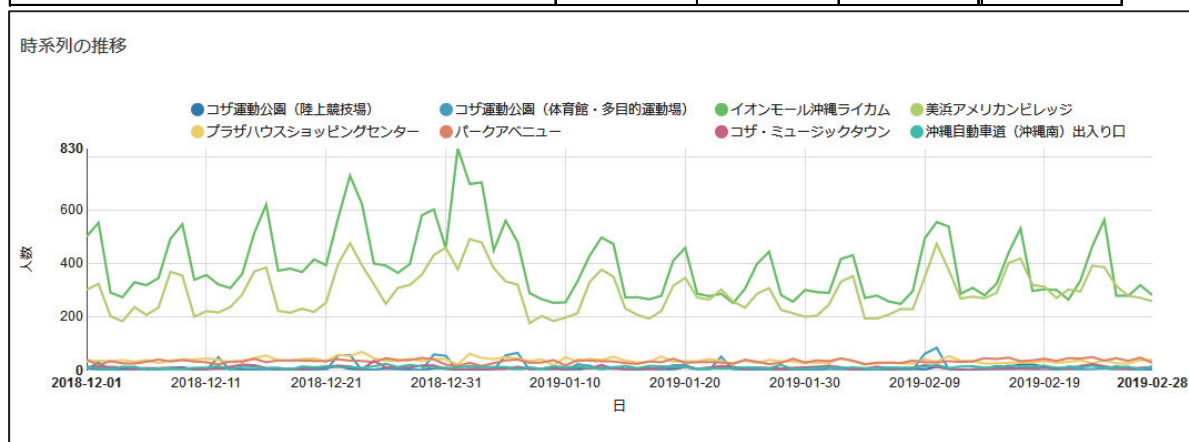
のべ滞在者数の推移及び時間帯・曜日別の状況（陸上競技場、体育館・多目的運動場）



※図表はすべて 2018 年 12 月から 2019 年 2 月の総数である。

のべ滞在者数（Bグループ各地点）

対象店舗	12月	1月	2月	合計
コザ運動公園（陸上競技場）	179人	158人	249人	586人
コザ運動公園（体育館・多目的運動場）	361人	330人	226人	917人
イオンモール沖縄ライカム	13,514人	11,861人	9,942人	35,317人
美浜アメリカンビレッジ	9,191人	8,715人	8,519人	26,425人
プラザハウスショッピングセンター	1,284人	1,173人	913人	3,370人
パークアベニュー	1,092人	980人	1,054人	3,126人
コザ・ミュージックタウン	375人	292人	289人	956人
沖縄自動車道（沖縄南）出入口	361人	358人	358人	1,077人
合計	26,357人	23,867人	21,550人	71,774人



※2018年12月から2019年2月の総数である。

◆滞在者の姿（陸上競技場）

陸上競技場における滞在者の男女比率は、男性のほうが多くなっている。年齢層が高くなるにつれて来訪数が増える傾向があり、40歳～49歳が中心となっている。体育館・多目的運動場と比較して、15歳～19歳の滞在が見られるが、これは学校単位での練習・合宿等で利用されているためと考えられる。

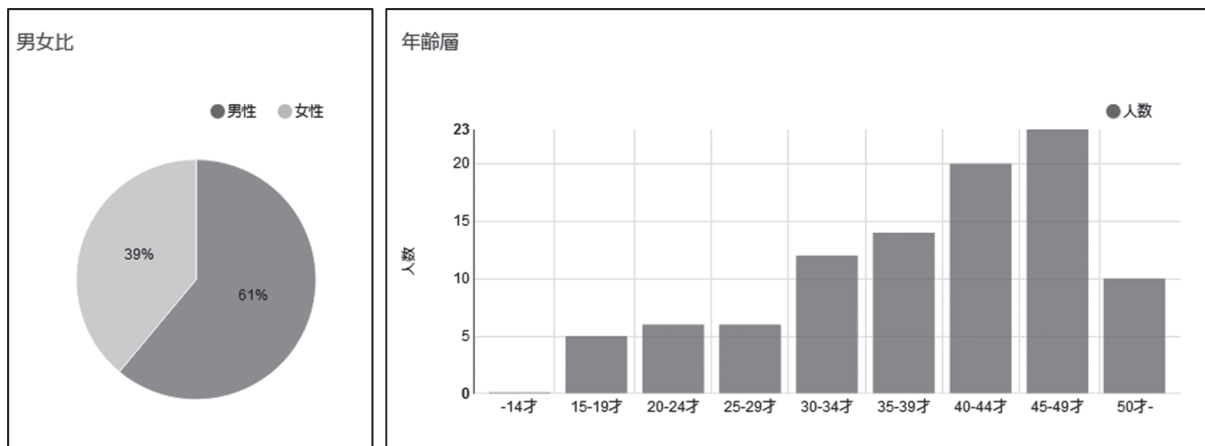
陸上競技場は競技者の合宿等による利用が中心になると想定されるが、滞在者の推定生活圏は、市内在住者が全滞在者数の42.8%（のべ滞在者数）、次いで県内在住者が54.2%、県外在住者が3.1%である。県外からの滞在者の推定生活圏は、東京都、埼玉県、千葉県、大阪府となっている。

◆滞在者の姿（体育館・多目的運動場）

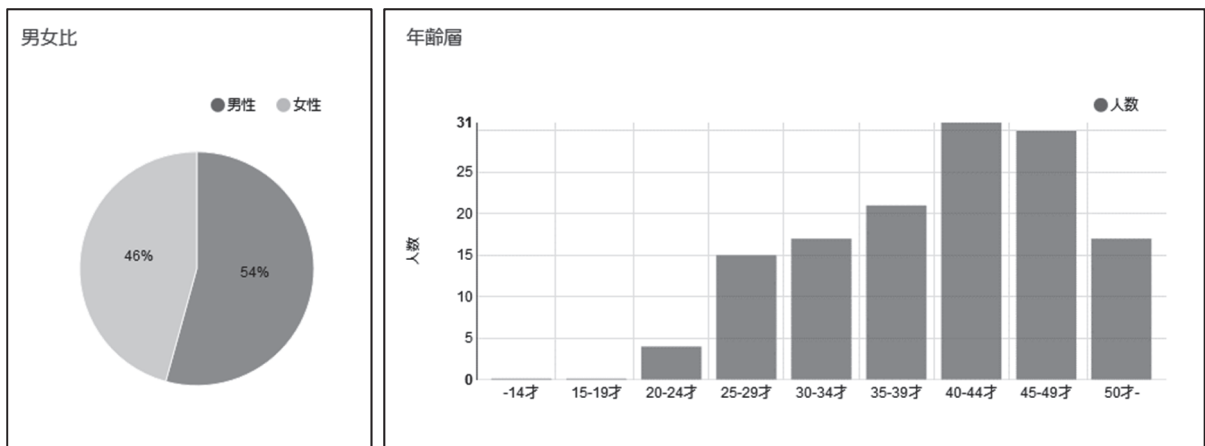
体育館・多目的運動場における滞在者の男女比率は、やや男性のほうが多くなっている。年齢は20歳から50歳位上まで幅広く分布しているが、40歳～49歳が中心となっている。

体育館・多目的運動場は、競技者による合宿等の利用とスポーツ興行観戦者による利用どちらも多いと想定されるが、滞在者の推定生活圏は、市内在住者が全滞在者数の26.8%（のべ滞在者数）、次いで県内在住者が71.1%、県外在住者が2.2%である。県外からの滞在者の推定生活圏は、東京都、千葉県、大阪府となっている。

のべ滞在者の性別・年齢（陸上競技場）



のべ滞在者の性別・年齢（体育館・多目的運動場）



※図表はすべて 2018 年 12 月から 2019 年 2 月の総数である。

滞在者の推定生活圏別の人数（陸上競技場、体育館・多目的運動場）

市区町村	コザ運動公園（陸上競技場）			コザ運動公園（体育館・多目的運動場）		
	のべ滞在者数	ユニーク滞在者数	平均滞在時間	のべ滞在者数	ユニーク滞在者数	平均滞在時間
沖縄県 沖縄市	210人	202人	1.67時間	244人	220人	3.68時間
沖縄県 那覇市	55人	53人	1.47時間	177人	159人	3.42時間
沖縄県 中頭郡北谷町	30人	28人	1.69時間	35人	32人	3.39時間
沖縄県 宜野湾市	16人	16人	1.87時間	71人	62人	3.57時間
沖縄県 うるま市	47人	45人	1.43時間	65人	61人	3.97時間
沖縄県 浦添市	24人	22人	2.44時間	78人	76人	3.14時間
沖縄県 中頭郡北中城村	6人	6人	0.97時間	8人	7人	2.94時間
沖縄県 中頭郡読谷村	16人	14人	2.59時間	36人	32人	3.18時間
沖縄県 名護市	13人	11人	1.95時間	29人	26人	3.59時間
沖縄県 中頭郡中城村	1人	1人	0.00時間	18人	17人	3.54時間
沖縄県 豊見城市	7人	7人	0.27時間	22人	21人	3.93時間
沖縄県 糸満市	6人	6人	3.00時間	5人	4人	3.41時間
沖縄県 島尻郡南風原町	8人	7人	0.97時間	28人	26人	3.17時間
沖縄県 中頭郡西原町	7人	7人	1.97時間	7人	7人	3.97時間
沖縄県 国頭郡恩納村	11人	11人	3.90時間	0人	0人	0.00時間
沖縄県 中頭郡嘉手納町	3人	3人	0.00時間	2人	2人	2.94時間
沖縄県 南城市	5人	5人	2.69時間	11人	10人	3.15時間
沖縄県 島尻郡与那原町	2人	2人	0.00時間	11人	11人	3.56時間
沖縄県 島尻郡八重瀬町	4人	4人	3.22時間	9人	6人	2.53時間
沖縄県 国頭郡本部町	3人	2人	0.00時間	7人	6人	3.10時間
沖縄県 国頭郡金武町	1人	1人	0.10時間	2人	2人	3.59時間
沖縄県 国頭郡宜野座村	0人	0人	0.00時間	5人	5人	2.98時間
沖縄県 石垣市	1人	1人	0.00時間	3人	3人	3.49時間
沖縄県 宮古島市	0人	0人	0.00時間	16人	12人	4.05時間
沖縄県 国頭郡今帰仁村	0人	0人	0.00時間	3人	3人	2.93時間
東京都 大田区	2人	2人	0.00時間	1人	1人	3.90時間
東京都 港区	1人	1人	0.00時間	0人	0人	0.00時間
東京都 新宿区	3人	3人	3.22時間	1人	1人	2.89時間
東京都 品川区	0人	0人	0.00時間	1人	1人	2.89時間
東京都 渋谷区	1人	1人	0.00時間	1人	1人	3.27時間
東京都 杉並区	0人	0人	0.00時間	1人	1人	4.32時間
東京都 中央区	3人	3人	0.00時間	1人	1人	3.90時間
東京都 足立区	1人	1人	0.00時間	0人	0人	0.00時間
東京都 葛飾区	1人	1人	0.00時間	0人	0人	0.00時間
埼玉県 川口市	1人	1人	0.00時間	0人	0人	0.00時間
千葉県 船橋市	1人	1人	1.33時間	1人	1人	3.39時間
千葉県 市川市	0人	0人	0.00時間	3人	3人	4.23時間
大阪府 大阪市中央区	1人	1人	0.00時間	6人	6人	4.70時間
福岡県 福岡市博多区	0人	0人	0.00時間	3人	3人	3.41時間
福岡県 福岡市中央区	0人	0人	0.00時間	1人	1人	6.73時間

※2018年12月から2019年2月の総数である。

②滞在者の行動

◆併用ユーザー（陸上競技場）

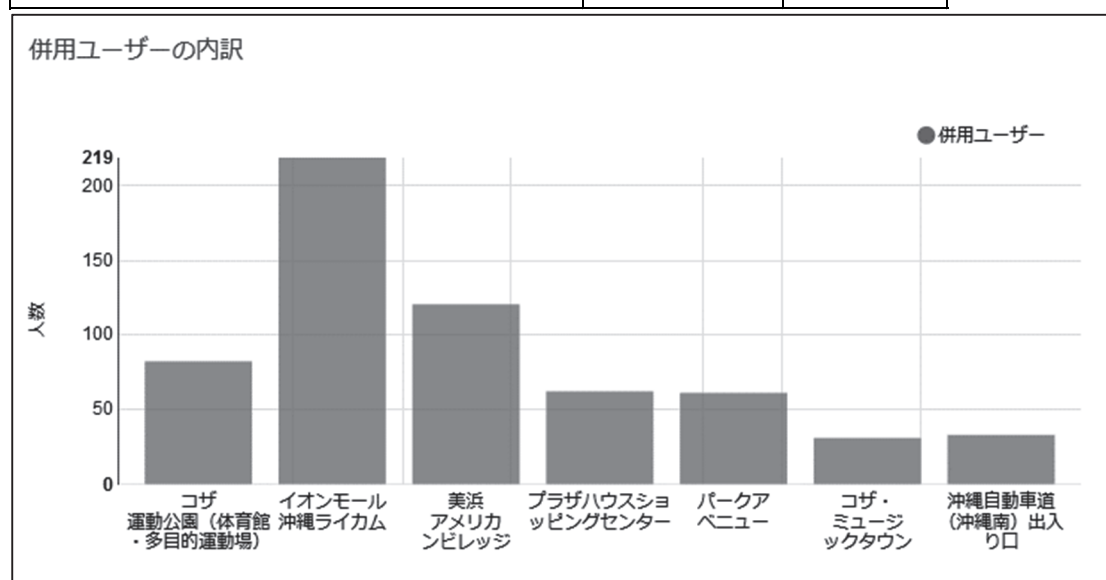
陸上競技場を訪れ、かつ他の調査地点を訪れた滞在者の傾向は次のとおりである。

イオンモール沖縄ライカムが突出しており、併用ユーザー全 608 人のうち、イオンモール沖縄ライカムを訪れた人数は 219 人（36%）、美浜アメリカンビレッジを訪れた人数は 120 人（19.7%）で、陸上競技場の来訪者の半数以上が市外の観光地を訪れていることがわかる。また、沖縄自動車道（沖縄南）出入り口を利用した滞在者は 33 人（5.4%）であった。

市内の観光地を訪れた人数は、プラザハウスショッピングセンター62 人（10.2%）、パークアベニュー61 人（10%）、コザ・ミュージックタウン 31 人（5.1%）で、あわせて全体の 25.3% が市内観光地を訪れていることがわかる。

陸上競技場及びその他の調査地点を訪れたユニーク滞在者数

調査地点	ユニーク滞在者数	割合
イオンモール沖縄ライカム	219人	36.0%
美浜アメリカンビレッジ	120人	19.7%
コザ運動公園（体育館・多目的運動場）	82人	13.5%
プラザハウスショッピングセンター	62人	10.2%
パークアベニュー	61人	10.0%
沖縄自動車道（沖縄南）出入り口	33人	5.4%
コザ・ミュージックタウン	31人	5.1%
合計	608人	100.0%



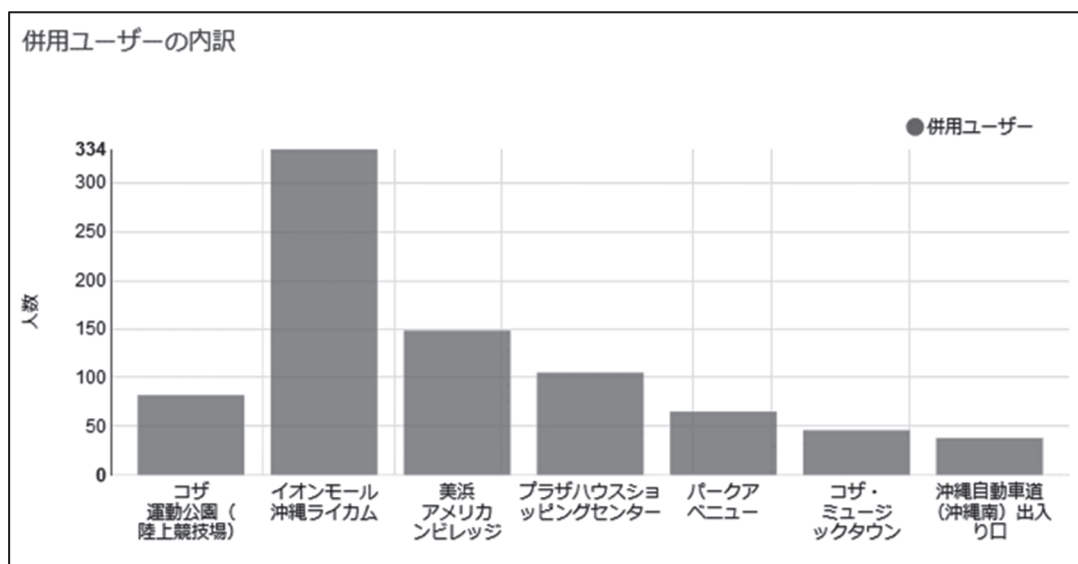
※2018年12月から2019年2月の総数である。

◆併用ユーザー（体育館・多目的運動場）

体育館・多目的運動場を訪れ、かつ他の調査地点を訪れた滞在者についても、陸上競技場と同じ傾向となった。イオンモール沖縄ライカムを訪れる滞在者が突出しており、次いで美浜アメリカンビレッジ、プラザハウスショッピングセンターとなっている。陸上競技場と比

較すると、沖縄自動車道（沖縄南）出入り口よりもコザ・ミュージックタウンを訪れた人数が多い傾向がある。

調査地点	ユニーク滞在者数	割合
イオンモール沖縄ライカム	335人	40.9%
美浜アメリカンビレッジ	148人	18.1%
プラザハウスショッピングセンター	105人	12.8%
コザ運動公園（陸上競技場）	82人	10.0%
パークアベニュー	65人	7.9%
コザ・ミュージックタウン	46人	5.6%
沖縄自動車道（沖縄南）出入り口	38人	4.6%
合計	819人	100.0%



※2018年12月から2019年2月の総数である。

◆陸上競技場の直前に立ち寄った施設

陸上競技場を訪れた滞在者が、その日のうちに当該施設を訪れる直前に立ち寄った調査地点としては、同じコザ運動公園内の体育館・多目的運動場が多かった。次いでイオンモール沖縄ライカム、美浜アメリカンビレッジとなっている。つまり、多くの人が市外の観光地から陸上競技場へ流れたことがうかがえる。

なお、①基本条件の項で整理したが、同じ調査期間中の陸上競技場ののべ滞在者数は 586 人であったことから、ほとんどの滞在者は、市内の観光地にも市外の観光地にも立ち寄らずに陸上競技場へ訪れているものと想定される。

市外の施設等から直接、陸上競技場へ向かった滞在者（イオンモール沖縄ライカム、美浜アメリカンビレッジ、沖縄自動車道（沖縄南）出入り口を利用）は 63 人で、全体の 5 割であった。市内の観光施設（パークアベニュー、プラザハウスショッピングセンター、コザ・ミュージックタウン）に立ち寄った滞在者は 18 人で、全体の 15.7%であった。

◆陸上競技場の直後に立ち寄った施設

陸上競技場を訪れた滞在者が、その日のうちに当該施設を訪れた直後に立ち寄った調査地点としては、同じくコザ運動公園内の体育館・多目的運動場が多かった。

流出先についても流入元と同じく、イオンモール沖縄ライカムや美浜アメリカンビレッジの市外観光地が多い。市内観光地への立ち寄りも、3施設あわせて19人であり、全体の17%である。

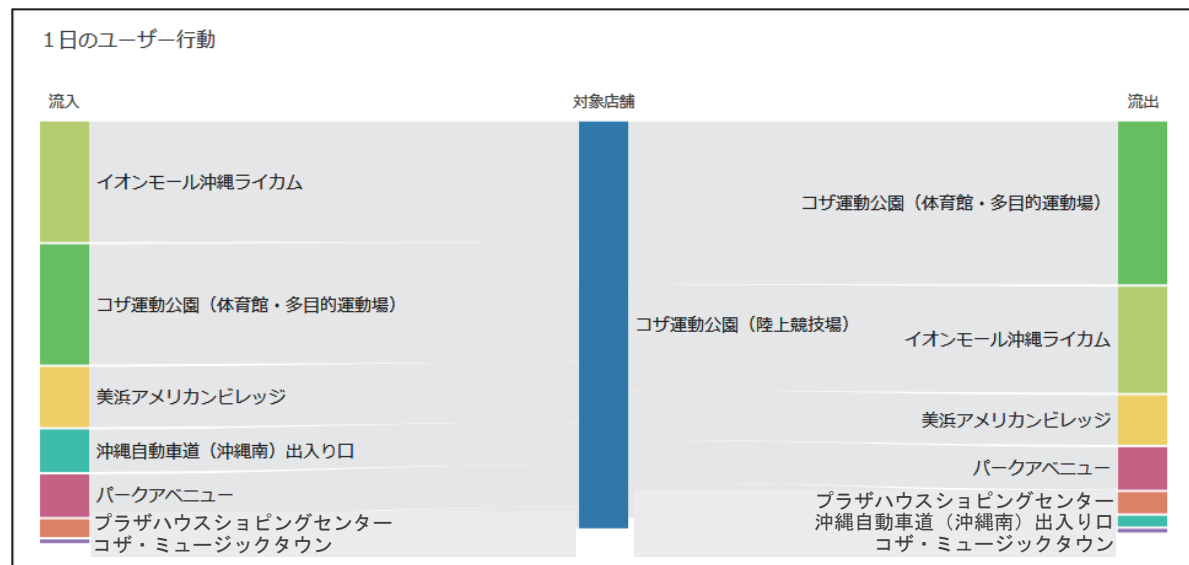
陸上競技場への流入元

[全体] 流入元	人数
コザ運動公園（体育館・多目的運動場）	34
イオンモール沖縄ライカム	34
美浜アメリカンビレッジ	17
パークアベニュー	12
沖縄自動車道（沖縄南）出入口	12
プラザハウスショッピングセンター	5
コザ・ミュージックタウン	1

陸上競技場からの流出先

[全体] 流出先	人数
コザ運動公園（体育館・多目的運動場）	46
イオンモール沖縄ライカム	30
美浜アメリカンビレッジ	14
パークアベニュー	12
プラザハウスショッピングセンター	6
沖縄自動車道（沖縄南）出入口	3
コザ・ミュージックタウン	1

陸上競技場への流入・流出



※図表はすべて2018年12月から2019年2月の総数である。

◆体育館・多目的運動場の直前に立ち寄った施設

体育館・多目的運動場を訪れた滞在者が、その日のうちに当該施設を訪れる直前に立ち寄った調査地点としては、イオンモール沖縄ライカムが多かった。これはスポーツ興行の駐車場などにイオンモール沖縄ライカムが利用されているためでもあるだろう。次いで陸上競技場、美浜アメリカンビレッジ、プラザハウスショッピングセンターと続いている。なお、①基本条件の項で整理したとおり、調査期間中の体育館・多目的運動場ののべ滞在者数は917

人であったことから、陸上競技場の訪問動向と同じく、ほとんどの滞在者は、市内の観光地にも市外の観光地にも立ち寄っていないものと想定される。

市外の施設等から直接、陸上競技場へ向かった滞行者（イオンモール沖縄ライカム、美浜アメリカンビレッジ、沖縄自動車道（沖縄南）出入り口を利用）は147人で、全体の66.8%であった。市内の観光施設（パークアベニュー、プラザハウスショッピングセンター、コザ・ミュージックタウン）に立ち寄った滞行者は27人で、全体の12.3%である。

体育館でバスケットボールやバレーボールの公式戦が開催された日だけを抜き出してみると、傾向は全体の傾向とほぼ変わらず、イオンモール沖縄ライカムや美浜アメリカンビレッジなどの市外観光地からの流入が多い結果であった。市内観光地に立ち寄った滞行者は6人で、全体の1割に満たない。

体育館・多目的運動場への流入元

[全体] 流入元	人数	[公式戦] 流入元	人数
イオンモール沖縄ライカム	113	イオンモール沖縄ライカム	40
コザ運動公園（陸上競技場）	46	コザ運動公園（陸上競技場）	17
美浜アメリカンビレッジ	26	美浜アメリカンビレッジ	10
プラザハウスショッピングセンター	14	プラザハウスショッピングセンター	5
沖縄自動車道（沖縄南）出入り口	8	コザ・ミュージックタウン	1
パークアベニュー	7	沖縄自動車道（沖縄南）出入り口	1
コザ・ミュージックタウン	6	パークアベニュー	0

※2018年12月から2019年2月の総数である。

※対象日：キングス（12/12、12/22-23、12/30-31、1/5-6、1/23、2/9-10）、パンサーズ（1/19-20）

◆体育館・多目的運動場の直後に立ち寄った施設

陸上競技場を訪れた滞行者が、その日のうちに当該施設を訪れた直後に立ち寄った調査地点としては、直前に立ち寄る施設とほぼ同じ傾向にある。ただし、沖縄自動車道を利用する割合が減少している。これは、シャトルバスなどを利用する人が多いためと考えられる。

調査期間全体の動向をみると、市外の施設等へ流れた滞行者（イオンモール沖縄ライカム、美浜アメリカンビレッジ、沖縄自動車道（沖縄南）出入り口を利用）は135人で、全体の7割である。市内の観光施設（パークアベニュー、プラザハウスショッピングセンター、コザ・ミュージックタウン）へ流れた滞行者は22人で、全体の1割である。

体育館でバスケットボールやバレーボールの公式戦が開催された日だけを抜き出してみると、傾向は全体の傾向とほぼ変わらず、イオンモール沖縄ライカムや美浜アメリカンビレッジなどの市外観光地への流出が多い結果であった。市外へ流れたと考えられる滞行者は44人（74.6%）、市内観光地へ流れた滞行者は7人で11.9%であった。

体育館・多目的運動場からの流出元

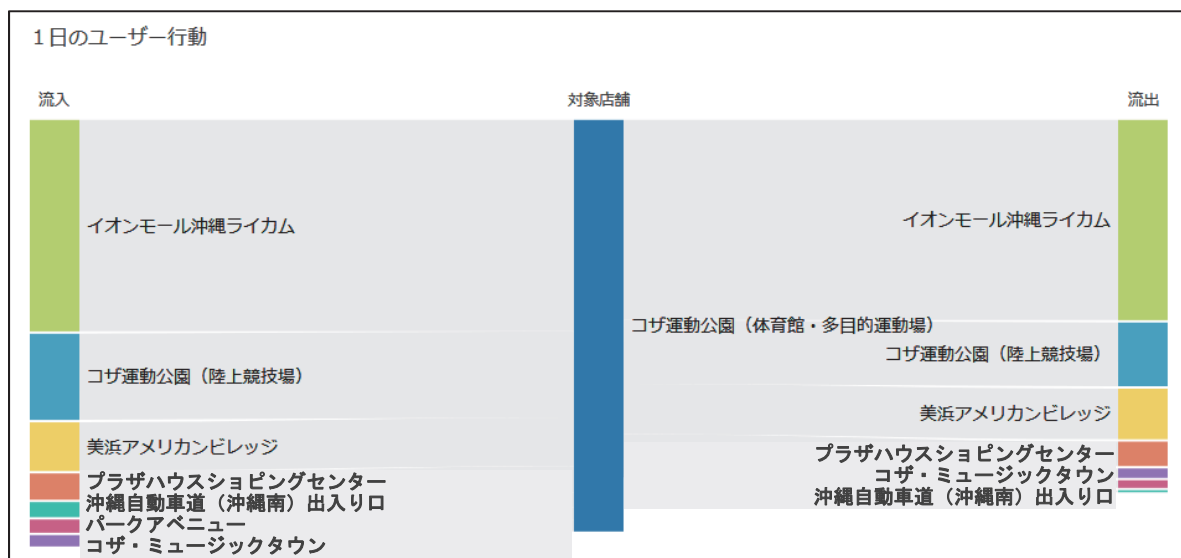
[全体] 流出先	人数
イオンモール沖縄ライカム	107
コザ運動公園（陸上競技場）	34
美浜アメリカンビレッジ	27
プラザハウスショッピングセンター	13
コザ・ミュージックタウン	5
パークアベニュー	4
沖縄自動車道（沖縄南）出入口	1

※2018年12月から2019年2月の総数である。

[公式戦] 流出先	人数
イオンモール沖縄ライカム	36
コザ運動公園（陸上競技場）	8
美浜アメリカンビレッジ	8
プラザハウスショッピングセンター	6
コザ・ミュージックタウン	1
パークアベニュー	0
沖縄自動車道（沖縄南）出入口	0

※対象日：キングス（12/12、12/22-23、12/30-31、1/5-6、1/23、2/9-10）、パンサーズ（1/19-20）

体育館・多目的運動場への流入・流出



沖縄市スポーツ合宿等統計調査業務 調査報告書

2019（平成 31）年 3 月

発 行：沖縄市経済文化部観光振興課 〒904-8501 沖縄市仲宗根町 26 番 1 号

連絡先：TEL (098) 939-1212 [代表] / FAX (098) 937-0342

編 集：株式会社国建 〒900-0015 那覇市久茂地 1 - 2 - 20 OTV 国和プラザ 6 階
